

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3466	よびさか	呼坂	110	四万十町	ヨボ	昔は呼坂峠で集落の境界であり惜別の峠。長宗我部元親が窪川侵攻時、この坂で降伏勧告を大声で叫んだ	土佐地名往来(高知)	平成29年6月26日	「土佐州郡志」 「窪川町史」新版
3393	こうのさい	神ノ西	201	四万十町		地検帳にはコウノサイ。高岡神社の先にある集落、神の先(崎)がコウノサイに転訛、神の西?	土佐地名往来(高知)	平成27年11月2日	「長宗我部地検帳」 「仁井田之社鎮座伝記」 「史談くぼかわ」5号
3487	さいばら	西原	202	四万十町		南路志に「大永の頃西原氏居城ニ依て西原村と云」。仁井田五人衆の一人で紀伊日高庄出身。当時の氏は吉村	土佐地名往来(高知)	平成29年12月11日	「南路志」 「高知県歴史事典」 「窪川町史蹟と文化財」
3046	かたさか	片坂	206	四万十町	カタ	つるべ下ろしの急坂と四国遍路日誌に記されている。佐賀側に下るだけのまさに片坂	土佐地名往来(高知)	平成20年3月11日	澄禅「四国遍路日記」
3388	みつけ	見付	208	四万十町	見付	中世、窪川氏が茂串山城を築いたときの地名。見付は、城の出入り口に設けられた城門のこと	土佐地名往来(高知)	平成27年9月14日	「長宗我部地検帳」 「四万十町通信」76号
3074	ごんげんばら	根元原	210	四万十町		集落には大元神社と神原神社の二つが氏神があり、神原神社を「権現さま」という。	土佐地名往来(高知)	平成20年10月28日	「窪川町 史蹟と文化財」
3077	ねねざき	根々崎	211	四万十町	ネ	仁井田川が四万十川に合流する砂嘴の土地。五社の北(子)に位置する崎「子の崎」が転訛	土佐地名往来(高知)	平成20年11月18日	「窪川町史」新版
2973	おおいのくちごうのかわ	大井野	216	四万十町	オイ	古名オキノ村。オホキノ村ニ非ズと仁井田郷談。弘法大師がこの地に笈神を祀ったに由来	土佐地名往来(高知)	平成18年10月5日	甲把瑞益「仁井田郷談」 「南路志」
3142		口神ノ川	217	四万十町		地検帳には口神ノ川。口、中、奥、寺野、大向、桧生原、大井野が神ノ川七カ村	土佐地名往来(高知)	平成22年3月23日	「長宗我部地検帳」 「史談くぼかわ」5号
2992	そらのかわ	天ノ川	304	四万十町	スラ	山の木を滑り落とす装置がスラ=修羅。林業の盛んな地ゆえ、スラノカワが転じてソラノカワに	土佐地名往来(高知)	平成19年2月22日	「土佐の地名」
3022	まつばかわ	松葉川	400	四万十町		土佐州郡志にも「松葉川山 松雑木多生皆禁伐」とある御留山。松葉は松場	土佐地名往来(高知)	平成19年9月18日	「土佐州郡志」 「高知縣市町村合併史」
3047	しゅんぶんとうげ	春分峠	412	四万十町		窪川と松原の国有林野地をつなぐ総延長15kmの林道。竣工が昭和43年の春分の日	土佐地名往来(高知)	平成20年3月18日	
3313	ゆあがりばし	湯上り橋	413	四万十町		松葉川温泉の近くを流れる日野地川に架かる橋。地元の人が命名。温泉の景色が映る名前	土佐地名往来(高知)	平成26年1月27日	「明けゆく日野地」田井集 「高知新聞」1973年8月25日
2811	いっとひょう	壺斗俵	415	四万十町		奥州南部の周防守高忠がこの地を開拓、粃米壺斗を時の国造に献上したことに由来。	土佐地名往来(高知)	平成15年5月29日	「定本柳田国男集②」地名考説
3429	とこなべ	床鍋	501	四万十町	ナメ	川床の平坦で滑らかなことのナベ、ナベラ、ナメなどの転訛。弘法大師の「独鈷投げ」伝説の由来も	土佐地名往来(高知)	平成28年8月22日	「おらんく話」 「四万十町通信」39号
2908	ななことうげ	七子峠	501	四万十町	ナナコ	本蚯蚓や添蚯蚓の坂、大阪谷から七子峠への名だたる難所。仁井田七郷へ通じる峠?七戸の茶店があった?	土佐地名往来(高知)	平成17年6月16日	「窪川町史蹟と文化財」
3329	かえざかもと	替坂本	506	四万十町		旧仁井田村は久礼郷で上ノ加江へ通じる道があり、その坂の起点「加江への坂の本」	土佐地名往来(高知)	平成26年5月26日	「史談くぼかわ」5号

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3127	かみあり	神有	508	四万十町		地検帳にカミアリ村。五社が仁井田神社へ神幸する途中、ここで船出安全祈願。神在す意から	土佐地名往来(高知)	平成21年12月1日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「史談くぼかわ」5号
3374	にいだ	仁井田	508	四万十町		大平山の麓に鎮座する仁井田神社が由来か。高岡郡仁井田郷の高岡神社(五社)から勧請	土佐地名往来(高知)	平成27年6月1日	「南路志」3巻・仁井田之社鎮座伝記
3490	にいだ	仁井田	508	四万十町	仁井田	古来、高岡神社(五社)とともに歴史を重ねてきた仁井田。新しい平坦な土地で新田に通じ新開拓地の意味も	土佐地名往来(高知)	平成30年1月15日	甲把瑞益「仁井田之社鎮座伝記」
3378	ひらぐし	平串	510	四万十町		地検帳は川井、仁井田川と東又川が合流するところ川合。呼坂を越えると平坦な道、平越の転訛	土佐地名往来(高知)	平成27年6月29日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「史談くぼかわ」5号
3012	ひがしまた	東又	600	四万十町		新在家郷(東又)は「東番」と呼ばれる川又の地?本在家郷の東の川筋、東の川又?	土佐地名往来(高知)	平成19年7月10日	「東又誌」 「高知県市町村合併史」
3484	ふじのかわ	藤ノ川	606	四万十町	藤	山野に自生するフジは、蔓縄としてフゴやモッコウを編んだ。暮らしに利用された大事な植物、フジに由来する	土佐地名往来(高知)	平成29年11月20日	東又村史 辻重憲「史談くぼかわ⑤」
3098	どうとく	道德	610	四万十町		戦国武将、辻進之丞が生国の地名をとってつけたと云う。どこで生まれ故郷かは不明	土佐地名往来(高知)	平成21年4月28日	「史談くぼかわ」5号・辻重憲
2832	しわ	志和	618	四万十町	シ	大きな暗礁や礫を「し」と呼ぶ。亥の大変で沈む黒田郡の山のとっぺんが「し」。「わ」は浦曲(うらわ)の意	土佐地名往来(高知)	平成15年11月6日	桂井和雄「おらんく話」 山中襄太「地名語源辞典」
2996	おむろ	小室	703	四万十町	フロ	京の法親王の寄港にちなみ、仁和寺の別称御室を。オムロ、フロは神の場所、八幡宮の聖林	土佐地名往来(高知)	平成19年3月22日	「土佐州郡志」 「桂井和雄土佐民俗選集②」
2993	たいしょう	大正	801	四万十町		東上山村当時、郡内に西上山村、東山村があり混同されることから村名を元号の大正に改称	土佐地名往来(高知)	平成19年3月1日	「大正町史」 「中土佐町史」
3023	たのの	田野々	801	四万十町	タナノ	上山郷の中心、梶原川と四万十川によって形成された段丘のある開き地。棚野の転訛。	土佐地名往来(高知)	平成19年9月25日	「大正町史 資料編」
3128	つづらがわ	葛籠川	801	四万十町	ツヅラ	葛籠は山あいでも暮らす人の大切な植物。多く自生する特徴が地名の由来。県内各地にある地名	土佐地名往来(高知)	平成21年12月8日	「高知県内の河川関連地名」 「高知県の地名」平凡社
3416	きのかわ	希ノ川	803	四万十町		平成の合併で四手ノ川を改称。切実な願いを込めた希望の集落へ。シデはシデノキ、紙垂	土佐地名往来(高知)	平成28年5月2日	「四万十町通信」67号 「高知県内の河川関連地名」
3094	うついがわ	打井川	806	四万十町	ウツ	「うつ」は、うと、うとうなど空洞状地形。陰しい山々に挟まれた凹状地形を流れる川に由来	土佐地名往来(高知)	平成21年3月31日	池田末則「地名の知識100」 多賀一造「大正のむかし」
3100	かやぶくて	茅吹手	903	四万十町		カヤの自生する山腹をかやほて。田畑の肥料、牛馬の飼料、屋根の材料など暮らしの必需品	土佐地名往来(高知)	平成21年5月19日	「土佐の地名」 東條操「全国方言辞典」 「十和村史」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3489	と一かわ	十川	912	四万十町		地検帳に「十川内」として大野村、今成村など7カ村を総称。明治に大野村が十川村に改称。10程の川にちなむ	土佐地名往来(高 新)	平成29年12月25日	広報誌「四万十町通信」25号
2607	いくみ	生見	39101	東洋町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年7月14日	
2830	いくみ	生見	39101	東洋町	イク	生き生きと躍動する「生海」、それが転じて生見に。「いく」は生命力の盛んなことをたたえる接頭語	土佐地名往来(高 新)	平成15年10月23日	「日本全河川ルーツ大辞典」 大野晋「日本語をさかのぼ
1001	うちだ	内田	39101	東洋町			土佐の地名 ふるさとぼとろー る(高新)	112	
2634	おおと	大斗	39101	東洋町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年10月13日	
3430	おおと	大斗	39101	東洋町	ト	野根川の中流域集落。大渡は対岸への渡し場があったことに由来。「大きな渡し場」も今は沈下橋	土佐地名往来(高 新)	平成28年8月29日	「長宗我部地検帳」 「高知県内の河川関連地名」
998	かんのうら	甲浦	39101	東洋町			土佐の地名 ふるさとぼとろー る(高新)	110	
2551	かんのうら	甲浦	39101	東洋町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年12月30日	
2984	かんのうら	甲浦	39101	東洋町		桜津、甲ヶ浦、神浦。熊野神社の森が甲に似ている甲浦説、熊野から神が飛来した神浦説 険しい断崖と荒海。ゴロゴロと音をたてる波打ち際は、薬王寺から最御崎寺は難所の遍路道	土佐地名往来(高 新)	平成18年12月28日	寿美金三郎「甲浦物語」
2981	ごろごろ	ゴロゴロ	39101	東洋町	ゴロ		土佐地名往来(高 新)	平成18年12月7日	上野智子「地名語彙の開く世界」
3437	さでがさか	左手ヶ坂	39101	東洋町		野根山街道の四郎ヶ野峠へ向う難所。急登で駕籠を担ぐには左右の肩、特に左を鍛える必要が	土佐地名往来(高 新)	平成28年10月31日	「東洋町資料集 野根山街道」 原田英祐
2713	しらはま	白浜	39101	東洋町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年8月3日	
1002	たなこし	棚越	39101	東洋町			土佐の地名	112	
3309	とうようちょう	東洋町	39101	東洋町		昭和34年、甲浦と野根の合併に14時間の論議で東洋町。役場の位置は26年間のジブシー生活	土佐地名往来(高 新)	平成25年12月9日	「昭和県行政体験誌」所 収・小笠原豊暢
999	のね	野根	39101	東洋町			土佐の地名 土佐地名往来(高 新)	110	
2982	のね	野根	39101	東洋町	ネ	西鶴の「一代男」に『のね板の戸明るく』。野根山材による天井板。根は山の麓、裾の意	土佐地名往来(高 新)	平成18年12月14日	「土佐の地名」
1003	ふしごえ	伏越	39101	東洋町			土佐の地名	113	
1591	ふしごえ	伏越	39101	東洋町			地名メモ		
2833	ふしごえ	伏越	39101	東洋町		伏して越えなければならない難所。万葉ゆかりの地ともいわれるが、海際の道をいう普通名詞説もある。	土佐地名往来(高 新)	平成15年11月13日	稿本「萬葉集古義」 岡林清水「土佐風土歷程」
1455	まさごぜ	真砂瀬	39101	東洋町			ふたつの浮津 ふるさとぼとろー る(高新)	71	
2499	まなごぜ	真砂瀬	39101	東洋町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年7月1日	
1000	みすみだ	三角田	39101	東洋町			土佐の地名	111	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1592	あすか	飛鳥	39102	室戸市			地名メモ		
817	いなし	稲石	39102	室戸市			土佐の地名	20	
3223	いのちだにばし	命谷橋	39102	室戸市		土佐州郡志では井之谷川で、家々や田畠に水を供給する水源で、大切な川「命の谷川」	土佐地名往来(高新)	平成23年12月5日	「土佐州郡志」 「羽根村史」
823	いるぎ	入木	39102	室戸市			土佐の地名	23	
2619	いるぎ	入木	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年8月25日	
3332	いるぎ	入木	39102	室戸市	ユルギ	風や波によって砂がゆり上げられるように堆積平地をユルギ。入木をイルキ、ユルギと読む	土佐地名往来(高新)	平成26年6月16日	「長宗我部地検帳」 「おらんく話」
1385	うきつ	浮津	39102	室戸市			ふたつの浮津	17	
2784	うきつ	浮津	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和58年9月14日	
821	おにと	鬼戸	39102	室戸市			土佐の地名	22	
818	かぶか	鹿岡	39102	室戸市			土佐の地名	21	
2876	ぎょうど	行当	39102	室戸市		古くは行道、行堂とも書いた。空海が土佐で最初に開いた金剛頂寺と修行の場(行場)を結ぶ「行道」の転訛	土佐地名往来(高新)	平成16年10月14日	岡本健児「ものがたり考古学」 「七十一番職人歌合」
1382	きらがわ	吉良川	39102	室戸市			ふたつの浮津	14	
3339	くろみ	黒耳	39102	室戸市		海岸に黒松などを植えて日陰をつくり魚を集めるのが魚つき林。黒松の山の緑を「黒ミ」	土佐地名往来(高新)	平成26年8月11日	「長宗我部地検帳」 「室戸史余話」 「土佐の史蹟名勝」
2689	くろみみ	黒耳	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年5月11日	
2654	さきやまだいち	崎山台地	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年12月22日	
2568	さんじゅうだい	三十代	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年2月24日	
1388	しいな	椎名	39102	室戸市			ふたつの浮津	20	
2531	しいな	椎名	39102	室戸市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和55年10月21日	
3445	しじゅうじさん	四十寺山	39102	室戸市		番外霊場の四十寺がある古くからの山名。かつて山頂に四十の寺があったという。	土佐地名往来(高新)	平成28年12月26日	「土佐州郡志」 「広報むろと」2014年9月号・郷土を知らう 第54話
3213	しむら	新村	39102	室戸市		土佐州郡志では新浦。阿波の遍路が移り住んだ新しい海辺の集落、新浦が転訛	土佐地名往来(高新)	平成23年9月12日	「土佐州郡志」 「土佐と南海道」
820	たちばな	立花	39102	室戸市			土佐の地名	22	
819	つろ	津呂	39102	室戸市			土佐の地名	22	
3304	つろ	津呂	39102	室戸市	トロ	紀貫之が立ち寄った港ともいわれる。川の緩やかなところ、波の静かな入り江が「トロ」	土佐地名往来(高新)	平成25年10月28日	「おらんく話」 「皆山集」9巻
1389	なばえ	菜生	39102	室戸市			ふたつの浮津	21	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3451	なばえ	菜生	39102	室戸市		室戸岬町の集落。津呂村は耕作地が少なく蔬菜類の栽培を菜生に頼っていた。年中温暖な土地柄は野菜類が育つ	土佐地名往来(高 新)	平成29年2月27日	「長宗我部地検帳」 「広報むろと」2011年1月号・郷 土を知ろう 第10話
1383	ならし	奈良師	39102	室戸市			ふたつの浮津	15	
2583	ならし	奈良師	39102	室戸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月21日	
2988	ならし	奈良師	39102	室戸市		弘法伝説の地名。金剛頂寺建立に呼び寄せた奈良の工匠(師)に由来。田を均すエブリ説も	土佐地名往来(高 新)	平成19年1月25日	「土佐日記」 「土佐史談」200号 「ふたつの浮津から」
2595	にしやまだい ち	西山台地	39102	室戸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年6月2日	
3409	はぜやま	櫛山	39102	室戸市		藩政期半ば、田野浦の商人蔦屋が開拓し櫛を植えて櫛山とした。蠟燭の材料「木蠟」を採取	土佐地名往来(高 新)	平成28年3月7日	「羽根村史」 「増補事物終始」岡本真古
1381	はね	羽根	39102	室戸市			ふたつの浮津	14	
2968	はね	羽根	39102	室戸市		古くは波禰、八禰。鳥の羽のような地形説、跳ね石由来説、根は山裾で、八つの集落説もある	土佐地名往来(高 新)	平成18年8月31日	「土佐日記」 「皆山集」 「羽根村史」
824	ひなた	日南	39102	室戸市			土佐の地名	24	
2514	ひなた	日南	39102	室戸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年8月19日	
3335	ふなば	舟場	39102	室戸市		海から離れた山あいの集落に舟場。加奈木の崩壊もないじぶん、船は奥深く入ったのだらう	土佐地名往来(高 新)	平成26年7月7日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「佐喜浜郷土史」松野仁
1384	ほうじ	傍士	39102	室戸市			ふたつの浮津	16	
2736	みつ	三津	39102	室戸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年10月19日	
1387	みみざき	耳崎	39102	室戸市			ふたつの浮津	20	
816	むろとし	室戸市	39102	室戸市			土佐の地名	20	
1386	もと	元	39102	室戸市			ふたつの浮津	19	
822	よどがいそ	淀ヶ磯	39102	室戸市			土佐の地名	23	
1006	あいがり	鮎狩	39103	奈半利町			土佐の地名	115	
1456	うがわ	宇川	39103	奈半利町			ふたつの浮津	72	
2749	おおはら	大原	39103	奈半利町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年12月7日	
1005	かりようごう	加領郷	39103	奈半利町			土佐の地名	115	
2945	かりようごう	加領郷	39103	奈半利町		木材を伐り出す船曳場が漁業を営む地となり加漁郷となり、土地も開墾され加領郷と転訛	土佐地名往来(高 新)	平成18年3月16日	安岡大六「奈半利町史考」
2575	くるまぜ	車瀬	39103	奈半利町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月24日	
2668	くれいわ	久礼岩	39103	奈半利町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年2月16日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3406	こごろく	コゴロク	39103	奈半利町		野根山街道そばにある奈良時代建立の安芸郡最古の寺院跡。地検帳に古五六村	土佐地名往来(高新)	平成28年2月15日	「南路志」 「奈半利町史考」 「奈半利町史」
3425	すがわ	須川	39103	奈半利町		地検帳よりも古い時代には「菅生(スガフ)」と呼ばれ、カヤの一種である菅の自生地。須川に転訛	土佐地名往来(高新)	平成28年7月4日	「長宗我部地検帳」 「南路志」 「奈半利町史考」
2792	だいしざか	大師坂	39103	奈半利町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和58年10月12日	
1007	なばら	ナバラ	39103	奈半利町			土佐の地名	115	
1004	なはり	奈半利	39103	奈半利町			土佐の地名	114	
1594	なはり	奈半利	39103	奈半利町			地名メモ		
2965	なはり	奈半利	39103	奈半利町	ナハ	ナは魚、ハは庭、魚のいるところと桂井氏。田の物の生るところは安岡氏。なばらは徳弘氏	土佐地名往来(高新)	平成18年8月10日	「奈半利町史考」 「土佐の地名」 「おらんく話」
1457	なまき	生木	39103	奈半利町			ふたつの浮津	74	
3219	びわがたき	琵琶ヶ滝	39103	奈半利町		奈半利加領郷にある滝。鹿持雅澄も遊んだ古くからの名勝。滝壺が琵琶の形？滝音を琵琶音？	土佐地名往来(高新)	平成23年11月7日	「滝をゆく」宇野薫
1008	よねがおか	米ヶ岡	39103	奈半利町			土佐の地名	116	
2534	よねがおか	米ヶ岡	39103	奈半利町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和55年10月28日	
3348	よねがおか	米ヶ丘	39103	奈半利町		御留山に火を放ち開拓した白石伝左衛門の死罪覚悟のドラマのような実話。生命の米が地名に	土佐地名往来(高新)	平成26年10月27日	「土佐州郡志」 「奈半利町史」
2627	ろっぽんまつ	六本松	39103	奈半利町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年9月22日	
2554	おおの	大野	39104	田野町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年1月6日	
2587	せんぶく	千福	39104	田野町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年5月5日	
1011	ただれ	爛	39104	田野町			土佐の地名	118	
1009	たの	田野	39104	田野町			土佐の地名	117	
1595	たの	田野	39104	田野町			地名メモ		
2920	たの	田野	39104	田野町	タノ	配流人の高田と大野の合成地名？原意は”棚＝段丘”で開発途上のなかば原野をあらわす言葉が地名化	土佐地名往来(高新)	平成17年9月8日	「田野町史」
1012	たのなか	田の中	39104	田野町			土佐の地名	118	
2651	なかの	中野	39104	田野町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年12月15日	
1010	はぶのおか	土生岡	39104	田野町			土佐の地名	117	
1458	はぶのおか	土生岡	39104	田野町			ふたつの浮津	74	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2510	はぶのおか	土生岡	39104	田野町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和55年8月5日	
3419	はぶのおか	土生岡	39104	田野町		地検帳には「ハフ谷」とある。土が削られ人家が生まれた説、歯が欠けハブだけ説の2説	土佐地名往来(高新)	平成28年5月23日	「長宗我部地検帳」 「高知新聞」1980年8月5日
1013	ひらき	開	39104	田野町			土佐の地名	118	
2692	ひらく	開	39104	田野町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和57年5月18日	
1020	あぐら	安倉	39105	北川村			土佐の地名	123	
1593	あぐら	安倉	39105	北川村			地名メモ		
1464	くき	久木	39105	北川村			ふたつの浮津	79	
1023	くぶつけ	久府付	39105	北川村			土佐の地名	125	
2546	くぶつけ	久府付	39105	北川村			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和55年12月9日	
2943	くぶつけ	久府付	39105	北川村		玄蕃頭の首が空を飛んだ首着き、その首を漬けた説、クグ(ハマスゲ)の根付いた説など	土佐地名往来(高新)	平成18年3月2日	安岡大六「北川風土記」 「北川村史」 「土佐の地名」
1463	こつも	木積	39105	北川村			ふたつの浮津	78	
3177	こつも	木積	39105	北川村	コツミ	コツムは方言で集めて積むの意。もとは、川へ流した材木が集まる所、木材の集積地	土佐地名往来(高新)	平成22年12月6日	「北川村史」 「高知県方言辞典」
1021	ごにんぐみ	五人組	39105	北川村			土佐の地名	124	
2660	さきやま	崎山	39105	北川村			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和57年1月19日	
3286	しま	島	39105	北川村		安芸郡成願寺村の小集落嶋。平家の落人で、地域の開拓者の島主殿守の名字に因む	土佐地名往来(高新)	平成25年5月20日	「北川風土記」安岡大六
3174	しゃかがうえ	釈迦ヶ生	39105	北川村		林鉄安田川線と奈半利川線の分岐点の賑わい。地検帳に釈迦ウ井ノ村。集落の釈迦堂に由来	土佐地名往来(高新)	平成22年11月15日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「北川村古道二百十軒」樋口中
3179	じゃだに	蛇谷	39105	北川村		蛇の母子伝説もある野根山街道の岩佐関所への登り口。文字どおりたくさんの蛇がすむ谷	土佐地名往来(高新)	平成22年12月20日	「野根山街道—東洋町資料集」
3294	しろがねとうげ	四郎ヶ野峠	39105	東洋町	シロガネ	野根山街道の峠。古文書には次郎ヶ野。銀鉾脈のシロガネ? 街道筋の二郎野(広い野)?	土佐地名往来(高新)	平成25年7月22日	「東洋町資料集 野根山街道」原田英祐
1019	たけやしき	竹屋敷	39105	北川村			土佐の地名	123	
2798	ながやま	長山	39105	北川村			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和58年12月7日	
3221	はけ	羽毛	39105	北川村	ハケ	北川村の山深い集落。ハケルは洪水などで田畠等が流されること。谷は急流で一代三回も開墾	土佐地名往来(高新)	平成23年11月21日	「北川風土記」安岡大六 「高知県方言辞典」 「奈半利川今昔」樋口中
2495	ふたまた	二又	39105	北川村			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和55年6月17日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3401	ふなくそ	船九艘	39105	北川村		船9艘運んできたと言う巨大津波の伝説が州郡志に。海拔60m奈半利から直線7kmの地	土佐地名往来(高新)	平成28年1月4日	「土佐州郡志」 「奈半利川の今昔」樋口中
1022	みずたに	水谷	39105	北川村			土佐の地名	124	
3175	あいな	相名	39106	馬路村	アイ	土佐州郡志には「相野村 日浦槌之尾ノ間ニ存 故名相野」。集落の間の野がアイナに転	土佐地名往来(高新)	平成22年11月22日	「土佐州郡志」 「馬路村史」
2639	あさひで	朝日出	39106	馬路村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年11月3日	
3283	あさひで	朝日出	39106	馬路村		土佐州郡志に朝出。朝日の出が早い?馬路城主の家臣朝日掃部頭が農民となり開拓した地?	土佐地名往来(高新)	平成25年4月15日	「土佐州郡志」 「馬路村史」 「馬路村の歴史と伝説」
1024	うまじ	馬路	39106	馬路村			土佐の地名	126	
3269	うまじ	馬路	39106	馬路村	ウマジ	保元の乱で逃れた平隆長の開拓地?。物資の運搬に馬を使用した山間の交通路で、県下各地に	土佐地名往来(高新)	平成24年12月10日	「長宗我部地検帳」 「おらんく話」
2708	かみつぼ	上坪	39106	馬路村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年7月13日	
1026	さかきだに	榊谷	39106	馬路村			土佐の地名	127	
1027	しゅくのたに	宿野谷	39106	馬路村			土佐の地名	127	
3446	じんきちがもり	甚吉森	39106	馬路村		魚梁瀬の北方の山。落ち延びた平家が「あの森は甚だ吉である。」説。他方、須崎の山師・甚吉の恩が山名に	土佐地名往来(高新)	平成29年1月16日	「馬路村史」 「須崎史談」51号
3452	せんぼんやま	千本山	39106	馬路村		土佐州郡志に出てくる御留山(標高1084m)。千は数量の多さを比喻。実際は約4万5千本とみて「万本山」か	土佐地名往来(高新)	平成29年3月6日	「土佐州郡志」 「新日本山岳誌」 「高知新聞」1965年7月22日
1466	つちかわ	土川	39106	馬路村			ふたつの浮津	82	
1465	てんぐのもり	天狗森	39106	馬路村			ふたつの浮津	80	
2565	なかのかわ	中ノ川	39106	馬路村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年2月17日	
2733	まるやまだいち	丸山台地	39106	馬路村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年10月12日	
1028	みょうがやしき	茗荷屋敷	39106	馬路村			土佐の地名	128	
1025	やなせ	魚梁瀬	39106	馬路村			土佐の地名	126	
2813	やなせ	魚梁瀬	39106	馬路村	ヤナセ	川に梁を仕掛けて魚を取る丁度いいところ「ヤナセ」。長い瀬「八咫瀬(やたせ)」の説も	土佐地名往来(高新)	平成15年6月12日	「馬路村史」
2616	えいほう	栄峰	39107	安田町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年8月11日	
3217	おおきど	大木戸	39107	安田町		木戸は城門の意味。安田城の大きな門があった場所が「大木戸」という地名に転じたか	土佐地名往来(高新)	平成23年10月24日	「田野町史」
1459	こうのみね	神峯	39107	安田町			ふたつの浮津	75	
1461	さかせがわ	逆瀬川	39107	安田町			ふたつの浮津	77	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2680	じょう	城	39107	安田町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年4月6日	
3511	せぎり	瀬切	39107	安田町	瀬切	地検帳に安田庄瀬切村。弘法大師が不動尊を彫り安田川に浮かべると川は瀬を切るように止まった伝説。	土佐地名往来(高 新)	平成30年7月30日	刊本「南路志」第8巻
2776	たのしり	田の尻	39107	安田町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月17日	
1016	とうのはま	唐浜	39107	安田町			土佐の地名	120	
2519	とうのはま	唐浜	39107	安田町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年9月9日	
2875	とうのはま	唐浜	39107	安田町		正月飾りの「ダイダイ」を家一軒に10本以上植え、その酢を年貢とした。橙の浜は貧苦象徴の地名	土佐地名往来(高 新)	平成16年10月7日	安岡大六ほか「新安田文化史」
2760	なかざと	中里	39107	安田町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年3月30日	
1017	はっとり	服部	39107	安田町			土佐の地名	121	
3289	ふなくら	船倉	39107	安田町		地検帳には安田庄船蔵村、州郡志には安芸郡中山村船蔵。安田川を往来する舟の小屋	土佐地名往来(高 新)	平成25年6月10日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「新安田文化史」
1462	べっしょ	別所	39107	安田町			ふたつの浮津	77	
3483	べっしょ	別所	39107	安田町	別所・別府	別所は本寺に対する末寺の意味。金剛頂寺の開創用材の一部で北寺を建立。また西寺・北寺の寺領地の別府の意	土佐地名往来(高 新)	平成29年11月13日	安岡大六、松本保「新安田文化史」
1460	まげ	間下	39107	安田町			ふたつの浮津	76	
2722	まげ	間下	39107	安田町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年8月31日	
1018	みずぶね	水舟	39107	安田町			土佐の地名	122	
1596	やくし	薬師	39107	安田町			地名メモ		
1014	やすだ	安田	39107	安田町			土佐の地名	119	
2941	やすだ	安田	39107	安田町		平安時代の和名抄に安芸郡安田郷と記録。良田のある土地は全国に。”瘦せ田”の逆の説も	土佐地名往来(高 新)	平成18年2月16日	「和名類聚抄」 「新安田文化史」
1015	よどこ	与床	39107	安田町			土佐の地名	120	
2889	よどこ	与床	39107	安田町		この地の四人の豪族がここを開拓。「四人所」が転訛して与床。貴人の人数を数えるに古くは「ところ」と言う	土佐地名往来(高 新)	平成17年1月27日	緒方宗哲「土佐州郡志」 「新安田文化史」
3058	あかの	赤野	39108	安芸市		赤色珪岩礫の鮮紅色の地質によって命名された地名。まさに赤く染まった原野「赤野」	土佐地名往来(高 新)	平成20年6月17日	「安芸の民話」第一集 「おらんく話」
3355	あき	安芸	39108	安芸市		続日本紀の767年のくだりに土佐国安芸郡。豊穰の意味説、安芸国渡来説、瀬戸内キ族説	土佐地名往来(高 新)	平成27年1月5日	「続日本紀」 「安芸市史 資料篇」 「日本古語大辞典」松尾静
825	あきし	安芸市	39108	安芸市			土佐の地名	25	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1391	あきのかわ	安喜ノ川	39108	安芸市			ふたつの浮津	23	
838	あきよ	明夜	39108	安芸市			土佐の地名	31	
2789	あなない	穴内	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年10月5日	
1597	いのくち	井ノ口	39108	安芸市			地名メモ		
3411	いのくち	井ノ口	39108	安芸市	イ	安芸川下流の田園地帯。弥生時代からの暮らしがある中世以前の地名。川の用水取り入れ口	土佐地名往来(高新)	平成28年3月28日	「ふるさとのいまとむかし」千光士始
831	うしのくび	牛の首	39108	安芸市			土佐の地名	28	
2642	うちはらの	内原野	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月10日	
2688	えがわ	江川	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年5月4日	
2664	おおい	大井	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年2月2日	
3441	おおい	大井	39108	安芸市		遠い昔、伊尾木川に大きな堰をつくり現在の流路となった。この「大井堰」に由来	土佐地名往来(高新)	平成28年11月28日	「安芸市史 資料篇」
1395	かぞけ	加増家	39108	安芸市			ふたつの浮津	25	
2745	かみおがわ	上尾川	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年11月23日	
836	かわきた	川北	39108	安芸市			土佐の地名	30	
2726	くろせ	黒瀬	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年9月14日	
827	くろどり	黒鳥	39108	安芸市			土佐の地名	26	
2966	くろどり	黒鳥	39108	安芸市		安芸郡の八つの郷のひとつ。水辺に営巣する黒い羽根の水鳥「クイナ」の里	土佐地名往来(高新)	平成18年8月17日	「高知県方言辞典」 「土佐の地名」
830	けごや	警固屋	39108	安芸市			土佐の地名	27	
2705	こうの	河野	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年7月6日	
839	しま	島	39108	安芸市			土佐の地名	32	
833	せいすいじお	清水寺岡	39108	安芸市			土佐の地名	29	
2907	そうづ	僧津	39108	安芸市	ソウヅ	同様の地名が全国にある。原意は「しょうず＝生水」か。獣威しの仕掛け、水のわき出るところ、が由来	土佐地名往来(高新)	平成17年6月9日	「高知県方言辞典」
1393	たまつくり	玉造	39108	安芸市			ふたつの浮津	24	
2904	たまつくり	玉造	39108	安芸市		安芸郡八郷の一つ。玉造部は石玉製品をつくる職能集団。古代は安芸郡の中心集落とみられるが遺跡は未発	土佐地名往来(高新)	平成17年5月19日	「安芸市史」
835	ちゃし	銚子	39108	安芸市			土佐の地名	29	
837	てんのごう	天の郷	39108	安芸市			土佐の地名	31	
826	どい	土居	39108	安芸市			土佐の地名	25	
834	なびか	奈比賀	39108	安芸市			土佐の地名	29	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2610	なびか	奈比賀	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年7月21日	
3210	なびか	奈比賀	39108	安芸市		伊尾木川、小川川、名村川が並んで流れていることから並川の地名が奈比賀に転訛	土佐地名往来(高 新)	平成23年8月22日	「安芸市史 資料篇」
2491	にゅうがうち	入河内	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年6月3日	
2890	にゅうがうち	入河内	39108	安芸市	二	水銀は丹(に)、それを採掘精製する職能集団が丹生族。集落の氏神船岡神社の祭神は丹生姫でもとは丹岡	土佐地名往来(高 新)	平成17年2月3日	松田壽男「古代の朱」
2523	はたやま	畑山	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年9月23日	
3035	はたやま	畑山	39108	安芸市		畑は火+田で焼畑の開墾地。焼畑を営む山間の地が「畑山」。地検帳に見る切畑の土地が多い	土佐地名往来(高 新)	平成19年12月18日	「土佐の地名」
1394	はちのたに	八の谷	39108	安芸市			ふたつの浮津 24		
2539	はちのたに	八ノ谷	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年11月18日	
841	ひがしより	東寄	39108	安芸市			土佐の地名 32		
2674	べっちゃく	別役	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年3月9日	
829	みぞべ	溝辺	39108	安芸市			土佐の地名 27		
840	やながれ	矢流	39108	安芸市			土佐の地名 32		
2622	やながれ	八流	39108	安芸市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年9月1日	
3032	やながれ	八流	39108	安芸市		八流と矢流の地名由来。集落に八つの谷があった地形説、大雨で千束の矢を流した合戦説	土佐地名往来(高 新)	平成19年11月27日	「土佐州郡志」 「安芸の民話」第2集・和田 鋭一
828	やのまる	矢の丸	39108	安芸市			土佐の地名 27		
1392	やのまる	矢の丸	39108	安芸市			ふたつの浮津 23		
1390	ゆのくぼ	湯の窪	39108	安芸市			ふたつの浮津 22		
832	よこやま	横山	39108	安芸市			土佐の地名 28		
1469	うまのうえ	馬の上	39109	芸西村			ふたつの浮津 83		
1598	うまのうえ	馬の上	39109	芸西村			地名メモ		
2582	うりうだに	瓜生谷	39109	芸西村			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月14日	
1031	うりゅうだに	瓜生谷	39109	芸西村			土佐の地名 130		
2822	うりゅうだに	瓜生谷	39109	芸西村	ウリウ	古くからの園芸の地の馬上は土佐で初めて真瓜(真桑瓜)が栽培された所。「瓜」地名は全国に点在する。	土佐地名往来(高 新)	平成15年8月21日	岡本真古「事物終始」 「芸西村史」
1032	うるし	宇留志	39109	芸西村			土佐の地名 130		
1468	おいまわし	追廻	39109	芸西村			ふたつの浮津 83		
1030	おくだし	奥出	39109	芸西村			土佐の地名 129		

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1033	かどいし	角石	39109	芸西村			土佐の地名	130	
2506	ごくらくだんち	極楽団地	39109	芸西村			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年7月22日	
2873	ことがはま	琴ヶ浜	39109	芸西村		文献では「和食浜松」。松風を琴の音に擬して命名。藩は八流から手結まで三万本の松を留林として保護した	土佐地名往来(高 新)	平成16年9月16日	「芸西村史」 広谷喜十郎「芸西村琴ヶ浜 考」
1034	さんまいどう	三昧堂	39109	芸西村			土佐の地名	131	
1036	しれげ	白髭	39109	芸西村			土佐の地名	132	
3253	どうけ	道家	39109	芸西村		芸西村の山深い集落。地検帳に道家之村。続日本記の756年のくだりにある土佐の道原寺が由来	土佐地名往来(高 新)	平成24年7月30日	「長宗我部地検帳」 「土佐国編年史料控①」 「土佐国編年記事略」中山 巖水
1467	にしぶん	西分	39109	芸西村			ふたつの浮津	82	
3323	はせより	長谷寄	39109	芸西村		寺がチョウコク寺、土地がナガタニ、この寄り口をハセ寄。寺は飛ばされ今は羽尾に	土佐地名往来(高 新)	平成26年4月7日	「芸西村史」所収・芸西風 俗譚
1035	ばんしょう	番匠	39109	芸西村			土佐の地名	131	
2558	ほりきり	堀切	39109	芸西村			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月20日	
1037	やすば	休場	39109	芸西村			土佐の地名	132	
1029	わじき	和食	39109	芸西村			土佐の地名	129	
2877	わじき	和食	39109	芸西村		和名類聚抄にも和食とある古名。葦の茂った沼地「あしき」の転訛か、アシキ地名は全国に残る。キ族説も有	土佐地名往来(高 新)	平成16年10月21日	「芸西風俗譚」、「芸西村 史」 木村紀子「古層日本語の融 合構造」
1038	あかおか	赤岡	39201	香南市			土佐の地名	133	
1604	あかおか	赤岡	39201	香南市			地名メモ		
3034	あかおか	赤岡	39201	香南市		赤土を盛り上げたような岡だったことに由来。古くは中岡(川と海の間)、赤岳、丹陵など	土佐地名往来(高 新)	平成19年12月11日	徳永千規「香美郡誌」 「赤岡町史」 「土佐州郡志」
1076	あかまつ	赤松	39201	香南市			土佐の地名	151	
3007	あごでん	アゴデン	39201	香南市	安居(あ んご・あ ご)	安居(あんご・あご)は雨季を意味する梵語で転じて僧の修行。それをまかなう田(仏供田)	土佐地名往来(高 新)	平成19年6月5日	「佐古村史」
1051	いしぶね	岩船	39201	香南市			土佐の地名	138	
1488	いしや	石家	39201	香南市			ふたつの浮津	98	
3140	いでぐち	出口	39201	香南市		地検帳には出口村。夜須の出口説?城山の出口説?井での口に開けた集落?大方にも「出口」	土佐地名往来(高 新)	平成22年3月9日	「長宗我部地検帳」 「土佐民俗」35号
1474	いのちぎれ	命切	39201	香南市			ふたつの浮津	87	
3242	いのちやま	命山	39201	香南市		観音山に残る安政地震津波の碑が物語る、この山に駆け上がる数百人を救った命の山	土佐地名往来(高 新)	平成24年5月7日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2695	うさいだ	兎田	39201	香南市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年6月1日	
3444	うさいだ	兎田	39201	香南市		鹿持雅澄は「古くは兎田(ウダ)。宇多の松原に通 じる」という。広辞苑には「海浜の地名に残る」	土佐地名往来(高 新)	平成28年12月19日	「土佐日記地理弁」鹿持雅澄 「定本柳田国男集②⑩」 「香我美町史 上巻」
1489	うまぶくろ	馬袋	39201	香南市			ふたつの浮津	98	
3491	おーさと	大忍	39201	香南市		中世の大忍荘は土佐の代表的な荘園。太平洋 岸から阿波国境までの大きな里。里の草書体 を忍と誤読したか？	土佐地名往来(高 新)	平成30年1月22日	「皆山集」 「高知県史要」
1047	おくま	奥間	39201	香南市			土佐の地名	137	
1048	かさはら	笠原	39201	香南市			土佐の地名	137	
1069	からくさ	唐草	39201	香南市			土佐の地名	147	
1606	からすがわ	烏川	39201	香南市			地名メモ		
2827	からすがわ	烏川	39201	香南市	烏	捨て水の流れ故、ふだんは涸川であった。そ のために「カラス」。文字どおり烏が多くい た説もある。	土佐地名往来(高 新)	平成15年10月2日	「日本全河川ルーツ大辞 典」 河野通信「野中兼山と野市
1473	きしもと	岸本	39201	香南市			ふたつの浮津	87	
2786	きしもと	岸本	39201	香南市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年9月21日	
3260	きしもと	岸本	39201	香南市		月見山の崖の下に鎮座する岸本神社。キシは 切り立つ斜面や断崖を意味する。その地形に 由来	土佐地名往来(高 新)	平成24年9月24日	「土佐の史蹟名勝」
3160	きょうだいば し	兄弟橋	39201	香南市		野中兼山が手がけた水利事業による東野溝と 町溝、その二本の用水路に架かる橋が兄橋と 弟橋	土佐地名往来(高 新)	平成22年7月27日	
1070	ぐいみだに	具井見谷	39201	香南市			土佐の地名	148	
3299	こうそう	香宗	39201	香南市		平安期、香美郡に宗我郷、長岡郡に宗部郷。 中世になり郡名の香で香宗我部「香宗」 地検帳にはゴスイテン。沖縄では五水と書 き、神酒のこととある。高知は一夜酒をゴス イ	土佐地名往来(高 新)	平成25年8月26日	「土佐物語」
3096	ごすいでん	ごすいで ん	39201	香南市	ゴスイ		土佐地名往来(高 新)	平成21年4月14日	「佐古村史」 「総合日本民俗語彙」
1041	さじき	佐敷	39201	香南市			土佐の地名	134	
1050	さんぶいち	三分一	39201	香南市			土佐の地名	138	
2638	しもやまかわ	下山川	39201	香南市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年10月27日	
2753	しろいわ	白岩	39201	香南市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年12月21日	
3488	しんぐー	新宮	39201	香南市	新宮	地検帳に新宮村。幕末の国学者、徳永千規は 「近村二熊野新宮を祭れる所を新宮と 号・・」紀州から勧進に由来	土佐地名往来(高 新)	平成29年12月18日	徳永千規「香美郡誌」 「野市町史」下巻
1040	すだれ	簾	39201	香南市			土佐の地名	134	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3111	すだれ	簾	39201	香南市		荒地となりスタれた山畑をスダレと洒落て名付けたのが由来？	土佐地名往来(高 新)	平成21年8月4日	「長宗我部地検帳」 「土佐の地名」
1497	すみよし	住吉	39201	香南市			ふたつの浮津	104	
1039	するだ	須留田	39201	香南市			土佐の地名	133	
2591	するだ	須留田八幡宮周辺	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年5月19日	
2826	するだ	須留田	39201	香南市	スルド	「するど」尖っているさま・水はけのよい田地(駿田)に由来。静岡・駿河も早い流れに由来	土佐地名往来(高 新)	平成15年9月25日	「皆山集」 「赤岡町史」
1046	ぞうよう	雑用	39201	香南市			土佐の地名	136	
3252	そえじ	添地	39201	香南市		夜須川沿いの集落にある宗円城跡。安芸国虎の家臣、宗円氏の支配した「宗円地」が転訛	土佐地名往来(高 新)	平成24年7月23日	「長宗我部地検帳」 「土佐国古城略史」
1605	だいしょうぐん	大將軍	39201	香南市			地名メモ		
1470	たかみ	高見	39201	香南市			ふたつの浮津	85	
3495	たけちばし	武市橋	39201	香南市		野市百人衆郷士武市藤右衛門の居住地したことによる橋名。百人衆郷士は兼山の野市開発に登用された人々	土佐地名往来(高 新)	平成30年3月5日	「野市町史」上巻
1067	ちぎれ	千切	39201	香南市			土佐の地名	146	
1491	ちぎれ	千切	39201	香南市			ふたつの浮津	100	
1602	ちぎれ	千切	39201	香南市			地名メモ		
2576	ちぎれ	千切	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月24日	
1068	つばい	坪井	39201	香南市			土佐の地名	147	
1077	てい	手結	39201	香南市			土佐の地名	151	
2772	てい	手結	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月3日	
2808	てい	手結	39201	香南市	デイ	結は海の人々の共同作業、手でする共同作業。一方、沖への出崎の「出居」の意味	土佐地名往来(高 新)	平成15年5月8日	「南路志」 徳弘勝「土佐の地名」 谷川健一「民俗・地名そして日本」
2684	てらむら	寺村	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年4月20日	
2502	てんのう	天皇	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年7月8日	
2763	どい	土居	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年5月4日	
3109	とくおうじ	徳王子	39201	香南市		徳善村と王子村が明治の合併で徳王子村。徳善は有力者の名字、王子は池田王のゆかり？	土佐地名往来(高 新)	平成21年7月21日	「香我美町史」 「香美郡誌」
1075	なかこや	仲木屋	39201	香南市			土佐の地名	150	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3505	なかのむら	中ノ村	39201	香南市		集落の中に平安前期にさかのぼる古社宗我神社がある。香美郡八郷の一つ「宗我郷の真中なる」村だから	土佐地名往来(高 新)	平成30年5月21日	「南路志」刊本第2巻
1042	なら	奈良	39201	香南市			土佐の地名	134	
1061	のいち	野市	39201	香南市			土佐の地名	144	
2818	のいち	野市	39201	香南市	ノジ	野中兼山らの開発により”野原のなかに新しい市町ができた”。”土佐の三野地”の最初が野一、その転訛	土佐地名往来(高 新)	平成15年7月17日	徳永千規「香美郡誌」 吉田萬作「野市地名考」土 佐史談189号所収
1044	はいはら	拝原	39201	香南市			土佐の地名	135	
1074	はお	羽尾	39201	香南市			土佐の地名	150	
2530	はお	羽尾	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年10月14日	
3363	はお	羽尾	39201	香南市		昔は安芸と香美を結ぶ要衝。ハは端、オは尾根。山並みの尾根が尽きるところに、小さな盆地	土佐地名往来(高 新)	平成27年3月9日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「羽尾小史」
1073	はなくま	花熊	39201	香南市			土佐の地名	149	
1049	ひえじ	稗地	39201	香南市			土佐の地名	138	
1045	ひなたがわ	日向川	39201	香南市			土佐の地名	136	
1062	ひのみこ	日ノ御子	39201	香南市			土佐の地名	144	
1490	ひらいやま	平井山	39201	香南市			ふたつの浮津	99	
2643	びんご	備後	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月17日	
3164	びんご	備後	39201	香南市		地検帳には夜須庄にヒンコノ村とある。この地の武将吉田備後守重俊に由来？備後の商人説も	土佐地名往来(高 新)	平成22年8月23日	「長宗我部地検帳」 「高知新聞」昭和48年10月 24日
2613	ふかぶち	深淵	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月4日	
2730	ふくまん	福万	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年9月28日	
1063	ふけ	富家	39201	香南市			土佐の地名	145	
2555	ふけ	富家	39201	香南市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月13日	
3053	ふけい	富家	39201	香南市		「ふけ」は漢字渡来以前からの和語で「深田(低湿地帯の田んぼ)」同地名が全国に分布	土佐地名往来(高 新)	平成20年5月13日	「長宗我部地検帳」 谷川彰英「地名の魅力」 「土佐の地名」
1088	ふるかわ	古川	39201	香南市			土佐の地名	156	
3498	べっしょやま	別所山	39201	香南市		秀吉の中国攻めの際、落城した三木城主別所長治の遺児がこの地に逃れたという戦国秘話。香宗我部庇護下の地	土佐地名往来(高 新)	平成30年3月26日	赤岡町教委「赤岡の史跡」
1064	ぼだいじ	母代寺	39201	香南市			土佐の地名	145	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3197	ほとけがさき	仏が崎	39201	香南市		手結の小高い岬。近くに長楽寺と薬師堂があることにちなんで仏が崎。中世夜須氏の菩提寺	土佐地名往来(高知)	平成23年5月16日	「南路志」
1072	ほりかわ	祝川	39201	香南市			土佐の地名	149	
2650	ほんしょうじ	本生寺周辺	39201	香南市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和56年12月8日	
3357	まいかわ	舞川	39201	香南市		南流する物部川に並行して山峡を北流する「逆さ川」は大柄で合流。くねくねと舞う様子を	土佐地名往来(高知)	平成27年1月26日	「長宗我部地検帳」 「高知県香美郡町村誌 西川村」
3168	まさどころ	政処	39201	香南市	政所	香宗我部氏の役所跡。人々がマサドコロと呼び政処の字を当てた。地検帳に政所は59カ所ある	土佐地名往来(高知)	平成22年9月27日	「吉川村史」 「土佐の政所」 矢野城楼 「長宗我部地検帳」
2723	まつがせ	松が瀬	39201	香南市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年9月7日	
2665	まとば	的場	39201	香南市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年2月9日	
1071	みつくに	光国	39201	香南市			土佐の地名	148	
3095	みつまた	三又	39201	香南市		野中兼山の遺構、用水路が三つに分かれることに由来。十善寺溝、町溝、東野溝に分流	土佐地名往来(高知)	平成21年4月7日	松岡司「宰相野中兼山伝」
1066	やす	夜須	39201	香南市			土佐の地名	146	
1043	やまかわ	山川	39201	香南市			土佐の地名	135	
1603	やまかわ	山川	39201	香南市			地名メモ		
1472	やまきた	山北	39201	香南市			ふたつの浮津	86	
1065	やました	山下	39201	香南市			土佐の地名	145	
1471	やまみなみ	山南	39201	香南市			ふたつの浮津	86	
1087	よしはら	吉原	39201	香南市			土佐の地名	156	
2899	よしはら	吉原	39201	香南市		葦原の低湿地。綱吉の吉を避け芳原に変更し明治になり復帰。イネ科の多年草、もとはアシだが悪しを嫌い善し	土佐地名往来(高知)	平成17年4月7日	「吉川村史」 西郷信綱「日本の古代語を 探る」
3081	あかりど	明戸	39202	香美市		葦生と山田を結ぶ往還道の峠を越えると山田の開けた視界が夜の明けた様となることから	土佐地名往来(高知)	平成20年12月16日	「香北町史」
1084	あかりどうげ	明戸峠	39202	香美市			土佐の地名	154	
3009	あぶらいし	油石	39202	香美市		暗緑色の光沢をもった蛇紋岩。集落に露出し油のようにつるつる光っているのに由来	土佐地名往来(高知)	平成19年6月19日	「土佐山田町地名解説」
2550	あらかわ	有川	39202	香美市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和55年12月23日	
1053	いげのき	神母ノ木	39202	香美市			土佐の地名	140	
3082	いげのき	神母ノ木	39202	香美市	イゲ	高知独特の言葉で、田の水をつかさどる神、稲の神。「おいげさん」の祠は県内に400余り	土佐地名往来(高知)	平成21年1月6日	「土佐民俗」14.15合併号 桂井和雄「土佐のお神母考」
1499	いざりとうげ	壁峠	39202	香美市			ふたつの浮津	105	
1498	いしだてやま	石立山	39202	香美市			ふたつの浮津	104	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3462	いせまる	伊勢丸	39202	香美市		仙頭の坂本治部丞が伊勢神宮から勧請、途中この地で病死し社殿を建て安置。この神社(神明宮)に由来	土佐地名往来(高知)	平成29年5月22日	「長宗我部地検帳」 「広報香美」2012年3月号・ 香美史探訪記
1601	いのの	猪野々	39202	香美市			地名メモ		
3367	いのの	猪野々	39202	香美市	野々	州郡志に古へ伊野々常心ト云者ノ此村二居故二名。もと猪野氏は1202年葦生谷開拓の先人	土佐地名往来(高知)	平成27年4月6日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「香北町史」
1503	いらずやま	不入山	39202	香美市			ふたつの浮津	108	
1097	いりこみ	射込	39202	香美市			土佐の地名	161	
3024	いわかい	岩改	39202	香美市	カイ	四方に峨々たる巖山をめぐらす「岩狭」説と「岩峡」説。峡は山と山に挟まれたところの意	土佐地名往来(高知)	平成19年10月2日	「香北町史」
3114	いわむら	岩村	39202	香美市		物部川の下流域に広がる岩だらけ「岩群」が「岩村」に転訛。兼山の事業により穀倉地帯へ	土佐地名往来(高知)	平成21年8月25日	「和名類聚抄」 「長宗我部地検帳」 「南国史談」30号
1108	うつつまい	宇筒舞	39202	香美市			土佐の地名	166	
1599	うつつまい	宇筒舞	39202	香美市			地名メモ		
3463	うまぶくろ	馬袋	39202	香美市		カヤの生い茂る原野に馬が集まり水を飲んだ。腹いっぱい膨らんだ馬をなぞらえて命名。山田堰以前は荒れ野	土佐地名往来(高知)	平成29年5月29日	「長宗我部地検帳」 「野市町史 上巻」 「支配中諸差出」
1099	うらやま	浦山	39202	香美市			土佐の地名	162	
3233	おおあれのたき	大荒の滝	39202	香美市		香北町御在所山のふもとの秘境の滝。険しい岩場と樹木が生い茂る、暴れる二匹の竜伝説の滝	土佐地名往来(高知)	平成24年2月27日	「こうち滝100選」武市伸幸
1091	おおどち	大栃	39202	香美市			土佐の地名	158	
3055	おおどち	大栃	39202	香美市		大きな栃の木に由来する地名。トチは本来「橡」と書いたが「枅」から「栃」へ変化	土佐地名往来(高知)	平成20年5月27日	岡内幸盛「被山風土記」
2571	おおにし	大西	39202	香美市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和56年3月10日	
1081	おおやしき	大屋敷	39202	香美市			土佐の地名	153	
2676	おかのうち	岡ノ内	39202	香美市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年3月16日	
1109	おかまい	岡舞	39202	香美市			土佐の地名	167	
2715	おすだに	押谷	39202	香美市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年8月10日	
3120	おすだに	押谷	39202	香美市	オス	大きな石を落としてイノシシなどを獲る仕掛けのオスは、各地に残る方言。相手は、山姥退治	土佐地名往来(高知)	平成21年10月6日	「高知県内の河川関連地名」
1480	おだじま	小田島	39202	香美市			ふたつの浮津	92	
1478	かいこや	飼小屋	39202	香美市			ふたつの浮津	91	
3432	かいごや	飼古屋	39202	香美市		カヒゴヤはカリゴヤ(仮小屋)の転訛。合戦で建てた仮の小屋。小屋は物見か警固か	土佐地名往来(高知)	平成28年9月12日	「長宗我部地検帳」 「天坪村誌 上巻」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3336	かがみの	鏡野	39202	香美市		治政の功があった郡次官・物部鏡連家主の姓にちなみ？道ゆく人を写す鏡岩？二つの伝承	土佐地名往来(高 新)	平成26年7月14日	「土佐国群書類従」8巻・土 佐幽考
1105	かけ	影	39202	香美市			土佐の地名	165	
2584	かじさこ	かじ佐古	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年4月21日	
3449	かしたに	榎谷	39202	香美市		穴内川の中世以前からの地名。集落の氏神・仁井田神社に榎が多かった、他方長宗我部の命で榎谷説も	土佐地名往来(高 新)	平成29年2月6日	「長宗我部地検帳」 「天坪村誌 上巻」
1479	かたじ	片地	39202	香美市			ふたつの浮津	91	
3352	かたじ	片地	39202	香美市	片	工科大辺り、13集落を合わせて片地郷。物部川左岸に流れ沿い一方が山で片方が川	土佐地名往来(高 新)	平成26年12月8日	「土佐州郡志」 「香美郡町村名鑑」岡林壽
2710	かみあなない	上穴内	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年7月20日	
1104	かめのとう	亀の峠	39202	香美市			土佐の地名	164	
1492	ぎょうか	暁霞	39202	香美市			ふたつの浮津	100	
3434	ぎょうか・あ かつか	暁霞	39202	香美市		明治22年の合併で八つの村が暁霞村になった。村の中央にまたがる「赤塚山」に暁霞を充てた経田とは寺の諸事をまかなうための寄進田。地検帳にも経田村とある。	土佐地名往来(高 新)	平成28年10月3日	「暁霞村史」 「土佐山田郷土史」山崎徳治
2932	きょうでん	京田	39202	香美市	経田	楠木正成一族の楠氏は因幡国から土佐に落ち延び山田氏の家臣に。葛目村に居住から楠目中世以前の山名。眺望が得られる山で、藩政期には土佐街道・参勤交代の道でもある。殿は「これが我が国」	土佐地名往来(高 新)	平成17年12月8日	岡本真古「事物終始」
3371	くずめ	楠目	39202	香美市			土佐地名往来(高 新)	平成27年5月11日	「楠目氏略史と系譜」楠目 豊
3460	くにみやま	国見山	39202	香美市△ 本山町	国見		土佐地名往来(高 新)	平成29年5月8日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」
1093	くぼわくぼ	久保和久	39202	香美市			土佐の地名	159	
1095	くもおす	熊押	39202	香美市			土佐の地名	160	
3192	くらいればし	倉入橋	39202	香美市		兼山は新田とともに上井川、中井川、舟入川の用水路を整備。倉入は藩米を倉に納めること	土佐地名往来(高 新)	平成23年4月11日	「ふるさと」鍵山正男
1481	くろつち	黒土	39202	香美市			ふたつの浮津	93	
1083	くろみ	黒見	39202	香美市			土佐の地名	154	
1079	けた	毛田	39202	香美市			土佐の地名	152	
3122	けた	計多	39202	香美市	ケタ	「ケタ」は山の高い所、峰を言う土佐の方言。山あい独自の地名	土佐地名往来(高 新)	平成21年10月20日	「寺川郷談」 「高知県方言辞典」
1502	こうのいたや	高板山	39202	香美市			ふたつの浮津	107	
1607	こうのかわ	河の川	39202	香美市			地名メモ		
1110	ごおどう	五王堂	39202	香美市			土佐の地名	167	
3238	ございしょや ま	御在所山	39202	香美市		五つの在所(村落)がある五在所山説と平教盛卿がこの地で没し宰相の墓として御宰相山説	土佐地名往来(高 新)	平成24年4月2日	「高知県管内 土佐国地誌 略」高知師範学校 「在所村史」
1054	ごにゅう	後入	39202	香美市			土佐の地名	140	
1080	こましごえ	菰足越	39202	香美市			土佐の地名	153	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1496	ざいしょ	在所	39202	香美市			ふたつの浮津	103	
1486	さおか	佐岡	39202	香美市			ふたつの浮津	97	
3016	さおか	佐岡	39202	香美市		土佐山田の旧佐岡村。右手に物部川が、左手に岡が広がるたたずまいが「左の岡」の由来	土佐地名往来(高 新)	平成19年8月7日	「土佐山田町地名解説」 「土佐州郡志」
2518	さかかわ	逆川	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年9月2日	
3473	さかかわ	逆川	39202	香美市		土佐の川は総じて北から太平洋へ。物部川の東側、片地川は集落を珍しく北流する。地検帳にも逆川ノ村とある	土佐地名往来(高 新)	平成29年8月21日	「高知県香美郡町村誌 佐 古村」
2511	ささ	笹	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年8月12日	
2538	さじき	佐敷	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年11月11日	
1485	さだけ	佐竹	39202	香美市			ふたつの浮津	96	
1055	さとやま	里山	39202	香美市			土佐の地名	141	
2998	しお	塩	39202	香美市	塩	担がれた御神体と塩が落下。御神体は塩峰公士方神社、塩は下の集落名に。製塩窯の薪が塩木	土佐地名往来(高 新)	平成19年4月3日	「土佐の地名」
1500	しおのみね	塩峯	39202	香美市			ふたつの浮津	106	
1060	しかおとし	鹿落	39202	香美市			土佐の地名	143	
1059	じくら	地蔵	39202	香美市			土佐の地名	143	
2836	しげとう	繁藤	39202	香美市		地検帳には肆手任・四手任・仕出峠・四手藤とある。昔は「しでとう」。死出の塔に通じ嫌われ「繁藤」に改名	土佐地名往来(高 新)	平成15年12月4日	多田政治「甫喜峯疎水誌」
1102	ししふし	猪伏	39202	香美市			土佐の地名	163	
2953	しょうだにあ い	庄谷相 白人	39202	香美市	谷合	中世のころは谷相(谷合)。物部川の対岸生郷の谷相村と区別するため大忍庄の庄を加えた	土佐地名往来(高 新)	平成18年5月18日	吉村淑甫「岸豆」 「物部村史」
1504	しらひと	白人	39202	香美市			ふたつの浮津	108	
3296	しんがい	新改	39202	香美市	新改	中世以前には蚊居田村、蚊居田から分離した新しい村が新蚊居(新改)。蚊居田も開田が由来	土佐地名往来(高 新)	平成25年8月5日	「長宗我部地検帳」 「新蚊居筆記」田村重則
2972	じんざんち ょう	秦山町	39202	香美市		この地に移り住んだ藩政の儒学者谷秦山にまつわる名。昭和41年の町名変更による人物地名	土佐地名往来(高 新)	平成18年9月28日	
1477	すいた	杉田	39202	香美市			ふたつの浮津	90	
2747	すえ	須江	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年11月30日	
2842	すえ	須江	39202	香美市		古代、焼き物や陶器のことを陶(すえ)といった。かつて須江村あるいは陶之村は「須恵器の里」。全国に分布	土佐地名往来(高 新)	平成16年1月22日	香長小学校創立百周年記念 誌「陶の里」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2758	せいづめ	清爪	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年3月2日	
3006	せいづめ	清爪	39202	香美市		古くはセツメとも呼ばれ「清詰」とも書かれた。「井詰」は谷川から引かれた用水路の末端を意味する	土佐地名往来(高 新)	平成19年5月29日	平凡社「高知県の地名」 「香北町史」
3026	せんだう	仙頭	39202	香美市	専当	荘園の実務に携わる荘官名のひとつ。専当職は土地の豪族が任じられ、それが地名に転訛した	土佐地名往来(高 新)	平成19年10月16日	「南路志」
1056	ぞうふくじしま	蔵福寺島	39202	香美市			土佐の地名	141	
2598	ぞうふくじしま	蔵福寺島	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月9日	
3200	たかやなぎ	高柳	39202	香美市		柳は池や水辺でよく見かける樹木。物部川の河畔にも高木の柳が集落を印象付けた	土佐地名往来(高 新)	平成23年6月6日	「ふるさと」鍵山正男 「山田、南国伝説散歩」
2690	たにあい	谷相	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年5月11日	
3510	たにあい	谷相	39202	香美市		「古へ谷相勘解由兵衛ト云者居所故ニ村二名云」と土佐州郡志に。一方「香北町史」には村名から谷相氏と。	土佐地名往来(高 新)	平成30年7月23日	「香北町史」
2741	たろうまる	太郎丸	39202	香美市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年11月9日	
2937	たろまる	太郎丸	39202	香美市		”丸”は領地の意。永徳の大洪水で崩壊した集落を復興した武内太郎にちなんだ地名	土佐地名往来(高 新)	平成18年1月19日	「香北町史」 竹内重意「太郎丸物語」 「土佐史談」15号・郷土史 断片
2944	だんぎしょ	談議所	39202	香美市		談議とは仏典の意義を説くこと。中世末期、全国各地に談議所を設けた。吉祥寺の談議所	土佐地名往来(高 新)	平成18年3月9日	「岩波仏教事典」
1092	つぶせ	拓	39202	香美市			土佐の地名	159	
2950	つぶせ	拓	39202	香美市		つぶせと読む。”つぶての名人喜平次”に由来。桑(古くはつみ)の自生する集落?	土佐地名往来(高 新)	平成18年4月20日	「土佐の地名」
1078	てらのまる	寺の丸	39202	香美市			土佐の地名	152	
1106	てんのうのもり	天王森	39202	香美市			土佐の地名	165	
3020	といたじま	戸板島	39202	香美市		沖ノ島が戸板島に変わったのは天正年間。物部川の中州の開拓田「飛び田」の転訛?	土佐地名往来(高 新)	平成19年9月4日	「佐古村史」 「土佐史談」61号 「土佐の地名」
1107	どいばん	土居番	39202	香美市			土佐の地名	166	
2934	なんまつ	南松	39202	香美市		白鳳津波がこの松の根元まで来た(波松説)と阿弥陀寺境内にある松の老樹並木(並松説)	土佐地名往来(高 新)	平成17年12月22日	「山田文化小史」
1101	にしくまやま	西熊山	39202	香美市			土佐の地名	163	
3126	にろうの	葎生野	39202	香美市		物部川の中上流域の一角が葎生郷。美良布が訛りニロウ?葎は古名ミラ(フ)→ピラフ説	土佐地名往来(高 新)	平成21年11月24日	「南路志」
1090	ねきや	根木屋	39202	香美市			土佐の地名	157	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3162	ねず	根須	39202	香美市		常緑針葉樹で、尖った硬い葉がネズミ避けとなることからネズミサシ(鼠刺し)、略称でネズ	土佐地名往来(高 新)	平成22年8月9日	「土佐の伝説 2巻」
1476	ねびきとうげ	根曳峠	39202	香美市			ふたつの浮津	89	
1494	のじり	野尻	39202	香美市			ふたつの浮津	102	
3194	はぎの	萩野	39202	香美市		古くは葦生郷の一集落で、萩のゝ村。元暦文治の頃萩野勘解由太夫が居住し地名となる	土佐地名往来(高 新)	平成23年4月25日	「美良布文化史」所収・葦生郷口碑筆記
1085	はしがの	橋川野	39202	香美市			土佐の地名	155	
3423	はしかわの	橋川野	39202	香美市		地検帳にも「橋川野」。信玄公の家臣説もあるが実際は、葦生野の端にある川沿いの集落「端川野」	土佐地名往来(高 新)	平成28年6月20日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「土佐史談」62号
1487	はちおうじ	八王子	39202	香美市			ふたつの浮津	97	
1098	ひかりいし	光石	39202	香美市			土佐の地名	161	
1600	ひのみこ	日ノ御子	39202	香美市			地名メモ		
2494	ひのみこ	日ノ御子	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年6月10日	
2939	ひのみこ	日ノ御子	39202	香美市		安徳天皇の皇子を「日ノ御子」と呼んだ皇子説や日のよく当たる「日ノ向キ」の転訛説など。	土佐地名往来(高 新)	平成18年2月2日	「香北町史」 「おらんく話」
2986	ひゃっこく	百石	39202	香美市		土佐最初の禅寺・予岳寺の寺領百石に由来。楠目城主、山田元道の菩提寺	土佐地名往来(高 新)	平成19年1月11日	「土佐山田町史」
2631	ひらやま	平山	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年10月6日	
1094	ふいこし	吹越	39202	香美市			土佐の地名	160	
1052	ふしはら	伏原	39202	香美市			土佐の地名	139	
1058	ぶつくでい	仏供田	39202	香美市			土佐の地名	142	
1493	ふない	府内	39202	香美市			ふたつの浮津	101	
3054	ふない	府内	39202	香美市		地検帳には舟井ノ村。水を貯めておく木桶を水舟(舟井)といい暮らしの水に利用した集落	土佐地名往来(高 新)	平成20年5月20日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」
1103	ふよう	不用	39202	香美市			土佐の地名	164	
3493	べっちゃく	別役	39202	香美市	別役	大槇山郷に属す村。荘園領主から任命された経営実務に携わる専当8仙頭)。その下働きが別役・雑用(蔵用)	土佐地名往来(高 新)	平成30年2月5日	「近世村落自治史料集 土佐国地方史料」1956年 松本実「村のあれこれ」1971年
1082	ほうのき	朴ノ木	39202	香美市			土佐の地名	153	
2777	ほうのき	朴ノ木	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月24日	
3148	ほきがみね	甫喜ヶ峰	39202	香美市		土佐州郡志には穂岐之峰。本山方面への山越え往還道。山合いの切り立った崖「ホキ」	土佐地名往来(高 新)	平成22年5月4日	「土佐州郡志」 「桂井和雄土佐民俗選集」
1100	ほどの	程野	39202	香美市			土佐の地名	163	
1089	まきやま	槇山	39202	香美市			土佐の地名	157	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3417	まきやま	槇山	39202	香美市		古くは大忍庄の槇山。物部川の大栃から源流域までを言う別称。槇の大木の自生に由来	土佐地名往来(高 新)	平成28年5月9日	「被山風土記」岡内幸盛
1483	まちだ	町田	39202	香美市			ふたつの浮津	94	
1495	まつどこ	松床	39202	香美市			ふたつの浮津	102	
1096	みょうが	明賀	39202	香美市			土佐の地名	161	
1505	みょうかい	明改	39202	香美市			ふたつの浮津	109	
1501	やすまる	安丸	39202	香美市			ふたつの浮津	106	
2606	やすまる	安丸	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年7月7日	
3239	やすまる	安丸	39202	香美市		「此処安丸弥太郎ト云者ノ住居ス故ニ村ノ 名」。梶原氏に代わる新領主山内弥太郎が改 姓	土佐地名往来(高 新)	平成24年4月9日	「土佐州郡志」 「黒代・安丸風土記」岡村 啓一郎
3421	やないせ	柳瀬	39202	香美市		地検帳には柳瀬之村」、藩政期には「柳イ 瀬」とも。上葦生川の兩岸に茂るヤナギが自 生。	土佐地名往来(高 新)	平成28年6月6日	「長宗我部地検帳」 「南路志」2巻所収・柳瀬 貞重筆記
1057	やまない	山間	39202	香美市			土佐の地名	142	
2623	ゆのき	柚ノ木	39202	香美市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年9月8日	
3438	ゆめの	夢野	39202	香美市		獲物を狙って射手が身を隠すための設えが「射 目(いめ)」。射目野の転訛。土佐物語にも夢野あ り	土佐地名往来(高 新)	平成28年11月7日	「長宗我部地検帳」 「谷川健一全集」16巻 「土佐物語」
1086	よこだに	横谷	39202	香美市			土佐の地名	155	
1484	よこばしり	横走	39202	香美市			ふたつの浮津	95	
1482	よこまくら	横枕	39202	香美市			ふたつの浮津	94	
3001	よつあしとう げ	四ツ足峠	39202	香美市		土阿国境に祭られた四本の柱に支えられたお 堂「四ツ足堂」に由来。傍爾山は土地の境の 意	土佐地名往来(高 新)	平成19年4月24日	「物部村史」 山崎清憲「土佐の峠風土 記」
1475	りゅうがどう	龍河洞	39202	香美市			ふたつの浮津	88	
2861	りゅうがどう	龍河洞	39202	香美市		古文書には大穴・龍窟・水窟・龍河とある。 土御門上皇が「龍駕(天子の乗り物)」で来 洞。龍の棲む洞穴の意	土佐地名往来(高 新)	平成16年6月10日	山内浩「地底の神秘を探 る」 黒田日出男「龍の棲む日」
858	あおの	青野	39301	南国市			土佐の地名	42	
1399	あげくら	上倉	39301	南国市			ふたつの浮津	28	
3000	あど	阿戸	39301	南国市		土佐日記の「大湊」十市説?オド(大門=門 は水の出入り口)が転じてアド。 石土神社は「イワツチ」で池は「イシツ チ」。式内社の神社は海上鎮護の神、後の岩 山に由来	土佐地名往来(高 新)	平成19年4月17日	「土佐国群書類従⑧」所 収・吉村春峰「大港考証」
3057	いしづちいけ	石土池	39301	南国市			土佐地名往来(高 新)	平成20年6月10日	「十市村の地名の研究」
860	いしどう	石堂	39301	南国市			土佐の地名	42	
871	いたちの	伊達野	39301	南国市			土佐の地名	48	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2848	いたちの	伊達野	39301	南国市		かつては低湿な土地柄でイタチ生息の地。地元でネズミ退治の感謝もこめて「いたちの」と呼ぶ。	土佐地名往来(高知)	平成16年3月4日	徳弘勝「土佐珍問考」
854	いちやしき	市屋敷	39301	南国市			土佐の地名	40	
846	いなぶ	稲生	39301	南国市			土佐の地名	35	
3330	いなぶ	稲生	39301	南国市		衣笠村、下田村を合併する際、稲の豊穰なる生育を願って「稲生」と命名。二期作発祥地	土佐地名往来(高知)	平成26年6月2日	「稲生村史」
3301	いなよし	稲吉	39301	南国市		後免や大堀の辺りで、稲吉神社、稲吉公民館がある。足利尊氏の時代の文書に稲吉村と	土佐地名往来(高知)	平成25年9月30日	「長宗我部地検帳」 「皆山集」9巻・手結浦日抄 「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「角川日本地名大辞典 高知」
3169	いわせがわ	岩瀬川	39301	南国市		地検帳にはイワシ川ノ村(岩清川)。国分川はかつて岩清水のわく川、別宮八幡宮にまつわる川	土佐地名往来(高知)	平成22年10月4日	
1397	いわむら	岩村	39301	南国市			ふたつの浮津	27	
866	うまどめ	馬止	39301	南国市			土佐の地名	45	
1405	うまばし	馬橋	39301	南国市			ふたつの浮津	33	
1414	えいだ	永田	39301	南国市			ふたつの浮津	39	
856	えむら	江村	39301	南国市			土佐の地名	41	
1413	おうじ	王子	39301	南国市			ふたつの浮津	38	
2865	おおそね	大堀	39301	南国市	そね(确・塙・曾根)に古語の面影	石交じりのやせ地(大言海)。「そね」には”荒れ地”のほか”低く長く続いた嶺”の意もある	土佐地名往来(高知)	平成16年7月8日	山本笹樹「十市村古事考」
3265	おおみなと	大湊	39301	南国市		浦戸より漕ぎ出でて、大湊を・・は土佐日記。前浜、十市、池等の諸説?前浜に大湊泊地跡碑	土佐地名往来(高知)	平成24年11月12日	「土佐日記」 「高知県歴史事典」 「土佐の史蹟名勝」
848	おこう	岡豊	39301	南国市			土佐の地名	37	
2860	おこう	岡豊	39301	南国市		学者の「往古より豊岡上天神社の地で正しくは豊岡」に元親が激怒。長岡郡の土佐国府が岡府、豊岡に結び岡豊	土佐地名往来(高知)	平成16年6月3日	植木拳因「土陽淵岳誌」 「岡豊村史」
1409	かいだ	改田	39301	南国市			ふたつの浮津	35	
2806	かいだ	蚊居田	39301	南国市	カイダ	腰までの湿田や群舞する蚊、農民の苦勞をしのぶ。カイダは開田で新田を拓いた村の意味	土佐地名往来(高知)	平成15年4月24日	宇賀和彦「蚊居田村風土記」
1408	かたやま	片山	39301	南国市			ふたつの浮津	34	
3255	かなじ	金地	39301	南国市		集落の近くに鎮座する神奈地祇神社の祭神賀奈知姫命(かなぢひめのみこと)にちなんでカナジ	土佐地名往来(高知)	平成24年8月13日	「土佐の史蹟名勝」 武市佐市郎
865	かのすえ	包末	39301	南国市			土佐の地名	44	
3284	かめいわ	亀岩	39301	南国市	亀岩	地検帳は亀岩、州郡志は瓶岩。瓶に似た白い岩は飲み水をためるハンド岩(酒の神の酒甕)	土佐地名往来(高知)	平成25年4月22日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「南国市史 下巻」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
847	きんじょう	錦城	39301	南国市			土佐の地名	36	
2997	きんじょう	錦城	39301	南国市		戦時中の集落整理で誕生。「お互いいい”近所”づきあいを」から錦城と。ダジャレ地名	土佐地名往来(高 新)	平成19年3月29日	山本笹樹「十市村の地名の研究」
3377	くすきばし	楠木橋	39301	南国市		参勤交代の北山越えの道筋の頃、東岸の宍崎と西岸の亀岩を結ぶ渡瀬。川辺の大楠が由来	土佐地名往来(高 新)	平成27年6月22日	「土佐州郡志」 「南国市史資料 旧村誌
1410	くらいれ	蔵入	39301	南国市			ふたつの浮津	36	
861	くらのさか	倉の坂	39301	南国市			土佐の地名	43	
1401	くれだ	久礼田	39301	南国市			ふたつの浮津	29	
2657	くろたき	黒滝	39301	南国市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年1月12日	
870	こうない	咥内	39301	南国市			土佐の地名	47	
1608	こうない	咥内	39301	南国市			地名メモ		
2841	こくぶがわ	国分川	39301	南国市		眠川(ねむりがわ)・岩清川(いわしがわ)の異名も。八幡山の別宮八幡宮が京都の石清水八幡宮を勧請した	土佐地名往来(高 新)	平成16年1月15日	「土佐州郡志」 「国府村誌」
857	こくりょう	国領	39301	南国市			土佐の地名	41	
1402	こごめ	小籠	39301	南国市			ふたつの浮津	30	
1396	こそ	古曾	39301	南国市			ふたつの浮津	26	
3150	こはす	小蓮	39301	南国市		小野村、蓮如寺村の合併地名。古くから村の境界紛争が度重なり、知事の仲裁で「小蓮」	土佐地名往来(高 新)	平成22年5月18日	「岡豊村史」
2870	ごめん	後免	39301	南国市		兼山開拓の地。舟入川の水運の便で物産の集積地に。承認に諸税・諸役免除の地「御免」。後面、後免に転訛	土佐地名往来(高 新)	平成16年8月12日	日吉神社「後免町創立記念碑」 丹羽基二「地名でわかるおもしろ起源」
3207	ごめん	後免	39301	南国市		全国に知れわたる珍地名。野中兼山の開拓地、入植者の年貢などが免除されたことに由来	土佐地名往来(高 新)	平成23年8月1日	「室戸市史」上巻
3311	こんにやくとうげ	権若峠	39301	南国市		蒟蒻坂とも。南国市亀岩の北山越えの峠道。コンニャクに類した食物の自生する峠	土佐地名往来(高 新)	平成26年1月6日	「南国市史資料 旧村誌編①」 「南国史談」5号
3131	さいたに	才谷	39301	南国市		古くは佐比谷、佐井谷。この地の大刹「佐比谷寺」にちなんだ地名。読みはサイダニ	土佐地名往来(高 新)	平成22年1月5日	「南国市史資料」所収・瓶岩村誌 「定本 坂本龍馬伝」松岡
3341	さかおりやま	坂折山	39301	南国市		別名を年越山。麓の祈年神社の年乞いの祭りに由来。神職が「榊を折り取った山」	土佐地名往来(高 新)	平成26年8月25日	「土佐州郡志」 「長岡村史」
3196	さびの	錆野	39301	南国市		長岡と香美の郡界となる里改田の小集落。終戦頃には人家もなく寂しい野から「寂野」と呼称	土佐地名往来(高 新)	平成23年5月9日	「ふるさと 前ノ浜のかたち」浜田善三郎
850	じけ	士家	39301	南国市			土佐の地名	38	
864	ししざき	宍崎	39301	南国市			土佐の地名	44	
3319	ししざき	宍崎	39301	南国市		猪狩りが盛んに行われた戸山郷の入り口の集落。また猟犬のことをシシザキと言う	土佐地名往来(高 新)	平成26年3月10日	「瓶岩村発達史 郷土編」 岡林清信

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3344	じぞうわたし	地蔵渡し	39301	南国市		国分川の北岸と南岸を行き交う渡瀬。渡渉の安全祈願の渡し場の目印となる文化七年の地蔵	土佐地名往来(高 新)	平成26年9月22日	「高知県長岡郡国府村誌」
844	じゅうろく	城陸	39301	南国市			土佐の地名	34	
3018	じゅうろく	城陸	39301	南国市		古代条里制の町、条、里、坪の区画。十六番目の坪？それとも十六が城陸に転訛？	土佐地名往来(高 新)	平成19年8月21日	「長宗我部地検帳」 「南国市史」
2768	しらきだに	白木谷	39301	南国市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年5月25日	
2918	しらきだに	白木谷	39301	南国市	シレ	「泉谷＝白水の谷」が誤って「白木谷」に転じた？枯れた木が白骨林となったため？石灰石の産地でシラメイシ	土佐地名往来(高 新)	平成17年8月25日	石井一郎「郷土史・樋の本」
3506	しんあきたがわ	新秋田川	39301	南国市		戦時中、高知海軍航空隊の飛行場建設で村も川も消えた。秋田川は新秋田川として空港の下を流れる。	土佐地名往来(高 新)	平成30年5月28日	「高知空港史」
2816	じんやま	陣山	39301	南国市	ジン	戦国時代、山田氏が長宗我部氏に敗れ、滅亡した合戦の地。「陣」地名は全国にある	土佐地名往来(高 新)	平成15年7月3日	吉田孝世「土佐物語」
3325	すえまつ	末松	39301	南国市		野中兼山の新田開発によって生まれた地名。2代藩主から西野地の地を任され末松が地名	土佐地名往来(高 新)	平成26年4月21日	「長岡村史」
855	せいざん	清山	39301	南国市			土佐の地名	40	
1411	そね	曾根	39301	南国市			ふたつの浮津	36	
3270	たこのもり	蛸の森	39301	南国市		稲生と十市の境にある山。こんもり丸い頂と斜めにのびた稜線がタコのように見えたことから	土佐地名往来(高 新)	平成24年12月17日	「十市村古事考」
1412	たてだ	立田	39301	南国市			ふたつの浮津	38	
2905	たてだ	立田	39301	南国市		物部川下流の西岸。中世の頃から香美郡立田村で甲浦への大路が走る。古代条里制の縦に並んだ田の形状の名残	土佐地名往来(高 新)	平成17年5月26日	「南国市史資料(二)」
843	たなか	田中	39301	南国市			土佐の地名	33	
1415	たむら	田村	39301	南国市			ふたつの浮津	40	
3146	たむら	田村	39301	南国市		物部川下流の右岸、香美郡八郷の一つ田村庄。田村遺跡群もある土佐稲作の発祥地	土佐地名往来(高 新)	平成22年4月20日	「高知県香美郡田村誌」宮 地美彦
845	つかた	塚田	39301	南国市			土佐の地名	34	
2522	つるべ	釣瓶	39301	南国市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年9月16日	
851	てんのうがうち	天王が内	39301	南国市			土佐の地名	38	
862	どうがふち	洞ヶ淵	39301	南国市			土佐の地名	43	
1407	とおち	十市	39301	南国市			ふたつの浮津	33	
3435	とおち	十市	39301	南国市		海辺に延びた砂洲。遠く突き出ている「遠洲」、門戸のような「戸洲」がとおつ、とおちに転訛	土佐地名往来(高 新)	平成28年10月17日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「十市村古事考」山本笹樹

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2886	としごえやま	年越山	39301	南国市		朝廷の祈年祭(としごいのまつり)にちなんだ山名。年越山ももとはトシゴイで神社の祝詞にも祈年トシゴイ	土佐地名往来(高知)	平成17年1月6日	「皆山集」
859	としごしだ	年越田	39301	南国市			土佐の地名	42	
2828	とびがいけ	鳶ヶ池	39301	南国市		肉食をきらった当時死んだ牛や猫の類までその池に投げ込み鳶がそれを狙った説。男女が自害に「飛び込む」説	土佐地名往来(高知)	平成15年10月9日	「長岡村史」
849	とびさき	富崎	39301	南国市			土佐の地名	38	
3414	とやま	外山	39301	南国市	外山	人里に近い端山や外山、離れた遠山、奥山、深山。北山越えの官道がパッと開けた眺望となる	土佐地名往来(高知)	平成28年4月18日	「南国市史資料 旧村誌編①」
3161	ながおか	長岡	39301	南国市		延喜式にさかのぼる歴史地名。由来は長く連なった岡で、南国市などを含む広い地域	土佐地名往来(高知)	平成22年8月2日	「延喜式」 「長岡村史」平尾道雄
2704	なかだに	中谷	39301	南国市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年6月29日	
3119	なしうら	梨浦	39301	南国市		文字どおり海辺の梨の木が地名に由来。地検帳にもナシウラとある。石土池に面する月の名所	土佐地名往来(高知)	平成21年9月29日	「長宗我部地検帳」 「十市村古事考」 川村与惣太「土佐一覧記」
1400	なれあい	成合	39301	南国市			ふたつの浮津	29	
3281	なれあい	成合	39301	南国市		長岡郡甫喜山村の一村、成合村。阿弥陀堂の大祭8月14日は天下公認の男女の馴れ合う日	土佐地名往来(高知)	平成25年4月1日	「なんと」41号 「南国市史資料 旧村誌編①」
842	なんこくし	南国市	39301	南国市			土佐の地名	33	
3293	にしやま	西山	39301	南国市		野中兼山の開削地の一画。山内家家臣西山茂兵衛の知行地で西山丸と呼ばれた	土佐地名往来(高知)	平成25年7月8日	「長岡町史」
2902	にっしょう	日章	39301	南国市		高知空港のある辺りを今も「日章」とよぶ昭和17年の合併地名。漢学者北村沢吉が興した日章園に由来	土佐地名往来(高知)	平成17年4月28日	「南国史談」17号・北村澤吉博士と日章園
3107	にんぎょうだに	人形谷	39301	南国市		藩政中期から明治中期まで「土人形」が作られた人形の里。でこ谷の別称も。	土佐地名往来(高知)	平成21年7月7日	春峰会「とおち」
1404	のうま	能間	39301	南国市			ふたつの浮津	32	
1403	はたえだ	廿枝	39301	南国市			ふたつの浮津	31	
2896	はたえだ	廿枝	39301	南国市	ハタ	古代の長岡郡宗部郷(そがべのこう)。「秦氏の土地の枝郷」が「はたえだ」に。秦氏(長宗我部)ゆかりの地	土佐地名往来(高知)	平成17年3月17日	吉田東吾「大日本地名辞書」 「高知県歴史事典」
2735	はっちょう	八丁	39301	南国市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年10月19日	
3250	はっちょう	八丁	39301	南国市		禅師峰寺への道のりが行きが四丁、戻りが四丁。これにちなんでふもとの集落を「八丁」	土佐地名往来(高知)	平成24年7月2日	「十市村の地名の研究」山本笹樹
2543	ばんしょ	番所	39301	南国市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和55年12月2日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3271	ひえ	比江	39301	南国市		国司が都を懐かしんで後山を比叡山に見立て比江山と名付。山裾に日吉神社(ひえじんじゃ)	土佐地名往来(高新)	平成25年1月7日	「南路志」 「南国市史」
863	ひがしば	東場	39301	南国市			土佐の地名	44	
3059	ふくぶね	福船	39301	南国市		明治17年香美郡福田村と船渡村の合併によりできた合成地名。七福神の宝船を想起する福船	土佐地名往来(高新)	平成20年6月24日	丹羽基二「日本の苗字読み 解き事典」 「南国市史資料 旧村誌編 2」
868	ふじのみや	藤宮	39301	南国市			土佐の地名	46	
3277	ふないれがわ	舟入川	39301	南国市		野中兼山の手で開削された三河川のひとつ。城下への物資輸送の水路ともなり「舟の入る川」	土佐地名往来(高新)	平成25年3月4日	「南路志」
869	ほりのうち	掘ノ内	39301	南国市			土佐の地名	46	
3350	まえはま	前浜	39301	南国市		土佐日記の停泊地、大湊の推定地。物部川河口の田村から対岸の砂浜を見て「前の浜」	土佐地名往来(高新)	平成26年11月17日	「土佐州郡志」 「前浜村誌」
852	みとろ	美泥	39301	南国市			土佐の地名	39	
2911	みょうけん	明見	39301	南国市		明見川の山手に明見彦山古墳。大津城主が祭る武将の守護神「妙見菩薩」から。北極星＝妙見菩薩＝星神社	土佐地名往来(高新)	平成17年7月7日	「大篠」
2564	やきょう	八京	39301	南国市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年2月10日	
2823	やきょう	八京	39301	南国市		「八幡社有、祭日飯ヲ器ノ八ニ盛り、以神ニ供ス、故ニ之ヲ名」と土佐州郡志に記録。今は八膳飯の習わしは無	土佐地名往来(高新)	平成15年9月4日	「土佐州郡志」
1398	やはた	八幡	39301	南国市			ふたつの浮津	28	
3392	やはた	八幡	39301	南国市		岡豊山の北東、男山に別宮八幡宮に鎮座。京の石清水八幡宮に由来する八幡宮が「やわた」	土佐地名往来(高新)	平成27年10月26日	「土佐物語」 「土佐幽考」安養寺禾麿
1406	ゆうこう	井川	39301	南国市			ふたつの浮津	33	
3503	ゆーこー	井川	39301	南国市	ユ	入交氏の発祥の地。摂津の渡辺氏から起こり紀州熊野の先達、出雲を経て土佐に来歴。入交の音読が「井河」	土佐地名往来(高新)	平成30年5月7日	寺石正路「土佐名家系譜」
853	よしだ	吉田	39301	南国市			土佐の地名	39	
3246	よしだ	吉田	39301	南国市		集落の丘に吉田備後守邸跡の碑。名字と同じ吉田の地にゆかりを感じ定住した相模国の重臣	土佐地名往来(高新)	平成24年6月4日	「土佐物語」吉田考世
3248	りょうせき	領石	39301	南国市		根曳峠への登り口の集落。地検帳には龍石。竜に似た奇岩? 竜石寺という寺名に由来?	土佐地名往来(高新)	平成24年6月18日	「長宗我部地検帳」 「なんと」41号・南国史談 会
867	わりいし	割石	39301	南国市			土佐の地名	45	
1130	あいな	相名	39302	大豊町			土佐の地名	178	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2969	あなない	穴内	39302	大豊町	アナナイ	”助ける”を意味する古語あななう。この地を助け合って開拓した歴史に由来。アイヌ語 アネナイ(細い川)？	土佐地名往来(高 新)	平成18年9月7日	八木千三「日本の地名散歩」 「土佐の地名」
1513	いおき	伊尾木	39302	大豊町			ふたつの浮津	116	
1138	いまや	今屋	39302	大豊町			土佐の地名	182	
2655	うまぜ	馬瀬	39302	大豊町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年12月29日	
1122	うまぶね	馬船	39302	大豊町			土佐の地名	174	
1126	うわぜまち	上畝町	39302	大豊町			土佐の地名	176	
1136	おうお	尾生	39302	大豊町			土佐の地名	181	
3345	おお	尾生	39302	大豊町	オ	植物のオ(カラムシ。芋・麻)に因んだ名。皮を剥いだ幹は焚きつけ薪、実は食べ物のオノミ	土佐地名往来(高 新)	平成26年9月29日	「大豊史談」31号
1124	おおすぎ	大杉	39302	大豊町			土佐の地名	176	
1128	おおすなご	大砂子	39302	大豊町			土佐の地名	177	
3115	おおすなご	大砂子	39302	大豊町	スナゴ	砂子は「すな・まさご」のこと。大量の砂礫のあるところは山崩れ等の崩積土による災害地名	土佐地名往来(高 新)	平成21年9月1日	「どんぐり」県中央土木事 務所・本山事務所ネット情 報誌
1132	おおたぐち	大田口	39302	大豊町			土佐の地名	179	
3061	おおたぐち	大田口	39302	大豊町		行基開創の古寺、国宝薬師堂のある宝楽寺の山号「大田山」にちなみ、登山口であることから	土佐地名往来(高 新)	平成20年7月8日	
1125	おおとよちょう	大豊町	39302	大豊町			土佐の地名	176	
1129	おき	沖	39302	大豊町			土佐の地名	178	
2711	おくおおた	奥大田	39302	大豊町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年7月27日	
1515	おちあい	落合	39302	大豊町			ふたつの浮津	117	
1514	かくもだに	角茂谷	39302	大豊町			ふたつの浮津	117	
2910	かくもだに	角茂谷	39302	大豊町		山並にかくまわれているような隠れ里のたたずまい景観。囲むの古形「かくむ」から転じた	土佐地名往来(高 新)	平成17年6月30日	「ふたつの浮津から」
2970	かじがもり	梶ヶ森	39302	大豊町	カジ	古くは加持ヶ森、加持ヶ峰、鍛冶ヶ仁保。”にほ＝にお”は山の奥の意。空海の祈りの森説？	土佐地名往来(高 新)	平成18年9月14日	
3504	かりや	刈屋	39302	大豊町		地検帳に借屋。都から「王朝ノ公卿五人」が流され、その慰めに仮屋を建て市を開いたことに由来	土佐地名往来(高 新)	平成30年5月14日	「土佐州郡志」 「南路志」
2771	かわぐちみなみ	川口南	39302	大豊町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月3日	
1127	きょうばしら	京柱	39302	大豊町			土佐の地名	177	
1133	くおうの	久生野	39302	大豊町			土佐の地名	179	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3410	くろいし	黒石	39302	大豊町		中世以前にさかのぼり、古くは長岡郡黒石村。「黒石様」とよばれる大蛇伝説の岩が由来	土佐地名往来(高 新)	平成28年3月14日	「大豊町史」
1609	こにわ	小庭	39302	大豊町			地名メモ		
1610	こみながわ	小南川	39302	大豊町			地名メモ		
1137	さがやま	佐賀山	39302	大豊町			土佐の地名	181	
3512	さんぼうじや ま	三傍示山	39302	大豊町	傍示	土佐州郡志に「三傍爾 美津保宇志 北予州 東阿洲」三国境に位置する山。ぼうじは石などで領地境界を標示	土佐地名往来(高 新)	平成30年8月6日	山と野原の会「山と野原を 歩く」
3276	せんぼん	千本	39302	大豊町		北山越えの官道が通る傾斜のきつい山地。崩壊を恐れ千本の杭を打ち込んだ苦労を刻んだ地名	土佐地名往来(高 新)	平成25年2月25日	「立川遺聞録」長岡京馬
1123	たいおう	大王	39302	大豊町			土佐の地名	175	
1135	たじかわ	立川	39302	大豊町			土佐の地名	180	
2547	たじかわ	立川	39302	大豊町			ふるさとばとろー る(高 新)	昭和55年12月16日	
2958	たじかわ	立川	39302	大豊町	タジ	参勤交代北山越えの道。イタドリの古名「タジヒ」に通じる名。延喜式には丹治川とある	土佐地名往来(高 新)	平成18年6月22日	「土佐の地名」 「本川の民話」
1131	ちのの	千野々	39302	大豊町			土佐の地名	179	
3426	つえたてやま	杖立山	39302	大豊町	ツエ	元親が四国制覇を目指し阿波へ侵攻していった峠。頂上に来て一息説、杖は潰の崩壊地名説も	土佐地名往来(高 新)	平成28年7月11日	「土佐州郡志」 「谷川健一全集」14巻
3514	つげ	津家	39302	大豊町		「本山郷ノ内津家村あり黄楊木多し」と土佐州郡志。ツゲ(黄楊)は土佐の産物で延喜式にも献上品とある。	土佐地名往来(高 新)	平成30年8月20日	刊本「皆山集」第9巻 「延喜式」
1516	つれび	連火	39302	大豊町			ふたつの浮津	118	
2834	つれび	連火	39302	大豊町		「つれ」は”つらなり”の連で「び」は”ほ とり”を表す廻・傍。尾根の連なりに立地す る集落の意味	土佐地名往来(高 新)	平成15年11月20日	朝倉慶景「大豊史談」第15 号所収
1121	とよなが	豊永	39302	大豊町			土佐の地名	174	
3145	とよなが	豊永	39302	大豊町		藩政期には地域を総称して豊永郷。領主小笠原氏の出身地熊本豊永庄の地名に因む	土佐地名往来(高 新)	平成22年4月13日	「大豊町史」 「角川日本地名大辞典熊本 県」
3113	ながとろばし	長瀬橋	39302	大豊町	トロ	地元の人が川面静かな吉野川を「長瀬」と呼んだことによる。トロは止まるに由来	土佐地名往来(高 新)	平成21年8月18日	「高知県内の河川関連地 名」
1134	なるかわ	成川	39302	大豊町			土佐の地名	180	
1511	におうがうち	仁尾ヶ内	39302	大豊町			ふたつの浮津	113	
2590	にしみね	西峰	39302	大豊町			ふるさとばとろー る(高 新)	昭和56年5月12日	
3396	にしみね	西峰	39302	大豊町		嶺北には阿波側から名付けられた地名が多い。土阿境の一つ京柱峠から土佐の山々を見て西峰	土佐地名往来(高 新)	平成27年11月30日	「長宗我部地検帳」 「大豊町史」 「西峰の流れ」山本駿次朗

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3404	ぬた	怒田	39302	大豊町	ヌタ	古くは布田。山村に多いヌタ地名。雑草の繁茂する湿地、湿田、猪の臥床。現地には合わない	土佐地名往来(高 新)	平成28年2月1日	「桂井和雄土佐民俗選集 ②」
1139	のがいけやま	野鹿池山	39302	大豊町			土佐の地名	182	
3315	ひうら	日浦	39302	大豊町	日浦	南向きの斜面で日当たりの良いところ。ウラは大平のヒラと同じく側・方向の意味	土佐地名往来(高 新)	平成26年2月10日	「桂井和雄土佐民俗選集 ②」
2756	ひのきお	桧生	39302	大豊町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年12月28日	「高知県方言辞典」
2935	へいわばし	平和橋	39302	大豊町		日露戦争の翌年、不戦を願って命名。佐藤の寄附など100年の歴史を刻む高知最初の鉄線吊橋	土佐地名往来(高 新)	平成18年1月5日	「大豊町史」
1517	みつごの	三ツ子野	39302	大豊町			ふたつの浮津	119	
3282	めつき	目付	39302	大豊町		地検帳にはメツキ村。本山郷和田名と殖田郷寺内名の境にあり、戦略上の要地、目付だった	土佐地名往来(高 新)	平成25年4月8日	「長宗我部地検帳」 「大豊史談」9号
1510	めつけ	目附	39302	大豊町			ふたつの浮津	113	
3118	ももはら	桃原	39302	大豊町	ママ	桃の木とは無関係。ママは急傾斜地・崖の意の地形語。近くに大カケ、大ツエなどの災害地名	土佐地名往来(高 新)	平成21年9月22日	池田末則「地名風土記」
1512	やかわ	八川	39302	大豊町			ふたつの浮津	115	
3064	よしのがわ	吉野川	39302	大豊町		四国三郎、古くは阿土川。川岸がヨシに覆われることに由来？奈良の吉野にみたて？	土佐地名往来(高 新)	平成20年7月29日	「大豊町史」 「四国のいのち 吉野川事 典」
1140	わりき	割木	39302	大豊町			土佐の地名	182	
1112	あせみ	汗見	39303	本山町			土佐の地名	169	
3028	あせみがわ	汗見川	39303	本山町		万葉植物と云われるアセビを由来とする地名。馬が葉を食べると苦しむことから馬酔木という	土佐地名往来(高 新)	平成19年10月30日	「土佐州郡志」 「土佐の地名」
1116	あど	安戸	39303	本山町			土佐の地名	172	
1114	いちのせ	一ノ瀬	39303	本山町			土佐の地名	171	
3398	うりうの	瓜生野	39303	本山町	瓜生野	落ち延びた安徳帝を迎えた里人が野生のウリを差し上げた。この言い伝えから「瓜生野」	土佐地名往来(高 新)	平成27年12月14日	「長宗我部地検帳」 「新本山の歴史」2分冊
2498	おいしい	大石	39303	本山町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年6月24日	
3225	おいしい	大石	39303	本山町		藩政期には長岡郡大石村。集落全体に土地が岩盤質で、大きな石が見えている。そんな地形	土佐地名往来(高 新)	平成23年12月19日	「ふるさと大石」山中利亀 「土佐史壇」2号
3019	きのうづ	木能津	39303	本山町		筏の組み立て地に由来(坂本正夫)。「木の津(港)」。木材水運の拠点	土佐地名往来(高 新)	平成19年8月28日	「高知県内の河川関連地名」 高木啓夫「土佐のかたち・
1111	くにみ	国見	39303	本山町			土佐の地名	169	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1506	ごうじや	合茶	39303	本山町			ふたつの浮津	110	
1117	こまがせ	駒が瀬	39303	本山町			土佐の地名	172	
1611	さざれやま	佐々連山	39303	本山町			地名メモ		
1115	さるだとうげ	猿田峠	39303	本山町			土佐の地名	171	
3017	じけ	寺家	39303	本山町		公家が朝廷に仕える家人、「寺家」は寺院や僧を意味した。土佐州郡志に長徳寺のある集落	土佐地名往来(高 新)	平成19年8月14日	「土佐州郡志」
2574	じげ	寺家	39303	本山町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月17日	
2961	しらがやま	白髪山	39303	本山町		白い石が覆う峻しい山「白峨」の字が、後に猿田彦(白髪のお翁)を祭るにちなんで「白髪」	土佐地名往来(高 新)	平成18年7月13日	「本山町史」
2924	すけとう	助藤	39303	本山町		「介当」「介藤」「助任」などとも書いた。戦国時代、阿波国助任村から来た開拓者の集落。「菅の峠」説も	土佐地名往来(高 新)	平成17年10月6日	高木孫四郎「本山城懐古 史」 岡林裕彦「本山風土記」
2693	そうがうち	沢ヶ内	39303	本山町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年5月25日	
1120	たかつの	高角	39303	本山町			土佐の地名	173	
1119	たこうす	田高須	39303	本山町			土佐の地名	173	
2909	たこうす	田高須	39303	本山町	タカス	「元鷹巣村とて大鷹の巣を構へりしより地名」と郷土史。「たかす」は川の蛇行地に土砂堆積の「高い砂州」	土佐地名往来(高 新)	平成17年6月23日	「桂井和雄土佐民俗選集 ②」
3343	ななと	七戸	39303	本山町		地検帳にも七戸、七人の住まい七軒が記録。汗見川の山深い傾斜地に7軒の住家が並ぶ	土佐地名往来(高 新)	平成26年9月8日	高木孫四郎「本山城懐古 「長宗我部地検帳」 「吉野風土記」
1509	はめがの	蛇野	39303	本山町			ふたつの浮津	112	
2926	はめがの	蛇野	39303	本山町		本山白髪山の小字。蛇は古来神霊の化身。毒をもった蛇を方言で「はめ」	土佐地名往来(高 新)	平成17年10月20日	
2641	ふるた	古田	39303	本山町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月10日	
3307	ふるた	古田	39303	本山町		伊勢国古田出身の古田氏、右城氏の一族が屋島の敗戦で潜入・開拓し、故郷の同じ地名を	土佐地名往来(高 新)	平成25年11月25日	「長宗我部地検帳」 「本山風土記」岡林裕彦
1118	ほその	細野	39303	本山町			土佐の地名	172	
1113	まつしま	松島	39303	本山町			土佐の地名	170	
3431	もとやま	本山	39303	本山町		中世から近世は本山郷。その領主が本山氏。讃岐の本山郷から山越えて転移命名されたか	土佐地名往来(高 新)	平成28年9月5日	「高知県管内 土佐国地誌 略」 「土佐名家系譜」寺石正路
3337	やところ	屋所	39303	本山町		この地にきて集落をひらいた毛利氏の居所を屋敷所といい、略して「屋所」と呼ばれた	土佐地名往来(高 新)	平成26年7月28日	「長宗我部地検帳」 「吉野風土記」長野徳次
1508	やどころ	屋所	39303	本山町			ふたつの浮津	111	
3279	やまさき	山崎	39303	本山町		長岡郡介当名に山サキ。阿州山崎村から麻の種を移植栽培、集落も山崎。助藤も阿波の開拓者	土佐地名往来(高 新)	平成25年3月18日	「長宗我部地検帳」 「本山城懐古史」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1507	やまのぼう	山ノ坊	39303	本山市			ふたつの浮津	111	
3324	よしの	吉野	39303	本山市		元は河内の武士の川村氏。本山へ落ち延びた	土佐地名往来(高 新)	平成26年4月14日	「新本山の歴史」第2分冊
1158	あさたに	朝谷	39401	大川村		が、南朝への忠誠から吉野と	土佐の地名	192	
2737	おおきたがわ	大北川	39401	大川村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年10月26日	
1157	おおやぶ	大藪	39401	大川村			土佐の地名	192	
1160	かさなり	重成	39401	大川村			土佐の地名	193	
1163	かしゅう	加集	39401	大川村			土佐の地名	194	
1164	かどやま	門山	39401	大川村			土佐の地名	195	
2663	かわぐち	川口	39401	大川村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年2月2日	
3167	こがねだき	小金滝	39401	大川村		高知で一番落差のある滝。厳しい冬、飛び 散った滝水が枝葉に氷結し日差しに輝くさま が由来	土佐地名往来(高 新)	平成22年9月13日	「大川村史」
2603	こまつ	小松	39401	大川村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月30日	
2561	こむぎうね	小麦畝	39401	大川村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年2月3日	
1161	しれい	死霊	39401	大川村			土佐の地名	194	
1523	のうたにやま	能谷山	39401	大川村			ふたつの浮津	123	
1612	のうたにやま	能谷山	39401	大川村			地名メモ		
1165	はいがはら	這ヶ原	39401	大川村			土佐の地名	195	
1152	むぎじり	麦尻	39401	大川村			土佐の地名	189	
1145	あいかわ	相川	39402	土佐町			土佐の地名	185	
1141	あくたがわ	芥川	39402	土佐町			土佐の地名	183	
3231	あくたがわ	芥川	39402	土佐町		中世、この地に入った芥川左馬之助の名に由 来。氏の故郷は摂津国芥川村で楠木正成の従 者	土佐地名往来(高 新)	平成24年2月13日	「土佐町史」
2881	あめがえりの たき	アメガエ リの滝	39402	土佐町		高さ15m幅10m余り四国の滝で一番。滝から 先へは遡れない”アメゴ帰りの滝”。類似の 地名は鮎に多い	土佐地名往来(高 新)	平成16年11月18日	武市伸幸「四国の滝めぐ り」 「土佐州郡志」
1142	あめのたに	雨谷	39402	土佐町			土佐の地名	183	
2520	おおぶち	大渕	39402	土佐町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年9月9日	
3228	くろまる	黒丸	39402	土佐町		土佐町の奥深い集落に、九良丸・十郎丸の兄 弟がやってきて、九良丸が開拓し住み着いた 地	土佐地名往来(高 新)	平成24年1月23日	「土佐町史」所収・三宝山 御由来記
1144	こな	古名	39402	土佐町			土佐の地名	184	
1518	さめうら	早明浦	39402	土佐町			ふたつの浮津	119	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2879	さめうら	早明浦	39402	土佐町	ウラ	古くは鮫浦・早明羅。ダム湖に沈んだ、夜明けの早い集落。「さめ」は「覚め」？ウラは先端・側・方向。	土佐地名往来(高 新)	平成16年11月4日	川村千枝子「ふるさと早明浦」 「高知県方言辞典」 徳弘勝「土佐の地名」
1143	せど	瀬戸	39402	土佐町			土佐の地名	184	
3407	たい	田井	39402	土佐町		中世以前からこの地にあった竹林寺の末寺「田井坊」が由来。桂井氏は田の結(助合習俗)	土佐地名往来(高 新)	平成28年2月22日	「本山城懐古史」 「南路志」8巻 「おらんく話」
2533	たかす	高須	39402	土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年10月28日	
3516	たかす	高須	39402	土佐町	鷹巣	「鷹巣之儀を以在所ノ小ホノギ高須共名付」と皆山集に由来物語。「南路志」鷹や鷺が子どもをさらったと記録	土佐地名往来(高 新)	平成30年9月3日	刊本「皆山集」第1巻 刊本「南路志」第4巻
1147	とぎのやま	砥ノ山	39402	土佐町			土佐の地名	186	
1613	みしま	三島	39402	土佐町			地名メモ		
1146	みながわ	南川	39402	土佐町			土佐の地名	185	
2630	みねいしはら	峰石原	39402	土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年9月29日	
2790	みやこの	宮古野	39402	土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年10月5日	
3235	もり	森	39402	土佐町		佐町役場を中心にした広い地域、森郷。江州の森頼宝が土居にきて領し、長磯を改め森村	土佐地名往来(高 新)	平成24年3月12日	「森村史」長野千春
2685	わだ	和田	39402	土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年4月27日	
3099	あいおいち ょう	相生町	39403	高知市		香川出身の前川秋三さんが開業した店近辺を故郷にちなみ相生町と私称、昭和に公称地名	土佐地名往来(高 新)	平成21年5月12日	「高知市史」中巻 前川種苗社史「土佐の園芸 と共に八十八年」
3237	あおやぎばし	青柳橋	39403	高知市		高知市街と五台山を結ぶ。明治4年に420mの板橋の賃取橋として架橋し2年後に青柳橋。由来不詳	土佐地名往来(高 新)	平成24年3月26日	「高知市歴史散歩」広谷喜 十郎 「武市佐市郎集」5巻 「皆山集」8巻
1364	あかいし	赤石	39403	高知市			ふたつの浮津	1	
3214	あかいしち ょう	赤石町	39403	高知市		地検帳にも赤石とある。鏡川の分流で、水辺には赤い岩が露出していたことから「赤岩」地名	土佐地名往来(高 新)	平成23年9月26日	「長宗我部地検帳」 「郷愁野史」吉岡幸馬
1538	あきやま	秋山	39403	高知市			ふたつの浮津	134	
1379	あこめ	柏	39403	高知市			ふたつの浮津	12	
2925	あこめ	柏	39403	高知市		浦戸湾に面した入り江で、漂着スペイン船サン・フェリペ号の衣類を浜辺に干したことによる。柏は下着のこと	土佐地名往来(高 新)	平成17年10月13日	「南路志」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2874	あさくら	朝倉	39403	高知市	クラ	くらは谷の古言。宮ノ谷、水汲谷、大谷、針木谷と「浅いクラ」が集まった土地から「あさくら」。風土記逸文	土佐地名往来(高知)	平成16年9月30日	丁野保彦「ふるさと土佐の歴史あれこれ」 「土佐史談」第60号・安岡源一
2803	あさひ	旭	39403	高知市		明治21年の合併地名、十一月の九日に五ヶ村連合約成ってその日(九日)に因む旭の字	土佐地名往来(高知)	平成15年4月3日	「旭小学校の百年」
3180	あじろだに	網代谷	39403	高知市	アジロ	荒倉峠から朝倉に流れる谷。遠い昔、入り海に谷が流れ込んだ。網代は魚を追込む仕掛け	土佐地名往来(高知)	平成22年12月27日	「土佐州郡志」
2838	あぞうの	薊野	39403	高知市	アズ	野アザミの里が通説。蒔は薬草のクコ。別説は海が入り込む浅海・あさみ説。崩れた岸や崖のあず(坍)説も	土佐地名往来(高知)	平成15年12月18日	徳弘勝「高知市の地名」 川崎誠樹「薊野の今昔」 小川豊「崩壊地名」
791	あぞの	薊野	39403	高知市			土佐の地名	8	
3052	あたご	愛宕	39403	高知市		寛永6年、京都の愛宕神社からこの地に勧請されその山を愛宕山、麓を愛宕と呼ぶようになった	土佐地名往来(高知)	平成20年4月22日	本居宣長「古事記伝」
1614	あみかわ	網川	39403	高知市			地名メモ		
3412	あらくらとうげ	荒倉峠	39403	高知市	クラ	高知城下から西へ向かう最初の難所。「くら」は険しい岩場のある谷あい。まさに荒倉の地名	土佐地名往来(高知)	平成28年4月4日	「桂井和雄土佐民俗選集②」
3428	いぐち	井口	39403	高知市		江ノ口川の小高い山に天正のころ本山氏の重臣、井口勘解由の居城が。城主の名にちなんだもの	土佐地名往来(高知)	平成28年8月1日	「高知市史 中巻」 「土佐物語」
1377	いけ	池	39403	高知市			ふたつの浮津	11	
2716	いけ	池	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年8月10日	
3471	いけ	池	39403	高知市		紀貫之の時代、ここ辺りまで海で住吉池などに名残り。近年、医療センター、県立大学、望海ヶ丘団地など開発	土佐地名往来(高知)	平成29年8月7日	鹿持雅澄「土佐日記地理弁」 吉田東吾「大日本地名辞
3372	いしたて	石立	39403	高知市		鏡川南岸、石立八幡宮の森か岩戸の岩場に見る岩盤に由来か、現在は堤防の下に埋没	土佐地名往来(高知)	平成27年5月18日	「南路志」8巻 「郷愁野史」吉岡幸馬
804	いしぶち	石淵	39403	高知市			土佐の地名	14	
2800	いしぶち	石渕	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年12月21日	
1198	いしまる	石丸	39403	高知市			土佐の地名	211	
3199	いちじょうばし	一条橋	39403	高知市		大津御所の主であった一条内政の一条に因んだ名。欄干には同家の藤の家紋が刻まれている	土佐地名往来(高知)	平成23年5月30日	「大津の歴史」
3163	いちのたに	一の谷	39403	高知市	イチ	宇津野の奥、北山のふもとから一番初めの谷、一の谷の由来? 「いちのー」は各地にある	土佐地名往来(高知)	平成22年8月16日	「秦村誌」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2885	いちもんばし	一文橋	39403	高知市		江ノ口川の下流に庶民が架けた銭一文の賃取橋。賃の安さから「一文橋」。賃取橋は潮江橋・青柳橋・新京橋も	土佐地名往来(高知)	平成16年12月16日	河田小龍「高知市街全図」
790	いっく	一宮	39403	高知市			土佐の地名	7	
2913	いっく	一宮	39403	高知市	一ノ宮	土佐国の「一の宮」。イチノミヤが一般的でイックと読むのは少ない。神への奉仕「斎く(いっく)」由来か	土佐地名往来(高知)	平成17年7月21日	「角川日本地名大辞典」
3480	いまい	今井	39403	高知市		地検帳に今井左近の給地記録がある。元親の重臣今井勘解由則正の居城地に由来。鏡ダムを見下ろす今井城跡	土佐地名往来(高知)	平成29年10月23日	川村深水「土佐伝説④」1940年
3205	いよがわ	伊予川	39403	高知市		荒倉トンネルの南に西権現(天水分地水分神社)の湧水。伊予から流れてきている言い伝	土佐地名往来(高知)	平成23年7月11日	「南路志」
3399	いわさきはし	岩崎橋	39403	高知市		風や波が立って獵師を難儀させた岩の突き出た岬を岩崎。塩屋崎、津の崎と合わせて三崎	土佐地名往来(高知)	平成27年12月21日	「土佐物語」
2740	うが	宇賀	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年11月2日	
3029	うが	宇賀	39403	高知市	ウカ	宇賀神社が鎮座していたことに由来。ウカは古くはウケで食物の意で稲の霊を祭った神社学芸高校の北山。土佐国古城略史では、鶴来巢弾正という豪族がとりで(壘)を築き鶴来巢山	土佐地名往来(高知)	平成19年11月6日	「吾南の名勝」本居宣長「古事記伝」
3385	うぐるす	鶴来巢	39403	高知市			土佐地名往来(高知)	平成27年8月24日	「長宗我部地検帳」
1369	うしおえ	潮江	39403	高知市			ふたつの浮津	4	「土佐州郡志」
3285	うしおえ	潮江	39403	高知市		平安後期の潮江庄。広々とした入り海からひねもす潮が打ち寄せる入り江「潮江」	土佐地名往来(高知)	平成25年5月13日	「土佐国古城略史」
3247	うちのたに	内ノ谷	39403	高知市		地検帳には「内容」。谷間の地に由来。集落の氏神、内ノ谷天満宮は蟹が運んだ神様と伝承	土佐地名往来(高知)	平成24年6月11日	「高知県歴史事典」
3342	うつの	宇津野	39403	高知市		ウツ、ウトは空、虚ろと語源が同じで、周りを山に囲まれた袋状の地形。宇津野もそんなたたずまい	土佐地名往来(高知)	平成26年9月1日	「潮江村誌」
1519	うめのき	梅ノ木	39403	高知市			土佐地名往来(高知)	120	「長宗我部地検帳」
3178	うめのつじ	梅ノ辻	39403	高知市		街路が棧橋、駅前、塩屋崎、天満宮、役知町への五つ辻。潮江天満宮ゆかりの梅の花に見立て	土佐地名往来(高知)	平成22年12月13日	「土佐州郡志」
805	うらど	浦戸	39403	高知市			土佐の地名	14	「春野町史料 第一集」
1188	えだすえ	枝末	39403	高知市			土佐の地名	206	「長宗我部地検帳」
3328	えびがばし	海老ヶ橋	39403	高知市		周辺は海老槇と言い山手に海老川の集落が。朝倉と神田の境の山に恵美氏の居城「恵美城」	土佐地名往来(高知)	平成26年5月19日	「土佐州郡志」
785	えびまき	海老槇	39403	高知市			土佐の地名	5	「土佐国古城略史」
2599	えんぎょうじ	円行寺	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和56年6月16日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2963	おうてすじ	追手筋	39403	高知市		初めは「大御門筋」。享保12年大火で再建し追手御門に改称。城の正門を大門・大手・追手	土佐地名往来(高知新)	平成18年7月27日	「山内家史料 歴代公紀綱文集」
2892	おおいしだに	大石谷	39403	高知市		五台山と仁井田のちょうど境あたりが大石谷。土佐の名家大石一族の居所。大石甚吉の墓もある	土佐地名往来(高知新)	平成17年2月17日	寺石正路「土佐名家系譜」
3391	おおかわすじ	大川筋	39403	高知市		大川(江ノ口川)のほとりに連なった町筋「大川淵」が大川筋に。鏡川は南川と大川に应ずる称	土佐地名往来(高知新)	平成27年10月19日	「長宗我部地検帳」 「高知城」高知城書懷徳館
1190	おおしょうじ	大小路	39403	高知市			土佐の地名	207	
3141	おおしょうじ	大小路	39403	高知市		地検帳にも大小路。東西南北に大小の道が通る。ショウジ、コウジの読み混在	土佐地名往来(高知新)	平成22年3月16日	「長宗我部地検帳」 「春野町資料第一集」所収・吾川郡弘岡下ノ村村誌
3101	おおはらちょう	大原町	39403	高知市		昔は中川原、御大典記念運動場の設立にあわせ、御大典の「大」と中川原の「原」を合成	土佐地名往来(高知新)	平成21年5月26日	「高知市史」中巻 「高知市議会史」上巻
3327	おお	大利	39403	高知市		古は大寺、中世は大理、現在は大利。この地の領主大寺民部之祐のオオジからオオリに転訛	土佐地名往来(高知新)	平成26年5月12日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「土佐伝説」24号
2921	おがやばし	大鋸屋橋	39403	高知市		建築修繕にあたる藩作事方の大鋸屋方(建築用材の調達)にちなみ命名。菜園場と九反田の堀川に架かる橋	土佐地名往来(高知新)	平成17年9月15日	「皆山集」
2955	おくらばし	御倉橋	39403	高知市		長浜川右岸、水運により藩の年貢米を米倉に貯蔵したことに由来。兼山ゆかりの土木事業	土佐地名往来(高知新)	平成18年6月1日	「吾南の名勝」
3208	おさじばし	雄幸橋	39403	高知市		ライオン宰相浜口雄幸にちなんだ地名。「幸(さち)」と決めてたが男のため「雄幸(おさち)」	土佐地名往来(高知新)	平成23年8月8日	「浜口雄幸伝」関根実
1363	おづ	小津	39403	高知市			ふたつの浮津	1	
2835	おづ	小津	39403	高知市		大津、中津、小津も海に面する入り江で、小津は文字どおり「小さな港」。藩政期は尾戸で土佐焼の発祥の地	土佐地名往来(高知新)	平成15年11月27日	「南路志」 丸山和雄「土佐の陶磁」
2867	かがのい	加賀野井	39403	高知市		今は有数の住宅団地。古くは一豊に従って入国した家老・加賀野井氏の持ち山。木曾川の急流の意味	土佐地名往来(高知新)	平成16年7月22日	「加賀野井台地20年のあゆみ」
3176	かがみいわ	鏡岩	39403	高知市		朝倉から荒倉峠(鶉坂)を越え幡多に向かう中村街道の朝倉側の通称。往来の姿を映した鏡岩	土佐地名往来(高知新)	平成22年11月29日	「土陽淵岳誌」植木拳因
2804	かがみがわ	鏡川	39403	高知市		五代藩主が名付け親。鴨部河、雁切川、大川、潮江川などの別称も。もとは物部川、新莊川	土佐地名往来(高知新)	平成15年4月10日	竹内重意「太郎丸昔物語」 松野尾章行「土佐国白湾往来」
811	かこ	鹿児	39403	高知市			土佐の地名	17	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3078	かこ	鹿児	39403	高知市	カコ	昔、船の乗組員である「水主」と書いて「カコ」と呼んでいた。カは楫(かじ)、コは人の意	土佐地名往来(高知)	平成20年11月25日	「土佐日記」 広谷喜十郎「高知市歴史散歩2」
3112	かじがうら	梶ヶ浦	39403	高知市	カジ	地検帳にはカチカ浦村。鍛冶浦、柁ヶ浦なども。鍛冶屋が住む海の集落「鍛冶屋浦」の転訛	土佐地名往来(高知)	平成21年8月11日	「長宗我部地検帳」 「吾南の名勝」
1619	かすが	春日	39403	高知市			地名メモ		
801	かずらしま	葛島	39403	高知市			土佐の地名	12	
2825	かつらはま	桂浜	39403	高知市		古くは勝浦浜で勝は「潟(かた)」あるいは「片」。古代中国の「月の桂」の伝承にちなみ文人らが「桂浜」	土佐地名往来(高知)	平成15年9月18日	片桐洋一「歌枕歌ことば辞典」
3353	かなだ	金田	39403	高知市		州郡志に金田潮田。寛永年間、金田源右衛門が築堤し干拓地を造成。名字が地名に	土佐地名往来(高知)	平成26年12月15日	「土佐州郡志」
1615	かにごえ	蟹越	39403	高知市			地名メモ		
3031	がにごえ	蟹越	39403	高知市		地検帳にカニコエ山とある中世以前の地名。カニの大群が越えた峠を蟹越の由来。	土佐地名往来(高知)	平成19年11月20日	「おらんく話」 「土佐地域文化」3号所収・三宮凱温
2946	かねこばし	金子橋	39403	高知市		グランド電停と升形のあいだ、旧武家屋敷の郭中。金子弥右衛門の武家屋敷にちなんだ地名	土佐地名往来(高知)	平成18年3月23日	「土佐名家系譜」
3201	かまとぎ	鎌研	39403	高知市		中秦泉寺の北山の山裾。文字どおり、鎌を研いだことに由来する地名。山仕事前の大切な準備	土佐地名往来(高知)	平成23年6月13日	「秦史談」162号 「皆山集」
789	かみぐみ	上組	39403	高知市			土佐の地名	7	
3190	かめわり	亀割	39403	高知市		地検帳には亀ハリ。“川目”は網の目の水路、開墾をハリ(墾り)。川目墾りが「亀割」と転訛	土佐地名往来(高知)	平成23年3月28日	「長宗我部地検帳」 「土佐の地名」
3015	かもだ	鴨田	39403	高知市		鴨部村と神田村が明治の合併で、「鴨田村」と「神部村」の二案をくじで決定	土佐地名往来(高知)	平成19年7月31日	「鴨田小学校百年誌」
786	かもべ	鴨部	39403	高知市			土佐の地名	5	
1365	からいわ	唐岩	39403	高知市			ふたつの浮津	2	
798	からたに	唐谷	39403	高知市			土佐の地名	11	
2773	からたに	唐谷	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和58年8月10日	
3149	からたに	唐谷	39403	高知市		地検帳にはカラ谷。日影地のカウラが転訛しカラ、日当たりの良くない谷	土佐地名往来(高知)	平成22年5月11日	「長宗我部地検帳」 「五台山誌」 「浜口雄幸伝」 関根実
2709	かりやま	狩山	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年7月20日	
1541	かろうと	唐音	39403	高知市			ふたつの浮津	136	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2880	かろうと	唐音	39403	高知市	カロウト	勾配の緩やかな切り通しの道「空峠」の転訛。同地名が各地にある。兼山ゆかりの春野治水の旧跡が「唐音」	土佐地名往来(高知)	平成16年11月11日	桂井和雄「おらんく話」
2894	かんじょう	勘定	39403	高知市		宗安寺や行川のお百姓が高知城下で担ぎ売りした帰り道ここで一息、銭勘定をした休み場。鏡川右岸の集落	土佐地名往来(高知)	平成17年3月3日	
2919	かんじんばし	勧進橋	39403	高知市		井口町の小橋。勧進は寺社の建立修復のため金品を広く募ること。渡り賃(橋銭)を寺社寄進にまわしたか	土佐地名往来(高知)	平成17年9月1日	「土佐国群書類従⑦」
794	きゅうじゅう	九重	39403	高知市			土佐の地名	9	
3312	きょうまち	京町	39403	高知市		京都の呉服商、井筒屋などがやって来て住んだことから「京町」。藩政以前は「城畑・城端」	土佐地名往来(高知)	平成26年1月20日	「高知風土記」 「土佐と南海道」 「南路志」
2851	くいしやま	工石山	39403	高知市		古くは「喰石山」「久以志山」。山腹に奇岩が多く「奇しき石の山」と雅称したのが転生したか。	土佐地名往来(高知)	平成16年3月25日	「皆山集」 桂井和雄「おらんく話」 「土佐州郡志」
3003	くぎぬき	釘抜	39403	高知市	釘貫(くぎぬき)	釘貫は柱を立て横木を貫きとおした簡単な柵。防護柵か土豪屋敷でもあったのでは	土佐地名往来(高知)	平成19年5月8日	「土佐国群書類従⑨」所収・「直諒紀行」 「長宗我部地検帳」
3280	くまい	久万	39403	高知市	クマ	久万山の麓まで海が入り込み奥まった所に集落形成。奥まった地形から「隈・クマ・久万」	土佐地名往来(高知)	平成25年3月25日	「久万郷土談」 森田稔
799	くらたに	倉谷	39403	高知市			土佐の地名	12	
1371	くらら	岩座	39403	高知市			ふたつの浮津	7	
3134	くるまだに	車谷	39403	高知市		明治以降、水車の稼働を始めてからの呼称。高知城下最初の水車は元禄年間、上町の車瀬綿の実を搾って油を取った高知の水車発祥の地。元禄十二年、長泉寺の溝の流れを利用	土佐地名往来(高知)	平成22年1月26日	「秦史談」15号
2815	くろませ	車瀬	39403	高知市		土佐国長岡郡の九郷の一つ「気良郷」。のち源希義の流摘の地が「介良庄」。キク科の古名ウケラの自生地?	土佐地名往来(高知)	平成15年6月26日	岡本真古「事物終始」(皆山集所収)
2891	けら	介良	39403	高知市		もとは厳島。幕末弘化年間に築かれた台場で現在は高知市中央卸売市場。竹島には大がかりな鋳立場もあった	土佐地名往来(高知)	平成17年2月10日	徳弘勝「高知市の地名」
2868	こうかだい	弘化台	39403	高知市		高知西北部を東へ流れ久万川に合流している。鉱物か何かが水に溶け込んでいたためか各集落の神社のために耕作される田地が神田。鴨部にある式社・郡頭神社にちなんだものか	土佐地名往来(高知)	平成16年7月29日	寺石正路「土佐民間科学者伝」
3191	こうすいがわ	紅水川	39403	高知市			土佐地名往来(高知)	平成23年4月4日	「土佐伝説」21号22号所収・隈川漁事
2938	こうだ	神田	39403	高知市			土佐地名往来(高知)	平成18年1月26日	広谷喜十郎「土佐史の神々②」
3102	こうち	高知	39403	高知市		大高坂山を一豊時代に「河中山=こうちやま」と呼んだのが由来。高智山、高知に転訛	土佐地名往来(高知)	平成21年6月2日	「山内家史料 忠義公紀」 「山内家史料 歴代公紀鋼文集」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
776	こうちし	高知市	39403	高知市			土佐の地名	1	
1543	こうどの	甲殿	39403	高知市			ふたつの浮津	139	
2847	こうどの	甲殿	39403	高知市		かつて吾川郡の郡役所(郡戸＝こおど)の地?川渡?海辺に流れ着いた住吉大明神の「かむどの・神殿」の転?	土佐地名往来(高知)	平成16年2月26日	徳弘勝「ふたつの浮津から」
2962	こうない	啗内	39403	高知市		地名の由来は「神内」。朝倉神社の神田のある神の領域の地。	土佐地名往来(高知)	平成18年7月20日	「高知市の地名」
2980	こうのもり	鴻ノ森	39403	高知市	コウ	古くは神森、高森、河森、今でも神ノ森、高ノ森。信仰の山、雨乞いの森、コウノトリの山	土佐地名往来(高知)	平成18年11月30日	「土佐の地名」 宮地森城「土佐国古城略史」
3302	ごだいさん	五台山	39403	高知市		聖武勅願により僧行基が竹林寺を開創、中国山西省の文殊菩薩の霊山、五台山にちなむ	土佐地名往来(高知)	平成25年10月7日	「南路志」 「十市村古事考」
2552	ごてん	御殿	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和55年12月30日	
3010	ごてん	御殿	39403	高知市		中村街道のそば。往来する藩役人の宿泊所を「御殿」と呼ばれ地名化したもの。	土佐地名往来(高知)	平成19年6月26日	「春野町史」
3222	ことぶきちょう	寿町	39403	高知市		30番札所安楽寺の近く、古くは医師、島寿庵の屋敷に因んで寿庵屋敷、寿屋敷、通称で寿町	土佐地名往来(高知)	平成23年11月28日	「高知市史」中巻 「皆山集」9巻 「寺田虎彦 妻たちの歳」
2734	こやま	小山	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年10月12日	
2767	さいばた	西畑	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和58年5月25日	
3129	さいばた	西畑	39403	高知市		仁ノ村に属していた頃、山を隔てた西側の集落。耕地の多くは畑だったことから「西畑」	土佐地名往来(高知)	平成21年12月15日	「春野町史料 第一集」所収・西畑村誌
3351	さいわいちょう	幸町	39403	高知市		昭和56年に新しく生まれた町。発展する松下電器の門真市にあやかり幸之助の一字を	土佐地名往来(高知)	平成26年12月1日	「宿毛市 集落の歴史と文化財」橋田庫欣
3152	さかいまち	堺町	39403	高知市		山内入国後、和泉国の堺から来た呉服商人の住んだ町。摂津、河内、和泉の三つの境から境	土佐地名往来(高知)	平成22年6月1日	「高知市史」中巻 「高知風土記」
3130	さかえだちょう	栄田町	39403	高知市		地元では勝手に栄町と呼び合う。町名整理で、堺町との混同を避け田を加えた新町名に	土佐地名往来(高知)	平成21年12月22日	「高知市史」中巻
2542	さかぐち	坂口	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和55年11月25日	
777	さぎどまり	鷺泊	39403	高知市			土佐の地名	1	
3290	さくらばば	桜馬場	39403	高知市		高知城の西側に1661年造設。長さ180m、幅11mの馬場で左右には桜が植わる「桜馬場」	土佐地名往来(高知)	平成25年6月17日	「土佐州郡志」 「桜史」山田孝雄
3151	ざこば	雑喉場	39403	高知市		この地に魚市場があり雑魚を売買するところ「雑魚場」に難しい漢字を当てる	土佐地名往来(高知)	平成22年5月25日	「高知沿革略志」松野尾章行
3156	ささきちょう	佐々木町	39403	高知市		県出身者唯一の侯爵で明治政府高官の佐佐木高行氏の邸宅跡があり、氏を誇りとして町名に	土佐地名往来(高知)	平成22年6月29日	「高知行政区画変遷史料集」 「高知市史」中巻

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3305	さだなが	貞永	39403	高知市		長宗我部の家臣、今井則正が城を築き、山あいに狭く長い田を開墾した「狭田長」が貞永	土佐地名往来(高知新)	平成25年11月11日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「土佐伝説」24号
3382	さんげんや	三軒家	39403	高知市		高知市長浜に住んだ竹島家の「三軒の家」が文字どおり並んでいた。近くには七軒屋の地名も	土佐地名往来(高知新)	平成27年8月3日	「吾南の名勝」
3172	さんでん	散田	39403	高知市	散田	土佐では荒地にひらかれた田、荒廃した田地が「散田」。鷹匠町の散田は潮江農民の苗代田	土佐地名往来(高知新)	平成22年11月1日	「潮江村誌」
3166	さんのまる	三ノ丸	39403	高知市	丸	二代藩主山内忠義の側室寿性院の墓所地。三の丸様と呼ばれていたことに由来	土佐地名往来(高知新)	平成22年9月6日	
2814	しあんばし	思案橋	39403	高知市		城下への西の玄関口玉水新地。どの道行こうか？東京吉原遊郭にも長崎丸山遊郭にもある	土佐地名往来(高知新)	平成15年6月19日	「土佐州郡志」
1368	しおた	塩田	39403	高知市			ふたつの浮津	4	
1372	しおやざき	塩屋崎	39403	高知市			ふたつの浮津	8	
3379	しおやざき	塩屋崎	39403	高知市		鏡川の南岸、二代藩主の頃、塩田がひらかれ、塩を焼く小屋(塩屋)が立ち並んだ。塩屋の先祖九右衛門説も	土佐地名往来(高知新)	平成27年7月6日	「高知市誌」 「高知市史 中巻」
1520	しきのやま	敷ノ山	39403	高知市			ふたつの浮津	121	
1616	しきのやま	敷の山	39403	高知市			地名メモ		
3384	しきのやま	敷ノ山	39403	高知市	シキ	岩石をめぐらしたヒモロギ(神籬)の場所。神籬は神を迎える祭りの場、「シキの神籬」	土佐地名往来(高知新)	平成27年8月17日	「土佐の地名のメモ」
2845	じごくだに	治国谷	39403	高知市		もとは「地獄谷」で好字をあてたもの。石灰岩の白く切り立った断崖が異様であったことから地獄谷	土佐地名往来(高知新)	平成16年2月12日	角川日本地名大辞典③高知県
803	じぞうどう	地藏堂	39403	高知市			土佐の地名	13	
3116	じぞうばし	地藏橋	39403	高知市		寛政十年の年号が刻まれたお地藏さんに由来。現在のしばてん地藏は、地震により二台目	土佐地名往来(高知新)	平成21年9月8日	「五台山誌」 「土佐のお地藏さん」
2967	しなね	志那禰	39403	高知市		土佐神社で最も重要な祭祀の俗称が「しなねさま(志那禰)」。新稲献上のにいいねの転訛	土佐地名往来(高知新)	平成18年8月24日	「古事記」 「南路志」 「高知県歴史事典」 「高知市の地名」 「土佐史談」61号所収・安岡源一
3215	しばまき	柴巻	39403	高知市		坂本龍馬ゆかりの地。芝を名乗る一族が住んだ集落？シマキの強風が吹き付ける集落？	土佐地名往来(高知新)	平成23年10月3日	重松実男「稿本 高知市史」
3065	しもじ	下知	39403	高知市		古くは入り江が深く湾入し知寄ヶ淵、上知寄、下知寄があった。下知寄を略し「下知」	土佐地名往来(高知新)	平成20年8月5日	「土佐史談」60号 「維新後に於ける名士の逸談」
3147	じゅうのまつばら	自由の松原	39403	高知市		明治の豪商川崎家の別荘地。板垣退助と谷干城の大激論にちなみ昔をしのんで命名	土佐地名往来(高知新)	平成22年4月27日	「高知県行政区画変遷史料集」
3338	じゅうろく	十六	39403	高知市		行川の上流に「土佐郡十六村役場跡」の碑。明治22年領家郷の16の村が合併	土佐地名往来(高知新)	平成26年8月4日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2721	じょう	城	39403	高知市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年8月31日	
3365	じょうがもり	城ヶ森	39403	高知市		本山郷を本拠地とする武将本山氏が南の平野 部に進軍するときの一宿城。高知市が一望	土佐地名往来(高 新)	平成27年3月23日	「高知市の城跡」 「土佐州郡志」 「土佐物語」
1151	しょうぶ	菖蒲	39403	高知市			土佐の地名	188	
2617	しょうぶ	菖蒲	39403	高知市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月18日	
3439	しょうぶのか わ	勝負川	39403	高知市		地検帳にもない由来不明な「勝負川」。神田川近 くの湿地の「菖蒲」？元親と本山氏の合戦場？ 鏡川から南に石立城、神田南城など。神田勘 助が守った石立城は「城山」と称された	土佐地名往来(高 新)	平成28年11月14日	「高知市史 上巻」
3326	じょうやま	城山	39403	高知市			土佐地名往来(高 新)	平成26年4月28日	「土佐国古城略史」
792	しょうれんじ	正蓮寺	39403	高知市			土佐の地名	8	
2780	しょうれんじ	正蓮寺	39403	高知市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月31日	
3436	しらつちとう げ	白土峠	39403	高知市		高知城下を起点とした重要な往還道。白土は漆 喰、その原料となる石灰岩の白い地層に由来 介良、鉢伏山の西山裾。地検帳にはシラ水と あり、清く澄んだ水、白水(はくすい)の訓読 み	土佐地名往来(高 新)	平成28年10月24日	「土佐州郡志」 「土佐の峠風土記」山崎清憲
3165	しらみず	白水	39403	高知市			土佐地名往来(高 新)	平成22年8月30日	「長宗我部地検帳」 「介良風土記」橋詰延壽
3418	しろいわ	白岩	39403	高知市		古くは土佐郡白岩名。石灰岩の巨石や鍾乳洞 のが由来。石、岩、土の色にまつわる地名は 多い	土佐地名往来(高 新)	平成28年5月16日	「鏡村史」 「土佐の史蹟名勝」
3153	しんいちまち	新市町	39403	高知市		元親が岡豊から住民を移住させてつくった 町。国分寺の縁日市に由来。高知最初の町	土佐地名往来(高 新)	平成22年6月8日	「稿本 高知市史」重松実 男
2653	しんかわ	新川	39403	高知市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年12月22日	
2893	じんぜんじ	秦泉寺	39403	高知市		秦氏の居住地で泉のわき出る寺があった。 「ハダ(秦)ノ泉寺」が地名に転訛。安芸岩 佐・幡多清水とで三清水	土佐地名往来(高 新)	平成17年2月24日	植木拳因「土陽淵岳誌」
2915	しんやしき	新屋敷	39403	高知市	新屋敷	旧地名・石亀が元文元年農家の移住地とな る。新たに入植し家を建てることから「新屋 敷」。伊達兵部の配所？ ”ゆる”は水門の土佐言葉。弥右衛門の一角 の低湿地帯の目印となっていた杉に由来。	土佐地名往来(高 新)	平成17年8月4日	「武市佐市郎集⑤」土佐事 物史 「土佐国群書類従⑤」 坂本正夫「高知県内の河川 関連地名」
2936	すぎいる	杉井流	39403	高知市			土佐地名往来(高 新)	平成18年1月12日	
1149	すじかわ	筋川	39403	高知市			土佐の地名	187	
814	せぜら	世々羅	39403	高知市			土佐の地名	19	
1148	せっこうざん	雪光山	39403	高知市			土佐の地名	186	
807	せと	瀬戸	39403	高知市			土佐の地名	15	
2706	そうあんじ	宗安寺	39403	高知市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年7月6日	
808	そみだ	隅田	39403	高知市			土佐の地名	15	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3203	たいこばし	太古橋	39403	高知市		明治20年、逢坂峠を越える新道の久安川に架ける橋の石材に大塚古墳の天井石を転用	土佐地名往来(高知)	平成23年6月27日	「土佐神道考古学」岡本健児
3455	たいしょう	太子	39403	高知市	太子	土佐市新居の小集落。聖徳太子を祀った太子堂が由来。高岡庄は大阪四天王寺の寺領であり、6カ所の太子堂がある。	土佐地名往来(高知)	平成29年4月3日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「探訪」創刊号・仁淀川歴史会
2527	たかかわ	高川	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和55年10月7日	
3424	たかす	高須	39403	高知市		州郡志に「高洲村」。元は海で土砂が堆積し砂州が形成され「高洲」と呼んだ。二期作の草分け地	土佐地名往来(高知)	平成28年6月27日	「土佐州郡志」 「高知県誌」永瀬潔 「高知市史 中巻」
1373	たかみ	高見	39403	高知市			ふたつの浮津	8	
3383	たかみ	高見	39403	高知市		筆山の南、潮江の地。菅原道真の嫡男高視の由来説は鹿持雅澄が否定。潮江を見渡す地形地名	土佐地名往来(高知)	平成27年8月10日	「皆山集」1巻 「高知市史」 「土佐国群書類従」1巻
1189	たなべ	田鍋	39403	高知市			土佐の地名	207	
1375	たねざき	種崎	39403	高知市			ふたつの浮津	10	
2791	たねざき	種崎	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年10月12日	
2810	たねざき	種崎	39403	高知市	トネ	戸の崎、ト(門・戸)は土地が両方迫り狭くなった水運路?刀禰(船長)の居る崎、刀禰崎	土佐地名往来(高知)	平成15年5月22日	山本笹樹「十市村古事考」 「三里のことも」 寺田虎彦「郷土随筆集」
1195	たねまのまえ	種間ノ前	39403	高知市			土佐の地名	209	
1193	たのうら	田ノ裏	39403	高知市			土佐の地名	209	
3245	たべしま	田辺島	39403	高知市		国分川の低湿地「ドベ」島、タベ島=田辺島説?大和朝廷の直轄地の農民である「田部」説?	土佐地名往来(高知)	平成24年5月28日	「高知市の地名」 「土佐の地名」
3361	たまみずちょう	玉水町	39403	高知市		指折りの花街、玉江新地と玉水新地。鏡川の清流に面した「玉水」は清らかな水の意味古くは「垂水」。タルミはハラミ・孕と対の地名ともいう。吸江寺絶海にちなんで字を充てる	土佐地名往来(高知)	平成27年2月23日	「武市佐市郎集①」
2960	たるみ	絶海	39403	高知市	タルミ		土佐地名往来(高知)	平成18年7月6日	「土佐州郡志」 「高知市史研究」3号 「皆山集」
2989	たんちやま	丹中山	39403	高知市	タン	土佐の藩医谷中庵(たにちゅうあん)の墓に由來說。丹(たん)は赤い土、この山肌に由来	土佐地名往来(高知)	平成19年2月1日	前田秀徳「龍馬、原点消ゆ。」 平尾道雄「土佐医学史考」
2957	つきのせばし	月の瀬橋	39403	高知市		北岸の築屋敷の「ツキ」と南岸の河ノ瀬の「ノ瀬」を合せ、鏡川に映る月から「月の瀬橋」	土佐地名往来(高知)	平成18年6月15日	
3036	つるた	鶴田	39403	高知市		元親が鶴を飼ったことに由来とあるが、元親記や土佐物語には見えない。東洋謫居の地	土佐地名往来(高知)	平成19年12月25日	「吾南の名勝」 福島成行「吉田東洋」
1521	てうず	手水	39403	高知市			ふたつの浮津	121	
793	てんばやま	天場山	39403	高知市			土佐の地名	8	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3076	どいまち	土居町	39403	高知市		潮江城の城主、森近江守の土居があったから。土居は、土塁あるいは土豪の屋敷の意	土佐地名往来(高知)	平成20年11月11日	「土佐国古城略史」入江正雄「詔謀記事」
1367	とうじんまち	唐人町	39403	高知市			ふたつの浮津	3	「高知市史」
3110	とうじんまち	唐人町	39403	高知市		朝鮮出兵の際、元親が連行した80人余りの朝鮮人が住んだ町。豆腐コンニャクの製造が家業	土佐地名往来(高知)	平成21年7月28日	「長宗我部元親」平尾道雄
2752	とくだに	徳谷	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年12月14日	
1150	とさやま	土佐山	39403	高知市			土佐の地名	187	
1617	ととう	土東	39403	高知市			地名メモ		
3157	とどろきばし	轟橋	39403	高知市	轟	高知市西秦泉寺と三園町の間を流れる名切川に架かる橋。橋のたもと、轟神社の社名による	土佐地名往来(高知)	平成22年7月6日	「土佐の神仏巡拝」市原麟一郎
3117	とのもと	戸の本	39403	高知市		長浜から春野またがる広大な土地を所有する宇賀長者の門前、戸の表、家の前という意味	土佐地名往来(高知)	平成21年9月15日	「吾南の名勝」
1199	とばら	戸原	39403	高知市			土佐の地名	211	
3193	とばら	戸原	39403	高知市		「トバラは苦原(トマハラ)から」。苦はスゲやカヤなどの草を編んで屋根を葺いたもの	土佐地名往来(高知)	平成23年4月18日	「長宗我部地検帳」
2940	とりごえ	鳥越	39403	高知市	タオリ	渡り鳥の通う道。峠の”たおり”が”たおり(峠)越え”を意味する鳥越に転訛した説も	土佐地名往来(高知)	平成18年2月9日	「はるの昔ばなし」
800	ながえ	長江	39403	高知市			土佐の地名	12	「土佐の地名」松尾俊郎「地形地名の知
2914	なかすか	中須賀	39403	高知市	スカ	鏡川の下流域に土砂が堆積してできた土地。「す」は州で、“ありか””すみか”の「か」は場所。中州の処	土佐地名往来(高知)	平成17年7月28日	
3478	ながはま	長浜	39403	高知市		太平洋沿いに延びる長い浜辺に由来。浦戸、瀬戸、横浜と周辺には海に関係した地名が多い	土佐地名往来(高知)	平成29年10月2日	大久保千濤「吾南の名勝」1931年
1542	なきり	菜切	39403	高知市			ふたつの浮津	138	
3121	なきりがわ	名切川	39403	高知市		地検帳にはナキリ。遠い昔は海岸線で「浪切り」では？そんな景色は春野にも菜切とある	土佐地名往来(高知)	平成21年10月13日	「長s壁地検帳」
781	ななさばい	七作倍	39403	高知市			土佐の地名	3	「秦史談」151号
2906	ななさばい	七作倍	39403	高知市		朝倉城で討死した七人の侍の埋葬地「七つの三味場」から転訛。三味場は死者を葬る場所。七作倍神社がある。	土佐地名往来(高知)	平成17年6月2日	「土佐州郡志」
2696	ななつぶち	七ツ淵	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年6月1日	
3266	なめがわ	行川	39403	高知市	ナベ	県内に残る「なべ地名」。平坦な川底の故に滑らかな水流がナベ、ナメ。床鍋、平鍋、行川	土佐地名往来(高知)	平成24年11月19日	「おらんく話」
796	なるたき	鳴谷	39403	高知市			土佐の地名	10	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2844	なわて	縄手	39403	高知市		縄のように細い道(縄道)、田んぼのなかの道(苗道)まっすぐに伸びた道(直道)など古代条里制に由来	土佐地名往来(高知)	平成16年2月5日	
3295	にじゅうだい まち	廿代町	39403	高知市		江ノ口川の南岸に開かれた田地のホノギが廿代。寛永年間には町となる。大工頭の屋敷地?	土佐地名往来(高知)	平成25年7月29日	「皆山集」所収・高知風土記/韓川筆話
1537	にの	仁ノ	39403	高知市			ふたつの浮津	133	
2746	にゅうじょう	入定	39403	高知市			ふるさとほとろーる(高知)	昭和57年11月23日	
3274	にゅうじょう	入定	39403	高知市		僧が飲食を断ち無念無想の境地から入滅すること「定に入る」。その遺徳をしのび地名となる	土佐地名往来(高知)	平成25年2月4日	「土佐州郡志」「秦史談」66号「南路志」
795	にゅうじょうだ	入定谷	39403	高知市			土佐の地名	9	
1380	ぬかずか	糠塚	39403	高知市			ふたつの浮津	13	
802	ぬのしだ	布師田	39403	高知市			土佐の地名	13	
3317	ぬのしだ	布師田	39403	高知市	布師	国分川に近い森に古社葛木男神社。葛木氏は朝廷に衣服を献納する布師でこの地を開墾地検帳にもネキカ谷・ネキヤシキ。禰宜=神官に給された田が由来。禰宜の原意は「祈ぐ・労ぐ(ネ)」で労う	土佐地名往来(高知)	平成26年2月24日	「布師の里」森沢富寿・栄晴
2887	ねぎたに	根宜谷	39403	高知市	ネギ		土佐地名往来(高知)	平成17年1月13日	「春野風土記」第9集所収(村田精一郎「諸木八幡宮の御神幸」)
1191	ねぎだに	根木谷	39403	高知市			土佐の地名	208	
779	のうさやま	能茶山	39403	高知市			土佐の地名	2	
2820	のりだし	乗出	39403	高知市		家老や藩士がここから馬を走らせたことに由来。本町筋に「御櫓(おやぐら)」「馬廻(うままわし)」地名も	土佐地名往来(高知)	平成15年7月31日	「武市佐市郎集⑤」
815	はいとまえ	隼人前	39403	高知市			土佐の地名	19	
3195	はたくらばし	幡多倉橋	39403	高知市		山内家支藩(中村三万石)の粃米の倉に由来。中村支藩は綱吉の勘気になれ取りつぶしとなる	土佐地名往来(高知)	平成23年5月2日	「土佐州郡志」「土佐好古史談」寺石正路
3241	はちまんどおり	八幡通	39403	高知市		江ノ口川の山田橋から南北に延びる通り(明治33年)の通称。通りの北詰にある高知八幡宮に由来	土佐地名往来(高知)	平成24年4月23日	「高知市史」中巻
1197	はながら	花柄	39403	高知市			土佐の地名	210	
2990	はねばし	芻橋	39403	高知市		梃子の作用で橋脚を支えた橋。1688年に架橋された300年歴史の橋	土佐地名往来(高知)	平成19年2月8日	「南路志」「土佐州郡志」
3243	はねばし	芻橋	39403	高知市		中秦泉寺、前里、愛宕山の境に架かる橋。急流の勢いをそぐ工夫されたハネ(撥ね)に由来	土佐地名往来(高知)	平成24年5月14日	「秦史談」70号
1194	はまだ	浜	39403	高知市			土佐の地名	209	
1187	ばらだに	茨谷	39403	高知市			土佐の地名	206	
2846	はらみ	孕	39403	高知市		浦戸湾をはさんで東西の海原の見える所が「原見」。その後詩人が「孕」の字をあてたことによる。かつては桜の名所	土佐地名往来(高知)	平成16年2月19日	「高知市史 中巻」「皆山集」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2866	はりぎ	針木	39403	高知市	ハリギ	針のある木が多く自生していた、「はり＝見張り」「ぎ＝城」で出城の地。ハンノキを開拓の意に懸けてハリギ	土佐地名往来(高知新)	平成16年7月15日	徳弘勝「高知市の地名」 武田久吉「民俗と植物」
2785	はりはら	針原	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知新)	昭和58年9月21日	
2805	はるの	春野	39403	高知市	ハル	墾る野。野中兼山への敬愛は、兼山を祭る春野神社となり、昭和32年の合併では春野町	土佐地名往来(高知新)	平成15年4月17日	「春野町史」
1186	はるのちよう	春野町	39403	高知市			土佐の地名	206	
2854	ばんしょ	番所	39403	高知市		朝倉に番所のバス停があり、高知城の西の玄関口。国境の道番所(86所)と主要道筋に二里ごとの送り番所	土佐地名往来(高知新)	平成16年4月15日	「高知県歴史事典」
2959	ひいでの	日出野	39403	高知市	悲田院	中世の悲田院(病人貧者の救護施設)の跡。「土佐幽玄考」に悲田院野の訛りとある。	土佐地名往来(高知新)	平成18年6月29日	「土佐幽玄考」 「吾南の名勝」
2794	ひじ	尾立	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知新)	昭和58年10月19日	
3320	ひじ	尾立	39403	高知市	日ノ地	古代、土佐の国造、小立足尼(ひじのすくね)にちなむ?尾立は日当たりの良い土地・日の地	土佐地名往来(高知新)	平成26年3月17日	「南路志」 「おらんく話」
2882	ひじま	比島	39403	高知市		山の形が簸(ひ。箕のこと)に似ている島の転。田辺島・葛島・竹島・洞ヶ島と海の上に「入海ノ十嶋」	土佐地名往来(高知新)	平成16年11月25日	植木孝因「土陽淵岳誌」 沢村武雄「白鳳地震」
2849	ひしゃくだ	杓田	39403	高知市		村の産土神・本宮神社がここに遷座したとき土地の老婆が柄杓に水を汲んで献じたことによる。びしゃだの転?	土佐地名往来(高知新)	平成16年3月11日	竹崎五郎「高知県神社誌」 定本柳田国男集 ²⁰
3310	ひじり	聖	39403	高知市	聖	仁井田、大平山の南の集落。遍路を祀った祠が聖神社の起り。県内にいくつかある	土佐地名往来(高知新)	平成25年12月16日	「長宗我部地検帳」 「大平山」14号・三里史談会/田辺壽男
3254	ひつざん	筆山	39403	高知市		真如寺山、潮江山、要法寺山、筆鋒山など。土佐歴代藩主の墓所。大きな筆と藩主が命名	土佐地名往来(高知新)	平成24年8月6日	「皆山集」8巻 「潮江村誌」
3137	ひょうたんがわ	瓢箪川	39403	高知市		土佐州郡志にも瓢箪川とある。比島を流れる川で二つに分かれ丸いくびれた流路が「瓢箪」	土佐地名往来(高知新)	平成22年2月16日	「土佐州郡志」 「高知市街全図」河田小龍 「旅行必携新撰高知市街地図」
788	ひらだに	平谷	39403	高知市			土佐の地名	6	
2987	ひりまがたに	昼魔ヶ谷	39403	高知市		地検帳に「ヒルマ」とある。潮入地(不干沼・ひぬぬま)が干拓された昔面影を残す地名	土佐地名往来(高知新)	平成19年1月18日	「潮江村誌」 「土佐傳説」27号
3440	ひろおか	弘岡	39403	高知市		高知市春野町の北西部の広い集落。弘岡上ノ村、中ノ村、下ノ村の弘岡は、広い丘陵の地の高知郭中七町のひとつ。弘岡村の郷民移住説?弘岡から流れ着いた夷堂を持参した浦戸説?	土佐地名往来(高知新)	平成28年11月21日	「長宗我部地検帳」 「高知県吾川郡弘岡上ノ村誌」
3346	ひろおかまち	弘岡町	39403	高知市			土佐地名往来(高知新)	平成26年10月6日	「高知市史 中巻」 「山内一豊公 高知開市由来」安芸喜代香

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1374	ふかい	吹井	39403	高知市			ふたつの浮津	9	
1366	ふくい	福井	39403	高知市			ふたつの浮津	2	
3420	ふくい	福井	39403	高知市		州郡志には戸数90戸の福井村。この丘陵地は豊かな地下水量の地、吹く井の里である	土佐地名往来(高知)	平成28年5月30日	「土佐州郡志」 「郷愁野史」
2922	ふけい	吹井	39403	高知市	フケ	武市半平太誕生の地。吹山と号していたが後に瑞山。低湿地の土地柄「ふけ＝深田」？吹き出る水「噴き井」？	土佐地名往来(高知)	平成17年9月22日	「ふたつの浮津から」
3224	ふたせがわばし	二瀬川橋	39403	高知市		円行寺を流れる久万川を下ると、険しい断崖があり川を二度迂回して瀬を渡ることから二瀬川	土佐地名往来(高知)	平成23年12月12日	「円行寺の史蹟と名勝」鎌倉幸次
810	ふないれがわ	舟入川	39403	高知市			土佐の地名	17	
813	ふなと	舟戸	39403	高知市			土佐の地名	19	
1192	ふなと	岐	39403	高知市			土佐の地名	208	
2931	ぶんこのはな	文庫鼻	39403	高知市		「はな」は”海へ突き出たところ。飛脚が落した文庫が由来かも	土佐地名往来(高知)	平成17年12月1日	「土佐州郡志」 「伊野・春野伝説散歩」
2526	へいわ	平和	39403	高知市			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和55年9月30日	
3188	ほうえいちょう	宝永町	39403	高知市		1707(宝永4)年の大地震。復興の新しい堤防は総延長3.6kの「宝永堤」で周辺の集落も宝永町	土佐地名往来(高知)	平成23年3月7日	「高知市史」中巻
3085	ほうしがはな	法師ヶ鼻	39403	高知市	法師・傍示	法師は境界を示す杭などを意味する傍示(ほうじ)の転訛？それとも鹿が法師に化けた説	土佐地名往来(高知)	平成21年1月27日	「ふるさと五台山」 大野康雄「五台山誌」
1539	ほうしぶ	宝司部	39403	高知市			ふたつの浮津	135	
782	ぼうふりだ	棒振田	39403	高知市			土佐の地名	3	
2855	ぼうふりだ	棒振田	39403	高知市		朝倉神社の祭礼で「棒振り」踊りを奉納。その踊を奉納する家に与えられた神田が「棒振り田」	土佐地名往来(高知)	平成16年4月22日	「針木保育園創立五十周年記念誌」 「土佐州郡志」
3005	ぼうろくとうげ	望六峠	39403	高知市	六	望六の六は、東西南北上下の六つの方角をいい、世界・天下を望めるほどすばらしい景色？	土佐地名往来(高知)	平成19年5月22日	「土佐の峠風土記」 「隠語大辞典」
1196	ほけ	甫家	39403	高知市			土佐の地名	210	
3125	ほりこし	堀越	39403	高知市		地検帳にもホリコシ。住吉池を田地にするための水路工事、その掘削の跡が「堀越」由来	土佐地名往来(高知)	平成21年11月17日	「長宗我部地検帳」 「十市村の地名の研究」 「土佐州郡志」
2917	まきやま	槇山	39403	高知市		藩政の馬の牧場「馬牧」三か所(長岡郡外山・土佐郡朝倉・高岡郡浦ノ内)のひとつ。牧山の転訛	土佐地名往来(高知)	平成17年8月18日	平尾道雄選集「土佐武道と 仇討」 岡本真古「事物終始」
3211	まつぶちがわ	松淵川	39403	高知市		本町2丁目に松淵川公園の地名に面影が残る。侍屋敷の松の大木「宮の馬場の松」に由	土佐地名往来(高知)	平成23年8月29日	「皆山集」9巻・詒謀記事
787	まま	万々	39403	高知市			土佐の地名	5	
2812	まま	万々	39403	高知市	ママ	ママは「土が崩れる崖地」「高地の側面」を呼び全国に広く分布する。	土佐地名往来(高知)	平成15年6月5日	甲把瑞益「仁井田郷談」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1370	まんど	万頭	39403	高知市			ふたつの浮津	5	
783	みずくぼ	水久保	39403	高知市			土佐の地名	4	
1376	みずわけ	水分	39403	高知市			ふたつの浮津	10	
2933	みずわけ	水分	39403	高知市		田水の論争から”論の田”と呼ばれた集落。藩主豊房が「争いをやめ水は皆で分けよ」と戒めた。	土佐地名往来(高知)	平成17年12月15日	「皆山集」
1378	みませ	御畳瀬	39403	高知市			ふたつの浮津	12	
2701	みませ	御畳瀬	39403	高知市			ふるさとほとろーる(高知)	昭和57年6月22日	
2883	みませ	御畳瀬	39403	高知市	ミマ	日本で一番小さな村と呼ばれていた。「水間(みま)・狭(せ)」で海の流れの狭まった湾のくびれを意味した	土佐地名往来(高知)	平成16年12月2日	大久保千濤「吾南の名勝」 吉田茂樹「日本古代地名辞典」
778	みやでらやま	宮寺山	39403	高知市			土佐の地名	1	
784	みやのおく	宮の奥	39403	高知市			土佐の地名	4	
806	もずかた	藻洲潟	39403	高知市			土佐の地名	14	
3256	もずかた	藻州潟	39403	高知市	州潟	湾入した浦戸湾に面した集落。潮の干満によって陸地の浮き沈みする海辺。藻の多い洲潟	土佐地名往来(高知)	平成24年8月20日	「吾南の名勝」
3092	もものきばし	百々軒橋	39403	高知市		楊梅(やまももの木)が多数あることに因んで面白い字を充てたという。料理屋は五十軒ほど	土佐地名往来(高知)	平成21年3月17日	「五台山誌」 斎藤唱水「日記」
2930	もりのした	森の下	39403	高知市		元親家臣吉良親実、悲劇の地。主君に過あればこれを諫めるのが臣の務めと切腹。「七人みさき」の怨霊伝承も	土佐地名往来(高知)	平成17年11月24日	「土佐物語」
3497	もりやま	森山	39403	高知市		昔、出雲の森山村から三穂神社(松江市美保関森山)を勧請してきた。はるばる出雲からきた地名。現城山神社	土佐地名往来(高知)	平成30年3月19日	刊本「皆山集」第1巻
1540	もろぎ	諸木	39403	高知市			ふたつの浮津	135	
2878	もろぎ	諸木	39403	高知市		白鳳地震で海に没した黒田郡。深井戸を掘ると大きな木材が出土するそれら諸々の木々が埋まった土地から諸木	土佐地名往来(高知)	平成16年10月28日	橋詰延壽「諸木の記録」 鹿持雅澄「辺海松布」 徳弘勝「ふたつの浮津か」
2837	やえもん	弥右衛門	39403	高知市		一豊に従って京都から来国。二代忠義の許しにより山崎弥右衛門はこの地を開拓。その恩人しのび地名で残る	土佐地名往来(高知)	平成15年12月11日	福島成行「開墾者山崎弥右衛門」
3108	やがしら	屋頭	39403	高知市	ヤガシラ	五台山地区でどこよりも先に家が建ち、集落が形成されたところ。家(屋)の始まり(頭)	土佐地名往来(高知)	平成21年7月14日	「土佐州郡志」 「五台山誌」
797	やかしろ	屋頭	39403	高知市			土佐の地名	11	
3220	やとりばし	矢取橋	39403	高知市	矢立	橋の北側の田んぼが矢取田。矢を立て村境を示す風習が、苗代に立て豊作を祈る習わしとなる	土佐地名往来(高知)	平成23年11月14日	「大津村史」
3206	やなぎまち	柳町	39403	高知市		織細復興から生まれた町。来来軒、華珍園、湖月などの主人が柳並木の街にした	土佐地名往来(高知)	平成23年7月25日	「月刊土佐」46号・和田健一

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
812	やべしま	田部島	39403	高知市			土佐の地名	18	
3261	やよいちょう	弥生町	39403	高知市		この地の開拓者、山崎弥右衛門の「弥」に開拓の感謝を込め、生活の「生」を組み合わせた	土佐地名往来(高知)	平成24年10月1日	「高知市史 中巻」
3143	ゆうひがうら	夕陽ヶ浦	39403	高知市		十津の通称地名。浦戸湾から玉島に沈む夕日は地元自慢の景勝地。埋立てられ変容	土佐地名往来(高知)	平成22年3月30日	「三里地区史跡報告」高知市教育委員会
1522	ゆる	百合	39403	高知市			ふたつの浮津	122	
3189	ゆるぎいわ	ゆるぎ岩	39403	高知市		神田川を遡上し荒倉峠に通じる道のそば、大きな角石で登って足踏みするとゴロゴロ	土佐地名往来(高知)	平成23年3月14日	「高知市史跡めぐり」
2793	よしはら	芳原	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年10月19日	
3187	よしはら	芳原	39403	高知市		一面の湿地にヨシが繁茂、ヨシの原の地名がおこった。吉原が芳原には將軍綱吉に遠慮	土佐地名往来(高知)	平成23年2月28日	「吾川郡芳原村誌」
780	よねた	米田	39403	高知市			土佐の地名	2	
3501	よねもと	米元	39403	高知市		高知市一宮地区にある通称。地検帳には土佐郡一宮庄ヨナ本とある。元親が建てた米倉が由来か。	土佐地名往来(高知)	平成30年4月16日	宮地森城「土佐国古城略史」
809	らいでん	雷電	39403	高知市			土佐の地名	16	
3218	りはびり	リハビリ	39403	高知市		療育福祉センターや若草養護学校子鹿園分校の近くに架かる橋。全国的に珍しい英語地名	土佐地名往来(高知)	平成23年10月31日	「昭和県行政体験誌」所収・若草町物語
1618	りゅうおうざき	竜王岬	39403	高知市			地名メモ		
2762	りょうけ	領家	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年4月27日	
3033	りょうけ	領家	39403	高知市	領家	荘園の領主のことを「領家」と呼んだことに由来。地頭台頭により東半分は地頭分となった	土佐地名往来(高知)	平成19年12月4日	「高知市史」上巻
2728	れんだい	蓮台	39403	高知市			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年9月21日	
3209	わかくさちゅう	若草町	39403	高知市		朝倉の練兵場跡に農和、瑞穂の開拓団が入植。旧練兵場を嫌い、作物の緑に夢を描き改称	土佐地名往来(高知)	平成23年8月15日	「高知新聞」昭和24年3月24日
3476	つちがわ	土川	39406	馬路村		古くは槌峨尾村。昔、山奥から木槌が流れその元をたずねると集落があり「槌川」。槌川勘左衛門の開拓説も	土佐地名往来(高知)	平成29年9月11日	山中巖「馬路村の歴史と伝説」
1153	あしだに	足谷	39501	いの町			土佐の地名	190	
1622	あもう	安望	39501	いの町			地名メモ		
2677	いけのうち	池ノ内	39501	いの町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年3月30日	
3433	いけのうち	池ノ内	39501	いの町		中世以前の地名。池ノ内の意味は大体池田と同じ。池田は大概付近に灌漑用に供する池があ	土佐地名往来(高知)	平成28年9月26日	「土佐史談」60号
1215	いたしこう	致川	39501	いの町			土佐の地名	218	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3173	いなむらやま	稲叢山	39501	いの町・土佐町		山頂の池に稲に似た草が生えていることに由来。安徳天皇の一行58人が隠れ住んだという	土佐地名往来(高 新)	平成22年11月8日	「皆山集」 「日本の地名」松尾俊郎
2884	いの	いの	39501	いの町		かつては、井能・猪野など。榎本の御神体を包んだ「みの」の転訛? 榎本神社・二ノ宮の	土佐地名往来(高 新)	平成16年12月9日	「皆山集」 徳弘勝「土佐の地名」
1524	いぶきやま	伊吹山	39501	いの町		転? 稲の古形イナの転	ふたつの浮津	124	
3521	いわぐろやま	岩黒山	39501	いの町	ぐろ	「此森石之畔(くろ)をつみたるやう成森の 滝也、先年も岩畔之森と申伝候」と由来。滝 は断崖のこと	土佐地名往来(高 新)	平成30年10月29日	「土佐郡本川郷風土記」
1527	うじ	宇治	39501	いの町			ふたつの浮津	127	
1533	うずのたに	渦谷	39501	いの町			ふたつの浮津	130	
3427	うばがもり	うばが森	39501	いの町		高森山(449m)とも言う悲劇の女人、養甫 尼の物語のある山。村人は優婆夷さまと敬愛 して呼ぶ	土佐地名往来(高 新)	平成28年7月25日	「戦国の秘録」岡田明治
1208	えだがわ	枝川	39501	いの町			土佐の地名	215	
2859	えだがわ	枝川	39501	いの町		地検帳には朝倉庄枝郷村とある。朝倉庄に新 田開発などで形成された”新しい村”枝郷が 転訛し枝川に	土佐地名往来(高 新)	平成16年5月27日	岡田明治「いの史談」22号 所収
1212	えてやしき	上茶屋敷	39501	いの町			土佐の地名	217	
3259	えてやしき	上茶屋敷	39501	いの町		古くは兄や姉をエ、弟や妹をオトと言った。 ここに川村権太夫、右近太夫の兄弟の家が由 来	土佐地名往来(高 新)	平成24年9月10日	「ごほく 樹と水物語」
2618	えりもん	越裏門	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月18日	
2927	えりもん	越裏門	39501	いの町		平家の落人が「裏門」を越えて入ってきた? 安徳天皇の行在所の「衛門(営門)」の転訛 か	土佐地名往来(高 新)	平成17年10月27日	「本川村史」
2579	おおうち	大内	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月7日	
1546	おおつえ	大崩	39501	いの町			ふたつの浮津	141	
1170	おおもり	大森	39501	いの町			土佐の地名	198	
2778	おおもり	大森	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月24日	
3318	おとたけ	音竹	39501	いの町		集落の北山に伊野城。城主音竹千代の姓名の 一字を取り「音竹」。麓には悲運の竹姫神社	土佐地名往来(高 新)	平成26年3月3日	「土佐州郡志」 「歴史道散歩」岡田明治
1532	おの	小野	39501	いの町			ふたつの浮津	129	
1531	おびた	帯田	39501	いの町			ふたつの浮津	129	
2540	おもいじ	思地	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年11月18日	
2821	おもいじ	思地	39501	いの町		表地(おもてじ)それが主地(おもじ)から 「思地」に転じた。和田氏の居城・程野城の 表門側を「表地」	土佐地名往来(高 新)	平成15年8月7日	「吾北村史」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1534	かしき	鹿敷	39501	いの町			ふたつの浮津	130	
2819	かしき	鹿敷	39501	いの町	カシキ	炊(かしき)は米を飯にすること。天神社へ食物を供える村の「炊」の転訛。天神社とは神谷に鎮座する式社	土佐地名往来(高 新)	平成15年7月24日	「皆山集」
1168	かずらはら	葛原	39501	いの町			土佐の地名 土佐地名往来(高 新)	197	
2964	かだ	加田	39501	いの町		蚊の多い湿地説もある。”わだ”は湾曲した地形のこと。この川模様から「かだ」に転訛	土佐の地名 土佐地名往来(高 新)	平成18年8月3日	
1180	がにごえ	蟹越	39501	いの町			土佐の地名	202	
1528	かまだ	蒲田	39501	いの町			ふたつの浮津	127	
1620	かまだ	鎌田	39501	いの町			地名メモ		
3415	かまだ	鎌田	39501	いの町	ガマ	地検帳には蒲田。仁淀川西岸の川辺の低湿地にガマが群生。鎌田は兼山ゆかりの鎌田井筋「み」は祭礼などで神に供える酒でその水を汲んだ川が「みわがわ(神河)」。古老は「かみわかわ」と呼ぶ	土佐地名往来(高 新)	平成28年4月25日	「長宗我部地検帳」
2869	かみやかわ	上八川	39501	いの町		亀の甲羅に似た形をした山から亀の森と呼ばれた。瓶ヶ森は山中の甌穴のあることに由来。亀と瓶の二つの由来	土佐地名往来(高 新)	平成16年8月5日	「南路志」 「吾北村史」
3508	かめがもり	瓶ヶ森	39501	いの町			土佐地名往来(高 新)	平成30年6月11日	「土佐郡本川郷風土記」
1213	かもおり	鴨降	39501	いの町			土佐の地名	217	
2895	からごし	唐越	39501	いの町	カラ	上八川川もここあたりで岩が並び水量も減少。積み荷を陸送し舟だけを空っぽで通す。川舟往来の地名	土佐地名往来(高 新)	平成17年3月10日	「吾北村史」 「土佐史談」194号所収・吾北村の水
2983	かんぷうざん	寒風山	39501	いの町		冬季に瀬戸内側から冷たい北西の季節風が吹きつけることに由来。登山者は「かんぷう」	土佐地名往来(高 新)	平成18年12月21日	「新日本山岳誌」
1216	きのせ	木の瀬	39501	いの町			土佐の地名	219	
3170	きのねさんり	木の根三	39501	いの町		吉野川沿いの陰しい道で、土佐と伊予を結ぶ往還道。「古木巨木の根、龍蛇の如く」と	土佐地名往来(高 新)	平成22年10月18日	「本川村史」近・現代編 「土佐郡本川郷風土記」
1545	きよみず	清水	39501	いの町			ふたつの浮津	140	
3183	きよみず	清水	39501	いの町		陰しい断崖は山岳宗教の行場で、観音像を携えた山伏が白頭山清水寺をここに建立した	土佐地名往来(高 新)	平成23年1月31日	「吾北村史」
2673	くわせ	桑瀬	39501	いの町			ふるさとばとろーる(高 新)	昭和57年3月9日	
3291	くわせ	桑瀬	39501	いの町		伊予西条藩との国境に境目番所が置かれた。集落を救った平家の落人桑瀬久助にちなむ	土佐地名往来(高 新)	平成25年6月24日	「本川の民話」
1526	こうのたに	神谷	39501	いの町			ふたつの浮津	126	
2779	こさるた	小申田	39501	いの町			ふるさとばとろーる(高 新)	昭和58年8月31日	
1218	ごしょうらく	后生楽	39501	いの町			土佐の地名	220	
1623	ごしょうらく	后生楽	39501	いの町			地名メモ		
1530	こつま	小妻	39501	いの町			ふたつの浮津	129	
1154	ごみ	五味	39501	いの町			土佐の地名	191	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3518	こもちごんげ んやま	子持権現 山	39501	いの町	権現	「其形如人負子」と土佐州郡志。土佐側では人を背負ったような形状の山。伊予側は子持岩の蔵王権現を祭る由	土佐地名往来(高 新)	平成30年10月1日	「土佐郡本川郷風土記」 「愛媛県百科大辞典」
1175	こんごう	金剛	39501	いの町			土佐の地名	200	
2942	しょうがせ	勝賀瀬	39501	いの町		ヤブショウガに因んだ地。仁淀川往来の要所、上八川、清水への山越えの道、仁淀川の舟着き場	土佐地名往来(高 新)	平成18年2月23日	岡田明治「仁淀川誌」
2928	しょうやばし	庄屋橋	39501	いの町		伊野は東西に庄屋が任命。波川氏ゆかりの家が代々の西の庄屋で給地を差配した。そのたもとの橋の意味	土佐地名往来(高 新)	平成17年11月10日	「伊野町の文化財と旧跡」 「伊野町史」
2923	しらいだに	白猪谷	39501	いの町	シレイ	寺川を流れる谷。もともとは「しれいだに」と呼ばれていた。飢饉救荒食糧の彼岸花「シレイ」の咲く谷	土佐地名往来(高 新)	平成17年9月29日	「本川村史」 「高知県方言辞典」
1173	しらさとうげ	シラサ峠	39501	いの町			土佐の地名	199	
3515	しらさとうげ	シラサ峠	39501	いの町		愛媛西条と本川を結ぶ交流公益の峠道。白砂糖が固まった岩石(シラザ)由来説。笹の枯れた状態”白笹”説も	土佐地名往来(高 新)	平成30年8月27日	「愛媛県百科大辞典」 山崎清憲「土佐の峠風土記」
3186	じんがもり	陣ヶ森	39501	いの町		古くは上八川郷を支配していた和田美濃守の山城(田野々城)。合戦で敗れたが陣が「陣ヶ森」	土佐地名往来(高 新)	平成23年2月21日	「土佐州郡志」
1214	しんべち	新別	39501	いの町			土佐の地名	218	
2592	すきじ	漣地	39501	いの町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和56年5月19日	
3297	すきじ	漣地	39501	いの町		文字どおり和紙にまつわる地名。若宮と八坂の2柱、思地で出会い、好地で契りの小話	土佐地名往来(高 新)	平成25年8月12日	「長宗我部地検帳」 「ごほく 樹と水物語」 「高知新聞」1981年5月19日
3308	すながもりば し	砂ヶ森橋	39501	いの町		宇治川は高低差が小さく早稲川合流点の川浚えし、土砂を毎年盛っていった小山を「砂ガモリ」	土佐地名往来(高 新)	平成25年12月2日	「歴史道散歩」岡田明治
3070	すべっとう	須別当	39501	いの町	別当	地検帳に「次別当」とある。荘園の役人「別当」に由来?地元は「地が滑る”すべっとう”」	土佐地名往来(高 新)	平成20年9月30日	「長宗我部地検帳」
1211	せいだ	清田	39501	いの町			土佐の地名	217	
3359	だいのう	大納	39501	いの町		農民から斗代を受け取る役割を代納といい、庄屋の森沢家が担った。同家はダイノと別称	土佐地名往来(高 新)	平成27年2月9日	「長宗我部地検帳」 「八田のこども」森秀樹
1210	たかだる	高樽	39501	いの町			土佐の地名	216	
2770	たかやぶ	高藪	39501	いの町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和58年6月1日	
1162	たけのかわ	竹ノ川	39501	いの町			土佐の地名	194	
2995	つちばし	土橋	39501	いの町	土橋	土橋は木の橋桁に土をかぶせた橋で、増水と火災に備えた。	土佐地名往来(高 新)	平成19年3月15日	上田篤「橋と日本人」 「土佐国群書類従⑦」所収・稲毛実「三災録」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3513	てとり	手取	39501	いの町		川舟に悪さをするエンコウの手を鉈で切り落とすたとりが多発。これを供養し、この地を手取と呼んだと由来	土佐地名往来(高 新)	平成30年8月13日	「吾北村史」改訂版
1207	てどり	手取	39501	いの町			土佐の地名	215	
1166	てばこやま	手箱山	39501	いの町			土佐の地名	196	
1167	てらがわ	寺川	39501	いの町			土佐の地名	196	
2727	てらがわ	寺川	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年9月21日	
3528	てんのう	天王	39501	いの町		天王団地の発足とともに付けられた町名。昔この地に牛頭天王が祭られ天王山・天王谷とゆかりの小字がある	土佐地名往来(高 新)	平成30年12月17日	森秀樹「八田のことども」 「土佐伝説」第16号
2503	といやざか	問屋坂	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年7月15日	
3251	といやざか	問屋坂	39501	いの町		仁淀川橋のたもとに紙問屋などの商家が軒を連ねていたことに由来。伊野町第一の繁華街	土佐地名往来(高 新)	平成24年7月9日	「歴史道散歩」岡田明治 「地方史を歩く」横川末吉
1217	とうのの	遠野々	39501	いの町			土佐の地名	219	
3171	とおだ	十田	39501	いの町		遠く分け入った山あいにはひらかれた田地集落、遠田が転訛したもの。藤田源左衛門の名	土佐地名往来(高 新)	平成22年10月25日	「日本全河川ルーツ大辞 典」 「吾北村史」
1525	とくだに	徳谷	39501	いの町		字説も	ふたつの浮津	125	
2817	とちゅう	戸中	39501	いの町	トチウ	飢饉に備え備荒食として栃の植樹した。栃生(とちう)の転訛が由来。	土佐地名往来(高 新)	平成15年7月10日	「本川の民話」 宮本常一「塩の道」講談社 学術文庫
1177	なかおい	中追	39501	いの町			土佐の地名	201	
3080	なかおい	中追	39501	いの町	ウイ	山合いの一区画が「ウイ」という古語。中追七谷と言われ険しい山合いの中に開かれた田地	土佐地名往来(高 新)	平成20年12月9日	「土佐の地名」 「総合日本民俗語彙」
2729	ながびき	長引	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年9月28日	
1156	ながまた	長又	39501	いの町			土佐の地名	192	
1176	ながらび	長原比	39501	いの町			土佐の地名	201	
1179	なみまつ	並松	39501	いの町			土佐の地名	202	
2559	なるやま	成山	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月27日	
3073	ねごろさこ	根来佐古	39501	いの町	根来	根来は、全国に残る地名で峰と峰との鞍部になったところ。サコも同じ意で谷あいの窪地	土佐地名往来(高 新)	平成20年10月21日	池田末則「地名風土記」 「高知県方言辞典」
1171	ねぶた	根藤	39501	いの町			土佐の地名	198	
3394	のぼりがわ	登川	39501	いの町		安徳帝の落ち延び先の地名の一つ。平家平から稲叢山を目指すとき吉野川を遡ったので登川	土佐地名往来(高 新)	平成27年11月9日	「本川の民話」 「大川村史」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3422	ばあがもり	バーガ森	39501	いの町		「姥が森」の転訛か。バーガ森には竹姫神社が祀られ別府寺もあった。優婆塞、優婆夷の「うば」か	土佐地名往来(高 新)	平成28年6月13日	「広報いの」2014年6月号
1621	はかわ	波川	39501	いの町			地名メモ		
3275	はかわ	波川	39501	いの町		古くは高岡郡波川村。かつて高岡郡にあった吾川郷が転じて波川になった。	土佐地名往来(高 新)	平成25年2月18日	「土佐国群書類従」8巻・土 佐幽考
1529	はた	八田	39501	いの町			ふたつの浮津	128	
2632	はた	八田	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年10月6日	
2979	はた	八田	39501	いの町	ハタ	隣の弘岡村の端から「はた(端)＝八田」。渡来氏族「秦氏」にちなむ説も	土佐地名往来(高 新)	平成18年11月16日	「高知県史 考古編」
3063	はちまきやま	鉢巻山	39501	いの町	ハチマキ	天王ニュータウンの南方の山。昔は藩主の狩場。山の八合目をハチマキと呼んでいた。	土佐地名往来(高 新)	平成20年7月22日	森秀樹「八田のこども」 「土佐の地名」
1159	はのは	刃ノ刃	39501	いの町			土佐の地名	193	
2897	ひきち	引地	39501	いの町	ヒキチ	庄屋など村役人扶助のため公役を免除されていた土地。庄屋らの住まいのある集落。木を挽く挽地？低地？	土佐地名往来(高 新)	平成17年3月24日	平尾道雄「土佐藩農業経済 史」
1209	ひびはら	日比原	39501	いの町			土佐の地名	216	
2615	ひびはら	日比原	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月11日	
1206	ふるえ	古江	39501	いの町			土佐の地名	215	
3366	ぼうぞう	坊蔵	39501	いの町		修験山伏、坊蔵の終焉の地で祠があり小さな石像が安置。台座に「坊蔵院」、山伏に由来	土佐地名往来(高 新)	平成27年3月30日	「長宗我部地検帳」 「吾北村史 改訂版」
1174	ほとけがさき	仏ヶ崎	39501	いの町			土佐の地名	200	
3268	ほとけどう	仏堂	39501	いの町		片岡村の武将片岡光綱が毛利と戦い討死、遺骸を埋葬した地が仏堂。悲運の武将をしのぶ地名	土佐地名往来(高 新)	平成24年12月3日	「吾北村史 改訂版」
3402	ほんがわ	本川	39501	いの町	モト	県境にある本川郷24村。本川は吉野川の流れの本が由来で、吉野川の別称。中世はモトカワ	土佐地名往来(高 新)	平成28年1月18日	「土佐郡本川郷風土記」 「大日本地名辞書」 「吾北村史」
1178	みつち	三つ内	39501	いの町			土佐の地名	201	
2718	やしろ	八代	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年8月17日	
3369	やなぎの	柳野	39501	いの町	柳	楮と同じく和紙の原料である三桮を、葉の形が類似のため「柳」と呼ぶ。ヤナギの生産地	土佐地名往来(高 新)	平成27年4月20日	「広報いの」2013年5月号
2666	やなのせ	柳瀬	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年2月9日	
1172	ゆきや	雪屋	39501	いの町			土佐の地名	199	
1155	よこの	横野	39501	いの町			土佐の地名	191	
1169	よさこいとうげ	予佐越峠	39501	いの町			土佐の地名	197	
2507	わきのやま	脇ノ山	39501	いの町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年7月29日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3453	あいのう	相能	39502	仁淀川町	アイ	仁淀川町の国道33号沿線の集落。古くは間野尾、ツクチ藪と引地の間の出張った所(尾)の意味	土佐地名往来(高知)	平成29年3月13日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「吾川村史 下巻」
2952	あがわ	吾川	39502	仁淀川町	アガワ	郡名に面影。仁淀川の「三輪河」その後「輪河」、「吾河」に転じた川名。吾は阿で大の義	土佐地名往来(高知)	平成18年5月11日	山本笹樹「十市村古事考」
1625	あめがもり	雨ヶ森	39502	仁淀川町			地名メモ		
1181	いけがわ	池川	39502	仁淀川町			土佐の地名	203	
3043	いしがみとうげ	石神峠	39502	仁淀川町		外部からの災いが侵入するのを防ぎ、行路の安全を守るのが峠や境界に祀る石神。各地に在る	土佐地名往来(高知)	平成20年2月19日	「土佐州郡志」 「長宗我部地検帳の神々」
1205	いっきんばた	一斤畑	39502	仁淀川町			土佐の地名	214	
1203	いりぶね	入船	39502	仁淀川町			土佐の地名	213	
2750	いわと	岩戸	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年12月7日	
2802	うりうの	瓜生野	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和58年12月28日	
1204	おお	大尾	39502	仁淀川町			土佐の地名	214	
3447	おおの	大野	39502	仁淀川町	大野・越智族	仁淀川町の大野椿山川をさかのぼった集落。嘉吉年間(1441~)に伊予大州の大野九郎次の開拓が由来	土佐地名往来(高知)	平成29年1月23日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「高知県吾川郡池川町誌 二」
3527	おおみやり	大見槍	39502	仁淀川町		地検帳には別枝名の大宮利村。州郡志には大見鍵村とある。平家の落人の見張り・見遣り場。視界の開けた集落	土佐地名往来(高知)	平成30年12月10日	「仁淀村史」 追補
1184	おとおち	程落	39502	仁淀川町			土佐の地名	205	
2725	おりあい	織合	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年9月14日	
1279	かけみず	掛水	39502	仁淀川町			土佐の地名	249	
2999	かじやしき	梶屋敷	39502	仁淀川町		和紙の梶でなく鍛冶職人でもない。奥合神社の神屋敷がなまったもの。開拓の守り神	土佐地名往来(高知)	平成19年4月10日	「仁淀村史」 掛水一水「仁淀村の歴史発見」
1278	かつら	桂	39502	仁淀川町			土佐の地名	249	
3475	かつら	桂	39502	仁淀川町		地検帳にもカツラ。八面(やつら)という妖怪を退治した里でヤツラが転訛。桂の老樹があった由来もある	土佐地名往来(高知)	平成29年9月4日	「広報によど川・集落見聞録③」2009年11月号
1282	かんないやま	神内山	39502	仁淀川町			土佐の地名	250	
3454	ぎんざばし	銀三橋	39502	仁淀川町		もとの吊り橋は西森銀三郎さんが私費を投じて架橋。通称”ぎんさん”に感謝の名づけ。大工の草分け篤志家	土佐地名往来(高知)	平成29年3月27日	「仁淀村史 追補」 「土佐へ出稼ぎに来た長州大工に関する研究」坂本正
1535	けこや	警固家	39502	仁淀川町			ふたつの浮津	131	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
3004	けごや	家古屋	39502	仁淀川町	警固(けご)	地検帳にもケコヤ。警護の見張り小屋「警固屋」か。全国各地にある地名	土佐地名往来(高知)	平成19年5月15日	「ふたつの浮津から」
1185	こくおやま	国王山	39502	仁淀川町			土佐の地名	205	
1283	こごえ	小越	39502	仁淀川町			土佐の地名	251	
3216	こじょうざん	古城山	39502	仁淀川町		仁淀川町長者の中心部の通称。中世片岡氏の山城で大イチョウのある十王堂の裏山	土佐地名往来(高知)	平成23年10月17日	「仁淀村長者郷土誌」 難波 誠一
2562	さかもと	坂本	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和56年2月3日	
1202	さくら	桜	39502	仁淀川町			土佐の地名	213	
2496	さくら	桜	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和55年6月17日	
2856	さくら	桜	39502	仁淀川町		ひょうたん桜の地。大藪集落を改称して「桜」。「さ」は稲の霊。「くら」は居ますところで「神の訪れ」	土佐地名往来(高知)	平成16年5月6日	「吾川村史」 桜井満「花の民俗学」
3027	さるはし	猿橋	39502	仁淀川町		猿が川を渡りだしたのを見て架けられた橋。南路志にもでてくる危橋	土佐地名往来(高知)	平成19年10月23日	「長宗我部地検帳」 「南路志」
1285	さわたり	沢渡	39502	仁淀川町			土佐の地名	251	
3457	そうづ	宗津	39502	仁淀川町	ソウズ	仁淀川町吾川の集落。惣津、僧津とも。湧水の豊富な集落が由来。“そうづ”は清水、早水、草津などと書き、湧き水の出る場所	土佐地名往来(高知)	平成29年4月17日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「吾川村史 下巻」
1183	たかざら	高皿	39502	仁淀川町			土佐の地名	204	
2658	たちばな	橘	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和57年1月12日	
3517	たちばな	橘	39502	仁淀川町	はな	橘は、立端(たちばな)で高く立つ山の端(はな)という意で佳名の橘を当てたと「吾川村史(下巻)」	土佐地名往来(高知)	平成30年9月10日	「吾川村史」 下巻
3467	たにやま	谷山	39502	仁淀川町		地勢が陰しく多くの谷間による地形説。遠い昔、干害ととき周りの村々に種子を分け与えた「種山」説もある	土佐地名往来(高知)	平成29年7月3日	仁淀村史(追補版)
1631	ちょうじゃ	長者	39502	仁淀川町			地名メモ		
2839	ちょうじゃ	長者	39502	仁淀川町		阿波からやってきた富豪「長者様」にちなんで。“打つ・たたく”の「ちょうず」を意味する崩壊地名	土佐地名往来(高知)	平成15年12月25日	「仁淀川村史」 小川豊「崩壊地名」
1536	つばやま	椿山	39502	仁淀川町			ふたつの浮津	132	
1624	つばやま	椿山	39502	仁淀川町			地名メモ		
3470	つばやま	椿山	39502	仁淀川町		安徳天皇に忠節した武者。“つわものやま”が転訛。その後、都(仁淀川町仁淀)、横倉山(越知町)移る	土佐地名往来(高知)	平成29年7月31日	伊藤猛吉「吾川の古都」 1907年
2611	ツボイ	ツボイ	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろーる(高知)	昭和56年7月28日	
3230	てらむら	寺村	39502	仁淀川町		昔は下大崎と、成福寺がここに移され新しく寺村の地名が起った。大崎玄蕃の菩提寺	土佐地名往来(高知)	平成24年2月6日	「高知県土佐国吾川郡大崎村誌」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2783	とたて	戸立	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年9月14日	
1563	とりがたやま	鳥形山	39502	仁淀川町			ふたつの浮津	153	
1201	なかつやま	中津山	39502	仁淀川町			土佐の地名	212	
1281	なかのみや	中宮	39502	仁淀川町			土佐の地名	250	
1200	なのかわ	名野川	39502	仁淀川町			土佐の地名	212	
2949	なのかわ	名野川	39502	仁淀川町		菜の花の咲く川辺?池川川と仁淀川のあいだ の”中の川”の転訛?	土佐地名往来(高 新)	平成18年4月13日	「土佐の地名」 「吾川村史」下巻
1544	ひきち	引地	39502	仁淀川町			ふたつの浮津	139	
2601	ひきち	引地	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月23日	
1284	ひきわり	引割	39502	仁淀川町			土佐の地名	251	
3039	ふたごの	二子野	39502	仁淀川町		畝を間にした二つの小野を「二子野」の由 来。集落は中山神社のある畝の北と南に在る 別符山五名の一つ「別枝名」。寛保郷村帳で は別枝を「別符山枝郷」、別途に開拓された 枝郷	土佐地名往来(高 新)	平成20年1月22日	「吾川村史」下巻 「事物終始」
3227	べっし	別枝	39502	仁淀川町		仁淀川中流域の村落総称が別府山。国司から 開発許可を受けた中世の「特許開墾地」。別 称を別符。全国に分布	土佐地名往来(高 新)	平成24年1月16日	「故山帖」大野勇
2898	べふ	別府	39502	仁淀川町	ベフ		土佐地名往来(高 新)	平成17年3月31日	
1280	ほこいし	矛石	39502	仁淀川町			土佐の地名	249	
2544	まつお	松尾	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年12月2日	
3056	みずのとう	水ノ峠	39502	仁淀川町		土予往還の峠道。大師堂近くの岩間の湧水に 由来。中島與一郎の悲劇の地でもある	土佐地名往来(高 新)	平成20年6月3日	「土佐の峠風土記」
2669	みやがなろ	宮ヶ坪	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年2月23日	
1564	みやこ	都	39502	仁淀川町			ふたつの浮津	153	
2635	みやこ	都	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年10月20日	
2681	みょうといわ	明戸岩	39502	仁淀川町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年4月13日	
3465	みょうといわ	明戸岩	39502	仁淀川町		明戸岩神社の土台石の二つの巨岩を”夫婦” に。集落の対岸につ対の人面顔も。この岩場 クライミング100選	土佐地名往来(高 新)	平成29年6月19日	「長宗我部地検帳」 「高知新聞」1982年4月13日 「角川日本地名大辞典㉔」
3226	もり	森	39502	仁淀川町		仁淀川流域の山間部は別符山五名、森はその 小村。集落の中央、小高い山が鷹森で「森」	土佐地名往来(高 新)	平成23年12月26日	「仁淀村史」追補版
1182	やすい	安居	39502	仁淀川町			土佐の地名	204	
3520	よりあい	寄合	39502	仁淀川町		池川、名野川、用居など、たびたび帰属が変 わってきたなかで、一つに寄り合いまとまっ て生まれた集落	土佐地名往来(高 新)	平成30年10月22日	「高知県吾川郡池川町誌」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2985	りょうごくばし	両国橋	39502	仁淀川町		国道33号線、土佐と伊予にまたがる橋(大正15年3月架橋)。同じ名前は全国にある。	土佐地名往来(高知)	平成19年1月4日	山頭火の日記
1240	あけのとう	上ノ峠	39601	越知町			土佐の地名	231	
3030	いかなづ	筏津	39601	越知町		仁淀川中流左岸に位置し、材木を水運する筏を組む場所。津は水運の基地として港を意味する	土佐地名往来(高知)	平成19年11月13日	「土佐州郡志」「高知県内の河川関連地名」
1242	いちがたに	市ヶ谷	39601	越知町			土佐の地名	232	
1238	いまなり	今成	39601	越知町			土佐の地名	230	
2505	いまなり	今成	39601	越知町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和55年7月22日	
2831	いまなり	今成	39601	越知町	今	「今」はもともと「新たに」という意味。今成は川の蛇行地点に形成された河岸段丘。新たにできた土地の意	土佐地名往来(高知)	平成15年10月30日	桂井和雄「おらんく話」
3079	おおだるのたき	大樽の滝	39601	越知町	樽	滝の水量の豊かさから「大樽」と呼ばれるようになった。タルはたるみ=垂水の略語	土佐地名往来(高知)	平成20年12月2日	「越知町史」
1236	おち	越知	39601	越知町			土佐の地名	228	
2888	おち	越知	39601	越知町	オチ	越智(愛媛)、隠地(島根)と遠く隔たったところ「彼方・遠=おち」。横倉の尾根のふもと「尾方=おち」転	土佐地名往来(高知)	平成17年1月20日	徳弘勝「土佐の地名」
1550	おながわ	女川	39601	越知町			ふたつの浮津	143	
3060	かたおか	片岡	39601	越知町		地域を支配した豪族、片岡氏にちなんだ地名。それ以前は徳光と呼ばれた。	土佐地名往来(高知)	平成20年7月1日	「吾川郡明治村誌」邑楽町広報誌「おうら」所収・細谷清吉「町の年代」「わがふるさとの記」岡田光長
3182	きぐら	木倉	39601	越知町		仁淀川の水運による木材を越知で上げられた。佐川の深尾氏(佐川様)の木材倉庫に由来	土佐地名往来(高知)	平成23年1月24日	
1551	きりみがわ	桐見川	39601	越知町			ふたつの浮津	144	
1630	きりみがわ	桐見川	39601	越知町			地名メモ		
3390	きりみがわ	桐見川	39601	越知町		地検帳には霧深川村。木々が生い茂り霧深い川が流れる由来で旧名霧深川。桐見川に改称	土佐地名往来(高知)	平成27年10月5日	「長宗我部地検帳」「土佐州郡志」「越知町史」
2714	くすがみ	楠神	39601	越知町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年8月3日	
2863	くすがみ	楠神	39601	越知町		日本人古来の樹木信仰。松・杉・榊・ナギ・楠など常盤木の緑の生命力は神木として神の依代となった	土佐地名往来(高知)	平成16年6月24日	「土佐史談」203号所収
1243	くらら	倉良	39601	越知町			土佐の地名	233	
3450	くろもりやま	黒森山	39601	越知町		仁淀川町と越知町の境の山。松山街道が山腹を往来。黒々とした山は、安徳天皇の「白王の森」「黒王の森」伝説	土佐地名往来(高知)	平成29年2月20日	「たぶの木の下で」山本英三
2775	くわやぶ	桑藪	39601	越知町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年8月17日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3448	ございしょや ま	五在所山	39601	越知町	在所	越知町北方の標高976mの山。山上の大山祇神は五つの在所(村)、鎌井田・片岡・十田・新別・下八川が崇敬	土佐地名往来(高 新)	平成29年1月30日	「土佐州郡志」 「越知町史」
3185	さのくに	佐之国	39601	越知町		南北朝戦乱で敗走した島次郎佐為は「島」の地に、弟三郎佐国(すけくに)はここに土着	土佐地名往来(高 新)	平成23年2月14日	「わがふるさとの記」岡田 光長
2578	しばう	柴尾	39601	越知町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月31日	
1245	ずしら	頭白	39601	越知町			土佐の地名	233	
3267	せいすけ	清助	39601	越知町		地検帳にはセイスケ、清助神社が鎮座する。タヌキ退治の獵師清助にちなむ神社が地名にも	土佐地名往来(高 新)	平成24年11月26日	「長宗我部地検帳」 「土佐の神仏たんね歩記」 市原麟一郎
1239	そでの	袖野	39601	越知町			土佐の地名	231	
1241	とくろやま	野老山	39601	越知町			土佐の地名	232	
2647	ぶんとく	文徳	39601	越知町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年12月1日	
1244	やまむろ	山室	39601	越知町			土佐の地名	233	
1552	ゆうぎょうじ	遊行寺	39601	越知町			ふたつの浮津	144	
3300	ゆうぎょうじ	遊行寺	39601	越知町		別府厚孝が遊行坊として修行、館を遊行寺としたと越知町史。引用の八幡荘伝承記は偽書?	土佐地名往来(高 新)	平成25年9月2日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「越知町史」
1237	よこばたけ	横畠	39601	越知町			土佐の地名	229	
1223	あかつちとうげ	赤土峠	39602	佐川町			土佐の地名	223	
1234	うまきの	墨木野	39602	佐川町			土佐の地名	227	
3025	かいせきやま	介石山	39602	佐川町		貝類や植物の化石を産出する山「貝石山」。佐川は地質の宝庫で、この山頂は白亜紀の地層	土佐地名往来(高 新)	平成19年10月9日	「佐川町誌」
1549	かりば	狩場	39602	佐川町			ふたつの浮津	143	
2948	きりゅうぜき	霧生関	39602	佐川町		土佐州郡志に「切塞坂峠」。中世乱世、木々を切り敵の侵入防御に由来。霧が多いではない	土佐地名往来(高 新)	平成18年4月6日	「土佐州郡志」 「温知録」
3181	きんのうばし	勤王橋	39602	佐川町		田中光顕の屋敷跡(田中公園)への道筋にある橋。大正4年、田中公園の整備時に架けられ	土佐地名往来(高 新)	平成23年1月17日	「佐川町誌」
3356	くちきとうげ	朽木峠	39602	佐川町		佐川と津野の境界となる龍馬脱藩の峠道。山深く朽ちた枯木が林立したさまから	土佐地名往来(高 新)	平成27年1月19日	「土佐州郡志」
3272	くろいわ	黒岩	39602	佐川町		豪族片岡氏により黒岩城が築かれ栄えた。黒紫色に光る神々しい成長伝説の巨岩が由来	土佐地名往来(高 新)	平成25年1月21日	「佐川郷史」 「土佐州郡志」
1231	こうぎょう	高行	39602	佐川町			土佐の地名	226	
1228	ころびいし	コロビ石	39602	佐川町			土佐の地名	225	
2829	さかわ	佐川	39602	佐川町	逆川	川幅が狭い狭川、川が流れ下る坂川、集落の境になる境川、川が普通と逆に流れる逆川。佐川は北に流れる逆川	土佐地名往来(高 新)	平成15年10月16日	明神健太郎「佐川郷史」 「佐川町史」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2840	さるまるとうげ	猿丸峠	39602	佐川町		古今和歌集に「猿丸太夫」。伝説の歌人と道鏡とする説も。斗賀野へ越える道に猿丸太夫の墓とされる石塔も	土佐地名往来(高知)	平成16年1月8日	「猿丸山考」土佐史談95号
1230	つづら	九十九谷	39602	佐川町			土佐の地名	226	
1226	つのぐち	角口	39602	佐川町			土佐の地名	224	
2589	てらの	寺野	39602	佐川町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和56年5月12日	
1235	どうのの	堂野々	39602	佐川町			土佐の地名	228	
2954	とがの	斗賀野	39602	佐川町	トガ	柵の群生する土地や兎・鹿など獲物の狩場などの説。「斗賀野合戦」は自由民権運動の舞台	土佐地名往来(高知)	平成18年5月25日	明神健太郎「佐川郷史」 「佐川子ども風土記」
3331	にのへ	二の部	39602	佐川町		城郭は本丸、二ノ丸、一ノ堀、二ノ堀というが、二ノ部となった。中世の斗賀野城跡	土佐地名往来(高知)	平成26年6月9日	「佐川町史 上巻」
1233	にゅうじやま	入寺山	39602	佐川町			土佐の地名	227	
3249	にゅうじやま	入寺山	39602	佐川町		地検帳にはニウシ山。斗賀野領主の菩提寺の入口？真言宗の僧侶の階級・入寺の住職の寺？	土佐地名往来(高知)	平成24年6月25日	「長宗我部地検帳」 「高知新聞」昭和58年1月26日 「土佐の地名」
2766	ばしょがうち	場所ヶ内	39602	佐川町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和58年5月11日	
1225	はなばた	花畑	39602	佐川町			土佐の地名	224	
3021	ふじみちょう	富士見町	39602	佐川町	富士	東方に望む荷稻の「小富士山」が地名の由来。	土佐地名往来(高知)	平成19年9月11日	「富士見町創始記念碑」 「佐川町誌」
1229	ふすぼり	フスボリ	39602	佐川町			土佐の地名	225	
1232	ふるはた	古畑	39602	佐川町			土佐の地名	227	
1227	ふるようち	古用地	39602	佐川町			土佐の地名	225	
2912	ぶんきゅうばし	文久橋	39602	佐川町		JR佐川駅のすぐ西、春日川に架かる橋。幕末文久年間に架した死刑になった一人の罪人を供養する鎮魂の橋	土佐地名往来(高知)	平成17年7月14日	川添亥平「温故録」
2532	みね	峰	39602	佐川町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和55年10月21日	
1224	むらさきえん	紫園	39602	佐川町			土佐の地名	223	
2697	むらさきえん	紫園	39602	佐川町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和57年6月8日	
2553	むろはら	室原	39602	佐川町			ふるさとばとろーる(高知)	昭和56年1月6日	
3072	あかはげばし	赤元橋	39603	日高村		エンコウにまつわる地名。エンコウが「憂いぞウイゾ」と悲鳴。字が宇井、小字も赤ハゲとなった	土佐地名往来(高知)	平成20年10月14日	「日高・土佐伝説散歩」
1286	いもせ	妹背	39603	日高村			土佐の地名	252	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2517	いもせ	妹背	39603	日高村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和55年9月2日	
1290	いわめじ	岩目地	39603	日高村			土佐の地名	255	
3263	いわめじ	岩目地	39603	日高村		修験と伝説の大滝山の頂に巨岩、奇岩が幾つもある。大きな岩の見える土地が転じたもの	土佐地名往来(高新)	平成24年10月29日	
1292	えじり	江尻	39603	日高村			土佐の地名	256	
3347	おおたきやま	大滝山	39603	日高村		山頂近くの高い断崖に由来。タキは滝でなく嶽、崖の意味。修験道の山、山姥伝説も	土佐地名往来(高新)	平成26年10月20日	「土佐史蹟巡遊」寺石正路
3525	おおはな	大花	39603	日高村	はな	地検帳に高岡郡能津村の枝村大花村とある中世以前の地名。断崖に近い急傾斜地の上、大きな台地の端(はな)	土佐地名往来(高新)	平成30年11月26日	「いの史談」第51号
3002	おかばな	岡端	39603	日高村	岡花	地検帳には岡ハナ。土讃線の駅名が岡鼻で芳名「岡花」に改名陳情。端が鼻になり花となる	土佐地名往来(高新)	平成19年5月1日	日高民話の会「日高物語」
3158	おきな	沖名	39603	日高村	オキ	中世以前の地名で古くは置奈。「沖」は田畑の開けた遠いところ、「名」は名主のナ	土佐地名往来(高新)	平成22年7月13日	「土佐史談」60号
2738	かこ	鹿兒	39603	日高村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年10月26日	
1289	くさか	日下	39603	日高村			土佐の地名	254	
2871	くさか	日下	39603	日高村		かつては「久佐賀」「草香」。日下という皇族の御名代地。日下はくさかの枕詞で、日の昇るところの意味	土佐地名往来(高新)	平成16年9月2日	岡本健児「ものがたり考古学」 谷川健一「民俗・地名そして日本」
1629	くず	九頭	39603	日高村			地名メモ		
2626	さるだ	猿田	39603	日高村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年9月15日	
1565	しぶかわ	渋川	39603	日高村			ふたつの浮津	154	
3155	すじかいばし	筋違橋	39603	日高村		国道33号線が川をまたぐところに架かる橋。由来は、橋と日下川が斜めに交差することによる	土佐地名往来(高新)	平成22年6月22日	
1291	たふく	田福	39603	日高村			土佐の地名	255	
2929	といしだに	砥石谷	39603	日高村	トイシ	砥石は農林業の必需品。砥石として使用できる石材のある谷は各地にその地名が残る	土佐地名往来(高新)	平成17年11月17日	坂本正夫「高知県内の河川関連地名」
1287	とかじ	戸梶	39603	日高村			土佐の地名	253	
2573	ながばた	長畑	39603	日高村			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年3月17日	
2947	なごや	名越屋	39603	日高村	ナゴヤ	仁淀川の静かな流れに由来。「なごや(和)」は万葉集にも見える古い言葉	土佐地名往来(高新)	平成18年3月30日	
3413	にしきやま	錦山	39603	日高村		日高の中心地から妹背峠を越えた一帯の紅葉に染まる山を錦に見立てた通称地名	土佐地名往来(高新)	平成28年4月11日	「土佐の史蹟名勝」
1288	のつご	野津子	39603	日高村			土佐の地名	253	
920	あまざき	天崎	39604	土佐市			土佐の地名	71	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2646	あまざき	天崎	39604	土佐市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月24日	
3087						天草を追放されたキリシタン大矢野家俊は、 戸波に住み、矢野に変え開墾に務めた	土佐地名往来(高 新)	平成21年2月10日	石川潤郎「土佐とキリシタ ン」 松田毅一「キリシタン研究 四国編」
875	いえとし	家俊	39604	土佐市			土佐の地名	50	
891	いしづちのもり	石土の森	39604	土佐市			土佐の地名	58	
2744	いずま	出間	39604	土佐市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年11月16日	
3105	いのしり	井尻	39604	土佐市		浦ノ内湾の東端の「入り江の端」がえのしり →いのしり(井尻)に転訛?天然の良港	土佐地名往来(高 新)	平成21年6月23日	「角川日本地名大辞典③」
913	いぼのおか	芋岡	39604	土佐市			土佐の地名	68	
904	いまがたに	今が谷	39604	土佐市			土佐の地名	64	
900	うさ	宇佐	39604	土佐市			土佐の地名	62	
1626	うさ	宇佐	39604	土佐市			地名メモ		
3184	うさ	宇佐	39604	土佐市		高岡、吾川、三井と並ぶ高岡郡四郷の一つ海 部郷を宇佐八幡宮の勧請を機に宇佐村と改称	土佐地名往来(高 新)	平成23年2月7日	「宇佐町誌」
887	えらぬま	江良沼	39604	土佐市			土佐の地名	55	
881	おおつぼ	大坪	39604	土佐市			土佐の地名	53	
3292	おぎざき	萩岬	39604	土佐市		皆山集に「扇か崎といへとか萩か崎也」。岬 が扇の形。宝永地震で沈下した萩千軒の伝説 「津野元実すでに戦死せり、援軍おそかり し」と主君の死を嘆いた地「遅着(おそつ き)」	土佐地名往来(高 新)	平成25年7月1日	「皆山集」8巻 「宇佐町誌」
3011	おそづき	遅着	39604	土佐市			土佐地名往来(高 新)	平成19年7月3日	「戸波村誌」 「多ノ郷村史と口碑伝説」
2956	おとまる	音丸	39604	土佐市		石上乙麻呂の配流地諸説のひとつ、戸波の小 さな集落。”おとまろ”の読みから音丸説。	土佐地名往来(高 新)	平成18年6月8日	榊原忠彦「石上乙麻呂配流 地考覚え書き」 岡林清水「土佐風土歷程」
888	おとまろ	音丸	39604	土佐市			土佐の地名	56	
882	かわくぼ	川久保	39604	土佐市			土佐の地名	53	
874	かわらけやし	土器屋敷	39604	土佐市			土佐の地名	50	
3459	かんばら	甲原	39604	土佐市	蒲原	甲原船戸遺跡がある。泥地に生える蒲が多 かったことから蒲原、その転訛。遠い昔は低 湿地が水田の適地。	土佐地名往来(高 新)	平成29年5月1日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「土佐市史」
902	きたはら	北原	39604	土佐市			土佐の地名	63	
3523	きょうま	京間	39604	土佐市		河川の間に挟まれた狭い土地「狭間」に当て 字をしたもので、地検帳では京満、キヨウ マ、ケウマと推測	土佐地名往来(高 新)	平成30年11月12日	「探訪」第7号 「京間遺跡」発掘調査報告 書
873	きよたき	清滝	39604	土佐市			土佐の地名	49	
893	くにひろ	国広	39604	土佐市			土佐の地名	58	
898	こうだに	神谷	39604	土佐市			土佐の地名	61	
917	さばい	五月	39604	土佐市			土佐の地名	70	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1418	さるばみ	猿喰	39604	土佐市			ふたつの浮津	42	
883	さんじょ	算所	39604	土佐市			土佐の地名	54	
890	しおじ	四方寺	39604	土佐市			土佐の地名	57	
2570	しおじ	四方寺	39604	土佐市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年3月3日	
919	じとうみょう	地頭名	39604	土佐市			土佐の地名	71	
3198	じとうみょう	地頭名	39604	土佐市	地頭	地頭が所有した名田。泣く児と地頭には勝た れぬと言われる中世の昔を物語る地名 州郡志に高岡郡波介村四方寺。蓮池城を居城 とする有力武将大平氏の菩提寺が四方寺	土佐地名往来(高 新) 土佐地名往来(高 新)	平成23年5月23日	「長宗我部地検帳」 「土佐の地名」 「土佐州郡志」 「波介村四方寺部落誌」
3287	しほじ	四方寺	39604	土佐市			土佐の地名	平成25年5月27日	
892	しみず	清水	39604	土佐市			土佐の地名	58	
907	しょうぶぜき	菖蒲関	39604	土佐市			土佐の地名	65	
1421	しょうわ	昭和	39604	土佐市			ふたつの浮津	45	
908	しよせい	初生	39604	土佐市			土佐の地名	66	
914	しらつち	白土	39604	土佐市			土佐の地名	68	
1423	しんざいけ	新在家	39604	土佐市			ふたつの浮津	46	
876	すもうば	角力場	39604	土佐市			土佐の地名	51	
880	すりぎ	摺木	39604	土佐市			土佐の地名	53	
922	たいし	太子	39604	土佐市			土佐の地名	72	
896	だいば	台場	39604	土佐市			土佐の地名	60	
903	たかいし	高石	39604	土佐市			土佐の地名	63	
2850	たかおか	高岡	39604	土佐市		承和8年(841)吾川郡から分かれた土佐七郡 の一つで高岡郷を中心とする郡の意味。丘陵 を持つ平地集落が高岡	土佐地名往来(高 新) 土佐地名往来(高 新)	平成16年3月18日	「土佐市史」 寺石正路「土佐傳説全集」
3500	たかどの	高殿	39604	土佐市	井	製鉄用の炉の設備された大きな建物を「たた ら」と呼び、「高殿」と書いたもの。	土佐の地名	平成30年4月9日	「土佐市史」
884	だんぎしょ	談議所	39604	土佐市			土佐の地名	54	
915	ちゃぼく	茶木	39604	土佐市			土佐の地名	69	
3405	つかじ	塚地	39604	土佐市		古くは津賀地。集落にある猿喰古墳が由来。 蓋石がいまも残り穴神様として祀る。	土佐地名往来(高 新)	平成28年2月8日	「武市佐市郎集⑥」
877	つじ	辻	39604	土佐市			土佐の地名	51	
1417	つじ	辻	39604	土佐市			ふたつの浮津	41	
885	できじ	出来地	39604	土佐市			土佐の地名	55	
3264	ときど	時戸	39604	土佐市		本城防衛のため城外の要所に造られた城が外 城、その門が外城門で「トキド」と呼ばれた	土佐地名往来(高 新)	平成24年11月5日	
872	とさし	土佐市	39604	土佐市			土佐の地名	49	
3273	なかじま	中島	39604	土佐市		かつては仁淀川の流れに浮かぶ中州。野中兼 山の治水事業の堤防により用石などと陸続き に	土佐地名往来(高 新)	平成25年1月28日	「野中兼山」小関豊吉・辻 重忠
879	なだ	灘	39604	土佐市			土佐の地名	52	
895	にい	新居	39604	土佐市			土佐の地名	60	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3202	にい	新居	39604	土佐市	ミイ	高岡郡の高岡、吾川、海部、三井(みい)の四つの郷。ミイは御井で水をくむ場所の尊称	土佐地名往来(高新)	平成23年6月20日	「皆山集」9巻
911	にしのみや	西ノ宮	39604	土佐市			土佐の地名	67	
2864	によどがわ	仁淀川	39604	土佐市		「土左国風土記」逸文には「みわがわ＝神河」。贄は天皇献上の魚、殿は納舎で贄殿川。淀川に似の似淀川説も	土佐地名往来(高新)	平成16年7月1日	「土左国風土記」逸文
2604	のだ	野田	39604	土佐市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和56年6月30日	
889	はげ	波介	39604	土佐市			土佐の地名	57	
3442	はげ	波介	39604	土佐市		地検帳に波介郷。四万十帯の山なみに沿った集落。山が崩れるのを「はける」という語に由来	土佐地名往来(高新)	平成28年12月5日	「長宗我部地検帳」 「探訪」創刊号・仁淀川歴史会 「あらんく話」
905	はざこ	間古	39604	土佐市			土佐の地名	64	
910	はすいけ	蓮池	39604	土佐市			土佐の地名	66	
2515	はすいけ	蓮池	39604	土佐市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和55年8月26日	
3154	はすいけ	蓮池	39604	土佐市		中世以前の地名で古くは蓮池庄、蓮池郷。由来は、文字どおり植物のハスらしい	土佐地名往来(高新)	平成22年6月15日	「土佐名家系譜」寺石正路
3258	はせより	長谷寄	39604	土佐市		高岡の商店街の東詰。領主の布告を掲示する札場に人が馳せ寄ってきた「走寄」がハセヨリに	土佐地名往来(高新)	平成24年9月3日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」 「高知新聞」平成6年9月23
3278	はつだ	初田	39604	土佐市	ハツ	高岡郡用石村の小村初田村。ハツは土地の端又は境を意味する。用石村の西端「果つる田」	土佐地名往来(高新)	平成25年3月11日	「長宗我部地検帳」 「土佐史談」61号 「土佐市史」
886	はやしぐち	林口	39604	土佐市			土佐の地名	55	
901	ひたてやま	火立山	39604	土佐市			土佐の地名	63	
918	ひとつやなぎ	一ツ柳	39604	土佐市			土佐の地名	71	
1422	ふくだ	福田	39604	土佐市			ふたつの浮津	46	
916	ぶちわ	淵岩	39604	土佐市			土佐の地名	69	
878	ふなこし	船越	39604	土佐市			土佐の地名	52	
2858	ふるいち	古市	39604	土佐市		高知県各地の残り中世の面影を伝える。蓮池附近にあったが高岡に新しい市町がつくられた。中世以前が古市	土佐地名往来(高新)	平成16年5月20日	平凡社「高知県の地名」 「土佐州郡志」
1420	ふろのたに	風呂の谷	39604	土佐市			ふたつの浮津	44	
894	へわ	戸波	39604	土佐市			土佐の地名	59	
897	ほぶち	甫淵	39604	土佐市			土佐の地名	61	
1419	まちや	町屋	39604	土佐市			ふたつの浮津	43	
912	まるがはな	丸が鼻	39604	土佐市			土佐の地名	67	
909	まんがんじ	万願寺	39604	土佐市			土佐の地名	66	
899	みょうがたに	明ヶ谷	39604	土佐市			土佐の地名	62	
2700	やつじ	谷地	39604	土佐市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年6月15日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1416	やはた	八幡	39604	土佐市			ふたつの浮津	40	
3212	やまのかみ	山ノ神	39604	土佐市		山を支配する神で、明治以後は大山祇神と書くが、庶民は「山ノ神」と呼ぶ土俗神	土佐地名往来(高 新)	平成23年9月5日	「高知県歴史事典」
921	ようずい	用水	39604	土佐市			土佐の地名	72	
906	よこて	横手	39604	土佐市			土佐の地名	65	
2687	りゅう	竜	39604	土佐市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年5月4日	
1653	あいのごう	吾井郷	39605	須崎市			西南の地名	46	
3257	あいのごう	吾井郷	39605	須崎市	アユ	愛知がアユチから転じたように「アユ」は湿地の意。桑田山と多ノ郷のアイ(間)の村説も?	土佐地名往来(高 新)	平成24年8月27日	「土佐史談」60号 「土佐の地名」
1667	あそう	吾桑	39605	須崎市			西南の地名	48	
924	あわ	安和	39605	須崎市			土佐の地名	73	
1668	あわ	安和	39605	須崎市			西南の地名	49	
2872	あわ	安和	39605	須崎市		安和は角谷坂と焼坂との間の集落。はかなきのたとえの泡?須崎と久礼の「あわい」(境界)の転訛?	土佐地名往来(高 新)	平成16年9月9日	土居正幾「幡多紀行」
1427	いけのうら	池の浦	39605	須崎市			ふたつの浮津	49	
2774	いずみ	出見	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年8月10日	
2951	いずみ	出見	39605	須崎市		花山天皇の都を偲ぶ伝説。ただ土佐下向の史料はないことから、水の湧く泉では(須崎市史)	土佐地名往来(高 新)	平成18年4月27日	「皆山集」 「須崎市史」
1722	うすき	薄木	39605	須崎市			西南の地名	57	
931	うらのうち	浦ノ内	39605	須崎市			土佐の地名	76	
3509	うらのうち	浦ノ内	39605	須崎市		曲折しながら長く延びた大きな浦(入り江)を内側に抱え込んだ地形。浦ノ内の入り江に古社鳴無神社がある	土佐地名往来(高 新)	平成30年6月25日	吉田東吾「大日本地名辞書」
943	うらば	浦場	39605	須崎市			土佐の地名	82	
1750	おおかどまめ じり	大角豆尻	39605	須崎市			西南の地名	59	
1781	おおしか	大鹿	39605	須崎市			西南の地名	63	
3204	おおしま	大島	39605	須崎市	アオ	古代、葬地・葬所を意味する言葉「アオ・アワ」。全国各地の青島、淡島の地名は葬送の島	土佐地名往来(高 新)	平成23年7月4日	「日本の地名」筒井功
947	おおのごう	多ノ郷	39605	須崎市			土佐の地名	84	
1783	おおのごう	多ノ郷	39605	須崎市			西南の地名	63	
933	おおほし	大星	39605	須崎市			土佐の地名	77	
3106	おおほし	大星	39605	須崎市		地検帳にも大ホシ。製塩の盛んな地で潮の干満の「大干し」に由来。星には関係ない	土佐地名往来(高 新)	平成21年6月30日	「長宗我部地検帳」 「土佐の地名」 「須崎市史」
1425	おおま	大間	39605	須崎市			ふたつの浮津	48	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1775	おおま	大間	39605	須崎市			西南の地名	62	
952	おかば	岡場	39605	須崎市			土佐の地名	87	
2605	おかもと	岡本	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年7月7日	
2991	おそごえ	遅越	39605	須崎市	遅越	遅い時刻に越えた峠道(桂井)。「オソ」はう と(空)に通じる言葉から切り通しの峠道(松 尾)	土佐地名往来(高 新)	平成19年2月15日	「桂井和雄土佐民俗選集 ②」 松尾俊郎「地名の知識100」
1795	おちあい	落合	39605	須崎市			西南の地名	64	
2667	おちあい	落合	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年2月16日	
937	おとなし	鳴無	39605	須崎市			土佐の地名	79	
1628	おとなし	鳴無	39605	須崎市			地名メモ		
2824	おとなし	鳴無	39605	須崎市		土佐でも有数の古社「鳴無神社」。土佐神社 から神幸の「お船遊び」の神事がある。静か にお参りした説も	土佐地名往来(高 新)	平成15年9月11日	「韓川筆話」(皆山集所 収)
953	おどの	尾殿	39605	須崎市			土佐の地名	87	
927	かどや	門谷	39605	須崎市			土佐の地名	74	
3236	かどや	角谷	39605	須崎市		半山に本拠地を置く津野氏の家臣、門屋隼人 佐が田畠を開き集落の名となった。難所カド ヤ坂	土佐地名往来(高 新)	平成24年3月19日	「おもかげ 須崎市古跡伝 説めぐり」須崎市史談会
1844	かみぶん	上分	39605	四万十市			西南の地名	71	
1877	きりはた	切畑	39605	須崎市			西南の地名	78	
2675	きりはた	切畑	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年3月16日	
950	くいしのはな	九石鼻	39605	須崎市			土佐の地名	86	
1886	くしのうら	串ノ浦	39605	須崎市			西南の地名	78	
2497	くしのうら	串ノ浦	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年6月24日	
951	くつう	九通	39605	須崎市			土佐の地名	86	
1627	くつう	久通	39605	須崎市			地名メモ		
1896	くつう	久通	39605	須崎市			西南の地名	79	
2686	くつう	久通	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年4月27日	
926	くびなが	首長	39605	須崎市			土佐の地名	74	
1429	くびなが	首長	39605	須崎市			ふたつの浮津	50	
1901	くびなが	首永	39605	須崎市			西南の地名	80	
1903	くぼうず	久保宇津	39605	須崎市			西南の地名	80	
1930	こうきのはな	コウ木の	39605	須崎市			西南の地名	83	
935	こうそ	高祖	39605	須崎市			土佐の地名	78	
1935	こうそ	高祖	39605	須崎市			西南の地名	84	
1933	こうだ	神田	39605	須崎市			西南の地名	84	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2712	こうだ	神田	39605	須崎市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年7月27日	
939	こんがうち	今川内	39605	須崎市			土佐の地名	81	
2719	さかうち	坂内	39605	須崎市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年8月24日	
1989	さくらがわ	桜川	39605	須崎市			西南の地名	91	
3469	さくらがわ	桜川	39605	須崎市		11世紀ごろまでは『津野川』。川沿いに多くの山桜が咲いていたことから桜川となる。州郡志に「桜ノ瀬川」	土佐地名往来(高新)	平成29年7月24日	高知新聞「ふるさとを流れて⑭」1993年4月13日付
1428	しのべだけ	長間竹	39605	須崎市			ふたつの浮津	49	
2028	しもぶん	下分	39605	四万十市			西南の地名	101	
948	じょうがうら	城が浦	39605	須崎市			土佐の地名	85	
2048	しょうのおか	正ノ岡	39605	須崎市			西南の地名	103	
941	しらすぎ	白鷺	39605	須崎市			土佐の地名	82	
2059	しんじょうがわ	新莊川	39605	須崎市			西南の地名	105	
2994	しんじょうが わ	新莊川	39605	須崎市 四万十市	新庄	康和地震で千町の農地が沈海。津野本庄の西に津野新莊を開墾。新しい莊園を流れる川が由来	土佐地名往来(高新)	平成19年3月8日	前田和男「土佐國編年史料控」
2067	すさき	須崎	39605	須崎市			西南の地名	106	
3349	すさき	須崎	39605	須崎市		新莊川の流砂が堆積し沿岸洲が発達。砂州状の土地がスサキ。池ノ内湾は潟湖で残る	土佐地名往来(高新)	平成26年11月10日	「須崎市史」
923	すさきし	須崎市	39605	須崎市			土佐の地名	73	
2071	すのうら	須ノ浦	39605	須崎市			西南の地名	107	
2545	すのうら	須ノ浦	39605	須崎市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年12月9日	
945	すま	須磨	39605	須崎市			土佐の地名	83	
2074	すま	須磨	39605	須崎市			西南の地名	107	
2075	するき	駿岐	39605	須崎市			西南の地名	107	
955	せい	勢井	39605	須崎市			土佐の地名	88	
2076	せい	勢井	39605	須崎市			西南の地名	107	
2081	せんぶつ	千仏	39605	須崎市			西南の地名	108	
928	そうだやま	桑田山	39605	須崎市			土佐の地名	75	
2757	そうだやま	桑田山	39605	須崎市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年3月2日	
954	そとばのき	ソトバの木	39605	須崎市			土佐の地名	88	
2092	たいのかわ	鯛ノ川	39605	須崎市			西南の地名	109	
3104	ただすまち	糺町	39605	須崎市		京都下鴨神社の杜の別名は糺の森。古城山に鎮座する糺鴨神社に由来。地検帳にも糺宮とある	土佐地名往来(高新)	平成21年6月16日	「須崎市史」 「長宗我部地検帳」
2130	たまさだ	為貞	39605	須崎市			西南の地名	113	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2132	たる	樽	39605	須崎市			西南の地名	113	
925	たるぐち	樽口	39605	須崎市			土佐の地名	74	
2142	ちぢかわ	千々川	39605	須崎市			西南の地名	114	
1426	つちざき	土崎	39605	須崎市			ふたつの浮津	48	
929	つちざきごめ	土崎御免	39605	須崎市			土佐の地名	75	
2206	とつかの	時包	39605	須崎市			西南の地名	122	
2801	とどろ	轟	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年12月28日	
2242	ながたけ	長竹	39605	須崎市			西南の地名	127	
2245	なこうじ	中氏	39605	須崎市			西南の地名	128	
946	なるごうだに	鳴郷谷	39605	須崎市			土佐の地名	84	
2640	にしう	西生	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月3日	
3321	にしう	西生	39605	須崎市		桑田山の集落。西宇次郎兵衛、半兵衛の兄弟 が山あいの地を開拓。その名字から	土佐地名往来(高 新)	平成26年3月24日	「長宗我部地検帳」 「おもかげ 須崎市古跡伝 説めぐり」
938	にゅうど	入戸	39605	須崎市			土佐の地名	80	
2916	のみ	野見	39605	須崎市		「野見千軒」白鳳地震に沈んだ黒田郡を一見 する集落。野が見える意で歴史的にみて海辺 でなく山の上の遠望	土佐地名往来(高 新)	平成17年8月11日	「皆山集」 「土佐の地名」
3144	はいがた	灰方	39605	須崎市		土佐市宇佐との境。灰方古墳群があり海部郷 (あまべごう)の豪族埋葬地？ハエと渦の地形 地名	土佐地名往来(高 新)	平成22年4月6日	「和名類聚抄」 「土佐の地名」
2285	はげ	波介	39605	須崎市			西南の地名	132	
942	はさ	狭	39605	須崎市			土佐の地名	82	
949	はまだ	浜田	39605	須崎市			土佐の地名	85	
2315	ひそ	桧生	39605	須崎市			西南の地名	136	
2796	ひそ	檜生	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年10月26日	
2586	ひろおか	弘岡	39605	須崎市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月28日	
2355	ふなこし	船越	39605	須崎市			西南の地名	141	
2358	ふりよう	夫領	39605	須崎市			西南の地名	142	
936	べざいてんじ	弁財天島	39605	須崎市			土佐の地名	78	
930	へじま	戸島	39605	須崎市			土佐の地名	76	
934	へわうら	戸波浦	39605	須崎市			土佐の地名	78	
2364	へわうら	戸波浦	39605	須崎市			西南の地名	143	
3387	ほういんざか	法院坂	39605	須崎市		盗賊に襲われた大善寺の高僧道貞、非業の死 を悲しみ法院坂と呼びはじめた。旧正月15日 縁日	土佐地名往来(高 新)	平成27年9月7日	「須崎史談」34号
2368	ほういんやま	法院山	39605	須崎市			西南の地名	143	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書		
3050	ほとけざか	仏坂	39605	須崎市		弘法大師が彫ったと云われる仏石があり、それに由来する地名。今は光明峯寺の境内に鎮座	土佐地名往来(高新)	平成20年4月8日	「土佐州郡志」		
932	ほりきり	堀切	39605	須崎市			土佐の地名			77	
1424	ほりこし	堀越	39605	須崎市			ふたつの浮津			47	
3008	みたらいがわ	御手洗川	39605	須崎市	御手洗	御手洗（みたらい）は神仏を拝むとき参拝者が手を清め口をすすぐ場所のこと。	土佐地名往来(高新)	平成19年6月12日			
2421	みやざき	宮崎	39605	須崎市			西南の地名			148	
944	めのくそ	目のクソ	39605	須崎市			土佐の地名			83	
2843	やきざか	焼坂	39605	須崎市		須崎から久礼へ越える急坂は中村街道の指折りの難所「土佐無双ノ大阪」。「土佐州郡志」に二つの伝承	土佐地名往来(高新)	平成16年1月29日	近藤喜博「四国遍路研究」 「土佐州郡志」		
2453	やながれ	八流	39605	須崎市	西南の地名		151				
940	よこなみ	横波	39605	須崎市	土佐の地名		81				
2474	よりかね	依包	39605	須崎市	西南の地名		155				
3229	よりかね	依包	39605	須崎市		須崎市上分の集落で、地検帳に依包名とある。地区民は勤勉で金が寄り集まる？	土佐地名往来(高新)	平成24年1月30日	「長宗我部地検帳」 「かわうその里」上分小学校記念誌		
2480	りょうち	領知	39605	須崎市	西南の地名		156				
1655	あかぎ	赤木	39606	津野町	西南の地名		47				
1270	あじや	畦屋	39606	津野町	土佐の地名		244				
1665	あぜや	畔屋	39606	津野町	西南の地名		48				
1273	あながみやま	穴神山	39606	津野町	土佐の地名		246				
1688	いしがみなる	石神成	39606	津野町	西南の地名		51				
1686	いしざし	石指	39606	津野町	西南の地名		51				
1713	いらずやま	不入山	39606	津野町	西南の地名		55				
1271	いわつち	岩土	39606	津野町	土佐の地名		245				
1726	うづがやぶ	宇津ガ藪	39606	津野町	西南の地名		57				
1277	うまぜき	馬関	39606	津野町	土佐の地名		248				
1728	うまぜき	馬関	39606	津野町	西南の地名		57				
1756	おおこび	大古尾	39606	津野町	西南の地名		60				
2535	おおにし	大西	39606	津野町			ふるさとぼとろーる(高新)			昭和55年11月4日	
1789	おさいえ	王佐家	39606	津野町	西南の地名		63				
1797	おとごろういせ	音五郎遺	39606	津野町	西南の地名		64				
1823	かくしょうもり	鶴松森	39606	津野町	西南の地名		66				
1560	かじあし	梶足	39606	津野町	ふたつの浮津		150				
1826	かじはらいしはらの	梶原石原野	39606	津野町			西南の地名			67	
1841	かば	樺	39606	津野町 宿毛市						西南の地名	70

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2699	かばのかわ	樺ノ川	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年6月15日	
1856	からすだがわ	烏出川	39606	津野町			西南の地名	73	
1868	きそうがわ	木桑川	39606	津野町			西南の地名	76	
3314	きたがわ	北川	39606	津野町		津野町の山深い集落。安芸から来住し新しい 領主となった北川源兵衛を地域の祖とし地名 に	土佐地名往来(高 新)	平成26年2月3日	「我等の郷土」
1891	くちきとうげ	朽木峠	39606	津野町			西南の地名	79	
1894	くちめがいち	口目ガ市	39606	津野町			西南の地名	79	
1274	くわがいち	桑ヶ市	39606	津野町			土佐の地名	246	
2649	くわがいち	桑ヶ市	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年12月8日	
3354	くわがいち	桑ヶ市	39606	津野町		開拓に際して、農具の鋤を桑の木に掛けた 「桑掛けの地」。開拓地や集落を垣内(かい ち)？	土佐地名往来(高 新)	平成26年12月22日	「土佐州郡志」
1558	こみ	古味	39606	津野町			ふたつの浮津	149	
1276	しょうさく	正作	39606	津野町			土佐の地名	248	
2051	しょうじゃく	正尺	39606	津野町			西南の地名	103	
2062	しんでん	新田	39606	津野町			西南の地名	106	
3477	しんでん	新田	39606	津野町		地検帳に記された田地を本田、その後の開発 地を新田。旧東津野村の中心地とした立役者 は山中喜馬太さん	土佐地名往来(高 新)	平成29年9月25日	「東津野村史」
2060	しんどう	新土居	39606	津野町			西南の地名	105	
2065	すぎのかわ	杉の川	39606	津野町			西南の地名	106	
1559	ちからいし	力石	39606	津野町			ふたつの浮津	149	
1633	ちからいし	力石	39606	津野町			地名メモ		
2138	ちからいし	力石	39606	津野町			西南の地名	114	
2566	ちからいし	力石	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年2月17日	
3068	ちからいし	力石	39606	津野町		石を神の依代とする信仰に始まったのが力 石。その後、若者たちが力比べをする石と なった。	土佐地名往来(高 新)	平成20年9月9日	「土佐州郡志」 「東津野村史」
3288	つのさき	津野	39606	津野町		津野庄、津野山郷、津野町など村名を受け継 ぐ。来国した津野氏が讃岐津野郷に因む 昭和26年、食糧難を打開するため国有林47町 歩の地に6家族30人が入植。開墾地も今では 植林に	土佐地名往来(高 新)	平成25年6月3日	「津野中平氏由来」中平秀 則
3395	つのやまかい たく	津野山開 拓	39606	津野町			土佐地名往来(高 新)	平成27年11月16日	「開拓記念碑」(石碑)
2175	てらがわ	寺川	39606	津野町			西南の地名	119	
1556	てんぐこうげん	天狗高原	39606	津野町			ふたつの浮津	148	
2179	てんぐこうげん	天狗高原	39606	津野町			西南の地名	119	
2187	どいのこえ	土居越	39606	津野町			西南の地名	120	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2782	とこなべ	床鍋	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年9月7日	
2209	とべつとうげ	当別峠	39606	津野町			西南の地名	122	
2240	ながさわのた	長沢の滝	39606	津野町			西南の地名	127	
2629	にしくろかわ	西黒川	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年9月29日	
1557	のこえ	野越	39606	津野町			ふたつの浮津	148	
2291	はせがわ	長谷川	39606	津野町			西南の地名	133	
1275	はやま	葉山	39606	津野町			土佐の地名	247	
2900	はやま	葉山	39606	津野町		津野山須崎之間の「半山」。平地から遠くにある奥山・深山にたいして近いところの山が端山(麓山)か	土佐地名往来(高 新)	平成17年4月14日	徳弘勝「土佐の地名」
2307	ばんじょう	番城	39606	津野町			西南の地名	135	
3333	ばんじょう	番城	39606	津野町		津野北川地区の集落。山王山に北川城の出城(番城)があったことに由来。領国境目の防備用	土佐地名往来(高 新)	平成26年6月23日	「長宗我部地検帳」 「東津野村史 下巻」 「国史大辞典」11巻
1269	ひがしつものむ	東津野村	39606	津野町			土佐の地名	244	
2320	ひのうら	日ノ浦	39606	津野町			西南の地名	136	
1632	ひめのの	姫野々	39606	津野町			地名メモ		
3262	ひめのの	姫野々	39606	津野町		土佐州郡志に荒れ野に姫の化け物が出没という怪奇伝承?。津野氏の姫君の出家ゆかり地名?	土佐地名往来(高 新)	平成24年10月22日	「土佐州郡志」 「葉山村史」
2348	ふせがさか	布施ヶ坂	39606	津野町			西南の地名	140	
2901	ふせがざか	布施ヶ坂	39606	津野町		峠は道祖神(塞神)を祭り災厄をもたらす悪霊を防ぐ境でもある。この「防ぎ坂」の意図か。	土佐地名往来(高 新)	平成17年4月21日	「東津野村史」 中越穂太郎「津野山異談続編」
1562	ふたつや	二ツ家	39606	津野町			ふたつの浮津	152	
2345	ふだば	札場	39606	津野町			西南の地名	139	
2739	ふだば	札場	39606	津野町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年11月2日	
2807	ふなと	船戸	39606	津野町	フナト	舟戸神(岐神)は村の外から災厄が入るのを防ぎ、村を出る人の安全を守る神。道祖神も同じ	土佐地名往来(高 新)	平成15年5月1日	「桂井和雄土佐民俗選集 ②」 「古事記伝②」岩波文庫
2356	ふるみや	旧宮	39606	津野町			西南の地名	141	
3306	ほいがわ	保井川	39606	津野町		この地の開拓者、越知面から来た万法五郎の法号「保井宗川居士」から保井川の地名	土佐地名往来(高 新)	平成25年11月18日	「長宗我部地検帳」 「土佐州郡志」
2386	まいかわ	舞川	39606	津野町			西南の地名	145	
1561	みまのかわ	三間ノ川	39606	津野町			ふたつの浮津	151	
2424	みやこ	都	39606	※ママ			西南の地名	148	
2436	もものき	桃ノ木	39606	津野町			西南の地名	150	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3244	ようちょう	羊腸トンネル	39606	津野町		布施ヶ坂は左右にくねった急坂。その陰しさを形容したのが「羊腸の道」で1845年の紀行文	土佐地名往来(高 新)	平成24年5月21日	「東津野村史」上巻
1272	よしうの	芳生野	39606	津野町			土佐の地名	245	
1256	あからい	赤良井	39607	梶原町			土佐の地名	238	
1250	あまつつみや	雨包山	39607	梶原町			土佐の地名	236	
1553	いいぼ	飯母	39607	梶原町			ふたつの浮津	145	
1678	いいぼ	飯母	39607	梶原町			西南の地名	50	
3069	いいぼ	飯母	39607	梶原町		古くは飯穂、イ井木などとも。種粳にまつわる伝承色々あるが稲もよく育つ豊かな土地柄	土佐地名往来(高 新)	平成20年9月16日	「広報ゆすはら」 s 42. 7月号 中越穂太郎「津野山異談
1251	いそう	井桑	39607	梶原町			土佐の地名	236	
1692	いそのかわ	磯ノ川	39607	四万十市			西南の地名	52	
1693	いたどりがわ	虎杖川	39607	梶原町			西南の地名	52	
1260	うるしがの	漆ヶ野	39607	梶原町			土佐の地名	240	
1751	おおかやとう	大茅峠	39607	梶原町			西南の地名	60	
1770	おおぐし	大串	39607	梶原町			西南の地名	62	
3322	おおごえ	大越	39607	梶原町		梶原街道筋。北川領主の家来、富岡氏が離縁され伊予に帰る姫を大声で呼び返した処	土佐地名往来(高 新)	平成26年3月31日	「長宗我部地検帳」 「東津野村史」下巻」
1262	おおぞうだに	大蔵谷	39607	梶原町			土佐の地名	241	
1772	おおたど	大田戸	39607	梶原町			西南の地名	62	
3234	おおのがはら	大野ヶ原	39607	梶原町		久万の豪族大野氏と長宗我部の激戦地。氏の戦勝を記念して命名？大きな野原？	土佐地名往来(高 新)	平成24年3月5日	「愛媛県百科事典」 「愛媛県史」古代Ⅱ・中世
1248	おちめん	越知面	39607	梶原町			土佐の地名	235	
1794	おちめん	越知面	39607	梶原町			西南の地名	64	
3067	おちめん	越知面	39607	梶原町		中世にこの地を領した越智氏にちなんだ地名。遠い世、梶原を開いたのは伊予人(司馬遼太郎)	土佐地名往来(高 新)	平成20年9月2日	「梶原町史」 司馬遼太郎「街道をゆく」 ②梶原街道
1253	おもだに	本も谷	39607	梶原町			土佐の地名	237	
3075	おやがぶち	親ヶ淵	39607	梶原町		梶原川のこの流域で一番の淵という意味。奇岩や巨岩が並ぶ神秘的とも言える深い淵	土佐地名往来(高 新)	平成20年11月4日	「津野山異談 続々編」
1825	かざはや	風早	39607	梶原町			西南の地名	66	
1828	かしはらがわ	柏原川	39607	梶原町			西南の地名	67	
2594	かみおりわたり	上折渡	39607	梶原町			ふるさとばとろーる(高 新)	昭和56年5月26日	
2748	かみにしのかわ	上西の川	39607	梶原町			ふるさとばとろーる(高 新)	昭和57年11月30日	
1254	かみのやま	神の山	39607	梶原町			土佐の地名	237	
1261	かわくりや	川厨	39607	梶原町			土佐の地名	240	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3482	かわにしじ	川西路	39607	梼原町		梼原川の大洪水で町組を分断、川の西から「川西路」。その通称地名も1984年嶋之宮等13の小字を統合し川西路	土佐地名往来(高 新)	平成29年11月6日	梼原町史2 梼原町教委「ふるさとの素 顔」
1860	かんざいこ	神在居	39607	梼原町			西南の地名	73	
1890	くじゅうくまがり とうげ	九十九曲 峠	39607	梼原町			西南の地名	79	
1893	くちあば	口栗	39607	梼原町			西南の地名	79	
1932	こうかいの	高階野	39607	梼原町			西南の地名	84	
1926	こうだんだば	高段駄場	39607	梼原町			西南の地名	83	
1950	ごだんじょう	五段城	39607	梼原町			西南の地名	86	
1247	こちむき	東向	39607	梼原町			土佐の地名	234	
1951	こちむき	東向	39607	梼原町			西南の地名	86	
1959	ごべっとう	后別当	39607	梼原町			西南の地名	86	
1996	さわたり	佐渡	39607	梼原町			西南の地名	93	
2022	しまがわ	四万川	39607	梼原町			西南の地名	96	
3071	しまがわ	四万川	39607	梼原町		州郡志には「川流四万許 湊合之处 故為村名」と由来。シマガヤの自生地説や嶋がうね説も	土佐地名往来(高 新)	平成20年10月7日	「土佐州郡志」 「津野山異談 続々編」
2021	しまじゅう	島中	39607	梼原町			西南の地名	96	
1259	せんまいだ	千枚田	39607	梼原町			土佐の地名	239	
1252	たかとぎやま	高研山	39607	梼原町			土佐の地名	236	
1258	たかとりち	鷹取地	39607	梼原町			土佐の地名	239	
2134	たろうがわ	太郎川	39607	梼原町			西南の地名	113	
2143	ちやだに	茶や谷	39607	梼原町			西南の地名	114	
3485	ちゃやたに	茶や谷	39607	梼原町	茶屋	地検帳にもチャヤノ前、茶屋ノ上など中世以前の地名。茶堂・辻堂は旅人の接待所であり、伊予への要路の拠点	土佐地名往来(高 新)	平成29年11月27日	梼原町広報誌「ゆすはら」 1966年10月号
1249	なかとう	中洞	39607	梼原町			土佐の地名	235	
2234	なかとう	仲洞	39607	梼原町			西南の地名	127	
2232	なかひら	中平	39607	梼原町			西南の地名	127	
3492	なかひら	中平	39607	梼原町		土佐州郡志に「以山中地平処故名」と山の中にある平らな土地が中平。夢窓疎石の伝承の地でもある	土佐地名往来(高 新)	平成30年1月29日	「土佐州郡志」
3240	なもとやしき ばし	名元屋敷 橋	39607	梼原町		村々の役人「名本」屋敷。中世名主から近世村役人への過渡期の姿。山方を主に小集落に設置	土佐地名往来(高 新)	平成24年4月16日	「梼原町史」旧小字図 「高知県歴史事典」
1714	にらとうげ	萑峠	39607	梼原町			西南の地名	55	
1255	ひろせ	広瀬	39607	梼原町			土佐の地名	238	
2359	ぶんまる	文丸	39607	梼原町			西南の地名	142	
2556	ぶんまる	文丸	39607	梼原町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月13日	
2395	まつばら	松原	39607	梼原町			西南の地名	145	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2422	みやのの	宮野々	39607	梶原町 中土佐町			西南の地名	148	
2323	めつるだいら	姫鶴平	39607	梶原町			西南の地名	136	
2450	やまこ	山子	39607	梶原町			西南の地名	151	
3479	やんじょー	山城	39607	梶原町		地検帳には「ヤンセウ」。中世の頃城ヶ峯の 山上に設えた山城説や災難に遭った大蛇「焼 蛇の駄場」の転訛説も	土佐地名往来(高 新)	平成29年10月16日	「梶原町史」
2457	ゆすかわ	遊子川	39607	梶原町			西南の地名	153	
1246	ゆすはら	梶原	39607	梶原町			土佐の地名	234	
2456	ゆすはら	梶原	39607	梶原町			西南の地名	152	
3232	ゆすはら	梶原	39607	梶原町		伊予からきた津野経高の手でひらかれた梶 原。ユスノキ(マンサク科常緑高木)が多く自 生	土佐地名往来(高 新)	平成24年2月20日	「土佐物語」吉田考世 「土佐州郡志」
1257	ろくちょう	六町	39607	梶原町			土佐の地名	239	
1635	ろくちょう	六丁	39607	梶原町			地名メモ		
2477	ろくちょう	六町	39607	梶原町			西南の地名	156	
3362	ろくちょう	六丁	39607	梶原町		四万川地区の玄関口。丁は昔の距離の単位(1 丁は109m)で両隣の集落までの距離がともに6 丁	土佐地名往来(高 新)	平成27年3月2日	「土佐州郡志」 「ふるさとの素顔」梶原町 教委
1682	いげの	神母野	39608	中土佐町			西南の地名	50	
1691	いせがわ	伊勢川	39608	中土佐町			西南の地名	52	
1708	いや	伊屋	39608	中土佐町			西南の地名	54	
1734	うりうの	瓜生野	39608	中土佐町			西南の地名	58	
1782	おおさかだに	大坂谷	39608	中土佐町			西南の地名	63	
2620	おおしんがい	大新改	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月25日	
2765	おおの	大野	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年5月11日	
1263	おおのみ	大野見	39608	中土佐町			土佐の地名	241	
1776	おおのみ	大野見	39608	中土佐町			西南の地名	62	
3014	おおのみ	大野見	39608	中土佐町	大野	大野は古事記にもみえる古い言葉で広大な平 原の意。「大野が見えた」と開拓にまつわる 伝承	土佐地名往来(高 新)	平成19年7月24日	「おらが村だよ」
3397	おおまた	大股	39608	中土佐町		川や道が分岐している場所を「・・又」。氏 神様の神木が又状に分かれたところに由来「大 股」	土佐地名往来(高 新)	平成27年12月7日	「大野見村史」
1786	おくぶん	奥分	39608	中土佐町			西南の地名	63	
1798	おとば	音羽	39608	中土佐町			西南の地名	64	
3403	おとめばし	乙女橋	39608	中土佐町		県立須崎高校中土佐分校・被服科の女子ばか りの通学路が由来。2008年に閉校	土佐地名往来(高 新)	平成28年1月25日	
1221	かきのき	柿木	39608	中土佐町			土佐の地名	222	
1830	かしはらがわ	柏原川	39608	中土佐町			西南の地名	67	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載ページ等	引用図書
2509	かまだ	鎌田	39608	中土佐町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和55年8月5日	
1846	かみのかえ	上の加江	39608	中土佐町			西南の地名	71	
3458					加江	戦国乱世、平田氏の「賀江」、佐竹氏の「上賀江」。佐竹氏が併合した結果。賀江は5世紀、志和氏が土佐に来往し、その所領「加賀国江沼郡」に由来	土佐地名往来(高新)	平成29年4月24日	「上ノ加江町史」
	かみのかえ	上ノ加江	39608	中土佐町			土佐の地名	242	
1265	かわおく	川奥	39608	中土佐町			土佐の地名	243	
1267	きた	喜田	39608	中土佐町					
3408						奈路地区の一角。昭和6年、喜田洋樽製材工場が進出し一気に集落形成。一企業名が地名に	土佐地名往来(高新)	平成28年2月29日	「大野見村史」
	きだ	喜田	39608	中土佐町					
1555	くだるかわ	下ル川	39608	中土佐町			ふたつの浮津	147	
1905	くまあき	久万秋	39608	中土佐町			西南の地名	81	
2759	くまあき	久万秋	39608	中土佐町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和58年3月30日	
2809	くまあき	久万秋	39608	中土佐町		仁井田郷の長左衛門が入植。開拓の時代を伝える熊の垣が転じたもの。熊秋から久万秋と	土佐地名往来(高新)	平成15年5月15日	「大野見村史」昭和31年・56年
1915	くれ	久礼	39608	中土佐町			西南の地名	81	
2903					クレ	初出は建長2年(1250)。日の暮れやすい土地? 建築用材の樽の由来か? 樽は古くからの献納品で林産物の集積地	土佐地名往来(高新)	平成17年5月12日	「中土佐町史」徳弘勝「ふたつの浮津から」
	くれ	久礼	39608	中土佐町			ふたつの浮津	141	
1547	くれだ	久礼	39608	中土佐町			西南の地名	85	
1943	ここぐさ	小小草	39608	中土佐町			西南の地名	88	
1967	こやいが	小矢井賀	39608	中土佐町			西南の地名	88	
1966	こやのかわ	古矢ノ川	39608	中土佐町			地名メモ		
1636	ささば	笹場	39608	中土佐町			西南の地名	92	
1992	ささば	笹場	39608	中土佐町					
3443						中世以前の地名、篠葉村。久礼を本拠地とする佐竹氏の家臣、篠葉十兵衛の給地でその後笹場に転訛	土佐地名往来(高新)	平成28年12月12日	「長宗我部地検帳」「土佐州郡志」「中土佐町誌」新版
	ささば	笹場	39608	中土佐町			西南の地名	94	
2006	しおみつ	汐満	39608	中土佐町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和57年10月5日	
2020	しまのかわ	島ノ川	39608	中土佐町			土佐の地名	242	
2732	じょうけんじ	常賢寺	39608	中土佐町			土佐の地名	244	
1264	しるさわ	液沢	39608	中土佐町					
1268	せりだ	芹田	39608	中土佐町					
3103	そえみみずざか	添蚯蚓坂	39608	中土佐町		幡多への主要な往還道の一つ。ミミズが這うつづら折りの急坂を由来(州郡志)	土佐地名往来(高新)	平成21年6月9日	「土佐州郡志」
2103	たかとい	高樋	39608	中土佐町			西南の地名	110	
2102	たかやま	高山	39608	中土佐町			西南の地名	110	
1220	ちっこう	築港	39608	中土佐町			土佐の地名	221	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2201	とがのかわ	梶ノ川	39608	中土佐町			西南の地名	121	
2203	ところの	野老野	39608	中土佐町			西南の地名	121	
2233	なかおおさか	中大坂	39608	中土佐町			西南の地名	127	
2250	なつやけ	夏焼	39608	中土佐町			西南の地名	128	
1634	なろ	奈路	39608	中土佐町			地名メモ		
2271	ねこだき	猫滝	39608	中土佐町			西南の地名	131	
2281	はぎなか	萩中	39608	中土佐町			西南の地名	132	
2659	はぎなか	萩中	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年1月19日	
1554	はぎのの	萩野々	39608	中土佐町			ふたつの浮津	147	
3400	はぎはら	萩原	39608	中土佐町		室町末期の五輪塔群は領主佐竹氏の墓所。藩政期「灰原」の呼称を萩原に地区総会で復古	土佐地名往来(高新)	平成27年12月28日	「長宗我部地検帳」 「広報なかとさ」2008年3月号
2346	ふたなじま	双名島	39608	中土佐町			西南の地名	140	
2380	ほどおち	程落	39608	中土佐町			西南の地名	144	
1219	ほんみみず	本蚯蚓	39608	中土佐町			土佐の地名	220	
2383	ほんみみず	本蚯蚓	39608	中土佐町			西南の地名	144	
2392	まきのの	槇野々	39608	中土佐町			西南の地名	145	
2521	まきのの	槇野々	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年9月16日	
2437	ももうら	桃浦	39608	中土佐町			西南の地名	150	
2442	やいが	矢井賀	39608	中土佐町			西南の地名	150	
2577	やいが	矢井賀	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月31日	
1548	やたべ	八田部	39608	中土佐町			ふたつの浮津	142	
2449	やたべ	矢田部	39608	中土佐町			西南の地名	151	
2445	やまうち	山内	39608	中土佐町			西南の地名	151	
2694	やまうち	山内	39608	中土佐町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年5月25日	
2469	よしうの	芳生野	39608	中土佐町			西南の地名	155	
1266	ろくぶとうげ	六部峠	39608	中土佐町			土佐の地名	243	
1222	わかせ	若瀬	39608	中土佐町			土佐の地名	222	
1843	かみあり	神有	39609	宿毛市 四万十町		かみあら→かみあり。 神・雷には関係がなくて、上流にある開き地。	西南の地名	71	
3522	ひのじ	日野地	39609	四万十町	日ノ地	大野見郷三股村の小村日野地村と土佐州郡志に記録。日光がよく差し込む土地柄・日浦の別名が日野地・日ノ地	土佐地名往来(高新)	平成30年11月5日	「四万十町通信」26号
1656	あかすか	あかすか	39701	黒潮町			西南の地名	47	
1323	ありいがわ	有井川	39701	黒潮町			土佐の地名	270	
1674	ありいがわ	有井川	39701	黒潮町			西南の地名	49	
2769	ありいがわ	有井川	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年6月1日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1689	いしでのせき	石出の堰	39701	黒潮町			西南の地名	52	
1694	いだ	伊田	39701	黒潮町			西南の地名	52	
1696	いちのせ	市野瀬	39701	黒潮町			西南の地名	52	
2569	いちのせ	市野瀬	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年3月3日	
3013	いちのせ	市野瀬	39701	黒潮町	市野瀬	中世以前からの地名で一の瀬・一野瀬・市ノ瀬。川の上流の坂を下ったところ。市は一番目の瀬(桂井)	土佐地名往来(高 新)	平成19年7月17日	「おらんく話」
2724	いちののがわ	市野々川	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年9月7日	
3303	いづみやま	飯積山	39701	黒潮町		806年、弘法大師が開創の古寺飯積寺。飯を盛ったような形の山容。白虎隊の飯盛山など全国に	土佐地名往来(高 新)	平成25年10月21日	
1330	いでぐち	出口	39701	黒潮町			土佐の地名	274	
1702	いでぐち	出口	39701	黒潮町			西南の地名	53	
2781	いでぐち	出口	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年9月7日	
1294	いよき	伊与喜	39701	黒潮町			土佐の地名	257	
1709	いよき	伊与喜	39701	黒潮町			西南の地名	54	
1712	いりの	入野	39701	黒潮町			西南の地名	55	
1324	うきつ	浮津	39701	黒潮町			土佐の地名	271	
1717	うきつ	浮津	39701	黒潮町			西南の地名	55	
1725	うちびら	内平	39701	黒潮町			西南の地名	57	
1573	うまじ	馬地	39701	黒潮町			ふたつの浮津	159	
1325	うまに	馬荷	39701	黒潮町			土佐の地名	271	
1329	うろ	宇呂	39701	黒潮町			土佐の地名	273	
3062	おうむかえば し	王迎橋	39701	黒潮町		中世の尊良親王の伝承にちなんだ地名。海の王迎駅、待王坂、王無浜などゆかりの地名多数	土佐地名往来(高 新)	平成20年7月15日	
1576	おおがた	大方	39701	黒潮町			ふたつの浮津	161	
1749	おおがた	大方	39701	黒潮町			西南の地名	59	
2862	おおがた	大方	39701	黒潮町		幡多郡の五郷の一つが「大方郷」で千年の歴史。白鳳大津波が作った入野の大渦に由来か。流れ越エの字名も	土佐地名往来(高 新)	平成16年6月17日	「和名類聚抄」 浜田数義「田野浦集落誌」
1748	おおくら	大蔵	39701	黒潮町			西南の地名	59	
1769	おおじり	おおじり	39701	黒潮町			西南の地名	62	
1747	おがわ	小川	39701	黒潮町			西南の地名	59	
2597	おくみなとがわ	奥湊川	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月9日	
1796	おとなせ	音無	39701	黒潮町			西南の地名	64	
1805	おんぼうばた	御坊畑	39701	黒潮町			西南の地名	65	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2755	おんぼうばた	御坊畑	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年12月28日	
3464	おんぼうばた	御坊畑	39701	黒潮町		入道(大坊主)の開拓地に由来。当人の墓 か、集落に歳月を経た卵塔がある。大坊主ノ 畑が転じて大坊畑	土佐地名往来(高 新)	平成29年6月5日	「長宗我部地検帳」 「高知県史 古代中世史料 編」所収・下民むかし咄
1814	かいしょ	会所	39701	黒潮町			西南の地名	66	
3051	かいしょ	会所	39701	黒潮町		会所は一般に藩の政庁のこと。佐賀では役人 の官舎なども会所と呼んだのだろう「会所 畠」	土佐地名往来(高 新)	平成20年4月15日	「佐賀町郷土史」 谷真潮「西浦廻見日記」
1815	かいな	荷稻	39701	黒潮町			西南の地名	66	
2637	かいな	荷稻	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年10月27日	
2976	かいな	荷稻	39701	黒潮町	カイ	カイ(峡)は山と山の間、両方から山が迫っ てくる地形。荷稻は峡野の転訛では(桂井 氏)	土佐地名往来(高 新)	平成18年10月26日	「おらんく話」
1832	かしま	鹿島	39701	黒潮町			西南の地名	69	
1326	かみかわぐち	上川口	39701	土佐清水 黒潮町			土佐の地名	272	
3472	かみかわぐち	上川口	39701	黒潮町		川が海などに注ぐところが「川口」。幡多に 二つの川口、湊川河口の上川口と宗呂川河口 の下川口	土佐地名往来(高 新)	平成29年8月14日	沖本樵児「渭南史跡たつく し」
1850	かもち	加持	39701	黒潮町			西南の地名	72	
2799	かもち	加持	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年12月21日	
3456	かもち	加持	39701	黒潮町	賀茂	黒潮町大方の加持川沿いの集落。高賀茂の神 の配流地「賀茂之地」。和銅6年(713)の地名 は二字の嘉字通達により鹿持。鹿持雅澄祖先 の地	土佐地名往来(高 新)	平成29年4月10日	「長宗我部地検帳」 「土佐史談」192号 「幡多日記」鹿持雅澄
1296	くまい	熊井	39701	黒潮町			土佐の地名	258	
1908	くまい	熊井	39701	黒潮町			西南の地名	81	
3090	くまい	熊井	39701	黒潮町		紀州熊野から海を越えて運ばれてきた熊野信 仰が、熊居(熊野の神の居ますところ)と	土佐地名往来(高 新)	平成21年3月3日	「南路志」
1907	くまのうら	熊野浦	39701	黒潮町			西南の地名	81	
2513	くまのうら	熊ノ浦	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年8月19日	
1920	くろんとう	黒塔	39701	黒潮町			西南の地名	82	
1931	こうじん	荒神	39701	黒潮町			西南の地名	83	
1942	こぐろのかわ	小黒ノ川	39701	黒潮町			西南の地名	85	
1572	こぶしのかわ	拳の川	39701	黒潮町			ふたつの浮津	158	
1639	こぶしのかわ	拳の川	39701	黒潮町			地名メモ	69	
1958	こぶしのかわ	拳ノ川	39701	黒潮町			西南の地名	86	
1960	ごまじり	ごまじり	39701	黒潮町			西南の地名	87	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1963	こみはら	米原	39701	黒潮町			西南の地名	87	
2504	こめはら	米原	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年7月15日	
1972	ごんぶり	ごんぶり	39701	黒潮町			西南の地名	89	
1571	さが	佐賀	39701	黒潮町			ふたつの浮津	158	
1985	さが	佐賀	39701	黒潮町			西南の地名	91	
1998	さぶがり	さぶがり	39701	黒潮町			西南の地名	93	
2001	さるか	猿飼	39701	黒潮町			西南の地名	93	
3133	しおや	塩屋	39701	黒潮町	塩	塩炊小屋の所在に由来。明治以前は佐賀でた だ一つの製塩場。高知市の塩屋埼町も同じ	土佐地名往来(高 新)	平成22年1月19日	「続さが谷昔ばなし」佐賀 町老人クラブ連合会・製塩
2012	しだのかわ	齒朶ノ川	39701	黒潮町			西南の地名	95	
2018	しば	芝	39701	黒潮町			西南の地名	95	
2042	しもたのくち	下田ノ口	39701	黒潮町			西南の地名	102	
2053	しらはま	白浜	39701	黒潮町		(※大方町とあるが佐賀町の誤記。現在は黒潮	西南の地名	103	
2764	しらはま	白浜	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年5月4日	
2064	すがる	須賀留	39701	黒潮町			西南の地名	106	
2070	すず	鈴	39701	黒潮町			西南の地名	107	
2600	すず	鈴	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年6月16日	
2113	たたらんたに	たたらん	39701	黒潮町			西南の地名	111	
2116	たちばな	橘(川)	39701	四万十市 黒潮町			西南の地名	112	
2557	たちばながわ	橘川	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月20日	
2124	たのうら	田ノ浦	39701	宿毛市 黒潮町			西南の地名	112	
2644	たのうら	田野浦	39701	黒潮町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年11月17日	
3340	たのうら	田野浦	39701	黒潮町		白鳳地震の前は田地の広がる海辺の集落だっ たのだろう。大方の地名も海に没した大湊	土佐地名往来(高 新)	平成26年8月18日	「田野浦集落誌」
2126	たばた	たばた	39701	黒潮町			西南の地名	112	
2128	たぶら	田村	39701	黒潮町			西南の地名	113	
1334	つぶてうち	礫打	39701	黒潮町			土佐の地名	275	
2159	つぶてうち	つぶてうち	39701	黒潮町			西南の地名	116	
1332	なか	中宮	39701	黒潮町			土佐の地名	274	
2231	なかぶこ	中分川	39701	黒潮町			西南の地名	127	
2248	なだ	灘	39701	黒潮町			西南の地名	128	
1327	にたんじ	二反地	39701	黒潮町			土佐の地名	272	
2265	にたんじ	二反地	39701	黒潮町			西南の地名	130	
1328	にな	蜷	39701	黒潮町			土佐の地名	273	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2273	ねどこ	ねどこ	39701	黒潮町			西南の地名	131	
3461	のたのさか	野田の坂	39701	黒潮町	ノタ	昔々津波が押し寄せ、野田不動尊の前でピタッと止まった。地元ではノータ。大波をノタという地方がある。	土佐地名往来(高 新)	平成29年5月15日	「さが谷昔ばなし」佐賀町 老人クラブ連合会
2306	ばんたろう	伴太郎	39701	黒潮町			西南の地名	135	
2308	ばんもと	ばんもと	39701	黒潮町			西南の地名	136	
2316	ひばら	日原	39701	黒潮町			西南の地名	136	
2332	ひろむ	平見	39701	黒潮町			西南の地名	137	
2334	ふきあげ	吹上	39701	黒潮町			西南の地名	138	
2337	ふくどう	福堂	39701	黒潮町			西南の地名	138	
1293	ふじなわ	藤縄	39701	黒潮町			土佐の地名	257	
2340	ふじなわ	藤縄	39701	黒潮町			西南の地名	138	
2341	ふじのはな	藤ノ花	39701	黒潮町			西南の地名	138	
2541	ふたみ	双海	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年11月25日	
1575	ぶち	鞭	39701	黒潮町			ふたつの浮津	160	
1295	ふばはら	不破原	39701	黒潮町			土佐の地名	258	
2350	ふばはら	不破原	39701	黒潮町			西南の地名	141	
2366	ほうじゅ	法寿	39701	黒潮町			西南の地名	143	
2378	ほとけがもり	ほとけが	39701	黒潮町			西南の地名	144	
2731	ほんだに	本谷	39701	黒潮町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年10月5日	
2390	まとまえ	間と前	39701	黒潮町			西南の地名	145	
2400	まるやま	丸山	39701	黒潮町			西南の地名	145	
2401	まんぎょう	万行	39701	黒潮町			西南の地名	146	
2406	みどうのなろ	三堂の奈	39701	黒潮町			西南の地名	146	
2412	みのこし	水越 (見越)	39701	黒潮町			西南の地名	147	
1333	みやお	宮尾	39701	黒潮町			土佐の地名	275	
1331	みやじやま	宮地山	39701	黒潮町			土佐の地名	274	
2425	むかい	向	39701	黒潮町			西南の地名	148	
2438	ももんとう	百塔	39701	黒潮町			西南の地名	150	
1577	ゆびさし	指差	39701	黒潮町			ふたつの浮津	161	
2478	ろくじろう	ろくじろう	39701	黒潮町			西南の地名	156	
2482	わかやま	若山	39701	黒潮町			西南の地名	156	
2487	わにし	わにし	39701	黒潮町			西南の地名	158	
2490	わらびがわ	蕨川	39701	黒潮町			西南の地名	158	
2080	～せんげん	～千軒	39702	四万十市			西南の地名	108	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1647	あいだ	秋田	39702	四万十市		四万十川の支流、後川の流域にある地名で、秋を「あい」と発音する、野中兼山が開発したといわれる兼山溝(四ヶ村溝)の最初の取入口のある集落で、低湿地の田の意で、祖父江祐左衛門の	西南の地名	46	
1649	あいのき	相の木	39702	四万十市			西南の地名	46	
1652	あいのさわ	相ノ沢	39702	四万十市			西南の地名	46	
1654	あおさじま	青砂島	39702	四万十市			西南の地名	46	
1657	あかまつだに	赤松谷	39702	四万十市			西南の地名	47	
1658	あきとし	秋トシ	39702	四万十市			西南の地名	47	
1661	あさぶき	あさぶき	39702	四万十市			西南の地名	47	
1660	あさむら	浅村	39702	四万十市			西南の地名	47	
1663	あじろ	網代	39702	四万十市			西南の地名	47	
3519	あじろ	網代	39702	四万十市	網代	「網代 漁鮎魚処故為名」と土佐州郡志。鮎をとる所の意味。万葉集にもある来歴の古い言葉。漁の最適地の意	土佐地名往来(高知)	平成30年10月15日	「土佐州郡志」 「高知県方言辞典」
1666	あそう	麻生阿曾	39702	四万十市			西南の地名	48	
1677	あほうぼり	あほう堀	39702	四万十市			西南の地名	50	
1671	あらかわ	荒川	39702	四万十市			西南の地名	49	
1672	ありおか	有岡	39702	四万十市			西南の地名	49	
1353	いえじ	家地	39702	四万十市			土佐の地名	284	
1681	いげんたね	神母谷	39702	四万十市			西南の地名	50	
1683	いさいばら	伊才原	39702	四万十市			西南の地名	51	
1687	いしづち	石槌	39702	四万十市			西南の地名	51	
1436	いしみじやま	石見寺山	39702	四万十市			ふたつの浮津	54	
1690	いしみじやま	石見寺山	39702	四万十市			西南の地名	52	
1700	いずみのかわ	泉ノ川	39702	四万十市			西南の地名	53	
1695	いたのかわ	板ノ川	39702	四万十市			西南の地名	52	
1721	うしうち	牛打	39702	四万十市			西南の地名	57	
1720	うしろ	右城	39702	四万十市			西南の地名	57	
1433	うしろがわ	後川	39702	四万十市			ふたつの浮津	52	
1719	うしろがわ	後川	39702	四万十市			西南の地名	55	
3468	うしろがわ	後川	39702	四万十市		四万十川の背後に流れる意味から”ウシロの川”＝後川。アイヌ語の”湾内の土地”＝オショロの転訛説も	土佐地名往来(高知)	平成29年7月10日	土佐州郡志 後川村史前篇1954年
1724	うちかわ	内川	39702	四万十市			西南の地名	57	
1440	うのえ	鵜ノ江	39702	四万十市			ふたつの浮津	58	
1727	うのえ	鵜ノ江	39702	四万十市			西南の地名	57	
3139	うのえ	鵜ノ江	39702	四万十市		地検帳には鵜江村。鵜の棲息する入り江と思われるが、「え」は礁(ハエ)。鵜飼の仕事場	土佐地名往来(高知)	平成22年3月2日	「長宗我部地検帳」 「高知県内の河川関連地名」
1435	うやま	右山	39702	四万十市			ふたつの浮津	54	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1730	うやま	右山	39702	四万十市			西南の地名	57	
1732	うらた	浦田	39702	四万十市			西南の地名	58	
1735	えかわ	江川	39702	四万十市			西南の地名	58	
1736	えき	えき	39702	四万十市			西南の地名	58	
1737	えご	えご	39702	四万十市			西南の地名	58	
1742	えのむら	江ノ村	39702	四万十市			西南の地名	59	
1745	えんのくら	円の蔵	39702	四万十市			西南の地名	59	
967	えんのぞう	円の蔵	39702	四万十市			土佐の地名	94	
963	おいのかわ	生ノ川	39702	四万十市			土佐の地名	92	
1746	おいのかわ	生ノ川	39702	四万十市			西南の地名	59	
1767	おおぎやま	扇山	39702	四万十市			西南の地名	62	
1766	おおぐろやま	大黒山	39702	四万十市			西南の地名	62	
1755	おおこや	大古屋	39702	四万十市			西南の地名	60	
1752	おおつえ	大つえ	39702	四万十市			西南の地名	60	
1779	おおにし	大西	39702	四万十市			西南の地名	63	
1757	おおひろかり	大弘カリ	39702	四万十市			西南の地名	60	
1778	おおやけ	大焼	39702	四万十市			西南の地名	63	
1754	おおゆう	大用	39702	四万十市			西南の地名	60	
1788	おくのきれ	奥ノ切	39702	四万十市			西南の地名	63	
965	おとなし	音無瀬	39702	四万十市			土佐の地名	93	
1806	おろち	おろち	39702	四万十市			西南の地名	65	
1808	かいろうく	かいろうく	39702	四万十市			西南の地名	65	
1818	かきだに	柿谷	39702	四万十市			西南の地名	66	
1819	かきのうえ	柿ノ上	39702	四万十市			西南の地名	66	
964	かざし	風指	39702	四万十市			土佐の地名	93	
1641	かざし	風指	39702	四万十市			地名メモ	71	
1822	かざし	風指	39702	四万十市			西南の地名	66	
1831	かじかの	鍛冶加野	39702	四万十市			西南の地名	67	
1833	かすがだ	春日田	39702	四万十市			西南の地名	69	
1836	かたうお	片魚	39702	四万十市			西南の地名	69	
2656	かたうお	片魚	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年12月29日	
1439	かつま	勝間	39702	四万十市			ふたつの浮津	57	
1838	かつま	勝間	39702	四万十市			西南の地名	70	
2720	かつま	勝間	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年8月24日	
1840	かねはま	金浜	39702	四万十市			西南の地名	70	
1842	かまだ	鎌田	39702	四万十市			西南の地名	70	
1847	かみやぶがい	上藪ヶ市	39702	四万十市			西南の地名	71	
1848	かめのこう	亀ノ甲	39702	四万十市			西南の地名	72	
1851	かもがわ	鴨川	39702	四万十市			西南の地名	72	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1352	かよう	茅生	39702	四万十市			土佐の地名	284	
1866	かよう	茅生	39702	四万十市			西南の地名	75	
1853	からき	唐木	39702	四万十市			西南の地名	73	
1863	かわのぼり	川登	39702	四万十市			西南の地名	74	
3044	かわのぼり	川登	39702	四万十市		中世以前からの地名で古くは河登とも。この 辺で四万十川は大きくS字に蛇行し逆流する 様相	土佐地名往来(高 新)	平成20年2月26日	「中村市史」
1865	かんのじ	観音寺	39702	四万十市			西南の地名	75	
1869	きしろうだに	喜四郎谷	39702	四万十市			西南の地名	76	
1871	きど	木戸	39702	四万十市			西南の地名	77	
1872	きのつ	木ノ津	39702	四万十市			西南の地名	77	
1874	きょうまち	京町	39702	四万十市			西南の地名	77	
3474	きょうまち	京町	39702	四万十市		一条氏が中村に下向して100年にわたった 町づくり。京都風の町をあらわす通称地名。 一条通、東山、鴨川も	土佐地名往来(高 新)	平成29年8月28日	中村町誌1950年
1880	くき	玖木	39702	四万十市			西南の地名	78	
1883	くけつ	くけつ	39702	四万十市			西南の地名	78	
961	くさいがわ	久才川	39702	四万十市			土佐の地名	91	
1884	くさいがわ	久才川	39702	四万十市			西南の地名	78	
1885	くしえ	串江	39702	四万十市			西南の地名	78	
3159	くしえ	串江	39702	四万十市		四万十川河口左岸、半島のように突き出た下 田の旧名「櫛江」。何かを串刺しにした地形 から	土佐地名往来(高 新)	平成22年7月20日	「下田郷土史料」宇賀嘉弥 太
1888	くじゅう	九樹	39702	四万十市			西南の地名	79	「幡多郡紀行」防意軒半開
2612	くじゅう	九樹	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年7月28日	
1889	ぐじゅう	具重	39702	四万十市			西南の地名	79	
1898	くすしま	楠島	39702	四万十市			西南の地名	80	
1354	くちやない	口屋内	39702	四万十市			土佐の地名	285	
1895	くちやない	口屋内	39702	四万十市			西南の地名	79	
2670	くちやない	口屋内	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年2月23日	
1899	ぐどう	具同	39702	四万十市			西南の地名	80	
2977	ぐどう	具同	39702	四万十市		郡家(ぐうけ・幡多の郡役所)の稲倉のこ とを「郡稲(ぐどう)」という。野草グドウジ 説も	土佐地名往来(高 新)	平成18年11月2日	岡村憲治「大川の流域」 前田和男「土佐古代史の研 究」
1900	くにみ	国見	39702	須崎市			西南の地名	80	
1349	くまがみだに	熊神谷	39702	四万十市			土佐の地名	282	
1906	くまの	熊野	39702	四万十市			西南の地名	81	
1921	くもんみょう	公文名	39702	四万十市			西南の地名	82	
1357	くるみだに	胡桃谷	39702	四万十市			土佐の地名	286	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1913	くるみだに	栗見谷	39702	四万十市			西南の地名	81	
1356	くろそん	黒尊	39702	四万十市			土佐の地名	286	
1919	くろそん	黒尊	39702	四万十市			西南の地名	82	
2702	くろそん	黒尊	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年6月22日	
1351	こいで	古井手	39702	四万十市			土佐の地名	283	
1934	こうさんじ	香山寺	39702	四万十市			西南の地名	84	
1922	こうちだに	高知谷	39702	四万十市			西南の地名	82	
1925	こうのき	神ノ木	39702	四万十市			西南の地名	83	
1941	こくさん	国産	39702	四万十市			西南の地名	84	
1940	こくら	古蔵	39702	四万十市			西南の地名	84	
1944	ここび	小古尾	39702	四万十市			西南の地名	85	
1949	こせじ	小瀬々	39702	四万十市			西南の地名	85	
1953	こつか	古津賀	39702	四万十市			西南の地名	86	
2974	こつか	古津賀	39702	四万十市		塚は動詞『筑く』の名詞形。死者を葬るところ。かつては小塚、古塚、小津賀で土地の目印	土佐地名往来(高新)	平成18年10月12日	
1954	こにしのかわ	小西ノ川	39702	四万十市			西南の地名	86	
1969	ごんじ	権地	39702	四万十市			西南の地名	88	
1968	ごんだに	権谷	39702	四万十市			西南の地名	88	
1974	こんやまち	紺屋町	39702	四万十市			西南の地名	89	
1979	ざいしょ	在所	39702	四万十市			西南の地名	89	
1977	さいろく	さいろく	39702	四万十市			西南の地名	89	
1982	さおか	佐岡	39702	四万十市			西南の地名	89	
966	さかおり	坂折	39702	四万十市			土佐の地名	94	
1984	さかおり	坂折	39702	四万十市			西南の地名	91	
1983	さかもと	坂本	39702	四万十市			西南の地名	91	
1990	さくしき	作式	39702	四万十市			西南の地名	91	
1991	ざこば	ざこば	39702	四万十市			西南の地名	92	
1994	さしでやま	差出山	39702	四万十市			西南の地名	92	
1441	さだ	佐田	39702	四万十市			ふたつの浮津	59	
1995	さだ	佐田	39702	四万十市			西南の地名	92	
1999	さめざな	さめざな	39702	四万十市			西南の地名	93	
1586	さらやしき	皿屋敷	39702	四万十市			ふたつの浮津	169	
2002	さるうち	申内	39702	四万十市			西南の地名	93	
2000	さるおい	猿追	39702	四万十市			西南の地名	93	
1975	さわ	沢	39702	四万十市			西南の地名	89	
1976	さわたる	沢垂	39702	四万十市			西南の地名	89	
958	しがらみ	棚	39702	四万十市			土佐の地名	90	
2007	しがらみ	しがらみ	39702	四万十市			西南の地名	94	
2008	しきち	敷地	39702	四万十市			西南の地名	94	
2009	しげき	重木	39702	四万十市			西南の地名	94	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2015	しちじゅうせん のうえ	しちじゅう せんのうえ	39702	四万十市			西南の地名	95	
2019	しまのみや	島ノ宮	39702	四万十市			西南の地名	96	
3066	しまんとがわ	四万十川	39702	四万十市		古来より謎につつまれた地名。橋田庫欣氏の 考証が詳しい。近年は木材石数説(野本氏) も	土佐地名往来(高 新)	平成20年8月26日	「土佐史談」所収・橋田庫 欣 「四万十川民俗誌」
2036	しもいえじ	下家地	39702	四万十市			西南の地名	101	
2035	しもがほう	下方	39702	四万十市			西南の地名	101	
2038	しもぐみ	下組	39702	四万十市			西南の地名	101	
2037	しもけた	下桁	39702	四万十市			西南の地名	101	
959	しもだ	下田	39702	四万十市			土佐の地名	90	
2027	しもだ	下田	39702	四万十市			西南の地名	100	
3298	しもだ	下田	39702	四万十市		甲浦、浦戸などと並ぶ重要港湾。四万十川の 川下の渡しという意味で「下渡・しもど」	土佐地名往来(高 新)	平成25年8月19日	「下田郷史史料」宇賀弥太
2033	しものだん	下ノ段	39702	四万十市			西南の地名	101	
2029	しものもり	下ノ森	39702	四万十市			西南の地名	101	
2034	しもやま	下山	39702	四万十市			西南の地名	101	
2140	じゅうじろう	住次郎	39702	四万十市			西南の地名	114	
2043	しゅうつか	塩塚	39702	四万十市			西南の地名	102	
2052	しょうぶだに	しょうぶ谷	39702	四万十市			西南の地名	103	
2046	じょうろく	常六	39702	四万十市			西南の地名	103	
3375	じょうろく	常六	39702	四万十市		村内の寺社に瑞雲寺があった。常陸の国から 来た高名な僧が開山しその山号が常陸山	土佐地名往来(高 新)	平成27年6月8日	「長宗我部地検帳」 「南路志」
2047	じょうろぐち	女郎口	39702	四万十市			西南の地名	103	
3524	じょうろぐち	女郎口	39702	四万十市		土佐の隠密と宇和島女の悲哀。捨てられた女 は山犬に襲われ、以来その山を女郎山。上臈 は貴人に仕えた女性	土佐地名往来(高 新)	平成30年11月19日	「西土佐村史」
2054	しらお	白尾	39702	四万十市			西南の地名	103	
2621	すさき	須崎	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年9月1日	
2073	すべりば	すべりば	39702	四万十市			西南の地名	107	
2078	せぜだに	瀬々谷	39702	四万十市			西南の地名	107	
2087	そうじだに	掃除谷	39702	四万十市			西南の地名	109	
2090	そうじろう	そうじろう	39702	四万十市			西南の地名	109	
2088	そうづ	宗津	39702	四万十市			西南の地名	109	
2091	そが	曽我	39702	四万十市			西南の地名	109	
2136	だいば	台場	39702	四万十市			西南の地名	114	
2093	だいようじ	大用寺	39702	四万十市			西南の地名	109	
2095	たかい	高井	39702	四万十市			西南の地名	109	
960	たかおやま	高尾山	39702	四万十市			土佐の地名	91	
2096	たかせ	高瀬	39702	四万十市			西南の地名	109	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2100	たかとりやま	鷹取山	39702	四万十市			西南の地名	110	
2097	たかもりやま	高森山	39702	四万十市			西南の地名	110	
969	たぐろ	田黒	39702	四万十市			土佐の地名	95	
2105	たぐろ	田黒	39702	四万十市			西南の地名	110	
2108	たけしま	竹島	39702	四万十市			西南の地名	111	
2106	たけやしき	竹屋敷	39702	四万十市			西南の地名	111	
2602	たけやしき	竹屋敷	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月23日	
2115	たつち	たつち	39702	四万十市			西南の地名	112	
2114	たて	立	39702	四万十市			西南の地名	112	
2120	たでじり	田出尻	39702	四万十市			西南の地名	112	
2119	たでのかわ	田出ノ川	39702	四万十市			西南の地名	112	
2123	たのかわ	田ノ川	39702	四万十市			西南の地名	112	
3380	ためまつこう えん	為松公園	39702	四万十市		400年余り昔に中村の有力な豪族、為松氏が 築城。古城山とも呼ばれる。タンマツとも	土佐地名往来(高 新)	平成27年7月13日	「土佐物語」 「中村城跡」
2131	たらいがわ	手洗川	39702	四万十市			西南の地名	113	
2135	たろうつゆ	太郎露	39702	四万十市			西南の地名	114	
2137	ちあいば	ちあいば	39702	四万十市			西南の地名	114	
968	ちょうし	桃子	39702	四万十市			土佐の地名	94	
2144	ちょうじ	桃市	39702	四万十市			西南の地名	114	
2150	ついじ	筑地	39702	四万十市			西南の地名	115	
2147	ついぬけ	ついぬけ	39702	四万十市			西南の地名	115	
2149	つえとうげ	杖峠	39702	四万十市			西南の地名	115	
2148	つえんたに	つえん谷	39702	四万十市			西南の地名	115	
1437	つくらぶち	津蔵淵	39702	四万十市			ふたつの浮津	55	
2155	つくらぶち	津蔵淵	39702	四万十市			西南の地名	116	
2154	つぐろ	つぐろ	39702	四万十市			西南の地名	115	
1355	つのかわ	津野川	39702	四万十市			土佐の地名	285	
2158	つのかわ	津野川	39702	四万十市			西南の地名	116	
2679	つのかわ	津野川	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年4月6日	
2157	つのだき	角崎	39702	四万十市			西南の地名	116	
2516	つのだき	角崎	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年8月26日	
3084	つのだき	角崎	39702	四万十市		中世以前の地名で、古くは津崎、津野崎とも 書いた。船着場のある、川に突き出した土地	土佐地名往来(高 新)	平成21年1月20日	「高知県内の河川関連地 名」
2162	つぼのうち	坪ノ内	39702	四万十市			西南の地名	117	
2163	つまがき	つまがき	39702	四万十市			西南の地名	117	
2165	つるのまんど ころ	つるのま んどころ	39702	四万十市			西南の地名	117	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3481	つるやしき	鶴屋敷	39702	四万十市		土御門上皇が配流となり妃、千代鶴姫と生まれた皇子の住まいの地に由来?地検帳にはツルイヤシキ(釣井)	土佐地名往来(高 新)	平成29年10月30日	
2172	できじま	出来島	39702	四万十市			西南の地名	118	
2180	てんのう	天王	39702	四万十市			西南の地名	119	
2177	てんま	てんま	39702	四万十市			西南の地名	119	
2182	とうがだに	東毛谷	39702	四万十市			西南の地名	120	
2191	とうがぶち	堂ヶ渚	39702	四万十市			西南の地名	121	
2194	どうめき	百笑	39702	四万十市			西南の地名	121	
2853	どうめき	百笑	39702	四万十市		四万十川の赤鉄橋の左岸。同じような地名は全国に多数あり、波の音「どめく」による。どどは、10×10=百	土佐地名往来(高 新)	平成16年4月8日	「高知県方言辞典」 民俗地名語彙辞典・下
2192	どうめん	堂免	39702	四万十市			西南の地名	121	
2205	とのみち	殿道	39702	四万十市			西南の地名	122	
2208	とめがなろ	留ガ奈路	39702	四万十市			西南の地名	122	
1434	どめき	百笑	39702	四万十市			ふたつの浮津	53	
2211	とろいけ	トロ池	39702	四万十市			西南の地名	122	
2226	なかいえじ	中家地	39702	四万十市			西南の地名	126	
2221	ながいけ	長池	39702	四万十市			西南の地名	124	
2228	なかいた	中井田	39702	四万十市			西南の地名	126	
2215	なかお	中尾	39702	四万十市			西南の地名	123	
1348	ながおい	長生	39702	四万十市			土佐の地名	282	
2241	ながおい	長生	39702	四万十市			西南の地名	127	
2235	なかがわら	中河原	39702	四万十市			西南の地名	127	
2223	なかぐみ	中組	39702	四万十市			西南の地名	126	
1430	なかすじ	中筋	39702	四万十市			ふたつの浮津	51	
2222	なかすじがわ	中筋川	39702	四万十市			西南の地名	125	
2214	なかのかわ	中ノ川	39702	四万十市			西南の地名	123	
2217	なかのもり	中ノ森	39702	四万十市			西南の地名	123	
2227	なかば	中半	39702	四万十市			西南の地名	126	
2761	なかば	中半	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年4月27日	
2243	ながはしり	長走	39702	四万十市			西南の地名	127	
2219	なかま	仲間	39702	四万十市			西南の地名	123	
2213	なかみち	中道	39702	四万十市			西南の地名	123	
2220	なかむら	中村	39702	四万十市			西南の地名	123	
3086	なかむら	中村	39702	四万十市		中村の初出は弘安4(1281)年、京都一条家の幡多庄の中心という意味で生まれた地名	土佐地名往来(高 新)	平成21年2月3日	「日本の苗字読み解き事 典」
956	なかむらし	中村市	39702	四万十市			土佐の地名	89	
2236	なかや	中屋	39702	四万十市			西南の地名	127	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2218	なかやま	中山	39702	宿毛市 四万十市			西南の地名	123	
2244	ながれた	流れ田	39702	四万十市			西南の地名	127	
2246	なごはな	長鼻	39702	四万十市			西南の地名	128	
2247	なしし	名鹿	39702	四万十市			西南の地名	128	
2585	なしし	名鹿	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月28日	
2249	なだはしりが	灘走川	39702	四万十市			西南の地名	128	
3334	なべしま	鍋島	39702	四万十市		遠い昔、四万十川左岸河口の入江の島であつた鍋島は、竹島の南に「並んだ島」から転訛	土佐地名往来(高新)	平成26年6月30日	「下田郷土史料」
2261	にしかしつけ	西貸付	39702	四万十市			西南の地名	130	
2262	にしがほう	西ヶ方	39702	四万十市			西南の地名	130	
2258	にしむら	西村	39702	四万十市			西南の地名	130	
2267	にゆうた	入田	39702	四万十市			西南の地名	130	
2633	にゆうた	入田	39702	四万十市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年10月13日	
2268	にわた	庭田	39702	四万十市			西南の地名	131	
1585	のいねじり	野稲尻	39702	四万十市			ふたつの浮津	169	
2274	のかべ	野加辺	39702	四万十市			西南の地名	131	
2275	のげじり	野毛尻	39702	四万十市			西南の地名	131	
962	のべごろう	野辺五郎	39702	四万十市			土佐の地名	92	
2277	のまち	野町	39702	四万十市			西南の地名	132	
2278	ばあがふつくろ	ばあがふつくろ	39702	四万十市			西南の地名	132	
2280	はきいる	はぎいる	39702	四万十市			西南の地名	132	
2283	はげ	半家	39702	四万十市			西南の地名	132	
3124	はげ	半家	39702	四万十市		平家であることを隠すため平を半?。崖や傾斜の急な土地を言う地形語のハゲ(谷川彰英)	土佐地名往来(高新)	平成21年11月10日	「高知県の地名」 「高知県幡多郡誌」 谷川彰英「『地名』は語
2287	はさ	はさ	39702	四万十市			西南の地名	132	
2286	はざま	間	39702	四万十市			西南の地名	132	
2290	はしだに	橋谷	39702	四万十市			西南の地名	133	
2289	はしのうち	橋ノ内	39702	四万十市			西南の地名	133	
2295	はちがす	蜂巢	39702	四万十市			西南の地名	134	
2294	はちのす	はちのす	39702	四万十市			西南の地名	134	
1432	はつざき	初崎	39702	四万十市			ふたつの浮津	52	
3089	はつざき	初崎	39702	四万十市		中世にさかのぼる地名で、古くは福崎村。いわば「地域の果てとなるところの崎」河口の岬	土佐地名往来(高新)	平成21年2月24日	「ふたつの浮津から」
2296	はっそうだが	八宗田川	39702	四万十市			西南の地名	134	
2300	はぶしょうじ	羽生小路	39702	四万十市			西南の地名	135	
2311	ひがし	東	39702	四万十市			西南の地名	136	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2312	ひがしやま	東山	39702	四万十市			西南の地名	136	
2319	ひのじ	日ノ地	39702	四万十市			西南の地名	136	
2317	びわのかわ	びわの川	39702	四万十市			西南の地名	136	
2339	ふじ	藤	39702	四万十市			西南の地名	138	
2529	ふじのかわ	藤ノ川	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年10月14日	
3123	ふたみ	双海	39702	四万十市		もともとは伊屋。昭和32年中村市に編入の際 の公募新地名。飛び出た段丘の両側に海「双 海」	土佐地名往来(高 新)	平成21年10月27日	「土佐の地名」
1350	ふなき	舟木	39702	四万十市			土佐の地名	283	
2353	ふなき	舟木	39702	四万十市			西南の地名	141	
2349	ふば	不破	39702	四万十市			西南の地名	141	
2857	ふば	不破	39702	四万十市		幡多郡の五郷の一つが「宇和郷」。それが転 じて不破?教房は京都の石清水八幡宮から勧 請した不破八幡宮	土佐地名往来(高 新)	平成16年5月13日	安養寺禾麻「土佐幽玄考」 「高知県史 考古編」
2360	へえぐち	平口	39702	四万十市			西南の地名	142	
2361	へえもと	平元	39702	四万十市			西南の地名	142	
2375	ほけがもり	ほけが森	39702	四万十市			西南の地名	143	
2372	ほしやのかわ	保佐ノ川	39702	四万十市			西南の地名	143	
2374	ほそおとこ	小男	39702	四万十市			西南の地名	143	
2388	まえがもり	前ヶ森	39702	四万十市			西南の地名	145	
2387	まえだ	前田	39702	四万十市			西南の地名	145	
2389	まき	牧	39702	四万十市			西南の地名	145	
3316	まさき	間崎	39702	四万十市		四万十川の下流右岸。南の初崎と北の実崎と の間が間崎。ここ見善寺が大文字の送り火を	土佐地名往来(高 新)	平成26年2月17日	「長宗我部地検帳」 「土佐名家系譜」 「皆山集」10巻・西郊余翰
2417	みしま	三島	39702	四万十市			西南の地名	147	
2410	みずたに	水谷	39702	四万十市			西南の地名	147	
2407	みつまた	三つ又	39702	四万十市			西南の地名	146	
2414	みと	水戸	39702	四万十市			西南の地名	147	
2418	みね	峯	39702	四万十市			西南の地名	147	
2493	みねはげ	峯半家	39702	四万十市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年6月10日	
2415	みみきれ	耳切	39702	四万十市			西南の地名	147	
2423	みやじ	宮地	39702	四万十市			西南の地名	148	
2434	もくだ	木田	39702	四万十市			西南の地名	149	
2433	もくだいやしき	目代屋敷	39702	四万十市			西南の地名	149	
2435	もちい	用井	39702	四万十市			西南の地名	149	
2440	もりさわ	森沢	39702	四万十市			西南の地名	150	
2446	やかた	館	39702	四万十市			西南の地名	151	
957	やすなみ	安並	39702	四万十市			土佐の地名	89	
1431	やつか	八束	39702	四万十市			ふたつの浮津	52	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2458	ゆすのもと	ユスノ本	39702	四万十市			西南の地名	153	
2461	ゆば	ゆば	39702	四万十市			西南の地名	153	
2462	ゆわま	岩間	39702	四万十市			西南の地名	153	
2466	よこぜ	横瀬	39702	四万十市			西南の地名	154	
2467	よこはま	横浜	39702	四万十市 黒潮町			西南の地名	155	
2473	よばいのす	よばいの	39702	四万十市			西南の地名	155	
2479	らんか	らんか	39702	四万十市			西南の地名	156	
2476	ろくぶがはな	ろくぶヶ鼻	39702	四万十市			西南の地名	156	
2481	わいたいけ	脇井田池	39702	四万十市			西南の地名	156	
2484	わたりあがり	渡上	39702	四万十市			西南の地名	157	
1438	わたりがわ	渡川	39702	四万十市			ふたつの浮津	56	
2486	わたりがわ	渡川	39702	四万十市			西南の地名	157	
3038	わたりがわ	渡川	39702	四万十市		土佐州郡志にも「渡川 是四万十川之下流」とある。語源は渡し説と渡り説（野本氏）	土佐地名往来(高 新)	平成20年1月15日	「土佐州郡志」 「中村市史」 野本寛一「四万十川民俗
2489	わらびおか	蕨岡	39702	四万十市			西南の地名	158	
2488	わらびだに	蕨谷	39702	四万十市			西南の地名	158	
1447	あねやま	姉山	39703	宿毛市			ふたつの浮津	65	
1670	あらせ	荒瀬	39703	宿毛市			西南の地名	49	
1680	いけ	池	39703	宿毛市			西南の地名	50	
2524	いっちゅうばら	一生原	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年9月23日	
2567	いでい	出井	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年2月24日	
3389	いでい	出井	39703	宿毛市	井	篠山からにじみ出る冷泉・水の湧き出でる井(水くみ場)ことから。出井の甌穴群は独特の景観	土佐地名往来(高 新)	平成27年9月28日	「宿毛市 集落の歴史と文化財」
1703	いのりやま	いのり山	39703	宿毛市			西南の地名	53	
1707	いもせやま	妹背山	39703	宿毛市			西南の地名	54	
1710	いよの	伊与野	39703	宿毛市			西南の地名	55	
1718	うくるしま	鵜来島	39703	宿毛市			西南の地名	55	
1723	うすすき	宇須々木	39703	宿毛市			西南の地名	57	
2492	うすすき	宇須々木	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年6月3日	
3502	うすすき	宇須々木	39703	宿毛市		九州の臼杵からご神体が流れ着いたことから、臼杵にちなんで宇須々木の地名が。地検帳にも臼杵分が散見	土佐地名往来(高 新)	平成30年4月23日	門谷久治「宿毛西部を中心とした郷土誌」1951年
1743	えぼしざき	烏帽子崎	39703	宿毛市			西南の地名	59	
3526	おおしま	大島	39703	宿毛市		周辺の片島・池島・一島なども大島村の中に入っている群島の中で一番大きな島。片島は大島の片割れの島の意	土佐地名往来(高 新)	平成30年12月3日	橋田庫欣「宿毛市 集落の歴史と文化財」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1801	おおぶかうら	大深浦	39703	宿毛市			西南の地名	64	
1777	おおものがわ	大物川	39703	宿毛市			西南の地名	62	
1443	おきのしま	沖ノ島	39703	宿毛市			ふたつの浮津	62	
1787	おくふじ	奥藤	39703	宿毛市			西南の地名	63	
1790	おしのかわ	押ノ川	39703	宿毛市			西南の地名	63	
1811	かいそう	貝礎	39703	宿毛市			西南の地名	65	
1810	かいづか	貝塚	39703	宿毛市			西南の地名	65	
1835	かたしま	片島	39703	宿毛市			西南の地名	69	
1646	かみあり	神有	39703	宿毛市			地名メモ		
2787	かみあり	神有	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年9月28日	
971	かんようとう	咸陽島	39703	宿毛市			土佐の地名	96	
1861	かんようとう	咸陽島	39703	宿毛市			西南の地名	74	
1867	きがるやま	キガル山	39703	宿毛市			西南の地名	76	
982	きょうほう	京法	39703	宿毛市			土佐の地名	101	
1875	きょうほう	京法	39703	宿毛市			西南の地名	77	
1876	きりしま	桐島	39703	宿毛市			西南の地名	78	
1887	くしがはな	櫛ガ鼻	39703	宿毛市			西南の地名	79	
1897	くすやま	楠山	39703	宿毛市			西南の地名	79	
2698	くすやま	楠山	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年6月8日	
1881	くつぬぎ	靴抜	39703	宿毛市			西南の地名	78	
1914	くるまおか	車岡	39703	宿毛市			西南の地名	81	
1916	くれがわ	久礼ノ川	39703	宿毛市			西南の地名	81	
1918	くろかわ	黒川	39703	宿毛市			西南の地名	82	
2652	げんじゅうや ぶ	還住藪	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年12月15日	
1448	げんじゅやぶ	還住藪	39703	宿毛市			ふたつの浮津	65	
1929	こうずくじら	高津河原	39703	宿毛市			西南の地名	83	
980	こうずぐら	高津河原	39703	宿毛市			土佐の地名	100	
1947	こじま	小島	39703	宿毛市			西南の地名	85	
1445	こづくし	小筑紫	39703	宿毛市			ふたつの浮津	63	
1952	こづくし	小筑紫	39703	宿毛市			西南の地名	86	
3040	こづくし	小筑紫	39703	宿毛市		この地に流れ着いた道真が「ここが筑紫か」と問うたことに由来? 周辺には天満宮が多い	土佐地名往来(高 新)	平成20年1月29日	「宿毛市史」 広江清「長宗我部地検帳の 神々」、「土佐の地名」
1957	こびの	古尾野	39703	宿毛市			西南の地名	86	
1956	こまつ	小松	39703	宿毛市			西南の地名	86	
1962	こみはら	小三原	39703	宿毛市			西南の地名	87	
972	さかのした	坂ノ下	39703	宿毛市			土佐の地名	96	
1993	ささやま	笹山	39703	宿毛市			西南の地名	92	
977	しおすか	塩須賀	39703	宿毛市			土佐の地名	99	
1446	しかざき	鹿崎	39703	宿毛市			ふたつの浮津	64	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
981	したかせ	師高瀬	39703	宿毛市			土佐の地名	100	
2014	したかせ	師高瀬	39703	宿毛市			西南の地名	95	
2049	しょうわ	正和	39703	宿毛市			西南の地名	103	
2061	しんじょうやま	新城山	39703	宿毛市			西南の地名	106	
3088	しんちょう	真丁	39703	宿毛市		大地震で宿毛の町は壊滅。新しい商家の町を、すでに新町があったため「新丁」。後に転訛	土佐地名往来(高 新)	平成21年2月17日	「宿毛市 集落の歴史と文化財」
2066	すくも	宿毛	39703	宿毛市			西南の地名	106	
3083	すくも	宿毛	39703	宿毛市		松田川の砂洲一面に葦の生い茂る湿原が形成。その葦などの枯れたものを古語で「すくも」	土佐地名往来(高 新)	平成21年1月13日	「宿毛市史」 「後撰和歌集」紀内親王
970	すくもし	宿毛市	39703	宿毛市			土佐の地名	95	
2094	たかおか	高岡	39703	宿毛市			西南の地名	109	
3364	たかさご	高砂	39703	宿毛市		市街化が進み21世帯で高砂(たかすな)区が誕生。中州の小高い砂原でタカスナを縁起でタカサゴ	土佐地名往来(高 新)	平成27年3月16日	「宿毛市 集落の歴史と文化財」
979	たこす	高石	39703	宿毛市			土佐の地名	100	
2111	たこす	高石	39703	宿毛市			西南の地名	111	
2122	たのむだ	たのむだ	39703	宿毛市			西南の地名	112	
2129	たまがら	玉柄	39703	宿毛市			西南の地名	113	
2133	たろうだば	太郎駄場	39703	宿毛市			西南の地名	113	
2678	つがのかわ	都賀ノ川	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年3月30日	
973	てしろおか	手代岡	39703	宿毛市			土佐の地名	97	
2173	てしろおか	手代岡	39703	宿毛市			西南の地名	119	
2572	てしろおか	手代岡	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年3月10日	
2797	てらやま	寺山	39703	宿毛市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和58年12月7日	
2176	てんじん	天神	39703	宿毛市			西南の地名	119	
2185	どいのうち	土居ノ内	39703	宿毛市			西南の地名	120	
2183	とうがいち	東毛市	39703	宿毛市			西南の地名	120	
976	としおとこでん	年男田	39703	宿毛市			土佐の地名	98	
2204	とのうら	との浦	39703	宿毛市			西南の地名	122	
2224	なかがいち	中ヶ市	39703	宿毛市			西南の地名	126	
2225	なかすか	中須賀	39703	宿毛市			西南の地名	126	
2216	なかつの	中角	39703	宿毛市			西南の地名	123	
2237	なごお	長尾	39703	宿毛市			西南の地名	127	
2257	にしき	錦	39703	宿毛市			西南の地名	130	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3381	にしき	錦	39703	宿毛市		武将立田九郎右衛門の錦城。法花津弥四郎の妻は都人で機織りをしたゆえ「錦」	土佐地名往来(高新)	平成27年7月27日	「土佐州郡志」
2266	にのみや	二ノ宮	39703	宿毛市			西南の地名	130	
3494	にのみや	二ノ宮	39703	宿毛市	二ノ宮	一の宮、二の宮は、昔、国ごとに神社の社格・序列を定めたもの。波多国の二ノ宮と呼ばれたのが正八幡宮	土佐地名往来(高新)	平成30年2月26日	橋田庫欣「宿毛市 集落と文化財」
2282	はぎはら	萩原	39703	宿毛市			西南の地名	132	
1442	はしがみ	橋上	39703	宿毛市			ふたつの浮津	61	
2288	はしがみ	橋上	39703	宿毛市			西南の地名	132	
2293	はだかじま	裸島	39703	宿毛市			西南の地名	133	
1449	ひめしま	姫島	39703	宿毛市			ふたつの浮津	66	
2322	ひめじま	姫島	39703	宿毛市			西南の地名	136	
3376	ひらた	平田	39703	宿毛市		幡多郡五郷の一つが平田郷。中筋川が流れ田地が広がった平野が平田。遠く古代からの営み	土佐地名往来(高新)	平成27年6月15日	「和名類聚抄」 「高知県幡多郡誌」
2338	ふくら	福良	39703	宿毛市			西南の地名	138	
3386	ふくら	福良	39703	宿毛市	フクラ	海岸山中で水流の屈曲が造ったやや広い平地。福良も蛇行する川べりにふっくらと田畠が形成	土佐地名往来(高新)	平成27年8月31日	「定本柳田国男集」20巻 「おらんく話」
2354	ふなどこ	船床	39703	宿毛市			西南の地名	141	
974	へない	戸内	39703	宿毛市			土佐の地名	97	
2363	へない	戸内	39703	宿毛市			西南の地名	143	
2367	ぼうじのはえ	傍示ノハ	39703	宿毛市			西南の地名	143	
2379	ほとうねほ	ほとうねほ	39703	宿毛市			西南の地名	144	
2385	ほんじょうやま	本城山	39703	宿毛市			西南の地名	144	
2396	まつだがわ	松田川	39703	宿毛市			西南の地名	145	
2409	みずしま	水島	39703	土佐清水			西南の地名	147	
2411	みちのかわ	道ノ川	39703	宿毛市			西南の地名	147	
2426	むくづ	藻津	39703	宿毛市			西南の地名	148	
1444	もしま	母島	39703	宿毛市			ふたつの浮津	63	
2443	やなぎだに	柳谷	39703	宿毛市			西南の地名	151	
2751	やまきた	山北	39703	宿毛市			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年12月14日	
975	やまだ	山田	39703	宿毛市			土佐の地名	98	
2454	やまだ	山田	39703	宿毛市			西南の地名	151	
978	よいちみょう	与市明	39703	宿毛市			土佐の地名	99	
2463	よいちみょう	與市名	39703	宿毛市			西南の地名	154	
2852	よいちみょう	与市明	39703	宿毛市		野中兼山の遺児が宿毛へ流されたとき長男・清七一明に与えられた土地は俗説。地検帳に「与一名」与一の名田	土佐地名往来(高新)	平成16年4月1日	橋田庫欣「宿毛市の歴史と文化財」
2470	よしな	芳奈	39703	宿毛市			西南の地名	155	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2625	よしな	芳奈	39703	宿毛市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年9月15日	
3045	よびさき	呼崎	39703	宿毛市 須崎市		入り江に面して向かいあった二つの集落。互いに大きな声で呼び交わす土地柄から「呼崎」	土佐地名往来(高 新)	平成20年3月4日	「宿毛市 集落の歴史と文化財」
2485	わだ	和田	39703	宿毛市			西南の地名	157	
1579	あじろ	網代	39704	大月町			ふたつの浮津	163	
1669	あまじ	安満地	39704	大月町			西南の地名	49	
2581	あまじ	安満地	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年4月14日	
1675	ありさこぐち	蟻狭口	39704	大月町			西南の地名	50	
1581	いっさい	一切	39704	大月町			ふたつの浮津	166	
1697	いっさい	一切	39704	大月町			西南の地名	52	
1338	うらじり	浦尻	39704	大月町			土佐の地名	277	
1341	おおうら	大浦	39704	大月町			土佐の地名	279	
1753	おおつきちょう	大月町	39704	大月町			西南の地名	60	
1764	おおどうかい がん	大堂海岸	39704	大月町			西南の地名	61	
1792	おおやしき	大屋敷	39704	大月町			西南の地名	64	
1824	かさぎ	笠木	39704	大月町			西南の地名	66	
2717	かしのうら	櫨ノ浦	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年8月17日	
1827	かしらつどい	頭集	39704	大月町			西南の地名	67	
3042	かしらつどい	頭集	39704	大月町		石切職人の頭の集合地？この地に古満目、柏島、安満地、弘見からの往還が通じる中心地	土佐地名往来(高 新)	平成20年2月12日	谷口研語「地名の博物誌」 「大内町史」
1829	かしわじま	柏島	39704	大月町			西南の地名	67	
3358	かしわじま	柏島	39704	大月町		島の形が柏の葉っぱに似ていることから。他方、カシワは「堅い磐」のつまったもの説も	土佐地名往来(高 新)	平成27年2月2日	「長宗我部地検帳」 「大内町史」 「日本の地名」松尾俊郎
1854	からいわ	唐岩	39704	大月町			西南の地名	73	
1335	くちめずか	口目塚	39704	大月町			土佐の地名	276	
1927	こうしま	幸島	39704	大月町			西南の地名	83	
1928	こうもう	高望	39704	大月町			西南の地名	83	
1945	こさいつの	小才角	39704	大月町			西南の地名	85	
2596	こさいつの	小才角	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年6月2日	
1337	こまめ	古満目	39704	大月町			土佐の地名	277	
1961	こまめ	古満目	39704	大月町			西南の地名	87	
1981	さいつの	才角	39704	大月町			西南の地名	89	
2239	さがそ	長沢	39704	大月町			西南の地名	127	
2004	しいのうら	椎ノ浦	39704	大月町			西南の地名	94	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2045	しょうじおか	障子岡	39704	大月町			西南の地名	103	
2044	しょうやばやし	庄屋林	39704	大月町			西南の地名	102	
2056	しりがい	尻がい	39704	大月町			西南の地名	105	
2055	しりき	尻木	39704	大月町			西南の地名	105	
2063	すおうがた	周防形	39704	大月町			西南の地名	106	
2077	せお	清王	39704	大月町			西南の地名	107	
2085	そいのかわ	添ノ川	39704	大月町			西南の地名	109	
2104	たきやま	滝山	39704	大月町			西南の地名	110	
2109	たけがいち	竹ヶ市	39704	大月町			西南の地名	111	
2112	たしろ	田代	39704	中土佐町			西南の地名	111	
2508	たちばなうら	橘浦	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年7月29日	
1336	たつがさこ	竜ヶ迫	39704	大月町			土佐の地名	277	
2118	たつがさこ	龍ヶ迫	39704	大月町			西南の地名	112	
2609	タッチ	タッチ	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年7月21日	
2153	つきがおか	月ヶ岡	39704	大月町			西南の地名	115	
1580	つきなだ	月灘	39704	大月町			ふたつの浮津	164	
2160	つばいしばえ	つばいし	39704	大月町			西南の地名	117	
2161	つぼのしょう	坪ノ後	39704	大月町			西南の地名	117	
2169	つるばのはな	弦場の鼻	39704	大月町			西南の地名	118	
2252	なりばた	成畑	39704	大月町			西南の地名	128	
2260	にしどまり	西泊	39704	大月町			西南の地名	130	
1578	はちのす	蜂ノ巣	39704	大月町			ふたつの浮津	162	
2301	はるどう	春遠	39704	大月町			西南の地名	135	
2536	はるどう	春遠	39704	大月町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年11月4日	
2303	はんど	はんど	39704	大月町			西南の地名	135	
1340	ひめのい	姫の井	39704	四万十市			土佐の地名	278	
2321	ひめのい	姫ノ井	39704	大月町			西南の地名	136	
3499	ひめのい	姫ノ井	39704	大月町		姫ノ井城がある中世以前の地名。姫君がよく 汲みにきた井戸が地名由来。もとは井ノ川の 井戸	土佐地名往来(高 新)	平成30年4月2日	大月史談会「大月の昔ばなし」第1集
2310	ひゅうがはな	日向鼻	39704	大月町			西南の地名	136	
2333	びろうじま	蒲葵島	39704	大月町			西南の地名	137	
2331	ひろみ	弘見	39704	大月町			西南の地名	137	
3373	ひろみ	弘見	39704	大月町	広見	弘見は山あいを開けた盆地状の広い土地。平 野の真っ只中や海岸にはない。野見、大野見	土佐地名往来(高 新)	平成27年5月25日	「長宗我部地検帳」 「大内町史」
1339	ふくどう	福堂	39704	大月町			土佐の地名	278	
2347	ふたつし	二ツ石	39704	大月町			西南の地名	140	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2357	ふろのおく	ふろのおく	39704	大月町			西南の地名	142	
2365	べんてんじま	弁天島	39704	大月町			西南の地名	143	
2370	ほうざき	朴崎	39704	大月町			西南の地名	143	
2376	ほこつち	鉾土	39704	大月町			西南の地名	144	
2373	ほそごえ	ほそ越	39704	大月町			西南の地名	143	
2382	ほんだ	本田	39704	大月町			西南の地名	144	
2394	まつがした	松ヶ下	39704	大月町			西南の地名	145	
3360	みはら	三原	39704	三原村		三原の元は、皆尾地区の沖の原、亀ノ川地区の桑原、宮ノ川地区の水原の三つで三原	土佐地名往来(高 新)	平成27年2月16日	「三原村史」
2420	みやたに	宮谷	39704	大月町			西南の地名	148	
2427	むくりやま	むくり山	39704	津野町			西南の地名	148	
2428	むくろうじだに	むくろじ谷	39704	大月町			西南の地名	149	
2430	むるばえ	鯉箸	39704	四万十市			西南の地名	149	
2439	もめんじり	木面尻	39704	大月町			西南の地名	150	
2465	よかりやま	ヨカリ山	39704	大月町			西南の地名	154	
3370	よしい	芳井	39704	三原村		中村支藩の小八木氏の開拓地。構築した井堰水路を水量の多いことを願ひ好字の芳井	土佐地名往来(高 新)	平成27年4月27日	「角川日本地名大辞典㉔」
1650	あいさい	あいさい	39705	三原村			西南の地名	46	
1676	あんのき	安ノ木	39705	三原村			西南の地名	50	
1590	いまのやま	今ノ山	39705	三原村			ふたつの浮津	173	
1706	いまのやま	今ノ山	39705	三原村			西南の地名	54	
1729	うめき	梅木	39705	三原村			西南の地名	57	
1741	えのたに	江ノ谷	39705	三原村			西南の地名	59	
1588	おうかみうち	狼内	39705	三原村			ふたつの浮津	171	
2672	おおかみうち	狼内	39705	三原村			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年3月2日	
1780	おおかみのう	狼内	39705	三原村			西南の地名	63	
1812	かいがもり	貝ヶ森	39705	三原村			西南の地名	65	
2580	かみながたに	上長谷	39705	三原村			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年4月7日	
1361	かめのかわ	亀ノ川	39705	三原村			土佐の地名	288	
1849	かめのかわ	亀ノ川	39705	三原村			西南の地名	72	
1859	かんづくり	かんづくり	39705	三原村			西南の地名	73	
1909	くらたね	倉谷	39705	三原村			西南の地名	81	
1360	くるすの	来栖野	39705	四万十市			土佐の地名	288	
1912	くるすの	来栖野	39705	三原村			西南の地名	81	
1923	こうさい	幸才	39705	三原村				83	
2003	さんげんや	甲才	39705	黒潮町			西南の地名	93	
		三軒屋	39705	三原村			西南の地名		

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2013	したぎり	下切	39705	三原村			西南の地名	95	
2026	しみずがわ	清水川	39705	三原村			西南の地名	100	
2030	しもながたに	下長谷	39705	三原村			西南の地名	101	
2086	そうか	宗賀	39705	三原村			西南の地名	109	
2098	たかのね	たかのね	39705	三原村			西南の地名	110	
2141	ちがいの	違野	39705	三原村			西南の地名	114	
1362	つるがいち	鶴ヶ市	39705	三原村			土佐の地名	289	
2167	つるがいち	鶴ヶ市	39705	三原村			西南の地名	118	
2168	つるば	鶴場	39705	三原村			西南の地名	118	
2186	どいみね	土居峰	39705	三原村			西南の地名	120	
2253	なるやま	成山	39705	三原村			西南の地名	128	
1587	ひなたやま	日向山	39705	三原村			ふたつの浮津	170	
2344	ふじがだば	藤ヶ駄場	39705	三原村			西南の地名	139	
2351	ふなんとう	舟ノ峠	39705	三原村			西南の地名	141	
2362	べっとう	別当	39705	三原村			西南の地名	142	
2369	ほうのき	朴ノ木	39705	三原村			西南の地名	143	
2402	まんどころ	政所	39705	三原村 大月町			西南の地名	146	
1589	みなお	皆尾	39705	四万十市 三原村			ふたつの浮津	172	
1644	みなお	皆尾	39705	三原村			地名メモ		
2636	みなお	皆尾	39705	三原村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年10月20日	
1645	みなおがわ	皆尾川	39705	三原村			地名メモ		
1358	みはら	三原	39705	三原村			土佐の地名	287	
2416	みはら	三原	39705	三原村			西南の地名	147	
2743	みやのかわ	宮ノ川	39705	三原村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年11月16日	
2455	ゆずりはやま	ゆずりは	39705	三原村			西南の地名	152	
1359	ゆずりばやま	譲葉山	39705	三原村			土佐の地名	287	
2459	ゆのき	柚ノ木	39705	三原村			西南の地名	153	
2703	ゆのき	柚ノ木	39705	三原村			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年6月29日	
2468	よしい	吉井	39705	三原村			西南の地名	155	
989	あしずりみさき	足摺岬	39706	土佐清水市			土佐の地名	104	
1664	あしずりみさき	足摺岬	39706	土佐清水			西南の地名	48	
1673	ありなが	有永	39706	土佐清水			西南の地名	49	
1679	いえじがわ	家路川	39706	土佐清水			西南の地名	50	
1684	いさ	伊佐	39706	土佐清水			西南の地名	51	
3049	いずたとうげ	伊豆田峠	39706	土佐清水市		市野瀬の伊豆田神社は式内社で千年の歴史。 イデユタ：出湯田が語源で水の湧きだすところ？	土佐地名往来(高 新)	平成20年4月1日	橋本登「下茅の歴史」 志賀剛「式内社の研究」

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1701	いつたとうげ	伊豆田峠	39706	土佐清水			西南の地名	53	
3138	いなん	渭南	39706	土佐清水市		伊豆田峠の南部を以南と称いた。明治30年頃土陽新聞が四万十川を中国の渭水に見たて渭南	土佐地名往来(高 新)	平成22年2月23日	「土佐清水市史」 「武市佐市郎集①」
994	いぶり	以布利	39706	土佐清水市			土佐の地名	107	
1643	いぶり	以布利	39706	土佐清水市			地名メモ	73	
1704	いぶり	以布利	39706	土佐清水			西南の地名	53	
1711	いよだば	伊与駄場	39706	土佐清水			西南の地名	55	
1715	うえの	上の	39706	土佐清水			西南の地名	55	
2608	うえの	上野	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年7月14日	
3135	うすばえ	臼箸	39706	土佐清水市	ハエ	黒潮碎ける岩礁。白く渦巻くさまを挽き臼の ように見たのだろう。州郡志に臼岩	土佐地名往来(高 新)	平成22年2月2日	「土佐州郡志」
1731	うらじり	浦尻	39706	土佐清水			西南の地名	58	
996	えべすちょう	戎町	39706	土佐清水市			土佐の地名	108	
1758	おおいきりだ	大碓谷	39706	土佐清水			西南の地名	60	
1762	おおかわうち	大河内	39706	土佐清水			西南の地名	61	
1759	おおき	大岐	39706	土佐清水			西南の地名	61	
2683	おおつ	大津	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年4月20日	
1761	おおと	大戸	39706	土佐清水			西南の地名	61	
2528	おおはま	大浜	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年10月7日	
1763	おおむらばえ	大村箸	39706	土佐清水			西南の地名	61	
993	おおやけ	大焼	39706	土佐清水市			土佐の地名	107	
1451	おがた	小方	39706	土佐清水			ふたつの浮津	67	
3368	おがた	小方	39706	土佐清水市		下ノ加江川の河口左岸、昔は小さな入り干 潟。やがて土地となり集落となる小潟が小方	土佐地名往来(高 新)	平成27年4月13日	「下茅の歴史」橋本登
1793	おちくぼ	落窪	39706	土佐清水			西南の地名	64	
3136	おとなしがわ	音無川	39706	土佐清水市		万次郎の生まれた故郷に流れる小谷。音無神 社のそば、文字どおり水音の静かな川	土佐地名往来(高 新)	平成22年2月9日	「土佐清水市史」下巻
1450	おにがうら	鬼ヶ浦	39706	土佐清水			ふたつの浮津	67	
1799	おにがうら	鬼ヶ浦	39706	土佐清水			西南の地名	64	
997	おのづみ	斧積	39706	土佐清水市			土佐の地名	109	
1802	おのづみ	斧積	39706	土佐清水			西南の地名	64	
986	かいがけ	鍵掛	39706	土佐清水市			土佐の地名	103	
1813	かいがけ	鍵掛	39706	土佐清水			西南の地名	65	
2975	かいがけ	鍵掛	39706	土佐清水市	カケ	中世以前の地名で古くはかぎかけ、かぎが け。カケは崩壊地名。カイは欠きから転じた もの	土佐地名往来(高 新)	平成18年10月19日	市原麟一郎「土佐のお地蔵 さん」 松尾俊郎「日本の地名」
1809	かいのかわ	貝ノ川	39706	土佐清水			西南の地名	65	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2500	かいのかわう ら	貝ノ川浦	39706	土佐清水 市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年7月1日	
2624	かぎかけ	鍵掛	39706	土佐清水 市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年9月8日	
2795	かくみ	加久見	39706	土佐清水 市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和58年10月26日	
1821	かぐみ	加久見	39706	土佐清水			西南の地名	66	
1834	かたかす	片粕	39706	土佐清水			西南の地名	69	
1839	かないざき	叶崎	39706	土佐清水			西南の地名	70	
2971	かなえざき	叶崎	39706	土佐清水市		叶崎の初出は土佐州郡志。観音を祭った岬が 転じて叶崎(かなえざき)に転訛	土佐地名往来(高 新)	平成18年9月21日	沖本樵児「土佐サボテン仙 人炉辺歓話」 「土佐州郡志」
1845	かみくらかわ	上倉川	39706	中土佐町 土佐清水			西南の地名	71	
1857	かりつ	狩津	39706	土佐清水			西南の地名	73	
1452	きのかわ	木ノ川	39706	土佐清水			ふたつの浮津	68	
1873	きのつじ	木ノ辻	39706	土佐清水			西南の地名	77	
2549	きのつじ	木ノ辻	39706	土佐清水 市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年12月23日	
1879	くいた	クイタ	39706	土佐清水			西南の地名	78	
2645	くぼつ	窪津	39706	土佐清水 市			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年11月24日	
1904	くまじ	久万地	39706	土佐清水			西南の地名	81	
992	くもも	久百々	39706	土佐清水市			土佐の地名	106	
1910	くりんもり	九輪森	39706	土佐清水			西南の地名	81	
1973	こうんごうふく	金剛福寺	39706	土佐清水			西南の地名	89	
1937	こえ	越	39706	土佐清水			西南の地名	84	
3507	こえ	越	39706	土佐清水 市	コエ	越と小江の二つの表記。南路志に「越村 い まは小江」とある。昔、清水を大江と呼ん だ。小さな入り江の意か	土佐地名往来(高 新)	平成30年6月4日	亀井釣月「補註幡南探古 録」
995	こばま	小場馬	39706	土佐清水市			土佐の地名	108	
1971	ごんげん	権現	39706	土佐清水 市			西南の地名	88	
1986	さかい	坂井	39706	土佐清水			西南の地名	91	
990	さわ	沢	39706	土佐清水市			土佐の地名	105	
2005	しおやだにとう	塩屋谷峠	39706	土佐清水			西南の地名	94	
2011	しだら	齒朶浦	39706	土佐清水			西南の地名	95	
2025	しみず	清水	39706	土佐清水			西南の地名	100	
991	しもかわぐち	下川口	39706	土佐清水市			土佐の地名	105	
2031	しもかわぐち	下川口	39706	土佐清水			西南の地名	101	
2032	しものかえ	下ノ加江	39706	土佐清水			西南の地名	101	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3097	しものかえ	下ノ加江	39706	土佐清水市		植物の茅に由来。燃えやすい茅の字を嫌い霜 栢に変わり、明治には下ノ加江村	土佐地名往来(高 新)	平成21年4月21日	亀井釣月「補注幡南探古 録」
2068	すすだま	珠々玉	39706	土佐清水			西南の地名	107	
984	すすだま	珠々玉	39706	土佐清水市			土佐の地名	102	
2072	すほのろばな	すほのろ	39706	土佐清水			西南の地名	107	
2082	ぜにいわ	銭岩	39706	土佐清水			西南の地名	108	
2084	せんちばえ	せんちば	39706	土佐清水			西南の地名	108	
2083	せんばんたき	千万滝	39706	土佐清水 市			西南の地名	108	
1454	そうろ	宗呂	39706	土佐清水			ふたつの浮津	70	
2089	そうろ	宗呂	39706	土佐清水			西南の地名	109	
2099	たかて	高手	39706	土佐清水			西南の地名	110	
2101	たかばた	高畑	39706	土佐清水			西南の地名	110	
2117	たつくし	竜串	39706	土佐清水			西南の地名	112	
985	たていし	立石	39706	土佐清水市			土佐の地名	103	
2139	ちひろざき	千尋崎	39706	土佐清水			西南の地名	114	
987	つまじろ	爪白	39706	土佐清水市			土佐の地名	104	
2164	つまじろ	爪白	39706	土佐清水			西南の地名	117	
3048	つまじろ	爪白	39706	土佐清水市		カラスの白い爪か鹿の白い蹄か。違う伝承が 二つある地検帳にある古い地名「爪白ノ村」	土佐地名往来(高 新)	平成20年3月25日	谷真潮「西浦廻見日記」 亀井釣月「補注幡南探古
2170	つろ	津呂	39706	土佐清水			西南の地名	118	
2178	てんしがもり	天子ヶ森	39706	土佐清水 市			西南の地名	119	
2188	とうじんだば	唐人駄場	39706	土佐清水			西南の地名	120	
3093	とうじんだば	唐人駄場	39706	土佐清水市		駄場は山やなどにある平らな場所の意。狼煙 を上げる人(燈人)、異国船の見張(唐人)の居 住地	土佐地名往来(高 新)	平成21年3月24日	「土佐清水市史」
2189	とうせんじま	唐船島	39706	土佐清水			西南の地名	120	
2197	とうなろろ	遠奈路	39706	土佐清水			西南の地名	121	
2181	とうま	当麻	39706	土佐清水			西南の地名	120	
2195	とうみざき	遠見崎	39706	土佐清水			西南の地名	121	
1453	とおなろ	遠奈路	39706	土佐清水			ふたつの浮津	69	
3091	とさしみず	土佐清水	39706	土佐清水市		南路志に「清水 渡場二有 名水也 此清水に よいて当村の名とせる物ならん」とある古来 の名水	土佐地名往来(高 新)	平成21年3月10日	「南路志」
983	とさしみずし	土佐清水	39706	土佐清水市			土佐の地名	102	
2212	ないざ	内沢	39706	土佐清水			西南の地名	123	
2238	ながさき	長笹	39706	土佐清水			西南の地名	127	
2662	なかのはま	中浜	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年1月26日	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
3486	なかのはま	中浜	39706	土佐清水市		東に大浜、西に小浜があり、その中間から「中浜」。小浜は潮津波で消滅した。太平洋に面した万次郎の誕生地	土佐地名往来(高 新)	平成29年12月4日	亀井釣月「補註幡南探古 録」
2269	ぬの	布	39706	土佐清水			西南の地名	131	
2593	ぬの	布	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年5月26日	
3037	ねこがみばし	猫神橋	39706	土佐清水市		西光寺住職の愛猫の死により祠を建て供養した「猫神さん」に由来する	土佐地名往来(高 新)	平成20年1月8日	「土佐清水市史」下巻 八岩まどか「猫神様の散歩 道」
3496	はらいがわ	払川	39706	土佐清水市	祓川	四国霊場38番札所金剛福寺の奥の院である白皇神社に参拝する際、清めの水を使った川、ゆえに払川。	土佐地名往来(高 新)	平成30年3月12日	「土佐清水市史」下巻
2325	ひらき	開	39706	土佐清水			西南の地名	137	
2326	ひらのだん	平ノ段	39706	土佐清水			西南の地名	137	
2329	ひろはた	広畑	39706	土佐清水			西南の地名	137	
2512	ふじのかわ	藤ノ川	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和55年8月12日	
2377	ほこのたいら	銚ノ平	39706	土佐清水			西南の地名	144	
2978	ましの	益野	39706	土佐清水市	マシ	猿は古名を「まし」「ましら」といった。疫病の退散を願って縁起名「益野」に改名	土佐地名往来(高 新)	平成18年11月9日	「土佐州郡志」 「土陽隠見紀談」 亀井釣月「幡多探古録」
2397	まつお	松尾	39706	土佐清水			西南の地名	145	
3132	まつお	松尾	39706	土佐清水市	マツオ	松の植生に由来。生は所を示す語で松生でマツオと読む。地名の〇尾は全部「生」	土佐地名往来(高 新)	平成22年1月12日	「地名風土記」 「写真集 土佐清水」
988	まつやま	松山	39706	土佐清水市			土佐の地名	104	
2398	まないた	まないた	39706	土佐清水			西南の地名	145	
2404	みさき	三崎	39706	土佐清水			西南の地名	146	
2413	みなと	港	39706	土佐清水			西南の地名	147	
2431	めじはな	目耳鼻	39706	土佐清水			西南の地名	149	
2464	ようろう	養老	39706	土佐清水			西南の地名	154	
3041	ようろう	養老	39706	土佐清水市		加久見村の老人たちの隠居先となる移住の地。養老浦として成立したのは元禄年間のこと	土佐地名往来(高 新)	平成20年2月5日	「土佐清水市史」 亀井釣月「補註幡南探古 録」
2563	よこみち	横道	39706	土佐清水 市			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年2月10日	
1662	あしがわ	足川	99999	各地			西南の地名	47	
1685	いしわら	石原	99999	各地			西南の地名	51	
1744	えべすばえ	戎箸	99999	各地			西南の地名	59	
1760	おおたに	大谷	99999	各地			西南の地名	61	
1791	おそごえ	オソ越 (※遅越)	99999	各地		ほそ→おそ 小さい越えるところ。	西南の地名	63	
1820	かげじ	影地	99999	各地			西南の地名	66	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2024	しまんとがわ	四万十川	99999	流域			西南の地名	96	
2069	すすきばえ	すすき箸	99999	各地			西南の地名	107	
2110	たけび	竹部	99999	各地			西南の地名	111	
2121	たじょう	田条	99999	各地			西南の地名	112	
2127	だば	駄場	99999	各地			西南の地名	112	
2171	であい	出合	99999	各地			西南の地名	118	
2184	どい	土居	99999	各地			西南の地名	120	
2259	にしだに	西谷	99999	各地			西南の地名	130	
2279	はいかた	灰方	99999	各地			西南の地名	132	
2292	はた	はた	99999	各地			西南の地名	133	
2336	ふきこし	吹越	99999	各地			西南の地名	138	
2352	ふなと	舟戸	99999	各地			西南の地名	141	
2393	まごたろうむすめ	孫太郎娘	99999	各地			西南の地名	145	
2399	まとば	的場	99999	各地			西南の地名	145	
2447	やぶ	藪	99999	各地			西南の地名	151	
2452	やまぶしとうげ	山伏峠	99999	各地			西南の地名	151	
24	あめんうしぶち	阿免宇志	0100	四万十町	瀬瀬		土佐州郡志	279	
25	いわもとじ	岩本寺	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	
1566	くぼかわ	窪川	0100	四万十町			ふたつの浮津	155	
15	くぼかわむら	窪川村	0100	四万十町	郷村	西限大井野村南限西原村北限根々崎村東西十三町南北十二町其土赤黒村中有川流。土居、	土佐州郡志	279	
20	こくぼかわだ	小久保川	0100	四万十町	川		土佐州郡志	279	
32	こるい	古壘	0100	四万十町	古蹟	在茂串山山内備後守之居城也	土佐州郡志	279	
28	こんぴら	金毘羅	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	
16	さかきやま	榊山	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
23	さくらのとうげ	櫻之峠	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
29	さんしょごんげんしゃ	三所権現社	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	
18	しげくしやま	茂串山	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
31	じょうし	城址	0100	四万十町	古蹟	在天一山不詳城主	土佐州郡志	279	
33	じょうし	城址	0100	四万十町	古蹟	在中山不詳城主	土佐州郡志	279	
27	じょうしょうじ	浄照寺	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	
2145	ちょうじゃだば	長者駄馬	0100	四万十町		頂上→ちょうじゃ。 仁淀村長者などのように、山岳の高地にある地名で、長者屋敷とか長者の墓などの伝説がよくある地名である。鏡味説ではチョージャ長者(金持ち)の伝説(土器・石器・焼米など出土するものもある)にちなむ。とあるが、山の頂上にある平坦	西南の地名	114	
1311	つきのき	月ノ木	0100	四万十町			土佐の地名	265	
17	てんいちやま	天一山	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
26	とうこうじ	東光寺	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
19	なかやま	中山	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
30	はちまんしゃ	八幡社	0100	四万十町	寺社		土佐州郡志	279	
22	よびさか	呼坂	0100	四万十町	山		土佐州郡志	279	
21	わらびだに	蕨谷	0100	四万十町	川		土佐州郡志	279	
2058	しんがい	新開	0105	四万十町		改・貝も同じ地形で、新しく開拓されたところ。(新 びらき)(鏡味説)(四万十市)	西南の地名	105	
2671	かげつがおか	香月が丘	0109	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年3月2日	
1902						中村市久保川なども同じ地形で、低地を川が流 れていることからと思われる。 高南台地の中心地で、藩政初期には、山内家の 家老職が置かれていた。		80	
	くぼかわ	窪川	0110	四万十町			西南の地名		
1924	こうのさい	神ノ西	0201	四万十町		高地の狭い土地。	西南の地名	83	
2742	こうのさい	神の西	0201	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年11月9日	
34	こうのさいむら	神之西村	0201	四万十町	郷村	東南限窪川山北限宮之向縦七町横三町其土黒	土佐州郡志	264	
35	だいまようじん しゃ	大明神社	0201	四万十町	寺社		土佐州郡志	264	
37	えんまんじ	圓滿寺	0202	四万十町	寺社		土佐州郡志	280	
40	こじょう	古城	0202	四万十町	古跡		土佐州郡志	280	
39	ごんげんしゃ	権現社	0202	四万十町	寺社		土佐州郡志	280	
1978	さいばら	西原	0202	四万十町		狭い原野、小さい開墾地。	西南の地名	89	
36	さいばらむら	西原村	0202	四万十町	郷村	東限若井村北限窪川村東西五町南北八町其土	土佐州郡志	280	
38	はんにやじ	般若寺	0202	四万十町	寺社		土佐州郡志	280	
2432	もんじゅどう	文殊堂	0202	四万十町		文殊菩薩を安置した堂床からの名である。	西南の地名	149	
44	えんぷくじ	圓福寺	0203	四万十町	寺社		土佐州郡志	280	
43	かさのかわだ	笠之川谷	0203	四万十町	川		土佐州郡志	280	
45	かすがだい みょうじんしゃ	春日大明 神社	0203	四万十町	寺社		土佐州郡志	280	
42	こまつのかわ やま	小松之川 山	0203	四万十町	山		土佐州郡志	280	
41	わかいむら	若井村	0203	四万十町	郷村	東限高野村南限家地川村北限西原村東西五町 南北十町其土赤黒有川流	土佐州郡志	280	
48	いちのまただ	市之股谷	0204	四万十町	川		土佐州郡志	280	
49	おおやだに	大屋谷	0204	四万十町	川		土佐州郡志	280	
46	たかのむら	高野村	0204	四万十町	郷村	東西限若井村東西八町南北十町其土赤村中有	土佐州郡志	280	
47	にしだに	西谷	0204	四万十町	川		土佐州郡志	280	
50	ふゆこしさか	冬越坂	0204	四万十町	山		土佐州郡志	280	
53	あらたにやま	荒谷山	0205	四万十町	山		土佐州郡志	265	
57	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0205	四万十町	寺社		土佐州郡志	265	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
56	かんのんどう	観音堂	0205	四万十町	寺社		土佐州郡志	265	
59	さいばらきい のかみさだき	西原紀伊 守貞清	0205	四万十町	人物	仁井田領新在家城主也	土佐州郡志	265	
58	ちゃ	茶	0205	四万十町	土産		土佐州郡志	265	
55	ちょうふくじ	長福寺	0205	四万十町	寺社		土佐州郡志	265	
54	といしのかわ やま	砥石之川 山	0205	四万十町	山		土佐州郡志	265	
60	なんばごんの しんむねしげ	難波権之 進宗茂	0205	四万十町	人物	領仁井田郷中志和村天神山城 従幡多一條殿 下 有戦功後為秦元親所滅	土佐州郡志	265	
61	にしいずみの かみむねかつ	西和泉守 宗勝	0205	四万十町	人物	為仁井田郷中西影山村小川城主	土佐州郡志	265	
62	ひがしいがの かみむねずみ	東伊賀守 宗澄	0205	四万十町	人物	仁井田領本在家城主也	土佐州郡志	265	
1309	ふゆごえ	冬越	0205	四万十町			土佐の地名	264	
52	みやのかわや	宮之川山	0205	四万十町	山		土佐州郡志	265	
63	やまのうちび んごのかみの ぶきち	山之内備 後守宣吉	0205	四万十町	人物	主窪川茂串山城 ① 湧水のある川。 ② 分村の小高いところを流れる川名から。	土佐州郡志	265	
2483	わかいがわ	若井川	0205	四万十町			西南の地名	157	
2548	わかいがわ	若井川	0205	四万十町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年12月16日	
51	わかいむら	若井川村	0205	四万十町	郷村	東限大路野山西限若井村南限片坂北限荒谷山 縦二町横五町其土黒交砂	土佐州郡志	265	
67	ござてんのう	牛頭天王	0206	四万十町	寺社		土佐州郡志	292	
66	てんじんしゃ	天神社	0206	四万十町	寺社		土佐州郡志	292	
2419	みねのうえ	峰ノ上	0206	四万十町		山頂の土地	西南の地名	147	
64	みねのうえむ ら	峯之上村	0206	四万十町	郷村	西限若井川村南限幡多郡一之瀬村北限金上村 東西七町南北六町其土赤村中有川流	土佐州郡志	292	
65	むらうしだに	牟羅宇志	0206	四万十町	川		土佐州郡志	292	
70	おおたに	大谷	0207	四万十町	川		土佐州郡志	291	
78	おおもとしゃ	大元社	0207	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1858						かりうと→かろうと。 かろうとの地名は、各地にあり、地形の共通していることは、小さい 内地である。 焼畑のある入り谷と考えられる。その川地の集落。 宮本常一説では、この地名は、韓泊とあるが、『続山口県地名考』山間にある同地名にはあたらない。 中村市大西ノ川からうと・がら地の入り谷(うどのような谷)で、広域にある同地名を分類して研究		73	
74	かろうと	家簗戸	0207	四万十町			西南の地名		
	かろうとこえさ	唐櫃越坂	0207	四万十町	山		土佐州郡志	291	
1878	きんじょうの	金上野	0207	四万十町		きり→きん。焼き畑のある高い原野。	西南の地名	78	
68	きんじょのむら	金上野村	0207	四万十町	郷村	南限峯之上村北限見付村東西十二町南北三町其土赤	土佐州郡志	291	
79	こうじんしゃ	荒神社	0207	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	
1946	ございしょ	御在所	0207	四万十町		狭所のある山で、安在所の伝説がしやすい。(宿毛市)	西南の地名	85	
80	こじょうし	古城址	0207	四万十町	古跡	在眠之峠不詳城主	土佐州郡志	291	
69	ごだいさん	五臺山	0207	四万十町	山		土佐州郡志	291	
72	こやのたに	小屋之谷	0207	四万十町	川		土佐州郡志	291	
71	つづらだに	津々羅谷	0207	四万十町	川		土佐州郡志	291	
77	てんじんしゃ	天神社	0207	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	
75	なるかわ	成川	0207	四万十町	川		土佐州郡志	291	
73	ねむりのとうげ	眠之峠	0207	四万十町	山		土佐州郡志	291	
76	みこのかわ	神子之川	0207	四万十町	川		土佐州郡志	291	
2403	みこのかわ	巫女の川	0207	四万十町		水戸(みこ)・水谷の狭いところを流れる川どころで、巫女からではない。	西南の地名	146	
83	かわおくだに	川奥谷	0208	四万十町	川		土佐州郡志	291	
85	さいらいあん	西来庵	0208	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	
86	さんしょごんげんしゃ	三所権現社	0208	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	
87	てんじんしゃ	天神社	0208	四万十町	寺社		土佐州郡志	291	
82	とどろかわや	轟川山	0208	四万十町	山		土佐州郡志	291	
2408						① 近世の城の番兵の見張るところ。(鏡味説)地名研究家横井清氏の調査によると、江戸城の回りには36見付があった(赤坂見付)。 ② 日本史用語辞典には、江戸時代田地の地目を示す用語で、みつけ田(生産の低い田)とある。みずけ→みつけ の転で、湿田の意ではないだろうか。		146	
	みつけ	見付	0208	四万十町			西南の地名		

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
81	みつけむら	見付村	0208	四万十町	郷村	東限藤之越八千数村南限金上野村東西二十町	土佐州郡志	291	
84	やきぎのたに	焼木之谷	0208	四万十町	川	南北八町其土赤	土佐州郡志	291	
88	おおなろむら	大奈路村	0209	四万十町	郷村	東限立山西限大川南限蔵谷北限平串渡瀬縦四	土佐州郡志	258	
90	ごんげんしゃ	権現社	0210	四万十町	寺社	町横三町其土黒	土佐州郡志	258	
1970	ごんげんばら	根元原	0210	四万十町		石地の開き地で、遺跡地がある。	西南の地名	88	
89	ごんげんばら むら	権現原村	0210	四万十町	郷村	東南限川西限立山北限火取之越縦十一町横四	土佐州郡志	258	
2272	ねねざき	根々崎	0211	四万十町		町其土黒	西南の地名	131	
91	ねねざきむら	根々崎村	0211	四万十町	郷村	仁井田川と松葉川の合流した崎で、岩根の先	土佐州郡志	285	
92	はらいだに	拂谷	0211	四万十町	川	東限久保川村東西三町南北十五町其土黒	土佐州郡志	285	
96	こまつむら	小松村	0212	四万十町	郷村	南限東川角村北限柳瀬村東西一町南十六町其	土佐州郡志	285	
95	さんのうごん げんしゃ	山王権現 社	0212	四万十町	寺社	土赤剝有川流	土佐州郡志	261	
94	さんのうやま	山王山	0212	四万十町	山		土佐州郡志	260	
99	じょうし	城址	0212	四万十町	古跡	不詳何人所居	土佐州郡志	285	
97	しらおうしゃ	白皇社	0212	四万十町	寺社		土佐州郡志	285	
2313	ひがしかわづ	東川角	0212	四万十町		東の川辺の舟付場。	西南の地名	136	
93	ひがしかわづ のむら	東川角村	0212	四万十町	郷村	東限山王山西大川南権現原村立山北小松村谷	土佐州郡志	260	
98	ろくじゅうよそ んしゃ	六十余尊 社	0212	四万十町	寺社	川縦二十七町横四町其土黒	土佐州郡志	285	
103	てんじんしゃ	天神社	0213	四万十町	寺社		土佐州郡志	262	
101	ながたにやま	長谷山	0213	四万十町	山		土佐州郡志	262	
2264	にしかわづの	西川角	0213	四万十町		西側の川沿の舟付場。対語で東川角。中村市不 破まかど「ほのぎ」などのように、角地名は、曲 がったところや突出した地形語。	西南の地名	130	
100	にしかわづの むら	西川角村	0213	四万十町	郷村	東限川西限山南限宮之内小川北限志和影山村	土佐州郡志	262	
102	ほうふくじ	法福寺	0213	四万十町	寺社	縦二十三町横六町其土黒	土佐州郡志	262	
105	こくぼかわだ	小久保川	0214	四万十町	川		土佐州郡志	285	
107	じぞうどう	地藏堂	0214	四万十町	寺社		土佐州郡志	285	
109	じょうし	城址	0214	四万十町	古跡	不詳何人居城	土佐州郡志	285	
1638	はらいかわ	払川	0214	四万十町			地名メモ	67	
2302	はらいがわ	払川	0214	四万十町		川や泉は住民の生活用水であり、奈良地方に は、川を払う行事も残っているが、そうした意で なくて、はばら→はらい ばら積みなどのように 小石のある川と考えられる。(※窪川の払川は 五社に流れる川。大正の下津井仁井田神社の 若水取りの谷川)(下津井、四万十市)	西南の地名	135	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
106	はらいがわだ	拂川谷	0214	四万十町	川		土佐州郡志	285	
104	みやうちむら	宮内村	0214	四万十町	郷村	南限川越根々崎村東西十町南北二十五町其土	土佐州郡志	285	
108	ろくじゅうよそ んしゃ	六十余尊 社	0214	四万十町	寺社		土佐州郡志	285	
111	おうじのもり	王子之森	0215	四万十町	山		土佐州郡志	284	
115	じぞうどう	地藏堂	0215	四万十町	寺社		土佐州郡志	284	
2016	しではら	仕出原	0215	四万十町		出は、手と同意と考えられる。手は、分村(鏡味 説)四手と同じ地形で、川辺の舌状台地を開いた ところで、縄文式土器の出土があった。 東限宮内村南限久保川村東西十三町南北三町 其土赤	西南の地名	95	
110	しではらむら	仕出原村	0215	四万十町	郷村		土佐州郡志	284	
114	ほうばしだに	法橋谷	0215	四万十町	川		土佐州郡志	284	
112	みやのたに	宮之谷	0215	四万十町	川		土佐州郡志	284	
113	やなぎのかわ だに	柳之川谷	0215	四万十町	川		土佐州郡志	284	
119	おおいしゃ	大井社	0216	四万十町	寺社		土佐州郡志	284	
116	おおいのむら	大井野村	0216	四万十町	郷村	東限久保川村西限口神之川村北限仕出原村東 西七町南北十町其土黒	土佐州郡志	284	
118	じゃだに	蛇谷	0216	四万十町	川		土佐州郡志	284	
117	みやのたに	宮之谷	0216	四万十町	川		土佐州郡志	284	
1892	くちごうのかわ	口神ノ川	0217	四万十町		こう→ごう。高い集落の入口の川。	西南の地名	79	
120	くちごうのかわ むら	口神之川 村	0217	四万十町	郷村	北限中之川村東西十二町南北十八町其土赤有 川流	土佐州郡志	284	
125	じょうし	城址	0217	四万十町	古跡		土佐州郡志	284	
121	しろのたに	城之谷	0217	四万十町	川		土佐州郡志	284	
122	たちめごえ	立目越	0217	四万十町	山		土佐州郡志	284	
124	てんじんしゃ	天神社	0217	四万十町	寺社		土佐州郡志	284	
123	ひらのあしか	平野足皮	0217	四万十町	川		土佐州郡志	284	
132	おおもとだに	大本谷	0218	四万十町	川		土佐州郡志	283	
133	おくのつらだに	奥於津羅	0218	四万十町	川		土佐州郡志	283	
136	きちじょうあん	吉祥庵	0218	四万十町	寺社		土佐州郡志	283	
137	ごんげんしゃ	権現社	0218	四万十町	寺社		土佐州郡志	284	
134	しのたに	篠之谷	0218	四万十町	川		土佐州郡志	283	
135	じょうもののい	城門之市	0218	四万十町	川		土佐州郡志	283	
130	とどろのたに	轟谷	0218	四万十町	山		土佐州郡志	283	
129	とびこのたに	登比古乃	0218	四万十町	山		土佐州郡志	283	
126	なかごうのか わむら	中神之川 村	0218	四万十町	郷村	北限奥神之川村東西三町南北三十町其土赤有 川流	土佐州郡志	283	
128	はらいがわや	拂川山	0218	四万十町	山		土佐州郡志	283	
127	ひらのやま	平野山	0218	四万十町	山		土佐州郡志	283	
131	ほうしゅうだに	保宇志也 宇谷	0218	四万十町	山		土佐州郡志	283	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
145	いろはたに	色畠谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
138	おくごうのかわむら	奥神之川村	0219	四万十町	郷村	西限檜曾原村南限中之川村東西一町南北四町其土赤	土佐州郡志	283	
141	おれおやま	折尾山	0219	四万十町	山		土佐州郡志	283	
139	げんだに	源谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
142	こうのたに	神之谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
144	しいだに	推谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
146	しもおだに	下尾谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
143	なべたに	鍋谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
147	ふかたに	深谷	0219	四万十町	川		土佐州郡志	283	
140	まるやま	丸山	0219	四万十町	山		土佐州郡志	283	
148	おおむかい	大向村	0220	四万十町	郷村	東南限大川西限立山北限口神川本田縦十二町横四町其土黒多砂石	土佐州郡志	264	
1303	おおむかい	大向	0220	四万十町			土佐の地名	261	
1771	おおむかい	大向	0220	四万十町		向の地名は、向側の土地の意と、峡の意も含まれているようである。川の大きな蛇行がある。	西南の地名	62	
149	こうじんしゃ	荒神社	0220	四万十町	寺社		土佐州郡志	264	
152	いりたに	入谷	0301	四万十町	川		土佐州郡志	283	
154	おおこしだに	大越谷	0301	四万十町	川		土佐州郡志	283	
157	ごんげんしゃ	権現社	0301	四万十町	寺社		土佐州郡志	283	
156	せいぜんじ	正善寺	0301	四万十町	寺社		土佐州郡志	283	
153	たきのたに	瀧之谷	0301	四万十町	川		土佐州郡志	283	
158	てんじんしゃ	天神社	0301	四万十町	寺社		土佐州郡志	283	
2314	ひさはら	桧生原	0301	四万十町		「ひさ」は三原村久繁などのように樹木のあるところで、樹木の繁茂した開き地。	西南の地名	136	
2691	ひさはら	桧生原	0301	四万十町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年5月18日	
150	ひさはらむら	檜曾原村	0301	四万十町	郷村	東限奥神之川村西限上山南限寺野村東西五町南北十二町其赤多砂石	土佐州郡志	282	
151	ひそはらだに	檜曾原谷	0301	四万十町	川		土佐州郡志	283	
155	ひのしだに	比也志谷	0301	四万十町	川		土佐州郡志	283	
165	こうじんしゃ	荒神社	0302	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
161	しいのうぶだに	志伊也宇布谷	0302	四万十町	川		土佐州郡志	282	
162	しょうりゅうじ	正龍寺	0302	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
2174	てらの	寺野	0302	四万十町		平坦な丘陵地。	西南の地名	119	
159	てらのむら	寺野村	0302	四万十町	郷村	西限北之川村南限川口村東西四町南北十五町其土赤多砂石	土佐州郡志	282	
163	てんじんしゃ	天神社	0302	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
160	どうのかわや	堂之川山	0302	四万十町	山		土佐州郡志	282	
164	ろくじゅうよそんしゃ	六十余尊社	0302	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
168	うんりゅうじ	雲龍寺	0303	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
170	おおもとごん げんしゃ	大元権現 社	0303	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
166	かわぐちむら	川口村	0303	四万十町	郷村	東限口神之川村西限秋丸村南限天之川村北限 寺野村東西十町南北二十町其土赤	土佐州郡志	281	
169	ほうせきあん	寶積庵	0303	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
167	やかつらだに	屋桂谷	0303	四万十町	川		土佐州郡志	282	
174	えいきゅうあん	永久庵	0304	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
173	こまつのかわ だに	小松之川 谷	0304	四万十町	川		土佐州郡志	282	
172	じゅうきのたに	重木之谷	0304	四万十町	川		土佐州郡志	282	
2614	そらのかわ	天ノ川	0304	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年8月4日	
171	そらのかわむ	天之川村	0304	四万十町	郷村	東西二町南北五町其土赤	土佐州郡志	282	
175	だいまようじん しゃ	大明神社	0304	四万十町	寺社		土佐州郡志	282	
1568	あきまる	秋丸	0305	四万十町			ふたつの浮津	156	
1659	あきまる	秋丸	0305	四万十町		秋は、土地の良いところ、明るい円形の丘陵地。 東限川口村西限上山北之川南限野地村東西十 六町南北三町其土赤	西南の地名	47	
176	あきまるやま	秋丸村	0305	四万十町	郷村		土佐州郡志	281	
177	あらひらやま	荒平山	0305	四万十町	山		土佐州郡志	281	
183	かわちごんげ んしゃ	川内権現 社	0305	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
181	こいちのかわ だに	五伊地之 川谷	0305	四万十町	川		土佐州郡志	281	
179	たきたに	瀧谷	0305	四万十町	川		土佐州郡志	281	
182	てんじんしゃ	天神社	0305	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
180	ふなとこしさか	船戸越坂	0305	四万十町	山		土佐州郡志	281	
178	ろくたに	六谷	0305	四万十町	川		土佐州郡志	281	
186	かげのひら	影之平	0306	四万十町	山		土佐州郡志	281	
188	かわちしゃ	川内社	0306	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
185	くすのきだに	楠木谷	0306	四万十町	川		土佐州郡志	281	
189	ごんげんしゃ	権現社	0306	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
187	じょうほうあん	常宝庵	0306	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
2276	のじ	野地	0306	四万十町		①猪や鹿の通る路。(鏡味説)。 ②のし→のじ 山麓の湿地。 ＜参考＞野地田(下々田)水付の低い原野に散 在する田のこと。日本史用語大辞典(柏書房) (宿毛市、四万十市)	西南の地名	132	
184	のじむら	野地村	0306	四万十町	郷村	南限家地川村東西五町南北十町其土黒	土佐州郡志	281	
190	いえじがわむ ら	家地川村	0307	四万十町	郷村	東南限幡多郡伊与木村北限高野村東西二十町 南北十五町其土赤	土佐州郡志	280	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
191	きたのたに	北之谷	0307	四万十町	川		土佐州郡志	281	
193	ごんげんしゃ	権現社	0307	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
192	りゅうせんじ	流泉寺	0307	四万十町	寺社		土佐州郡志	281	
198	いたしまやま	板島山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	331	
195	おおえやま	大江山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	331	
1803	おりあい	折合	0308	四万十町		折野々、折付などの折は坂折などの折(坂を下りる)で、合は山間。 中村市(※四万十市)片魚の東伝氏によると、片魚の折付を指月など、県交通バス停はホノギ名に忠実でないといわれる。(四万十市) 東限仁井田神之川村西限芳川村南限仁井田久原村北限中津川界小松尾東西一里十町南北二里半戸凡九	西南の地名	65	
194	おれあい	折合村	0308	四万十町	郷村		土佐州郡志	331	
203	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0308	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
1320	きじだば	木師駄場	0308	四万十町			土佐の地名	269	
197	すみやま	須見山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	331	
201	ちょうじやなろ やま	長者奈呂 山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	332	
196	ねのおやま	根之尾山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	331	
199	はらいがわや	拂川山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	332	
202	ふくじゅあん	福壽庵	0308	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
200	りょうややま	獵屋山	0308	四万十町	山		土佐州郡志	332	
1308	つるばら	茅花原	0400	四万十町			土佐の地名	263	
1740	えっきょう	越行	0401	四万十町		南国市八京など京は、山峡の意で、がけ岩のある山の峡、その江津(舟付場)。「行」は行事・経に關係がない。	西南の地名	59	
204	えっきょうむら	越行村	0401	四万十町	郷村	東限山西限大川南限西影山本田北限村山縦二十町横十町其土黒	土佐州郡志	263	
209	こじょうし	古城跡	0402	四万十町	古跡	相傳西和泉守所居	土佐州郡志	264	
208	ござてんのう しゃ	牛頭天王 社	0402	四万十町	寺社		土佐州郡志	264	
207	じぞうどう	地藏堂	0402	四万十町	寺社		土佐州郡志	264	
206	たのがわやま	田野川山	0402	四万十町	山		土佐州郡志	264	
205	にしかげやま むら	西影山村	0402	四万十町	郷村	東限本在家比奈多瀬西限田野川南限大川北限田野川山縦十三町横七町 東南限柳瀬村西限大川北限本在家村縦五町横三町其土黒	土佐州郡志	264	
214	おきののむら	沖之野村	0403	四万十町	郷村		土佐州郡志	263	
211	こくうぞうどう	虚空蔵堂	0403	四万十町	寺社		土佐州郡志	261	
212	ごんげんしゃ	権現社	0403	四万十町	寺社		土佐州郡志	261	
1980	ざいけ	在家	0403	四万十町		寺の付近の農家(人家)。＜参考＞今在家(新しい集落)	西南の地名	89	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
213	じょうし	城址	0403	四万十町	古蹟	相傳古東三河守所城也或曰父倉助兵衛	土佐州郡志	261	
210	ほんざいけむら	本在家村	0403	四万十町	郷村	東限川原越坂西限比奈多瀬川南限柳瀬小川北限山頭山縦十五町横六町其土黒	土佐州郡志	261	
218	あらたに	荒谷	0404	四万十町	川		土佐州郡志	286	
1305	いちかわやしき	市川屋敷	0404	四万十町			土佐の地名	262	
216	しまだいみょうじん	嶋大明神社	0404	四万十町	寺社		土佐州郡志	261	
219	しまだいみょうじん	嶋大明神社	0404	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	
2444	やなせ	柳瀬	0404	四万十町		『竹書房刊』『四国主要観光地』八戸興『池田不則者』には、柳・築も同じ意で、木または、柴や竹をならべた色ちれすーれ(サ峠 宿子古)	西南の地名	151	
215	やなぜむら	柳瀬村	0404	四万十町	郷村	東限野山西限川南限柳瀬村本田北限本在家村縦六町横三町其土黒	土佐州郡志	261	
217	やなぜむら	柳瀬村	0404	四万十町	郷村	南限小松村北限本在家村東西二町南北三町其土赤	土佐州郡志	285	
221	おくらやま	御蔵山	0405	四万十町	山		土佐州郡志	263	
220	おのがわむら	小野川村	0405	四万十町	郷村	東限本在家山西限影山村南限本在家村界北限中山界縦二十町横五町其土白	土佐州郡志	263	
224	くまのこんげんしゃ	熊野権現社	0405	四万十町	寺社		土佐州郡志	263	
222	たいしどう	太子堂	0405	四万十町	寺社		土佐州郡志	263	
223	だいまいようじんしゃ	大明神社	0405	四万十町	寺社		土佐州郡志	263	
228	かもだいまいようじんしゃ	加茂大明神社	0406	四万十町	寺社		土佐州郡志	263	
227	じぞうどう	地藏堂	0406	四万十町	寺社		土佐州郡志	263	
225	なかむら	中村	0406	四万十町	郷村	東限勝加野村西限小野川村南限高尻峠山北限小野川縦十五町横三町	土佐州郡志	263	
226	なかやま	中山	0406	四万十町	山		土佐州郡志	263	
230	くすのきだに	楠木谷	0407	四万十町	川		土佐州郡志	287	
235	ごずてんのうしゃ	牛頭天皇社	0407	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
233	ささのたに	條?谷	0407	四万十町	川		土佐州郡志	287	
236	さんのうやま	山王社	0407	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
2050	しょうがの	勝賀野	0407	四万十町		しめけのーしょうがの。 方言で、あらけることを「しのけ」という。原野を開いたことかた	西南の地名	103	
229	しょうがのむら	勝賀野村	0407	四万十町	郷村	東西三町南北十二町其土黒	土佐州郡志	287	
238	じょうし	城址	0407	四万十町	古跡	相傳勝賀野右衛門佐者所居	土佐州郡志	287	
237	しらおうしゃ	白皇社	0407	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
231	しろのたに	城之谷	0407	四万十町	川		土佐州郡志	287	
234	だいこうじ	大光寺	0407	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
232	ひらやま	平山	0407	四万十町	山		土佐州郡志	287	
239	かわのうちむら	川之内村	0408	四万十町	郷村	東限奥久禮地村西限北之川村南勝賀野村東西三町南北八町其土黒	土佐州郡志	287	
241	こおおたに	小大谷	0408	四万十町	川		土佐州郡志	287	
242	ござてんのうしゃ	牛頭天王社	0408	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
243	しらおうしゃ	白皇社	0408	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
240	だいしょうのもり	大小之森	0408	四万十町	山		土佐州郡志	287	
244	てんじんしゃ	天神社	0408	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
245	もりのみや	森之宮	0408	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
246	しわかげやまむら	志和影山村	0409	四万十町	郷村	東限大川西限山南限西川角村北限作屋谷縦十六町横六町其地砂土	土佐州郡志	262	
2648	しわぶん	志和分	0409	四万十町			ふるさとぱとろーる(高新)	昭和56年12月1日	
247	てんおうしゃ	天王社	0409	四万十町	寺社		土佐州郡志	262	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
249	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0410	四万十町	寺社		土佐州郡志	261	
250	ごずてんのう しゃ	牛頭天王 社	0410	四万十町	寺社		土佐州郡志	261	
255	ごんげんしゃ	権現社	0410	四万十町	寺社		土佐州郡志	267	
248	さくたむら	作屋村	0410	四万十町	郷村	東限大川西限山南限立田北限米之川本田縦五町横二町其土黒	土佐州郡志	261	
1988	さくや	作屋	0410	四万十町		さく(ほざく)開くこと、屋は、谷や野の佳字である。開拓された谷地で、作小屋からではない。	西南の地名	91	
251	さくやむら	作屋村	0410	四万十町	郷村	東限川西限野山南限仁井田北本村界縦三十町横十町	土佐州郡志	267	
254	じぞうどう	地藏堂	0410	四万十町	寺社		土佐州郡志	267	
252	にしのかわや ま	西之川山	0410	四万十町	山		土佐州郡志	267	
253	ひらたにやま	平谷山	0410	四万十町	山		土佐州郡志	267	
258	おごしやま	尾越山	0411	四万十町	山		土佐州郡志	267	
1864	かわおく	川奥	0411	四万十町		川の上流にある集落。(四万十市、黒潮町他各地)	西南の地名	75	
257	かわおくむら	川奥村	0411	四万十町	郷村	東限本村界西南限窪川之山北限米川之山縦三十町横十町其地砂土	土佐州郡志	267	
262	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0411	四万十町	寺社		土佐州郡志	268	
1964	こめのかわ	米の川	0411	四万十町		小目の意で、小地を流れる川。	西南の地名	87	
256	こめのかわむ ら	米川村	0411	四万十町	郷村	有七村惣曰米川	土佐州郡志	267	
259	しらおうしゃ	白皇社	0411	四万十町	寺社		土佐州郡志	267	
261	だいじょうじ	大乘寺	0411	四万十町	寺社		土佐州郡志	268	
260	ほんむら	本村	0411	四万十町	郷村	東限大川西限川奥村界南限野山界北限中津川界縦三十五町横二十町	土佐州郡志	268	
275	おおうちやま	大内山	0412	四万十町	山		土佐州郡志	269	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
266	おくなかつかわやま	奥中津川山	0412	四万十町	山		土佐州郡志	269	
1313	かみぐり	上栗	0412	四万十町			土佐の地名	265	
271	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0412	四万十町	寺社		土佐州郡志	269	
1911	くりのき	栗ノ木	0412	四万十町		河原石の小石を栗石というように、「くり」は石や樹木の栗。(津野町) (録味語) 石地のレースの音ではないだろうか	西南の地名	81	
270	くりのきむら	栗木村	0412	四万十町	郷村	東北限大川南限中津川村西限野山縦二十町横二町	土佐州郡志	269	
272	くわのまたむら	栗之股村	0412	四万十町	郷村	土産に茶・栗・漆・楮とある。	土佐州郡志	269	
269	ごんげんしゃ	権現社	0412	四万十町	寺社		土佐州郡志	269	
264	じゅうにごんげんしゃ	十二社権 現社	0412	四万十町	寺社		土佐州郡志	264	
268	しらおうしゃ	白皇社	0412	四万十町	寺社		土佐州郡志	269	
263	なかつかわむら	中津川村	0412	四万十町	郷村	東限大川西限米野川村北限本田縦二町横二町 其土黒多砂石	土佐州郡志	263	
265	なかつかわむら	中津川村	0412	四万十町	郷村	東限大川西南限野山北限栗木村界縦十町横二町 其土多石	土佐州郡志	269	
274	ふしおやま	節尾山	0412	四万十町	山		土佐州郡志	269	
273	もりのうちやま	森之内山	0412	四万十町	山		土佐州郡志	269	
267	よこのやま	横野山	0412	四万十町	山		土佐州郡志	269	
1	いのじむら	日野地村	0413	四万十町	郷村	同上米之川村界	土佐州郡志	193	
3	おうちみねさ か	大知峰坂	0413	四万十町	山	自日野地至津野山之内松原通路此間三里禁採 取伐	土佐州郡志	193	
5	おおもとしゃ	大元社	0413	四万十町	寺社	在日野地村東山十一月五日祭	土佐州郡志	193	
4	かんのんどう	観音堂	0413	四万十町	寺社	在日野地村田中	土佐州郡志	193	
2318	ひのじ	日野地	0413	四万十町		日当たりの良い原野。	西南の地名	136	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2788	ひのじ	日野地	0413	四万十町			ふるさとぱとろー る(高新)	昭和58年9月28日	
2	まつばかわや ま	松葉川山	0413	四万十町	山	在日野地村 檜樅楯生禁私伐山中有人家	土佐州郡志	193	
6	あきまるむら	秋丸村	0414	四万十町	郷村	西向大川の南	土佐州郡志	195	
7	あきまるやま	秋丸山	0414	四万十町	山	松檜生禁剪伐	土佐州郡志	195	
8	おおたにやま	大谷山	0414	四万十町	山	松檜生禁剪伐	土佐州郡志	195	
13	かわちだい みょうじんしゃ	河内大明 神社	0414	四万十町	寺社	在村西大川邊九月十八日祭	土佐州郡志	195	
11	かんのんどう	観音堂	0414	四万十町	寺社	在村中	土佐州郡志	195	
12	じぞうどう	地藏堂	0414	四万十町	寺社	在村北	土佐州郡志	195	
9	ひのひらやま	日野平山	0414	四万十町	山	松檜生禁剪伐	土佐州郡志	195	
10	ほうじこえさか	傍示越坂	0414	四万十町	山	至米野川村通路	土佐州郡志	195	
14	やまじんじゃ	山神社	0414	四万十町	寺社	在村中川谷口九月十八日祭	土佐州郡志	195	
1312	いっとひょう	一斗俵	0415	四万十町			土佐の地名	265	
1699	いっとひょう	壱斗俵	0415	四万十町		①牧里で及別をいう地名(観味説)。中井地盤彌 著『仁井田郷談』によると、この付近を開いて、一 斗俵の字を同姓に禁じたまへりとする。瑞井	西南の地名	53	
2501	いっとひょう	一斗俵	0415	四万十町			ふるさとぱとろー る(高新)	昭和55年7月8日	
276	いっとひょうむら	一斗俵村	0415	四万十町	郷村	東限窪川領山西南限大川北限大野見界縦二十 町横二町其土黒	土佐州郡志	268	
280	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0415	四万十町	寺社		土佐州郡志	268	
278	かんのんどう	観音堂	0415	四万十町	寺社		土佐州郡志	268	
279	ごんげんしゃ	権現社	0415	四万十町	寺社		土佐州郡志	268	
277	どうのたにや ま	堂之谷山	0415	四万十町	山		土佐州郡志	268	
283	うまのたに	馬之谷	0416	四万十町	川		土佐州郡志	286	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
290	おおもとしゃ	大元社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
292	かずらぎしゃ	葛城社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
287	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
281	きたのかわむ ら	北之川村	0416	四万十町	郷村	東限勝賀野村南限市生原村東西十町南北三町 其土赤	土佐州郡志	286	
285	こやだに	古屋谷	0416	四万十町	川		土佐州郡志	286	
288	ごんげんしゃ	権現社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
286	ちょうふくじ	長福寺	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	
291	てんじんしゃ	天神社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
282	まつおか	松岡	0416	四万十町	山		土佐州郡志	286	
284	みやのたに	宮之谷	0416	四万十町	川		土佐州郡志	286	
289	ろくじゅうよそ んしゃ	六十余尊 社	0416	四万十町	寺社		土佐州郡志	287	
1698	いちうばら	市生原 一生原	0417	四万十町		旧七甲小坑系の石中原のより、石地の開き地 からで、窪川町（※四万十町）の高加茂神社が なる市生原と同じ音（定千吉）	西南の地名	53	
293	いちうばらむら	市生原村	0417	四万十町	郷村	東限窪川領本田西限米之川渡瀬南限本田北限 小之川村縦五町横三町	土佐州郡志	261	
294	いちうばらむら	市生原村	0417	四万十町	郷村	東限越行村南限米之川村北限北之川村東西三 町南北五町其土赤黒有川流	土佐州郡志	286	
298	いちのみや	一之宮	0417	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	
299	ごずてんのう しゃ	牛頭天王 社	0417	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	
300	しらおうしゃ	白皇社	0417	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	
296	ちゃぎだに	茶木谷	0417	四万十町	川		土佐州郡志	286	
301	とりであと	壘址	0417	四万十町	古跡	不詳何人居城	土佐州郡志	286	
295	やまもとだに	山本谷	0417	四万十町	川		土佐州郡志	286	
297	りゅうせんじ	流泉寺	0417	四万十町	寺社		土佐州郡志	286	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1301	さいのう	才能	0418	四万十町			土佐の地名	260	
304	いのうえやま	井之上山	0501	四万十町	山		土佐州郡志	255	
306	えいりんじ	永林寺	0501	四万十町	山		土佐州郡志	255	
303	おおどろやま	大泥山	0501	四万十町	山		土佐州郡志	255	
307	しまだいみょう じん	嶋大明神 社	0501	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
305	たちかえやま	立加恵山	0501	四万十町	山		土佐州郡志	255	
2202	とこなべ	床鍋	0501	四万十町		はのみつなへ おしなべてのなべと思われ、ならぶ意ではないだ る。かゝるなべは、此の地から西の嶺間であるが、おしなべは、	西南の地名	121	
302	とこなべむら	床鍋村	0501	四万十町	郷村	東限山西限影野村松之瀬川南限入谷北限久礼 界縦三十七町横四町其土黒	土佐州郡志	255	
2251	ななことうげ	七子峠	0501	四万十町		はつこつはなし。 こ（戸）狭いところ。土地の狭い開き地の峠。七子	西南の地名	128	
308	かげのむら	影野村	0502	四万十町	郷村	峠には、仁井田郷からの転訛を採りてい	土佐州郡志	256	
310	ごんげんしゃ	権現社	0502	四万十町	寺社	東限小峯西限所林南限北限縦横其土	土佐州郡志	256	
309	じぞうどう	地藏堂	0502	四万十町	寺社		土佐州郡志	256	
1302	そうずのかわ	双津ノ川	0502	四万十町			土佐の地名	261	
318	うつけやぶ	宇津計藪	0503	四万十町	山		土佐州郡志	288	
312	おおきたのもり やま	大北之森 山	0503	四万十町	山		土佐州郡志	262	
322	おおもとしゃ	大元社	0503	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
311	おくくれじむら	奥久礼地 村	0503	四万十町	郷村	東限樺之登宇西限小屋之谷南限下久礼地村北 限小森縦八町横一町其地砂土	土佐州郡志	262	
314	おくくれじむら	奥久禮地 村	0503	四万十町	郷村	西限川之内村南限魚之川下久禮地村東西二町 南北八町其土赤	土佐州郡志	288	
317	おくたに	奥谷	0503	四万十町	川		土佐州郡志	288	
321	かわちしゃ	川内社	0503	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
313	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0503	四万十町	寺社		土佐州郡志	262	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
315	しそうのだに	志曾於之谷	0503	四万十町	川		土佐州郡志	288	
316	そううさだに	曾宇左谷	0503	四万十町	川		土佐州郡志	288	
320	てんじんしゃ	天神社	0503	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
319	ほうぞうじ	法蔵寺	0503	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
1716	うおのかわ	魚の川	0504	四万十町		ゆお→うお 魚の住んでいる川ではなく、石川。 (例)中村市(※四万十市)片魚	西南の地名	55	
325	うおのかわ	魚之川	0505	四万十町	川		土佐州郡志	256	
330	うしかたさこだに	牛方左古谷	0505	四万十町	川		土佐州郡志	288	
328	おかのおくやま	岡之奥山	0505	四万十町	山		土佐州郡志	288	
332	かうみずだに	加宇水谷	0505	四万十町	川		土佐州郡志	288	
326	ごんげんしゃ	権現社	0505	四万十町	寺社		土佐州郡志	256	
323	しもくれじむら	下久礼地	0505	四万十町	郷村	東南限大路西限山北限笹野山縦横十町其土黒	土佐州郡志	256	
327	しもくれじむら	下久禮地村	0505	四万十町	郷村	東限交坂本影之村西奥久禮地村南限六反地村	土佐州郡志	288	
335	しらおうしゃ	白皇社	0505	四万十町	寺社	東西二十五町南北二十町其土赤有川流	土佐州郡志	288	
334	てんじんしゃ	天神社	0505	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
329	のうしのかわだに	乃宇志之川谷	0505	四万十町	川		土佐州郡志	288	
333	ほこのごんげんしゃ	鉾之権現社	0505	四万十町	寺社		土佐州郡志	288	
331	まきのかわだ	槇之川谷	0505	四万十町	川		土佐州郡志	288	
324	やまかぶのやま	山柢之山	0505	四万十町	山		土佐州郡志	256	
1817	かえさかもと	替坂本	0506	四万十町		峡の坂の麓。	西南の地名	66	
336	かえざかもとむら	加江坂本村	0506	四万十町	郷村	東限横峯西限往還路南限五水谷川北限影野界縦五町横五町其土白	土佐州郡志	256	
337	じぞうどう	地藏堂	0506	四万十町	寺社		土佐州郡志	256	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
338	みょうじんしゃ	明神社	0506	四万十町	寺社		土佐州郡志	256	
2451	やまかぶ	山株	0506	四万十町		山が一方に張り出ている地形語(鏡味説)であるが、山麓の意(山の下部)	西南の地名	151	
342	だいまょうじんしゃ	大明神社	0507	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
341	ながうねやま	長畝山	0507	四万十町	山		土佐州郡志	257	
340	よこやま	横山	0507	四万十町	山		土佐州郡志	257	
2707	ろくたんじ	六反地	0507	四万十町			ふるさとぼとろーる(高新)	昭和57年7月13日	
339	ろくたんじむら	六反地村	0507	四万十町	郷村	東南限川西限神有村北限加江坂本村縦七町横二町其土黒交砂	土佐州郡志	256	
350	かきのきやまむら	柿木山村	0508	四万十町	郷村	東限山西限大路南限小向村新田北限小松角山縦十町横三町其土黒	土佐州郡志	257	
343	かみありむら	神有村(谷)	0508	四万十町	郷村	東限川西限本在家村坂南限濱之川村北限六反地村新田縦八町横六町其土黒	土佐州郡志	257	
346	かみありやま	神有山	0508	四万十町	山		土佐州郡志	257	
353	かんのんどう	観音堂	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
355	くまのゴンげんしゃ	熊野権現社	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
344	くらきだにやま	藏木谷山	0508	四万十町	山		土佐州郡志	257	
360	くろいしだに	黒石谷	0508	四万十町	川		土佐州郡志	289	
347	ゴンげんしゃ	権現社	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
362	ゴンげんしゃ	権現社	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
358	しょうかくだに	松角谷	0508	四万十町	川		土佐州郡志	289	
351	しょうかくやま	松角山	0508	四万十町	山		土佐州郡志	257	
349	じょうし	城址	0508	四万十町	古蹟	臼茶臼之森	土佐州郡志	257	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
354	しらおうごんげんしゃ	白皇権現社	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
2255	にいだ	仁井田	0508	四万十町		①仁井田神社、利井田と地元の耕地。 ②湿田、仁井田米の産地。	西南の地名	129	
361	にゅうどうのたに	入道之谷	0508	四万十町	川		土佐州郡志	289	
357	ぬたのかわむ	辻之川村	0508	四万十町	郷村	東西二町南北三町其土黒	土佐州郡志	289	
352	ねいのかわやま	祢幾之川山	0508	四万十町	山		土佐州郡志	257	
348	はちだいいりゅうおうしゃ	八大龍王社	0508	四万十町	寺社		土佐州郡志	257	
1307	はまのかわ	浜ノ川	0508	四万十町			土佐の地名	263	
356	はまのかわむら	濱野川村	0508	四万十町	郷村	東限大路西限谷南限鞭坂北限神有界縦六町横三町其土黒多砂石	土佐州郡志	258	
345	ほこのたにやま	鉾之谷山	0508	四万十町	山		土佐州郡志	257	
359	やじゅうろうだに	弥十郎谷	0508	四万十町	川		土佐州郡志	289	
363	こむかいむらしんでん	小向村	0509	四万十町	郷村	東限山西限川南限数家村北限柿木山本田縦四町横三町其土黒	土佐州郡志	260	
364	てんじんしゃ	天神社	0509	四万十町	寺社		土佐州郡志	260	
368	あらしやま	嵐山	0510	四万十町	山		土佐州郡志	258	
369	しゃかどう	釈迦堂	0510	四万十町	寺社		土佐州郡志	258	
366	たしろやま	田代山	0510	四万十町	山		土佐州郡志	258	
370	てんじんしゃ	天神社	0510	四万十町	寺社		土佐州郡志	258	
365	ひらぐしむら	平串村	0510	四万十町	郷村	東限鳥之太波大路西限火取之越南限平串渡瀬北限鞭坂縦十二町横四町其土黒	土佐州郡志	258	
367	むちさかやま	鞭坂山	0510	四万十町	山		土佐州郡志	258	
2207	とみおか	富岡	0511	四万十町		とも→とみ 分村(鏡味説)のある丘陵地。	西南の地名	122	
375	じょうし	城址	0512	四万十町	古跡	不詳何人所居	土佐州郡志	289	
374	てんじんしゃ	天神社	0512	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
371	なかのこえむら	中野越村	0512	四万十町	郷村	南限富岡村北限濱之川村東西五町南北十町其土赤	土佐州郡志	289	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
373	なかやま	中山	0512	四万十町	山		土佐州郡志	289	
372	みやのたに	宮之谷	0512	四万十町	川		土佐州郡志	289	
382	あみだどう	阿弥陀堂	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
1310	えり	襟	0601	四万十町			土佐の地名	264	
1637	えり	襟	0601	四万十町			地名メモ	66	
381	えりこしさか	恵利越坂	0601	四万十町	山		土佐州郡志	290	
376	おおくぼむら	大窪村	0601	四万十町	郷村	東限志和峯西限本堂村本田南限所山北限黒石村縦二十五町横五町其土黒	土佐州郡志	255	
380	おかのやま	岡野山	0601	四万十町	山		土佐州郡志	290	
1299	がやのき	榎ノ木	0601	四万十町			土佐の地名	260	
1917	くろいし	黒石	0601	四万十町		「くろ」は、石ぐろ・藁ぐろなどのように、小高いところ。石は、石地の土地のようである。	西南の地名	82	
379	くろいしむら	黒石村	0601	四万十町	郷村	東限志和峯西限本堂村東西十八町南北十二町其土黒有川流	土佐州郡志	290	
377	こうじんしゃ	荒神社	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
384	ごずてんのう しゃ	牛頭天王 社	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
378	ごんげんしゃ	権現社	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
383	じぞうどう	地藏堂	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
386	しらおうしゃ	白皇社	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
385	やまじんじゃ	山神社	0601	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
388	あみだどう	阿弥陀堂	0602	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
389	さんのうごん げんしゃ	山王権現 社	0602	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
2384	ほんどう	本堂	0602	四万十町		丘陵の小高いところ	西南の地名	144	
387	ほんどうむら	本堂村	0602	四万十町	郷村	東限大埴西限川南與津地嶋之宮北限多幾畑川縦二十町横五町其土黒	土佐州郡志	254	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
393	じぞうどう	地藏堂	0603	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
394	しまだいみょう じん	嶋大明神 社	0603	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
391	たきやま	瀧山	0603	四万十町	山	不許樵採	土佐州郡志	254	
392	にしのかわや	西之川山	0603	四万十町	山		土佐州郡志	254	
2471	よつじ	与津地	0603	四万十町		谷津地→よつじ 湿地の谷間	西南の地名	155	
390	よつじむら	與津地村	0603	四万十町	郷村	東限志和村川西限西之森部南限與津村峯北限 本堂村界縦一里横四町	土佐州郡志	254	
400	いなりしゃ	稻荷社	0604	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
397	おくたに	奥谷	0604	四万十町	川		土佐州郡志	290	
1804	おやがうち	親ヶ内	0604	四万十町		尾谷、尾根の谷の、うと地。大きな入谷ではない。	西南の地名	65	
395	おやがうちむ ら	親我内村	0604	四万十町	郷村	東北限本堂村西限堂之越八千数村東西六町南 北六町其土赤有川流	土佐州郡志	290	
401	かすがしゃ	春日社	0604	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
398	なかやま	中山	0604	四万十町	山		土佐州郡志	290	
399	ふくぞうじ	福蔵寺	0604	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
396	ふくぞうじやま	福蔵寺山	0604	四万十町	山		土佐州郡志	290	
1300	ほうやま	宝山	0604	四万十町			土佐の地名	260	
406	こううんあん	高雲庵	0605	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
408	ござてんのう しゃ	牛頭天王 社	0605	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
407	しらおうしゃ	白皇社	0605	四万十町	寺社		土佐州郡志	290	
404	たるやま	樽山	0605	四万十町	山		土佐州郡志	290	
403	にしのみねや	西之峯山	0605	四万十町	山		土佐州郡志	290	
405	ぬのいくだに	布幾谷	0605	四万十町	川		土佐州郡志	290	
1298	はっせんず	八千数	0605	四万十町			土佐の地名	259	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2297	はっせんず	八千数	0605	四万十町		ほつ→はつ さん→せん(小山) 「ず」は「す」の湿地の意で、数字ではない。良産 米の土地。	西南の地名	134	
2525	はっせんず	八千数	0605	四万十町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和55年9月30日	
402	はっせんすむ ら	八千数村	0605	四万十町	郷村	東限堂之越親我内村西見付村東西六町南北十 町其土赤	土佐州郡志	290	
410	いのかわやま	井之川山	0606	四万十町	山		土佐州郡志	260	
411	さかりやま	左加利山	0606	四万十町	山		土佐州郡志	260	
412	じぞうどう	地藏堂	0606	四万十町	寺社		土佐州郡志	260	
413	だいまようじん しゃ	大明神社	0606	四万十町	寺社		土佐州郡志	260	
415	てんじんしゃ	天神社	0606	四万十町	寺社		土佐州郡志	260	
414	はしたかだい みようじんしゃ	鷺大明神 社	0606	四万十町	寺社		土佐州郡志	260	
2304	はんのかわ	飯の川	0606	四万十町		ねんど地の川どころ。	西南の地名	135	
2343	ふじのかわ	藤の川	0606	四万十町		淵のある川沿の集落の意と考えられ、平家落人 の伝説などがある。(西土佐、土佐清水))	西南の地名	138	
409	ふじのかわむ ら	藤野川村	0606	四万十町	郷村	東限大川西限八千数南限本堂村北限向川縦十 三町横六町其土黒	土佐州郡志	260	
416	かずけむら	数家村	0608	四万十町	郷村	東限片平山西限川南限神之野村梅木川北限小 向村縦横其土	土佐州郡志	259	
417	かんのんどう	観音堂	0608	四万十町	寺社		土佐州郡志	259	
1936	こうのの	神野々	0608	四万十町		「のの」の地名は、「ののさん」の信仰語でなく て、「なの」の転化と考えられる。 高い原野のあるところ。	西南の地名	84	
419	こうののむら	神之野村	0608	四万十町	郷村	東南限川西限谷北限野山縦五町横三町其土黒	土佐州郡志	260	
421	たきはたやま	瀧畠山	0608	四万十町	山		土佐州郡志	260	
420	のぼりうやま	登宇山	0608	四万十町	山		土佐州郡志	260	
418	はちだいいりゅう おうしゃ	八大龍王 社	0608	四万十町	寺社		土佐州郡志	259	
2448	やぶがみ ※ママ	藪神 ※ママ	0608	四万十町		谷の深いところの上流。 ※数家(かずこう)のことか	西南の地名	151	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
424	しゃごんげん しゃ	熊野十二 社権現社	0609	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
423	じぞうどう	地藏堂	0609	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
2254	なろ	奈路	0609	四万十町		なろい土地、平坦地の地形語である。土地をならす(鏡味説)	西南の地名	128	
422	なろむら	奈路村	0609	四万十町	郷村	東限川西限板谷川南限瀧平山北限新在家村 縦六町横四町其土黒	土佐州郡志	253	
429	かわちしゃ	川内社	0610	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
427	じぞうどう	地藏堂	0610	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
428	しらおうしゃ	白皇社	0610	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
2193	どうとく	道德	0610	四万十町		どう(堂)高いところ、徳は床の意。	西南の地名	121	
425	どうとくむら	道德村	0610	四万十町	郷村	東限上之加江西限池之川村南限平野村北限火 打之森東西一町南北二十町其土黒	土佐州郡志	289	
2309	ひうちがもり	火打ヶ森	0610	四万十町		ほ→ひ 小きいしわ谷のある山。	西南の地名	136	
426	ひうちのもり	火打之森	0610	四万十町	山		土佐州郡志	289	
430	もりのみや	森之宮	0610	四万十町	寺社		土佐州郡志	289	
2472	よつみちとうげ	四道峠	0610	四万十町		猪や鹿の通る道、うじろの峠。	西南の地名	155	
1816	かえでがわ	楓川	0611	四万十町		峡にできた分村、その川。	西南の地名	66	
433	かえでかわや ま	楓川山	0611	四万十町	山		土佐州郡志	259	
434	かんのんどう	観音堂	0611	四万十町	寺社		土佐州郡志	259	
432	にしのじやま	西野地山	0611	四万十町	山		土佐州郡志	259	
2324	ひらの	平野	0611	四万十町		海岸段丘で、耕地にはあまり適していない地質 である(四万十市平野)	西南の地名	136	
431	ひらのむら	平野村	0611	四万十町	郷村	東限新在家谷川西限長野谷南限道德谷川北限 野山縦二十七町横五町其土黒	土佐州郡志	259	
435	みょうじんしゃ	明神社	0611	四万十町	寺社		土佐州郡志	259	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
439	こじょうし	古城跡	0612	四万十町	古跡	相伝西原紀伊守之居城也	土佐州郡志	254	
438	しまだいみょう じん	嶋大明神 社	0612	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
437	しょうほうじ	正法寺	0612	四万十町	寺社		土佐州郡志	254	
436	しんざいけむ ら	新在家村	0612	四万十町	郷村	東限井之川西限堂免南限弘見村北限加伊羅川 其土赤交砂	土佐州郡志	254	
2460	ゆのかわ	柚ノ川	0612	四万十町		開き地を流れる	西南の地名	153	
441	くまのごんげ んしゃ	熊野権現 社	0613	四万十町	寺社		土佐州郡志	253	
2330	ひろみ	広見 ※ママ	0613	四万十町		「ひろみ」地名のめるところは、広々としたところ の地名である。張木村といわれていた記録 がある（田畑端共著）	西南の地名	137	
440	ひろみむら	弘見村	0613	四万十町	郷村	東限飯野川西限奈路川南限黒石川北限野山縦 十町横三町其土黒	土佐州郡志	253	
445	だいみょうじん しゃ	大明神社	0614	四万十町	寺社		土佐州郡志	259	
443	ながたにやま	長谷山	0614	四万十町	山		土佐州郡志	259	
442	はんのかわむ ら	飯野川村	0614	四万十町	郷村	東西限川南限弘見太波北限大矢井賀峯縦八町 横二町其土黒	土佐州郡志	259	
444	はんのかわや ま	飯野川山	0614	四万十町	山		土佐州郡志	259	
448	しらおうしゃ	白皇社	0615	四万十町	寺社		土佐州郡志	255	
446	しわみねむら	志和峯村	0615	四万十町	郷村	東限志和坂峰西限飯野川界南限恵利越北限矢 井賀坂峯縦二十七町横三町	土佐州郡志	255	
447	たにやま	谷山	0615	四万十町	山		土佐州郡志	255	
1774	おおつるつ	大鶴津	0616	四万十町		対語で、小鶴津。戸→津の転で、小川のある狭 いところ。	西南の地名	62	
464	あらひらやま	荒平山	0618	四万十町	山	東限尊崎西限大畝	土佐州郡志	253	
477	いげしゃ	伊下社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	277	
476	えびしゃ	蝦子社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	277	
463	おおつるつむ ら	大弦津村	0618	四万十町	郷村	東限海邊西限荒平南限陣之谷北限弦津界縦二 町横四十間其地砂土	土佐州郡志	252	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
465	おおつるつや ま	大弦津山	0618	四万十町	山	東限海邊西限海濱一東限所林西限六川三所皆 禁剪伐	土佐州郡志	253	
470	かよいいわ	通岩	0618	四万十町	海岸	北山崎邊	土佐州郡志	276	
451	きたなだやま	北灘山	0618	四万十町	山		土佐州郡志	251	
468	きたやまさき	北山崎	0618	四万十町	海岸	出海上十町許	土佐州郡志	276	
472	きよし	巨志	0618	四万十町	海岸	去海上三十町許没而不見	土佐州郡志	276	
473	くろいわ	黒岩	0618	四万十町	海岸	自志和崎去海上二十町許	土佐州郡志	276	
458	こじょうし	古城址	0618	四万十町	古蹟	傳云難波権之進所居或曰難波勘介	土佐州郡志	252	
466	ござてんのう しゃ	牛頭天王 社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	253	
459	こつるつむら	小弦津村	0618	四万十町	郷村	東限海涯西限庄司峯南限中山北限志和界峯縦 二町横五十間其地砂土	土佐州郡志	252	
461	じぞうどう	地藏堂	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	252	
462	しらおうしゃ	白皇社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	252	
1567	しわ	志和	0618	四万十町			ふたつの浮津	155	
2057	しわ	志和	0618	四万十町		し(水辺・海辺)わ(輪)。浦が丸いことから。	西南の地名	105	
467	しわうら	志和浦	0618	四万十町	郷村	東西一町南北三町許戸百餘有舩数艘	土佐州郡志	276	
454	しわごうやま	志和郷山	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	251	
471	しわし	志和志	0618	四万十町	海岸	去海上一里許没而不見	土佐州郡志	276	
449	しわむら	志和村	0618	四万十町	郷村	東限海邊西限志和峯南限磯頭北限矢井賀村縦 一里横百間其地砂土	土佐州郡志	251	
457	すわだいみよ うじんしゃ	諏訪大明 神社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	251	
475	すわだいみよ うじんしゃ	諏訪大明 神社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	276	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1569	つるつ	鶴津	0618	四万十町			ふたつの浮津	156	
456	てんじんしゃ	天神社	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	251	
474	とくすけいわ	徳介岩	0618	四万十町	海岸	黒岩南西	土佐州郡志	276	
453	ところばやしや ま	所林山	0618	四万十町	山		土佐州郡志	251	
460	とどろやま	轟山	0618	四万十町	山		土佐州郡志	252	
450	まつとりやま	松取山	0618	四万十町	山		土佐州郡志	251	
452	まなみなだや	南灘山	0618	四万十町	山		土佐州郡志	251	
469	みなみやまさ き	南山崎	0618	四万十町	海岸	臼志和崎出海上三町許	土佐州郡志	276	
455	やくしじ	薬師寺	0618	四万十町	寺社		土佐州郡志	251	
1304	いしばし	石橋	0700	四万十町			土佐の地名	262	
480	いつしいわ	伊津志岩	0700	四万十町	海岸	長五十間廣二十間許在港西	土佐州郡志	277	
1297	おきつ	興津	0700	四万十町			土佐の地名	259	
1784	おきつ	興津	0700	四万十町		興津からの改名。	西南の地名	63	
483	おむろはま	御室濱	0700	四万十町	海岸	風次此浦曰御室山曰東山皆親王之所名也有懸腰岩是亦其由也	土佐州郡志	277	
485	かいぞうじ	海蔵寺	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	
486	かんのんどう	観音堂	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	
491	こじょうし	古城蹟	0700	四万十町	古跡		土佐州郡志	278	
489	ごんげんしゃ	権現社	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	
487	さいほうじ	西寶寺	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	
482	しおはま	塩濱	0700	四万十町	海岸	煮潮處在浦西比地謂御室	土佐州郡志	277	
490	しんぐうしゃ	新宮社	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
488	はちまんしゃ	八幡社	0700	四万十町	寺社		土佐州郡志	278	
1570	ひがし	東	0700	四万十町			ふたつの浮津	157	
484	ほりかわ	堀川	0700	四万十町	川	傳曰昔堀川其郷配流處	土佐州郡志	277	
481	まついわ	松岩	0700	四万十町	海岸	在港中	土佐州郡志	277	
479	まつのくしいわ	松之櫛岩	0700	四万十町	海岸	在港西南	土佐州郡志	277	
2405	みさきやま	三崎山	0700	四万十町		み(美称)美しい崎の山。	西南の地名	146	
2429	むつかわやま ※ママ	六川山	0700	四万十町		山に登ることが、できにくいことからでは。 ※正しくは「むかわやま」	西南の地名	149	
478	よつうら	与津浦	0700	四万十町	郷村	與与津村相隔一里餘東南滄海也西限鈴浦北限 鶴津有東向港濶六町許戸凡百三十餘有船数艘	土佐州郡志	277	
1965	こむろのはま ※ママ	小室の浜	0703	四万十町		小林や小地町の姓が、你はここ同じ地形で、至地 (山で囲まれたところ)その浜。	西南の地名	87	
1306	しおきやま	塩木山	0704	四万十町		土語で室山という言葉がある。これは室屋の重	土佐の地名	263	
2023	しまど	島戸	0704	四万十町		戸は、家屋。石場のめる伏いてこつ。 戸は、家屋の戸・瀬戸・岩戸・切戸などのように	西南の地名	96	
2166	つるいたに	つるい谷	0800	四万十町		独いしーるの音である	西南の地名	118	
1316	あがわ	吾川	0801	四万十町		水路のある谷で、鶴がいる谷ではない。	土佐の地名	267	
1640	あがわ	吾川	0801	四万十町			地名メモ	70	
493	うしろやま	後山	0801	四万十町	山		土佐州郡志	324	
499	うしろやま	後山	0801	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	344	
1317	おくどめ	奥留	0801	四万十町			土佐の地名	268	
498	かみやまほん むらしもぶん	上山本村 下分	0801	四万十町	郷村	東限二淀林西限遅越南限葛川北限村中家林東 西九町南北五十町戸凡五十餘其土赤黒	土佐州郡志	344	
494	かめやま	亀山	0801	四万十町	山		土佐州郡志	324	
503	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0801	四万十町	寺社		土佐州郡志	344	
496	くまのこんげ ん	熊野権現	0801	四万十町	寺社		土佐州郡志	324	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
502	ごしょうじ	五松寺	0801	四万十町	寺社		土佐州郡志	344	
2040	しゃくしとうげ	杓子峠	0801	四万十町		しゃくじん→しゃくし。 石神のある峠(鏡味説)。 石神信仰は各地にあり、自然の石に神が宿ると いわれた。「おさばいさん」も石神である。(四万	西南の地名	102	
497	じょうしさんしょ	城址三所	0801	四万十町	古跡	和田林在南 遅越山在西 土居林在北	土佐州郡志	324	
1574	たのの	田野々	0801	四万十町			ふたつの浮津	159	
2125	たのの	田野々	0801	四万十町		たなの→たのの。段丘のある開き地。(樗原町)	西南の地名	112	
495	ちょうらくじ	長楽寺	0801	四万十町	寺社		土佐州郡志	324	
2156	つづら	葛籠(川)	0801	四万十町		②つづら折の道など、まがり道のあるところ。(宿 毛市)	西南の地名	116	
2682	つづらがわ	葛籠川	0801	四万十町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和57年4月13日	
500	つのやまかわ	津野山川	0801	四万十町	川	過村西入大川	土佐州郡志	344	
501	にいだがわ	仁井田川	0801	四万十町	川	自東至西合流津野山川	土佐州郡志	344	
492	ほんむら	本村	0801	四万十町	郷村	西八町南北一里三十町津野山川在西仁井田川 在南過合流戸？三十餘	土佐州郡志	324	
509	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0802	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	
2079	せり	瀬里	0802	四万十町		瀬のある集落ということから地名がでたのではな くて、せり出すなど、芹川(狭間の川)などのように 狭間の人家のあるところと思われる。	西南の地名	108	
2628	せり	瀬里	0802	四万十町			ふるさとぼとろー る(高新)	昭和56年9月22日	
507	せりのかわ	瀬里之川	0802	四万十町	川	南流入大川	土佐州郡志	327	
504	せりむら	瀬里村	0802	四万十町	郷村	東限下岡村西限瀬里越南限四手川村北限瀬里 之川東西三十町南北一里戸凡二十餘其土黒	土佐州郡志	327	
505	たこしやま	田越山	0802	四万十町	山	在村東西	土佐州郡志	327	
506	とどろやま	裏山	0802	四万十町	山	在村東西	土佐州郡志	327	
508	ほうじゅあん	寶壽庵	0802	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
515	おそだに	遅谷	0803	四万十町	川	南流北入大川	土佐州郡志	328	
513	おそだにやま	遅谷山	0803	四万十町	山	在村南西禁伐	土佐州郡志	328	
517	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0803	四万十町	寺社	南流北入大川	土佐州郡志	328	
516	しでのかわだ に	四手川谷	0803	四万十町	川	南流北入大川	土佐州郡志	328	
510	しでのかわむ ら	四手野川 村	0803	四万十町	郷村	東限下岡村西限杓子森南限竹魚北限瀬里村東 西四十町南北一里戸凡二十餘其土赤	土佐州郡志	327	
511	しもまつやま	下松山	0803	四万十町	山	在村南西禁伐	土佐州郡志	328	
514	みやのたに	宮之谷	0803	四万十町	川	南流北入大川	土佐州郡志	328	
512	やきおやま	焼尾山	0803	四万十町	山	在村南西禁伐	土佐州郡志	328	
2041	しもおか	下岡	0804	四万十町		下流にある河岸段丘で、対語で上岡がある。	西南の地名	102	
519	しもおかだに	下岡谷	0804	四万十町	川		土佐州郡志	328	
518	しもおかむら	下岡村	0804	四万十町	郷村	東限上岡村西限四手川南限巨宇登宇之野北限 芳川村東西二十町南北二里戸凡九其土黒雜砂	土佐州郡志	328	
520	みょうじんしゃ	明神社	0804	四万十町	寺社		土佐州郡志	328	
522	いのたに	井之谷	0805	四万十町	川	在村南西禁伐	土佐州郡志	328	
521	かいおかむら	上岡村	0805	四万十町	郷村	東限打井川西限下岡村南限勘當野北限一之股 村東西三十町南北二里戸凡二十有渡船其土黒	土佐州郡志	328	
525	かみおかだに	上岡谷	0805	四万十町	川	自北流南入大川	土佐州郡志	328	
528	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0805	四万十町	寺社		土佐州郡志	328	
523	しでのきやま	四手之木 山	0805	四万十町	山		土佐州郡志	328	
529	てんじん	天神	0805	四万十町	寺社		土佐州郡志	328	
526	とうかくあん	東覺庵	0805	四万十町	寺社		土佐州郡志	328	
524	なかもりやま	中森山	0805	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	328	
527	なくなしだい みょうじん	鳴無大明 神	0805	四万十町	寺社		土佐州郡志	328	
531	いしわらびや ま	石蔵山	0806	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	329	
534	いまたやま	井股山	0806	四万十町	山	在村南西	土佐州郡志	329	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1321	うついがわ	打井川	0806	四万十町			土佐の地名	269	
530	うついがわむら	打井川村	0806	四万十町	郷村	東限上宮村西限上岡村南限伊與木界北限北之川■東西二町南北二里戸凡四十七其土黒	土佐州郡志	329	
1314	うばだば	馬駄場	0806	四万十町			土佐の地名	266	
2537	おくうついがわ	奥打井川	0806	四万十町			ふるさとぱとろーる(高新)	昭和55年11月11日	
537	かわちだいみょうじん	川内大明神	0806	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
535	きちじょうあん	吉祥庵	0806	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
532	ぐくしやま	具串山	0806	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	329	
536	こうぜんあん	興善庵	0806	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
533	しょうじょうや	少々山	0806	四万十町	山	在村南西	土佐州郡志	329	
538	てんじん	天神	0806	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
2210	とりうちば	鳥打場	0806	四万十町		戸里 狭間のところ、鏡味説では、鳥の越すところ。(四万十市)	西南の地名	122	
1315	はるわらび	春蕨	0806	四万十町			土佐の地名	266	
539	じょうぐうむら	上宮村	0807	四万十町	郷村	東限弘瀬西北限北之川界南限打井川村東西十二町南北十三町戸凡二十餘其土黒	土佐州郡志	329	
541	てんじん	天神	0807	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
2299	はりぎ	針木	0807	四万十町		〈万葉集〉新墾の今つくる道さやかにも聞きにけるかも妹が上のこと 新しい開き地。(須崎市、四万十市)	西南の地名	135	
540	ほうぞうあん	寶蔵庵	0807	四万十町	寺社		土佐州郡志	329	
545	いのたに	井之谷	0808	四万十町	川	自南流北	土佐州郡志	330	
547	おおもとごんげん	大元権現	0808	四万十町	寺社		土佐州郡志	330	
544	こいずみだに	小泉谷	0808	四万十町	川		土佐州郡志	330	
543	じゅうきだにやま	重木谷山	0808	四万十町	山	在村東禁採伐	土佐州郡志	330	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
546	そくしんあん	則心庵	0808	四万十町	寺社		土佐州郡志	330	
2327	ひろせ	弘瀬	0808	四万十町		弘も広も同義で、広い川の瀬のところにある。四万十川が大きく蛇行して広い耕地のところの川	西南の地名	137	
542	ひろせむら	弘瀬村	0808	四万十町	郷村	北限仁井田之秋丸東西四十町南北二十町戸凡十八有渡船二艘其土黒	土佐州郡志	330	
550	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0809	四万十町	寺社		土佐州郡志	330	
549	かんきじ	歡喜寺	0809	四万十町	寺社		土佐州郡志	330	
1870						北の方位の川の場合と、(できた)川岸の自然堤防の二つに分けられる。 中村市田ノ川北川は方位からと考えられ、大野見村喜田・大正町北の川は方位でなくて川岸にできた土地からと思われる。(東北ノ川、津野町)	西南の地名	76	
	きたのかわ	北ノ川	0809	四万十町					
548	きたのかわむら	北野川村	0809	四万十町	郷村	大川北限烏手村有谷川流過東西一里南北十三町戸凡二十	土佐州郡志	329	
551	だいまょうじん	大明神	0809	四万十町	寺社		土佐州郡志	330	
552	とりであと	壘址	0809	四万十町	古蹟		土佐州郡志	330	
555	いちのまただに	一之股谷	0810	四万十町	川	自西流東	土佐州郡志	330	
553	いちのまたむら	一之股村	0810	四万十町	郷村	東限北之川西限上岡村南限北之川界山北限烏手村東西十五町南北十二町戸凡十七	土佐州郡志	330	
556	てんじんしゃ	天神社	0810	四万十町	寺社		土佐州郡志	331	
554	やなぎのさこやま	柳之左古 山	0810	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	330	
1855	からすで	烏手	0811	四万十町		「からす」地名のめるところは、昔に石くさの地の質のところにあり、佐賀町カラステ遺跡・同町鈴カニフニ(地拾帖下カ自昔)、土佐連北市十河内	西南の地名	73	
557	からすでむら	烏手村	0811	四万十町	郷村	限相去村東西十六町南北二十町戸凡十四其土黒	土佐州郡志	331	
558	たいしどう	大師堂	0811	四万十町	寺社		土佐州郡志	331	
1651	あいざれ	相去	0812	四万十町		山間の低湿地で、その土地がサライ(朋がワカ)多くあるところ。 ヤス、ザレ	西南の地名	46	
559	あいざれむら	相去村	0812	四万十町	郷村	東限仁井田川口村西限芳川村南限烏手村北限仁井田久原村東西一里南北一里二十六町戸凡	土佐州郡志	331	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
562	うすのおやま	臼之尾山	0812	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	331	
565	おおくらあん	大蔵庵	0812	四万十町	寺社		土佐州郡志	331	
566	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0812	四万十町	寺社		土佐州郡志	331	
561	じょうせんばた やま	常泉畑山	0812	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	331	
563	ひがしまただ	東股谷	0812	四万十町	川	二川流合入烏手村	土佐州郡志	331	
564	ひるぐいだに	蛭食谷	0812	四万十町	川	二川流合入烏手村	土佐州郡志	331	
560	もみおやま	縦尾山	0812	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	331	
569	えかんじゃや ま	恵冠者山	0813	四万十町	山	在村北禁伐	土佐州郡志	327	
575	おおきあん	大喜庵	0813	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	
576	おおもとだい みょうじん	大元明神	0813	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	
1837	かつらだに	桂谷	0813	四万十町		かたくら→かつら。堅い岩場の谷。	西南の地名	69	
574	かわおくだに	川奥谷	0813	四万十町	川		土佐州郡志	327	
579	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0813	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	
570	くぼのえむら	窪之江山	0813	四万十町	山	在村北禁伐	土佐州郡志	327	
568	さいきよいのき また	左井巨井 之木股	0813	四万十町	山	在村東北有松	土佐州郡志	327	
573	にしだに	西谷	0813	四万十町	川		土佐州郡志	327	
572	ほんたに	本谷	0813	四万十町	山	自東流西	土佐州郡志	327	
577	もりのごんげ ん	森之権現	0813	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	
571	やしきやま	屋敷山	0813	四万十町	山	在村北禁伐	土佐州郡志	327	
567	よしかわむら	芳川村	0813	四万十町	郷村	野山窪谷東西一里南北二里半戸凡二十五其土 黒多砂	土佐州郡志	326	
578	りゅうおう	龍王	0813	四万十町	寺社		土佐州郡志	327	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1738	えし	江師	0814	四万十町		「師」は産地、各地の小川のある意、市水の傍へ ところ。 ノモミへしうはス(湿地になつた)	西南の地名	59	
580	えしむら	江師村	0814	四万十町	郷村	西之川山東西五町南北二十町戸凡四十七其土赤	土佐州郡志	345	
584	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0814	四万十町	寺社		土佐州郡志	345	
1862	かわのうち	川ノ内	0814	四万十町		小川のある入り谷。(例)十和村河内(細々)	西南の地名	74	
583	ごくらくじ	極楽寺	0814	四万十町	寺社		土佐州郡志	345	
581	ちようしのかわ やま	銚子之川 山	0814	四万十町	山		土佐州郡志	345	
582	にしだに	西谷	0814	四万十町	川		土佐州郡志	345	
2335	ふきのみね ※ママ	吹の峰	0814	四万十町		ほき→ふき がけの山。標高700m。 ※高知県地名辞典の読みかたでは「ふきの 東限小石峯西限津野之大川南限榎之本本北限 宮之向東西五町南北十二町戸僅二	西南の地名	138	
585	こいしむら	小石村	0815	四万十町	郷村		土佐州郡志	345	
589	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0816	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
590	じぬしだいみよ うじん	地主大明 神	0816	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
587	たけおくたに	竹奥谷	0816	四万十町	川	■村入大川	土佐州郡志	326	
2263	にしのかわ	西ノ川	0816	四万十町		西の土地を流れる川どころ。	西南の地名	130	
586	にしのかわむ ら	西野川村	0816	四万十町	郷村	東限津野大川西限村西山南限江師村北限小 屋川内村東西十町南北十一町戸凡十八其土黒	土佐州郡志	326	
588	によいあん	如意庵	0816	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
594	いのたに	井之谷	0817	四万十町	川	自東流西有渡船	土佐州郡志	326	
591	おおなろむら	大奈呂村	0817	四万十町	郷村	東限芳川村界西限津野大川南限屋左瀬北限小 屋川内東西十二町南北八町戸凡十九其土黒	土佐州郡志	326	
596	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0817	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
592	かわひらやま	川平山	0817	四万十町	山	在村北禁採伐	土佐州郡志	326	
598	すわだいみよ うじん	諏訪大明 神	0817	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
593	たけのたに	竹之谷	0817	四万十町	川	自東流西有渡船	土佐州郡志	326	
2107	たけのたに	竹ノ谷	0817	四万十町		がけ地の谷 (大月町、津野町)	西南の地名	111	
595	ちょうせいじ	長生寺	0817	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
597	てんじん	天神	0817	四万十町	寺社		土佐州郡志	326	
2298	はっそく	八足	0817	四万十町		てくつてく かりの深い谷間の土地。「てく」は物をそくなどの意で斜面。 十太路から公峠して、中津川沿の集落で	西南の地名	134	
605	いでのたに	井手谷	0818	四万十町	山	在村北禁採伐	土佐州郡志	325	
606	うすきやま	臼杵山	0818	四万十町	山	在村東南	土佐州郡志	325	
1739	えだおりやま	枝折山	0818	四万十町		昔の生活道は、尾根道が使用されている。これは歩く距離の短いことや、安全、方向を見定める点などで有利と思われる。尾根の自然神の嗣などに、校を折って献じたことによる。	西南の地名	59	
607	おうぎやま	扇山	0818	四万十町	山	在村東南	土佐州郡志	325	
600	おおすじやま	大筋山	0818	四万十町	山	在村東禁採伐	土佐州郡志	325	
612	おおもとだい みょうじん	大元大明 神	0818	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
611	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0818	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
603	くきのもり	岫之森	0818	四万十町	山	在村南禁採伐	土佐州郡志	325	
601	こすじやま	小筋山	0818	四万十町	山	在村東禁採伐	土佐州郡志	325	
609	こまつだに	小松谷	0818	四万十町	川	流過村南西	土佐州郡志	325	
604	こまつやま	小松山	0818	四万十町	山	在村北禁採伐	土佐州郡志	325	
610	じぞういん	地藏院	0818	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
2230	なかつかわ	中津川	0818	四万十町		なかと→なかつ。 梶原川の支流である中津川沿の集落で、中津川溪谷の上流である。 川舟の利用からとも考えられるが、土地を狭間の(戸)土地を流れる川。この上流が森ヶ内であ	西南の地名	126	

高知県の地名（書籍・記事索引）

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2661	なかつかわ	中津川	0818	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和57年1月26日	
599	なかつかわむ ら	中津川村	0818	四万十町	郷村	東限幾登幾森西限矢立坂南限臼杵北限津野山 松原村東西四十五町南北一里■二十三其土黒	土佐州郡志	325	
608	なるかわだに	成川谷	0818	四万十町	川	流過村南西	土佐州郡志	325	
602	なるかわやま	成川山	0818	四万十町	山	在村南禁採伐	土佐州郡志	325	
2441	もりがうち	森が内	0818	四万十町		山間の入り谷。中津川の上流にある集落。尾根 越えの窪川町にもある。	西南の地名	150	
2475	ろくろうだに	六郎谷(ろ くろう谷)	0818	四万十町		山麓の道谷からで、きじや(木の細工師)の谷で はないように考えられる。(土佐清水市)	西南の地名	155	
616	あからぎやま	阿加羅木	0819	四万十町	山	在村西禁私採伐	土佐州郡志	346	
619	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0819	四万十町	寺社		土佐州郡志	346	
618	ごうじょうけん	合常軒	0819	四万十町	寺社		土佐州郡志	346	
613	こやがうちむら	小屋之内 村	0819	四万十町	郷村	東限古畠家林西限津加川南限村中山北限中津 川界東西二十町南北十六町戸凡二十五其土赤	土佐州郡志	346	
614	しだおやま	志朶尾山	0819	四万十町	山		土佐州郡志	346	
617	なかつかわだ に	中津川谷	0819	四万十町	川	自東至南	土佐州郡志	346	
615	はしかわはら やま	橋川原山	0819	四万十町	山		土佐州郡志	346	
624	あしかわやま	足川山	0820	四万十町	山	村北	土佐州郡志	346	
623	おおさこやま	大左古山	0820	四万十町	山	村北	土佐州郡志	346	
629	おおもとだい みょうじんしゃ	大元大明 神社	0820	四万十町	寺社		土佐州郡志	347	
625	かげひらやま	影平山	0820	四万十町	山	在村南西松生	土佐州郡志	346	
628	かすがだい みょうじんしゃ	春日大明 神社	0820	四万十町	寺社		土佐州郡志	347	
627	ざおうあん	蔵正庵	0820	四万十町	寺社		土佐州郡志	346	
620	しもどうむら	下道村	0820	四万十町	郷村	東限小屋之内山西限駒之谷南限小屋之内界北 限八之野口東西二十町南北二十町戸凡十四其	土佐州郡志	346	
622	しものやま	下野山	0820	四万十町	山	村北	土佐州郡志	346	
626	てんのじやま	平之地山	0820	四万十町	山	在村南西松生	土佐州郡志	346	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
621	ひさがわや ま	久良川山	0820	四万十町	山	村西	土佐州郡志	346	
641	あしかわだに	足川谷	0821	四万十町	川	過村東入大川	土佐州郡志	325	
633	あしかわやま	足川山	0821	四万十町	山	在村東禁私採伐	土佐州郡志	324	
631	おおしもの	大下野	0821	四万十町	山	在村東禁私採伐	土佐州郡志	324	
634	おおまつのう	大松之畝	0821	四万十町	山	在村南禁伐	土佐州郡志	324	
645	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
1318	かんじき	神敷	0821	四万十町			土佐の地名	268	
1322	げとうぞう	下藤蔵	0821	四万十町			土佐の地名	270	
632	こしもの	小下野	0821	四万十町	山	在村東禁私採伐	土佐州郡志	324	
640	さかしまだに	坂島谷	0821	四万十町	川	過村南入大川	土佐州郡志	325	
636	さかしまやま	坂島山	0821	四万十町	山	在村南禁伐	土佐州郡志	324	
638	さかわだに	佐川谷	0821	四万十町	川	過村北入大川	土佐州郡志	324	
637	さかわやま	佐川山	0821	四万十町	山	在村北	土佐州郡志	324	
1319	じぞうやま	地藏山	0821	四万十町			土佐の地名	269	
2039	しもついで	下津井	0821	四万十町		①井津井谷のように、下流に崩地のあるところ。 (例)大ついで ②舟付場のあるところ。 東限矢立坂峠西限豫洲界地藏森南限下道村北 限津野山東西三里南北一里十町戸？二十九其	西南の地名	102	
630	しもついでむら	下津井村	0821	四万十町	郷村		土佐州郡志	324	
643	すみよしだい みょうじん	住吉大明 神	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
642	せいげんじ	西源寺	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
648	せき	関	0821	四万十町	関梁	在村東豫洲界	土佐州郡志	325	
647	てんじん	天神	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
635	とりいのだば	鳥井之駄 場	0821	四万十町	山	在村南禁伐	土佐州郡志	324	
644	にいだだい みょうじん	仁井田大 明神	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	
639	はらいがわだ	拂川谷	0821	四万十町	川	過村西入大川	土佐州郡志	324	
646	わかみや	若宮	0821	四万十町	寺社		土佐州郡志	325	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
1955	ごとまきだ	ごとまきだ	0900	四万十町		中世田畑に蒔く種籾の量で、耕地の面積を表わし一般には反当5〜6升播いたとあるが(鏡味説)、間木田(山間の小さい田)の意もあると考え	西南の地名	86	
2199	とおわそん	十和村	0900	四万十町		十川村と昭和村の合成村名。	西南の地名	121	
2391	まきだ	まきだ	0900	四万十町		① まきだは、種籾を播いた地方の低い田。 ② 間木田 山間の開き田からで、全部が直播き田と見做すことができない。	西南の地名	145	
653	いおりのたに	庵之谷	0901	四万十町	川	北流	土佐州郡志	344	
656	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0901	四万十町	寺社		土佐州郡志	344	
649	くろかわむら	黒川村	0901	四万十町	郷村	東限尻高山西限下谷南限東谷北限中串東西十二町南北四町戸凡三十餘其土赤黒	土佐州郡志	344	
652	とでいだに	塗泥谷	0901	四万十町	川		土佐州郡志	344	
654	なかに	中谷	0901	四万十町	川	北流	土佐州郡志	344	
651	ひがしだに	東谷	0901	四万十町	川		土佐州郡志	344	
650	みつしおやま	光塩山	0901	四万十町	山	在村南禁伐	土佐州郡志	344	
655	りゅうぞうあん	龍蔵庵	0901	四万十町	寺社		土佐州郡志	344	
658	あしひらやま	足平山	0902	四万十町	山	在村北不許採伐	土佐州郡志	343	
1733	うらごし	浦越	0902	四万十町		川の向い側の越えるところから	西南の地名	58	
657	うらごしむら	浦越村	0902	四万十町	郷村	東限和左田西限裏之向南限大川北限平蔵谷東西二十町南北四町戸凡十四其土黒	土佐州郡志	343	
660	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0902	四万十町	寺社		土佐州郡志	343	
659	ほうじあん	寶治庵	0902	四万十町	寺社		土佐州郡志	343	
1852	かやぶくて	茅吹手	0903	四万十町		はとつかい。 茅地名は、土佐清水市下ノ加江(下茅)。西土佐村(茅生(旧加田村)の土間に、舟の通るレーズに、東抵比之谷西抵下家南限新屋谷北限大川東西三十町南北二町戸凡十其土黒	西南の地名	73	
661	かやぶくてむら	茅吹手村	0903	四万十町	郷村		土佐州郡志	343	
662	つぼのうねやま	坪之畝山	0903	四万十町	山	在村南禁伐	土佐州郡志	343	
663	ねぎやま	祢宜木山	0903	四万十町	山		土佐州郡志	343	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
667	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0904	四万十町	寺社		土佐州郡志	342	
2010	しげとしやま	重利山	0904	四万十町		樹木の多くある「とし」勾配のある山。 重谷も同じ意。(※原本は大正町とある)	西南の地名	94	
2152	つが	津賀	0904	四万十町		つっか→つが 水の水衝部にあり、舟付場。(四万十市)	西南の地名	115	
2151	つがのかわ	津賀ノ川	0904	四万十町		とがの→つがの。 狭間の開き地。斗賀野と同じ意。(宿毛市)	西南の地名	115	
666	つがのかわだ に	津加之川 谷	0904	四万十町	川	流村東	土佐州郡志	342	
664	つがむら	津賀村	0904	四万十町	郷村	東限津賀之川西限宮谷南限大川北限家林東西 十町南北三町戸凡十一其土赤黒	土佐州郡志	342	
665	みやたにやま	宮谷山	0904	四万十町	山	在村西	土佐州郡志	342	
671	うえまつやま	植松山	0905	四万十町	山		土佐州郡志	340	
1342	かがりや	篝屋	0905	四万十町			土佐の地名	279	
1807	かがりや	かがりや	0905	四万十町		かしぐら→かがりや 松煙(松から採取するもの)をとっている家のよう であるが、山麓の岩谷で(やは谷)ある。	西南の地名	65	
670	かれたにやま	枯谷山	0905	四万十町	山		土佐州郡志	340	
674	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0905	四万十町	寺社		土佐州郡志	340	
1938	ごおろ	ごおろ	0905	四万十町		ごおら→ごおろ。 箱根の甲羅温泉・中村市上ノ土居ノベゴロー・愛 媛県五郎駅なども、石地のところ、俗に石が 「ごろごろ」していることから。(鏡味説も同じ)。	西南の地名	84	
2190	どうがもり	堂ヶ森	0905	四万十町		峠によく堂の漢字を使用されている。中村～下 山(上山)郷の往還道で、山上に地藏堂がある。 昔は、祭日に老若男女の参拝が多くあったとい われる。標高857m で信仰の山である。(四万十	西南の地名	120	
1346	ののかわ	野々川	0905	四万十町			土佐の地名	281	
672	ののがわだに	野々川谷	0905	四万十町	川	自南流北	土佐州郡志	340	
668	ののがわむら	野々川村	0905	四万十町	郷村	東限黒川畝西限日野峠南限野之川山北限裏村 堂崎東西二十町南北七十町戸凡十六其土黒石	土佐州郡志	340	
669	ふたごまつや	二子松山	0905	四万十町	山		土佐州郡志	340	
2381	ほりきり	堀切	0905	四万十町		「ほり」、「はり」は同義。開拓の「きり畑」。	西南の地名	144	
673	れいぞうあん	禮蔵庵	0905	四万十町	寺社		土佐州郡志	340	
686	いえのたに	家之谷	0906	四万十町	川		土佐州郡志	342	
1773	おおほき	大保木	0906	四万十町		大きなげ岩のところ。	西南の地名	62	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
679	おおまただに	大股谷	0906	四万十町	川	自北流出経村入大川	土佐州郡志	341	
676	おおまたやま	大股山	0906	四万十町	山		土佐州郡志	341	
678	かみほきやま	上甫喜山	0906	四万十町	山	在村北東	土佐州郡志	341	
2017	しでざき	四手崎	0906	四万十町		手は、川岸が出る(突出)意もあるのではないだろう うか。水辺の土地の崎。 四手は昭和と改名せられた。 東限市野坂西限白岩南限大井川北限窪川山東 西五十町南北四十町戸凡三十其土赤黒	西南の地名	95	
675	しでむら	四手村	0906	四万十町	郷村		土佐州郡志	341	
677	じぬしやま	地主山	0906	四万十町	山		土佐州郡志	341	
682	だいまようじん しゃ	大明神社	0906	四万十町	寺社		土佐州郡志	341	
2196	とどろ	轟	0906	四万十町		川音の高いところ、とどろくところにあるが、山間 の轟は、おどろの意	西南の地名	121	
2560	とどろ	轟	0906	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年1月27日	
684	とどろむら	裏村	0906	四万十町	郷村	東限漆谷西限大川南限怪我谷北限藤上東西二 町南北十町戸七其土黒	土佐州郡志	342	
683	とりであと	壘址	0906	四万十町	古蹟	皆不知何人居	土佐州郡志	341	
685	ふじかみばや	藤上林	0906	四万十町	山		土佐州郡志	342	
2342	ふじのうえ	藤の上	0906	四万十町		四万十川!の川淵にある地名で、淵の上にあると	西南の地名	138	
680	ほうじゅじ	寶壽寺	0906	四万十町	寺社		土佐州郡志	341	
687	まつのさか	松之坂	0906	四万十町	山		土佐州郡志	342	
681	みしまだい みょうじん	三嶋大明 神	0906	四万十町	寺社		土佐州郡志	341	
1582	むかのせ	中の瀬	0906	四万十町			ふたつの浮津	167	
1768	おおいがわ	大井川	0907	四万十町		大井野などのように、尾根に固まれた井堰のある 小平地。	西南の地名	62	
688	おおいがわむ ら	大井川村	0907	四万十町	郷村	カワというのは水汲み場・水使い場(柳田説) 東限日野峠西限白皇奈路南限尉之郷畝北限大 川東西六十町南北四十五町戸凡一百餘其土赤	土佐州郡志	339	
1785	おきしげ	沖重	0907	四万十町		沖は、集落の前方の意で「しげ」は樹木の茂って いるところとみられる。	西南の地名	63	
1882	くくつけ ※くぐつけ	久々付	0907	四万十町		水衝部にある地名で、水の「くつつく」意からと思 われる。(四万十市)	西南の地名	78	
696	じゅうおうどう	十王堂	0907	四万十町	寺社		土佐州郡志	339	
698	じょうし	城跡	0907	四万十町	古蹟	皆不知何人之所居	土佐州郡志	340	
695	そうふくじ	宗福寺	0907	四万十町	寺社		土佐州郡志	339	
694	とうたに	東谷	0907	四万十町	川	自東南流北	土佐州郡志	339	
689	なかくしやま	中串山	0907	四万十町	山		土佐州郡志	339	
2229	なかじま	中島	0907	四万十町		大井川の奥にある集落であるが、奥の方にある しま(がけ岩)で、川の中にある島ではない。一説 にしまは、集落。	西南の地名	126	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
697	にいだだい みょうじんしゃ	仁井田大 明神社	0907	四万十町	寺社		土佐州郡志	339	
693	のうしだに	野牛谷	0907	四万十町	川		土佐州郡志	339	
690	はちのもりや	鉢之森山	0907	四万十町	山		土佐州郡志	339	
691	ひうらやま	日裏山	0907	四万十町	山		土佐州郡志	339	
692	ひがしまたや	東股山	0907	四万十町	山		土佐州郡志	339	
701	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0908	四万十町	寺社		土佐州郡志	337	
700	こううんじ	光雲寺	0908	四万十町	寺社		土佐州郡志	337	
699	さこむら	細古村	0908	四万十町	郷村	東限四手村西限大川南限伊崎北限天日畝東西 十町南北十五町戸凡十九其土赤黒	土佐州郡志	337	
1800	おの	小野	0909	四万十町		尾浦崎を小浦崎とも書くように尾根を開いたところ で、小さい土地ではない。	西南の地名	64	
2588	おの	小野	0909	四万十町			ふるさとばとろー る(高新)	昭和56年5月5日	
702	おのむら	小野村	0909	四万十町	郷村	東限窪川境西限鍋谷南限大杖北限登宇之巢東 西四十町南北二十町戸凡五十其土赤黒	土佐州郡志	337	
704	がんじょうじ	願成寺	0909	四万十町	寺社		土佐州郡志	337	
706	じょうし	城跡	0909	四万十町	古蹟	不知何人居	土佐州郡志	337	
705	そがだいみょう じん	蘇我大明 神	0909	四万十町	寺社		土佐州郡志	337	
2270	ぬたくぼ	ぬたくぼ	0909	四万十町		湿気のある窪地(猪のぬた場)	西南の地名	131	
1344	ひみち	火道	0909	四万十町			土佐の地名	280	
703	ろしだにやま	呂岐谷山	0909	四万十町	山	在村北禁伐	土佐州郡志	337	
710	くぼかわだに	窪川谷	0910	四万十町	川	自北流南入大川	土佐州郡志	338	
707	くぼかわむら	窪川村	0910	四万十町	郷村	東限四手村界花森西限小野村南限天日畝北限 大道村大森東西三十町南北三十町戸凡二十三 其土黒交砂	土佐州郡志	338	
1987	さきやま	崎山	0910	四万十町		大用の崎山は、地検帖には、崎ノ山とある。さき (咲)は、開く意、山を開いたところ(四万十市)	西南の地名	91	
708	しだおやま	志朶尾山	0910	四万十町	山		土佐州郡志	338	
711	だいうんじ	大雲寺	0910	四万十町	寺社		土佐州郡志	338	
712	てんじんしゃ	天神社	0910	四万十町	寺社		土佐州郡志	338	
709	とらずばたや	不取畑山	0910	四万十町	山	在村東北禁伐	土佐州郡志	338	
2284	はげたき	はげたき	0910	四万十町		がけ地の急斜面	西南の地名	132	
715	いすのうちや	椅之内山	0911	四万十町	山	在村北皆禁樵採	土佐州郡志	338	
719	いながれたに やま	井流谷山	0911	四万十町	山	在村邊林木	土佐州郡志	338	
1642	おおどう	大道	0911	四万十町			地名メモ	72	
1765	おおどう	大道	0911	四万十町		道は、堂などと、高い意、尾根の高い山のあると ころ。	西南の地名	62	
720	おおどうだに	大道谷	0911	四万十町	川	自北流出経村入大川	土佐州郡志	338	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
713	おおどうむら	大道村	0911	四万十町	郷村	東限大森之駄場西限高平畝南限窪川大森北限 豫洲地蔵之森東西四十町南北百町戸凡三十餘	土佐州郡志	338	
717	おしかわやま	押川山	0911	四万十町	山		土佐州郡志	338	
716	かとりやま	加登呂山	0911	四万十町	山	「かろうとう」が近くにある？	土佐州郡志	338	
722	かわちだい みょうじんしゃ	川内大明 神社	0911	四万十町	寺社		土佐州郡志	338	
721	こうじあん	光持庵	0911	四万十町	寺社		土佐州郡志	338	
714	こうしのせやま	小牛之背	0911	四万十町	山		土佐州郡志	338	
718	ささやま	笹山	0911	四万十町	山		土佐州郡志	338	
723	たこみせ	蛸店	0911	四万十町	関梁	豫洲界大路	土佐州郡志	339	
2256	にいだまた	仁井田又	0911	四万十町		湿田の谷間。	西南の地名	130	
2305	ばんしよだに	番所谷	0911	四万十町		道番所(国境番所)の庄屋によって通行人を検閲 した役宅からである。	西南の地名	135	
724	おおのむら	大野村	0912	四万十町	郷村	東限藤之石西限巨乃登南限大川北限白井川東 西二十五町南北七十町村南有大川自高岡流出 過村戸凡四十餘	土佐州郡志	332	
726	きよかひたに やま	巨加比谷 山	0912	四万十町	山	在村東禁樵採	土佐州郡志	332	
1939	こがい	小貝	0912	四万十町		小さい峡の土地。	西南の地名	84	
727	しろいがわだ	白井川谷	0912	四万十町	川	径村入大川	土佐州郡志	332	
728	しんこうじ	真光寺	0912	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
731	しんでんだい みょうじん	新田大明 神	0912	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
1343	ちがやはら	茅原	0912	四万十町			土佐の地名	280	
730	てんまてんじ	天満天神	0912	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
2198	とうかわ	十川	0912	四万十町		大野からの改名。	西南の地名	121	
1584	とおかわ	十川	0912	四万十町			ふたつの浮津	168	
725	ひざたかやま	脛高山	0912	四万十町	山	在村東禁樵採	土佐州郡志	332	
729	みょうけん	妙見	0912	四万十町	寺社		土佐州郡志	332	
737	おうばんしゃ	黄幡社	0913	四万十町	寺社		土佐州郡志	333	
735	しらおうしゃ	白皇社	0913	四万十町	寺社		土佐州郡志	333	
738	たこみせ	蛸店	0913	四万十町	関梁	在村南豫洲界	土佐州郡志	333	
734	とうこうあん	東光庵	0913	四万十町	寺社		土佐州郡志	333	
2200	とかわ	戸川	0913	四万十町		狭間を流れる川。その吐け口。	西南の地名	121	
733	とがわだに	戸川谷	0913	四万十町	川	自北流南	土佐州郡志	333	
732	とがわむら	戸川村	0913	四万十町	郷村	東限佛峠西限高野南限番屋北限御堂東西一町 南北七十町戸凡五十五其土黒	土佐州郡志	333	
736	やまじんじゃ	山神社	0913	四万十町	寺社		土佐州郡志	333	
742	いちのまたや	一之股山	0914	四万十町	山		土佐州郡志	334	
740	いのいたちめ やま	伊乃幾立 目山	0914	四万十町	山		土佐州郡志	334	
745	からすだに	烏谷	0914	四万十町	川	自北流南	土佐州郡志	334	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
739	からすむら	烏村	0914	四万十町	郷村	東限仁王作西限長澤南限日南向背北限手岩東	土佐州郡志	334	
744	こじょうやま	小城山	0914	四万十町	山	西二十五町南北六十町戸凡五十八其土黒	土佐州郡志	334	
1948	こしろ	古城	0914	四万十町		小さい山の平地で、カラスといわれていたが、昭和32年に山城にちなんで改名した。	西南の地名	85	
748	しらおうしゃ	白皇社	0914	四万十町	寺社		土佐州郡志	334	
743	たちめやま	立目山	0914	四万十町	山		土佐州郡志	334	
1583	ついわ	追和	0914	四万十町			ふたつの浮津	167	
2146	ついわ	追和	0914	四万十町		(潰い)崩地が丸い形をしているところ。扇状地。	西南の地名	115	
746	とうげんあん	東源庵	0914	四万十町	寺社		土佐州郡志	334	
741	にちなんむかいせやま	日南向背山	0914	四万十町	山		土佐州郡志	334	
747	はちまんぐう	八幡宮	0914	四万十町	寺社		土佐州郡志	334	
750	やまじんじゃ	山神社	0914	四万十町	寺社		土佐州郡志	334	
749	わかみや	若宮	0914	四万十町	寺社		土佐州郡志	334	
753	いちようばらや	銀杏原山	0915	四万十町	山	在村西北	土佐州郡志	335	
755	きちじょうあん	吉祥庵	0915	四万十町	寺社		土佐州郡志	335	
2754	じよし	地吉	0915	四万十町			ふるさとばとろーる(高新)	昭和57年12月21日	
754	じよしだに	地芳谷	0915	四万十町	川	流村東南	土佐州郡志	335	
751	じよしむら	地芳村	0915	四万十町	郷村	東限亀越西限大畑南限石田川北限銀杏原東西三十町南北二十町戸凡四十五其土赤砂雜	土佐州郡志	335	
757	しらおうしゃ	白皇社	0915	四万十町	寺社		土佐州郡志	335	
756	はちまんぐう	八幡宮	0915	四万十町	寺社		土佐州郡志	335	
752	ふじのやま	藤野山	0915	四万十町	山	在村西北	土佐州郡志	335	
1705	いまなり	今成	0916	四万十町		この地名は各地にあり、今(新)できた意で、成は開き地、新開と同じ意。なり・なろ(傾斜地)(鏡味説)。	西南の地名	54	
760	おおかわ	大川	0916	四万十町	川	自高岡出過村南	土佐州郡志	335	
761	かわぐちだに	川口谷	0916	四万十町	川	自北流南入大川	土佐州郡志	335	
758	かわぐちむら	川口村	0916	四万十町	郷村	東抵小谷西抵布岐敷南抵今成北抵東西十五町南北二十五町戸凡四十六其土赤雜砂	土佐州郡志	335	
762	しらおうしゃ	白皇社	0916	四万十町	寺社		土佐州郡志	335	
763	だいまようじんしゃ	大明神社	0916	四万十町	寺社		土佐州郡志	335	
759	つがのかわや	津賀之川	0916	四万十町	山	在村西禁採伐	土佐州郡志	335	
768	かわちだいみようじんしゃ	川内大明神社	0917	四万十町	寺社		土佐州郡志	336	
766	せいこうじ	正光庵	0917	四万十町	寺社		土佐州郡志	336	
767	だいぼんてんおう	大梵天王	0917	四万十町	寺社		土佐州郡志	336	
1345	つりいしやま	釣石山	0917	四万十町			土佐の地名	281	

高知県の地名(書籍・記事索引)

No	よみ	地名	コード	所在 市町村	キー用語	説明	書籍名	掲載 ページ等	引用図書
2328	ひろせ	広瀬	0917	四万十町		広い川地のところで、この土地の竹屋敷遺跡は、宿毛貝塚と同時代の遺跡といわれ、石斧・石鍛・石錘などを出土している。	西南の地名	137	
764	ひろせむら	弘瀬村	0917	四万十町	郷村	東限大川西限宮之窪南限下弘瀬北限陰平東西一町南北二十町戸凡二十六其土黒	土佐州郡志	336	
765	みやのくぼや	宮之窪山	0917	四万十町	山	在村西禁樵伐	土佐州郡志	336	
1648	あいご	相後	0918	四万十町		あいこ(戸)があいごに転じたもの。	西南の地名	46	
772	あいごだに	阿伊子谷	0918	四万十町	川	自東流西北入大川	土佐州郡志	336	
773	いさいだに	井才谷	0918	四万十町	川	自東流西北入大川	土佐州郡志	336	
1347	いさき	井崎	0918	四万十町			土佐の地名	281	
769	いさきむら	井崎村	0918	四万十町	郷村	東限阿伊予西限柳瀬南限下川北限甫喜東西七十町南北三十町戸凡四十六其土赤	土佐州郡志	336	
775	かわちだい みょうじん	川内大明 神	0918	四万十町	寺社		土佐州郡志	336	
1997	さねひろ	実弘	0918	四万十町		さぬひら→さねひろ。狭い土地の傾斜地。	西南の地名	93	
771	しうろくやま	志宇呂久	0918	四万十町	山		土佐州郡志	336	
774	せいぞうあん	清蔵庵	0918	四万十町	寺社		土佐州郡志	336	
2371	ほき	保喜 (保木)	0918	四万十町		ほっけ→ほき 川辺のがけ岩の土地にあり、鬼ヶ保木などのように「あぶない」土地などと使用され、小さい危険な土地。(黒潮町、四万十市)	西南の地名	143	
770	ほきやま	甫喜山	0918	四万十町	山		土佐州郡志	336	